

# 仙台市高齢者保健福祉計画策定のための実態調査 報告書

平成 26 年 3 月

仙台市健康福祉局保険高齢部高齢企画課

# 目 次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1	調査目的.....	1
2	調査設計.....	1
3	回収結果.....	2
4	報告書の見方.....	2
<b>II</b>	<b>分析結果の概要</b> .....	<b>3</b>
1	調査対象者の属性.....	3
2	健康状態について.....	3
3	楽しさ・生きがいについて.....	4
4	仕事について.....	4
5	社会参加の状況と社会貢献について.....	5
6	日常生活について.....	6
7	外出について.....	6
8	買い物について.....	7
9	住宅、住み替え意向について.....	8
10	本人・世帯の年間総収入について.....	9
11	介護保険料について.....	10
12	介護保険制度について.....	11
13	地域包括支援センターについて.....	13
14	高齢者福祉サービスについて.....	14
15	介護予防について.....	15
16	認知症対策について.....	17
17	地域包括ケアシステムの構築について.....	18
18	健康や福祉について.....	18
19	高齢者虐待防止について.....	19
20	孤立死について.....	19
21	災害時の安否確認について.....	20
<b>III</b>	<b>設問項目ごとの集計結果</b> .....	<b>21</b>
1	調査対象者の属性.....	21
2	健康状態について.....	25
3	楽しさ・生きがいについて.....	27
4	仕事について.....	28
5	社会参加の状況と社会貢献について.....	29

6	日常生活について	31
7	外出について	32
8	買い物について	35
9	住宅、住み替え意向について	37
10	本人・世帯の年間総収入について	39
11	介護保険料について	40
12	介護保険制度について	44
13	地域包括支援センターについて	47
14	高齢者福祉サービスについて	49
15	介護予防について	54
16	認知症対策について	57
17	地域包括ケアシステムの構築について	60
18	健康や福祉について	61
19	高齢者虐待防止について	62
20	孤立死について	63
21	災害時の安否確認について	65
22	仙台市への意見・要望について	66

#### IV 調査結果の分析 67

1	調査対象者の属性	67
	(1) 年齢	67
	(2) 世帯の状況	67
2	健康状態について	68
	(1) 健康状態	68
3	楽しさ・生きがいについて	69
	(1) 楽しさや生きがいを感じる事	69
4	仕事について	71
	(1) 現在の仕事の有無	71
	(2) 今後の仕事の意向	72
5	社会参加の状況と社会貢献について	74
	(1) 社会参加の状況	74
	(2) ボランティアの報酬についての考え方	76
	(3) 地域社会に貢献できると思うこと	78
	(4) 地域社会に貢献できると思う理由	80
	(5) 地域社会に特に何もする考えがない理由	82
6	日常生活について	84
	(1) 日常生活に対する不安	84

7	外出について	86
	(1) 外出頻度	86
	(2) 外出の際の手段	88
	(3) 外出の目的	89
	(4) 外出の際に困ること	90
	(5) 外出しない理由	91
8	買い物について	92
	(1) 買い物に行く頻度	92
	(2) 普段買い物をする店までの所要時間（片道）	94
	(3) 普段の買い物の利便性	95
9	住宅、住み替え意向について	98
	(1) 住居形態	98
	(2) 住居に関して困っていること	100
	(3) 介護が必要になった際の住み替えの意向	103
10	本人・世帯の年間総収入について	105
	(1) 本人の年間総収入	105
	(2) 世帯の年間総収入	106
11	介護保険料について	108
	(1) 保険料段階	108
	(2) 保険料の負担感	110
	(3) ひと月あたりの妥当と考える保険料額	113
	(4) 保険料と介護サービスのあり方	117
	(5) 市独自の介護保険サービスと保険料のあり方	122
12	介護保険制度について	126
	(1) 介護保険制度の仕組みについての周知状況	126
	(2) 今後利用したい介護サービス	127
	(3) その介護サービスを選んだ理由	128
	(4) 介護保険制度のメリット	131
	(5) 介護保険制度で不十分なもの	134
13	地域包括支援センターについて	137
	(1) 地域包括支援センターの認知状況	137
	(2) 地域包括支援センターの利用経験	138
	(3) 地域包括支援センターに今後期待すること	140
14	高齢者福祉サービスについて	141
	(1) 現在利用しているサービス	141
	(2) 今後利用したいサービス	143
	(3) 現在利用しているサービス（介護保険のサービスを除く）	144

(4) サービス（介護保険のサービスを除く）を利用しない理由……………	146
(5) 今後利用したいサービス（介護保険のサービスを除く）……………	147
(6) 高齢者福祉サービスの利用者負担金について……………	149
15 介護予防について……………	151
(1) 介護予防の認知度……………	151
(2) 介護予防についての取組み状況……………	153
(3) 介護予防のために取組んでいること……………	155
(4) 介護予防に取り組まない理由……………	157
(5) 介護予防として仙台市に力を入れて欲しいこと……………	159
16 認知症対策について……………	161
(1) 5分前のことが思い出せるか……………	161
(2) その日の活動を自分で判断できるか……………	163
(3) 人に自分の考えをうまく伝えられるか……………	164
(4) 認知症について知っていること……………	166
(5) 認知症になっても安心して生活するために必要なこと……………	167
17 地域包括ケアシステムの構築について……………	169
(1) 地域包括ケアシステムの構築のために必要なこと……………	169
18 健康や福祉について……………	171
(1) 健康や福祉に関する情報の入手先……………	171
(2) 家族以外との会話の頻度……………	173
19 高齢者虐待防止について……………	175
(1) 高齢者に対する虐待の防止のために必要な取り組み……………	175
20 孤立死について……………	177
(1) 孤立死に対する考え……………	177
(2) 孤立死を防ぐために有効な手段……………	179
21 災害時の安否確認について……………	181
(1) 東日本大震災時の安否確認について……………	181
(2) 誰に安否確認してほしいか……………	183
22 仙台市への意見・要望について……………	185

<b>V 資料（調査票）……………</b>	<b>195</b>
-----------------------	------------

# I 調査の概要

## 1 調査目的

本調査は、65歳以上の高齢者の生活実態や、社会参加、生きがい等に関する状況や意識、介護サービスや高齢者福祉サービスの利用動向及び今後の利用意向を把握し、次期高齢者保健福祉計画（計画期間：平成27年度～平成29年度）の策定にあたっての基礎資料とすることを目的とする。

## 2 調査設計

	【高齢者一般調査】
調査対象者	平成25年10月末時点において、仙台市介護保険被保険者資格を有している高齢者（約212,000人）から、介護保険事業計画策定のための実態調査の対象者として抽出された方を除いて無作為抽出した5,000人
調査方法	調査対象者に調査票を郵送し、返送していただくもの
調査基準日	平成25年11月1日
調査期間	平成25年11月7日～平成25年11月27日
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調査対象者の属性（問1～5）</li> <li>○健康状態について（問6～7）</li> <li>○楽しさ・生きがいについて（問8）</li> <li>○仕事について（問9～10）</li> <li>○社会参加の状況と社会貢献について（問11～15）</li> <li>○日常生活について（問16）</li> <li>○外出について（問17～21）</li> <li>○買い物について（問22～24）</li> <li>○住宅、住み替え意向について（問25～27）</li> <li>○本人・世帯の年間総収入について（問28～29）</li> <li>○介護保険料について（問30～34）</li> <li>○介護保険制度について（問35～39）</li> <li>○地域包括支援センターについて（問40～42）</li> <li>○高齢者福祉サービスについて（問43～46）</li> <li>○介護予防について（問47～51）</li> <li>○認知症対策について（問52～54）</li> <li>○地域包括ケアシステムの構築について（問55）</li> <li>○健康や福祉について（問56～57）</li> <li>○高齢者虐待防止について（問58）</li> <li>○孤立死について（問59～60）</li> <li>○災害時の安否確認について（問61～62）</li> <li>○仙台市への意見・要望について（自由記述）（問63）</li> </ul>

### 3 回収結果

標本数	5,000件
総回収数	3,232件
有効回収数	3,229件
無効回収数 ※1	3件
有効回収率	64.6%
集計対象数 ※2	3,144件

※1 無効回収数は、白票またはほぼ白票のもの。

※2 有効回収数から、「死亡」や「障害等により回答できない」等を除く。

### 4 報告書の見方

- (1) グラフのNとは回答数を表すものであり、質問によって異なる場合がある。
- (2) 回答の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、単一選択式の質問においては、回答比率を合計しても100%にならないことがある。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数選択式の質問においては、各設問の回答数(N)を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える場合がある。
- (3) 集計表や図では、選択肢の語句を一部簡略化してあらわしている。

## II 分析結果の概要

### 1 調査対象者の属性

#### 【調査票の記入者】

回答者は、「本人」が83.5%を占めて最も多く、次に「子供」(4.9%)、「配偶者(夫または妻)」(4.2%)が続いている。(P. 21)

#### 【性別】

本人の性別は、「女性」が53.6%、「男性」が43.9%となっている。(P. 21)

#### 【年齢】

本人の年齢は、「65～69歳」が27.3%を占めて最も多く、次に「70～74歳」が24.0%で続いており、これらを合わせた『65～74歳』の前期高齢者が51.3%を占めている。

性別にみると、65～74歳は男性で55.4%、女性で50.4%となっている。一方、75歳以上は男性で44.7%、女性で49.6%と、女性の方が男性に比べてやや年齢が高くなっている。(P. 22, P. 67)

#### 【現在お住まいの地域】

対象者を居住する中学校区別にみると、「長町中」が3.3%で最も多く、次いで「八木山中」が(2.8%)、「台原中」(2.7%)、「宮城野中」(2.7%)などとなっている。

5区別にみると、「青葉区」が26.7%、太白区が23.1%、泉区が20.9%、宮城野区が16.1%、若林区が10.3%となっている。(P. 23)

#### 【世帯の状況】

世帯の状況は、「夫婦のみ(ともに65歳以上)」が38.0%を占めて最も多く、次に「その他の世帯」が34.2%で続いている。なお、65歳以上のみの高齢世帯は56.0%で、前回調査(平成22年度)より1.1ポイント高くなっている。

性別にみると、「ひとり暮らし(特養などに入所含む)」は男性(8.6%)に比べて女性(20.8%)で多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって「ひとり暮らし(特養などに入所含む)」が多くなっている。また、「夫婦のみ(ともに65歳以上)」は70～84歳で4割を超えて、他の年齢層に比べて多くなっている。(P. 24, P. 67)

### 2 健康状態について

#### 【健康状態】

本人の健康状態は、「まあまあ健康」が63.5%を占めて最も多く、次に「あまり健康ではない」が15.9%、「とても健康」が10.9%で続いている。「とても健康」と「まあまあ健康」を合わせると74.4%となり、前回調査(平成22年度)より5.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「とても健康」、「まあまあ健康」が多くなっている。一方、概ね年齢が高くなるにしたがって「あまり健康ではない」、「健康ではない」が多くなっている。(P. 25, P. 68)



### 【健康状態による日常生活の状況について】

日常生活は、「普通にできる」がどの項目もほぼ7割以上を占めて最も多く、「時間はかかるが一人でできる」、「手助けがあればできる」を合わせた『できる』が8~9割以上となっている。なお、「普通にできる」について、「調理」は74.1%と他の項目に比べてやや低い。(P. 26)

## 3 楽しさ・生きがいについて

### 【楽しさや生きがいを感じること】

楽しさやいきがいを感じることは、「友人・知人とのつきあいなど」(49.6%)、「趣味・学習」(48.9%)の両者が多く、次に「子や孫の世話などご家族との団らん」(33.4%)が続いている。また、11.5%の方が「特にない」と回答しているが、前回調査(平成22年度)より1.6ポイント低くなっている。なお、前回調査では、「趣味・学習」が46.6%と最も多く、「友人・知人とのつきあいなど」が46.4%と2位であったが、今回調査では両者の順位が入れ替わった。

性別にみると、「友人・知人とのつきあいなど」は男性に比べて女性で多く、「運動・スポーツ」、「仕事・就労」は女性に比べて男性で多くなっている。

年齢別にみると、楽しさや生きがいを感じる具体的な活動内容への回答は、概ね年齢が低くなるにしたがって多くなっている。一方、「特にない」は年齢が高くなるにしたがって多くなっている。

世帯状況別にみると、「趣味・学習」、「運動・スポーツ」は夫婦のみの世帯で多くなっている。「子や孫の世話などご家族との団らん」は、その他世帯で40.5%と多く、ひとり暮らし(特養などに入所含む)で17.6%と少なくなっている。

健康状態別にみると、楽しさや生きがいを感じる具体的な活動内容への回答は、概ね健康状態がよくなるにしたがって多くなっている。一方、「特にない」は、健康状態が悪くなるにしたがって多くなっている。(P. 27, P. 69)

## 4 仕事について

### 【現在の仕事の有無】

仕事をしているかどうかは、「仕事をしていない」が80.0%と8割を占めて圧倒的に多く、「仕事をしている」は18.8%である。なお、前回調査(平成22年度)では「仕事をしていない」が79.7%、「仕事をしている」が18.7%となっており、今回調査は前回調査とほぼ同様の結果となっている。

性別にみると、「仕事をしている」は女性(13.0%)に比べて男性(26.2%)で多くなっている。

年齢別にみると、年齢が低くなるにしたがって「仕事をしている」が多くなっている。(P. 28, P. 71)

### 【今後の仕事の意向】

今後の就業意向は、「仕事をしたくない(仕事をやめたい)」(37.7%)が「仕事をしたい(続けたい)」(26.0%)を上回っている。なお、前回調査(平成22年度)では「仕事をしたくない(仕事をやめたい)」が35.0%、「仕事をしたい(続けたい)」が25.1%となっており、今回調査は前回調査と、ほぼ同様の結果となっている。

性別にみると、「仕事をしたい(続けたい)」は女性(18.6%)に比べて男性(35.8%)で多くなっている。

年齢別にみると、年齢が低くなるにしたがって「仕事をしたい(続けたい)」が多くなっており、65~69歳では39.6%となっている。

健康状態別にみると、健康状態がよくなるにしたがって「仕事をしたい(続けたい)」が多くなっており、とても健康では41.6%となっている。(P. 28, P. 72)

## 5 社会参加の状況と社会貢献について

### 【社会参加の状況】

社会参加の状況は、「特に参加していない」が46.8%と圧倒的に多く、参加しているもののうち回答割合が高かったのは、「趣味関係のグループ」(28.2%)、「スポーツ関係のグループやクラブ」(16.1%)、「町内会・自治会」(14.1%)などである。

性別にみると、「趣味関係のグループ」は男性(24.3%)に比べて女性(31.7%)で多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって、社会参加が多くなっている。

健康状態別にみると、概ね健康状態がよくなるにしたがって、社会参加が多くなっている。(P. 29, P. 74)

### 【ボランティアの報酬についての考え方】

ボランティアの報酬は、「交通費等の実費程度は受け取りたい(支払いたい)」が37.0%を占めて最も多く、次に「ボランティアなのだから無報酬でよい」が28.0%で続いている。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「交通費等の実費程度は受け取りたい(支払いたい)」、「労働対価でなくとも、小遣いになる程度は受け取りたい(支払いたい)」が多くなっている。

健康状態別にみると、健康状態がよくなるにしたがって「ボランティアなのだから無報酬でよい」が多くなっている。(P. 29, P. 76)

### 【地域社会に貢献できると思うこと】

地域社会に貢献できると思うことは、「ボランティア活動」(20.0%)、「町内会・地区社会福祉協議会などの地域活動」(20.0%)、「老人クラブでの社会参加活動」(12.8%)、「仕事」(12.7%)と続いている。なお、「特に何もする考えはない」が31.1%と最も多いが、前回調査(平成22年度)よりは6.9ポイント低くなっている。

性別にみると、ほとんどの項目において男性が女性を上回っているが、中でも「仕事」が9.7ポイントと大きく上回っている。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「ボランティア活動」、「町内会・地区社会福祉協議会などの地域活動」、「仕事」が多くなっている。

健康状態別にみると、健康状態がよくなるにしたがって、地域社会に貢献できると思うことが多くなっている。(P. 30, P. 78)

### 【地域社会に貢献できると思う理由】

地域社会に貢献できると思う理由は、「自分自身が生きがいを感じたい」(64.2%)が6割を超えて最も多く、次に「年齢・性別を問わず、いろいろな人達と関わりを持ちたい」(54.8%)、「地域や社会に貢献したい」(49.8%)が続いている。

性別にみると、「年齢・性別を問わず、いろいろな人達と関わりを持ちたい」は男性に比べて女性で多く、「地域や社会に貢献したい」は女性に比べて男性で多くなっている。

年齢別では、84歳までの中で見ると、年齢が低くなるにしたがって「生活(収入)のため」が多くなっている。

世帯の年間総収入額別では、100万円～1,000万円未満の中で見ると、概ね年収が高くなるにしたがって「地域や社会に貢献したい」が多くなっている。(P. 30, P. 80)

### 【地域社会に特に何もする考えがない理由】

地域社会に貢献する考えがない理由は、「身体的な理由があり、活動できない」(48.7%)が約5割と最も多く、次に「のんびり悠々自適に過ごしたい」(31.6%)、「人づきあいが、わずらわしい」(22.1%)

が続いている。なお、「必要性を感じない」が12.2%となっている。

性別にみると、「身体的な理由があり、活動できない」は男性に比べて女性で多く、「のんびり悠々自適に過ごしたい」は女性に比べて男性で多くなっている。

年齢別では、89歳までの中でみると、概ね年齢が高くなるにしたがって、「身体的な理由があり、活動できない」が多くなっている。一方、概ね年齢が低くなるにしたがって「のんびり悠々自適に過ごしたい」、「仕事や活動をする場所が分からない」が多くなっている。

世帯の年間総収入額別では、500万円までの中でみると、年収が低くなるにしたがって「身体的な理由があり、活動できない」が多くなっている。一方、年収が高くなるにしたがって「のんびり悠々自適に過ごしたい」、「人づきあいが、わずらわしい」が多くなっている。

健康状態別にみると、健康状態が悪くなるにしたがって「身体的な理由があり、活動できない」が多くなっている。一方、健康状態が良くなるにしたがって「のんびり悠々自適に過ごしたい」、「必要性を感じない」、「忙しくて時間がない」、「仕事や活動をする場所が分からない」が多くなっている。  
(P. 31, P. 82)

## 6 日常生活について

### 【日常生活に対する不安】

日常生活に対する不安は、「ご自身やご家族の健康のこと」が66.3%と圧倒的に多く、次に「ご自身やご家族の介護のこと」(25.0%)、「物忘れをすること」(22.9%)、「生活費のこと」(22.8%)が2割以上で続いている。なお、前回調査(平成22年度)では「生活費のこと」が33.6%で2位であったが、今回調査では4位となっている。

性別にみると、「ご自身やご家族の介護のこと」、「物忘れをすること」は男性に比べて女性で多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって「物忘れをすること」、「食事のこと」が多くなっている。一方、概ね年齢が低くなるにしたがって「生活費のこと」が多くなっている。

世帯状況別にみると、「ご自身やご家族の介護のこと」は上記以外で全員が65歳以上の世帯で多く、「住まいのこと」、「掃除や洗濯など家事のこと」、「相談相手がいないこと」はひとり暮らし(特養などに入所含む)が多くなっている。

世帯の年間総収入額別にみると、概ね年収が低くなるにしたがって「生活費のこと」、「住まいのこと」、「掃除や洗濯など家事のこと」、「食事のこと」が多くなっている。一方、概ね年収が高くなるにしたがって「特に不安を感じることはない」が多くなっている。

健康状態別にみると、概ね健康状態が悪くなるにしたがって、不安を感じるとの回答が多くなっている。(P. 31, P. 84)

## 7 外出について

### 【外出頻度】

外出頻度は、「週に2～3日程度」(28.2%)、「ほぼ毎日」(27.7%)の両者が多く、次に「週に4～5日程度」(20.1%)が続いている。なお、前回調査(平成22年度)では、「週に2～3日程度」が28.2%、「ほぼ毎日」が27.6%となっており、今回調査は前回調査と、ほぼ同様の結果となっている。

性別にみると、「ほぼ毎日」は女性(21.2%)に比べて男性(35.9%)が多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって外出頻度が高くなっている。

健康状態別にみると、概ね健康状態がよくなるにしたがって外出頻度が高くなっており、とても健康では「ほぼ毎日」が43.0%となっている。(P. 32, P. 86)

**【外出の際の手段】**

外出の際の交通手段は、「徒歩」(58.2%)、「バス、地下鉄、電車」(55.6%)の両手段が多い。

性別にみると、「バス、地下鉄、電車」、「自家用車(送迎してもらう)」は男性に比べて女性で多く、「自家用車(自分で運転する)」は女性に比べて男性で多くなっている。

年齢別にみると、年齢が低くなるにしたがって「自家用車(自分で運転する)」、「自転車、バイク」が多くなっている。一方、概ね年齢が高くなるにしたがって「自家用車(送迎してもらう)」、「タクシー」が多くなっている。(P. 32, P. 88)

**【外出の目的】**

外出の目的は、「買い物のため」(78.8%)が7割を超えて最も多く、次に「通院のため」(51.4%)、「趣味、スポーツ、娯楽などのため」(48.2%)が続いている。

性別にみると、「趣味、スポーツ、娯楽などのため」、「仕事のため」は女性に比べて男性で多く、「買い物のため」、「通院のため」は男性に比べて女性で多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「買い物のため」、「趣味、スポーツ、娯楽などのため」、「仕事のため」が多くなっている。一方、概ね年齢が高くなるにしたがって「通院のため」が多くなっている。(P. 33, P. 89)

**【外出の際に困ること】**

外出の際に困っていることは、「道路や駅などの階段や段差」(30.5%)が最も多く、次に「バス、地下鉄、電車などの乗り降り」(16.2%)、「交通費がかかること」(15.1%)、「街を走っている自動車が危険なこと」(15.0%)が続いている。

性別にみると、概ね女性が男性を上回っている。一方、「特にない」は男性で50.7%と多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって「道路や駅などの階段や段差」、「バス、地下鉄、電車などの乗り降り」、「外出先で利用する建物の手すりなどの不足」が多くなっている。一方、概ね年齢が低くなるにしたがって「特にない」が多くなっている。(P. 33, P. 90)

**【外出しない理由】**

外出しない理由は、「身体上の理由で外出が困難だから」(72.0%)が圧倒的に多く、次に「外出したい場所がないから」(14.7%)、「バス、地下鉄、電車などへの乗車が困難だから」(14.0%)が続いている。なお、前回調査(平成22年度)では、「外出したい場所がないから」が6.6%、「人と会うのがわずらわしいから」が3.3%となっており、今回調査では前回調査に比べて「外出したい場所がないから」が8.1ポイント、「人と会うのがわずらわしいから」が5.8ポイント高くなっている。

性別にみると、「外出したい場所がないから」は女性(10.2%)に比べて男性(20.8%)で多くなっている。(P. 34, P. 91)

**8 買い物について****【買い物に行く頻度】**

買い物に行く頻度は、「2、3日に1回程度」が36.7%を占めて最も多く、次に「1週間に1回程度」(15.4%)、「4、5日に1回程度」(15.2%)、「ほぼ毎日」(14.2%)が続いている。なお、「ほとんど行かない」は12.1%で、前回調査(平成22年度)より2.1ポイント低くなっている。

性別にみると、「ほぼ毎日」、「2、3日に1回程度」は男性に比べて女性で多く、「4、5日に1回程度」、「1週間に1回程度」、「2週間に1回程度」は女性に比べて男性で多くなっており、女性の方が買い物に行く頻度が高くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって、買い物に行く頻度が高くなっている。  
健康状態別にみると、概ね健康状態がよくなるにしたがって、買い物に行く頻度が高くなっている。  
(P. 35, P. 92)

#### 【普段買い物をする店までの所要時間（片道）】

普段買い物をする店までの所要時間は、「6～15分以内」が47.6%を占めて最も多く、次に「16～30分以内」(31.7%)が続いている。

年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって、店までの移動所要時間が長くなっている。  
(P. 35, P. 94)

#### 【普段の買い物の利便性】

買い物の利便性についての考えは、「便利に感じている」が28.6%を占めて最も多く、次に「どちらでもない」(25.3%)、「やや便利に感じている」(21.3%)が続いている。なお、「不便に感じている」と「やや不便に感じている」を合わせた『不便』との回答は21.0%と約2割である。

性別にみると、「不便に感じている」と「やや不便に感じている」を合わせた『不便』の割合が、男性が15.3%、女性が25.6%と女性が男性を10.3ポイント上回っている。

年齢別では、89歳までの中で見ると、概ね年齢が低くなるにしたがって、「やや便利に感じている」と「便利に感じている」を合わせた『便利』との回答が多くなっている。一方、概ね年齢が高くなるにしたがって『不便』が多くなっている。

健康状態別にみると、健康状態がよくなるにしたがって『便利』が多くなっている。

買い物に行く頻度別にみると、概ね買い物に行く頻度が高くなるにしたがって『便利』が多くなっている。

買い物をする店までの所要時間別にみると、所要時間が短くなるにしたがって『便利』が多くなっている。(P. 36, P. 95)

## 9 住宅、住み替え意向について

#### 【住居形態】

本人の現在の住居形態は、「持ち家（一戸建て）」が74.2%を占めて最も多く、次に「持ち家（マンションなど）」(9.9%)、「民間借家、賃貸マンション、アパート」(8.0%)が続いている。

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「持ち家（一戸建て）」が7割以上を占めている。「有料老人ホーム、特別養護老人ホームなどの施設」は、年齢が高くなるにしたがって多くなっている。

世帯状況別にみると、ひとり暮らし（特養などに入所含む）で「持ち家（一戸建て）」が46.3%と最も少ない一方で、「民間借家、賃貸マンション、アパート」、「有料老人ホーム、特別養護老人ホームなどの施設」が多くなっている。(P. 37, P. 98)

#### 【住宅に関して困っていること】

住宅に関して困っていることは、「草むしりや植木など庭や家周りの手入れ」(34.9%)が最も多く、次に「固定資産税が高い」(25.4%)、「老朽化」(23.0%)、「掃除や片付けが大変」(16.3%)などが続いている。

性別にみると、「草むしりや植木など庭や家周りの手入れ」は男性に比べて女性で多く、「固定資産税が高い」は女性に比べて男性で多くなっている。

年齢別にみると、89歳までは概ね年齢が高くなるにしたがって「草むしりや植木など庭や家周りの手入れ」、「掃除や片付けが大変」が多くなっている。また、90歳以上では「特にない」が46.2%と、他の年齢層に比べて多くなっている。

世帯状況別にみると、ひとり暮らし（特養などに入所含む）で「固定資産税が高い」、「住宅ローンが大変」が他の世帯状況に比べて少なく、「家賃が高い」が他の世帯状況に比べて多くなっている。（P. 37, P. 100）

#### 【介護が必要になった際の住み替えの意向】

介護になった場合の住み替えの意向は、「今のところに住み続けたい」（42.7%）が最も多く、次に「どちらかという今このところに住み続けたい」（20.6%）が続き、両回答を合わせた『住み続けたい』が63.3%と6割以上を占める。なお、「今のところに住み続けたい」は前回調査（平成22年度）より3.5ポイント低くなっており、「わからない」（18.0%）は前回調査より3.6ポイント高くなっている。

性別にみると、「今のところに住み続けたい」は女性（40.8%）に比べて男性（45.1%）で多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「住み替えたい」と「どちらかという住み替えたい」を合わせた『住み替え意向あり』が多くなっている。一方、年齢が高くなるにしたがって「どちらかという今このところに住み続けたい」と「今のところに住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』が多くなっている。

世帯状況別にみると、『住み替え意向あり』がひとり暮らし（特養などに入所含む）で多くなっている。

健康状態別にみると、概ね健康状態がよくなるにしたがって『住み続けたい』が多くなっている。（P. 38, P. 103）

## 10 本人・世帯の年間総収入について

#### 【本人の年間総収入】

本人の年間総収入は、「100～200万円未満」が25.9%を占めて最も多く、次に「200～300万円未満」が23.2%で続いている。なお、『100万円未満』も28.1%と3割近くに達している。

性別にみると、『100万円未満』が男性では7.7%、女性では45.1%と女性の方が多くなっている。一方、『200万円以上』では、男性が68.1%、女性が17.6%と男性が多くなっており、性別によって年収に差がみられる。

年齢別にみると、「50万円未満」、「わからない」が90歳以上で多く、「200万円～300万円未満」が80～84歳で多くなっている。

世帯状況別にみると、夫婦のみ（どちらかが65歳以上）の世帯を除いて、『200万円未満』が5～6割を占めている。一方、夫婦のみ（どちらかが65歳以上）の世帯では『200万円以上』が63.1%と多くなっている。（P. 39, P. 105）

#### 【世帯の年間総収入】

本人も含めた世帯全員の年間総収入は、「200～300万円未満」が24.5%を占めて最も多く、次に「300～400万円未満」が19.3%で続いている。

性別にみると、『200万円未満』が男性では15.6%、女性では23.9%と女性の方が多くなっている。これは、女性のひとり暮らしの割合が男性に比べて高いため、世帯収入は男性より低い傾向にあることによるものである。

世帯状況別にみると、ひとり暮らし（特養などに入所含む）では『200万円未満』が約5割を占める。また、夫婦のみの世帯では『200万円～400万円未満』が5～6割を占める。（P. 39, P. 106）

## 11 介護保険料について

### 【保険料段階】

保険料段階は、「わからない」が13.4%で最も多く、次に「第8段階」(11.3%)、「第5段階」(11.0%)、「第9段階」(9.2%)が続いている。

性別にみると、男性では「第7段階」～「第12段階」までの『第7段階以上』が62.0%と多く、一方、女性では「第1段階」から「第6段階」までの『第6段階以下』が58.6%と多くなっており、本人の年間総収入による違いがみられる。

年齢別にみると、「第2段階」が90歳以上で、他の年齢層に比べて多くなっている。

世帯状況別にみると、「第1段階」、「第2段階」、「第3段階」は、ひとり暮らし（特養などに入居含む）で多く、「第9段階」、「第10段階」は夫婦のみ（どちらかが65歳以上）で多くなっている。(P. 40, P. 108)

### 【保険料の負担感】

保険料の負担感は、「なんとか支払える額である」(58.9%)が半数以上を占めて最も多く、「無理なく支払える額である」(10.0%)を合わせた7割近く(68.9%)が『支払える額』と考えている。なお、「なんとか支払える額である」は前回調査（平成22年度）より6.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「支払いが困難な額である」が多くなっている。一方、概ね年齢が高くなるにしたがって「わからない」が多くなっている。

本人の年間総収入額別にみると、概ね年収が高くなるにしたがって「無理なく支払える額である」と「なんとか支払える額である」を合わせた『支払える額である』が多くなっている。

世帯の年間総収入額別にみると、概ね年収が高くなるにしたがって『支払える額である』との回答が多くなっている。

健康状態別にみると、健康状態が良くなるにしたがって『支払える額である』との回答が多くなっている。

保険料段階別にみると、概ね保険料段階が高くなるにしたがって『支払える額である』との回答が多くなっている。(P. 41, P. 110)

### 【ひと月あたりの妥当と考える保険料額】

妥当と思う保険料は、「5,000円程度」(17.8%)が最も多く、次に「わからない」(17.1%)、「2,500円程度」(16.5%)、「3,000円程度」(13.2%)が続いている。なお、前回調査（平成22年度）では、「3,000円程度」が16.8%と最も多かった。

性別にみると、女性では『2,500円～4,000円程度』が妥当であると考えている人が約5割と多いのに対し、男性では約3割となっている。

年齢別にみると、「わからない」が85歳～89歳、90歳以上で、他の年齢層に比べて多くなっている。

世帯状況別にみると、ひとり暮らし（特養などに入所含む）で「2,500円程度」との回答が他の世帯構成に比べて多く、夫婦のみ（どちらかが65歳以上）で、「5,000円程度」との回答が他の世帯構成に比べて多くなっている。

本人の年間総収入額別にみると、概ね収入が低くなるにしたがって「2,500円程度」が多くなっている。一方、概ね年収が高くなるにしたがって妥当と思う保険料の金額が高くなっている傾向がみられる。

世帯の年間総収入額別にみると、本人の年間総収入額別と同様、概ね収入が低くなるにしたがって「2,500円程度」が多くなっている。一方、概ね年収が高くなるにしたがって妥当と思う保険料の金額が高くなっている傾向がみられる。

保険料段階別にみると、概ね保険料段階が低くなるにしたがって「2,500円程度」が多くなっている。

る。一方、概ね保険料段階が高くなるにしたがって妥当と思う保険料の金額が高くなっている傾向がみられる。

保険料の負担感別にみると、支払いが困難な額である人ほど、妥当だと考える金額は低くなっている。支払いが困難な額であるとする人の約5割が『2,500円～3,000円程度』を妥当な金額と考えている。(P. 41, P. 113)

### 【保険料と介護サービスのあり方】

保険料と介護サービスのあり方については、「保険料も介護サービスも現状の程度でよい」が26.4%を占めて最も多く、次に「介護サービスの水準を今より抑えても、保険料が低くなる方がよい」(24.0%)が続いている。なお、前回調査(平成22年度)では、「介護サービスの水準を今より抑えても、保険料が低くなる方がよい」が23.3%と最も多く、「保険料も介護サービスも現状の程度でよい」が22.0%と2位であったが、今回調査では両者の順位が入れ替わった。

世帯状況別にみると、ひとり暮らし(特養などに入所含む)で「介護サービスの水準を今より抑えても、保険料が低くなる方がよい」との回答が他の世帯構成に比べて少なくなっている。

本人の年間総収入額別にみると、概ね年収が高くなるにしたがって「保険料が高くなってもよいから、施設を増やすなど介護サービスを充実させた方がよい」が多くなっている。

世帯の年間総収入額別にみると、概ね年間総収入が高くなるにしたがって「保険料が高くなってもよいから、施設を増やすなど介護サービスを充実させた方がよい」が多くなっている。

保険料段階別にみると、概ね保険料段階が高くなるにしたがって「保険料が高くなってもよいから、施設を増やすなど介護サービスを充実させた方がよい」が多くなっている。

保険料の負担感別にみると、支払える額であるとする人ほど「保険料が高くなってもよいから、施設を増やすなど介護サービスを充実させた方がよい」、「保険料も介護サービスも現状の程度でよい」との回答が多くなっている。一方、「介護サービスの水準を今より抑えても、保険料が低くなる方がよい」との回答は、支払いが困難な額であるとする人ほど多くなっている。(P. 42, P. 117)

### 【市独自の介護保険サービスと保険料のあり方】

市独自のサービスと保険料のあり方については、「保険料をできるだけ抑えるためにも、現在のままでよい」が49.7%と約5割を占めて最も多く、「保険料が高くなってもよいから、介護サービスを充実させた方がよい」は10.9%である。また、「わからない」との回答が27.9%と3割近くを占めている。

本人の年間総収入額別では、500万円未満までの中でみると、概ね収入が高くなるにしたがって「保険料が高くなってもよいから、介護サービスを充実させた方がよい」との回答が多くなっている。

世帯の年間総収入額別にみると、概ね収入が高くなるにしたがって「保険料が高くなってもよいから、介護サービスを充実させた方がよい」との回答が多くなっている。

保険料段階別にみると、概ね保険料段階が高くなるにしたがって「保険料が高くなってもよいから、介護サービスを充実させた方がよい」との回答が多くなっている。

保険料の負担感別にみると、支払える額であるとする人ほど「保険料が高くなってもよいから、介護サービスを充実させた方がよい」との回答が多くなっている。(P. 43, P. 122)

## 12 介護保険制度について

### 【介護保険制度の仕組みについての周知状況】

介護保険制度の仕組みの周知状況については、「よく知っている」(2.2%)と「おおよその内容は知っている」(28.2%)を合わせた『知っている』が30.4%、一方「あまりよく知らない」(47.1%)と「ほとんどわからない」(19.9%)を合わせた『知らない』が67.0%となっており、『知らない』が『知



っている』を大きく上回っている。

年齢別にみると、『知っている』との回答が、他の年齢層に比べ85～89歳、90歳以上で少なくなっている。(P. 44, P. 126)

### 【今後利用したい介護サービス】

介護が必要となった場合に使いたい介護サービスについては、「自身の状態に応じて、自宅での定期訪問介護に加えて、夜間や緊急時に随時の訪問介護を組み合わせることができるサービス」

(24.5%)が最も多く、次に「特別養護老人ホームの介護サービス」(21.2%)、「自身の状態に応じて、通所型サービスを主に、併せて訪問介護も使うことが出来るサービス」(16.5%)が続いている。

性別にみると、「自宅での定期訪問介護サービス」、「自身の状態に応じて、自宅での定期訪問介護に加えて、夜間や緊急時に随時の訪問介護を組み合わせることができるサービス」は女性に比べて男性で多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって「デイサービス、ショートステイなどの通所型サービス」が多くなっている。一方、概ね年齢が低くなるにしたがって「自身の状態に応じて、通所型サービスを主に、併せて訪問介護も使うことが出来るサービス」が多くなっている。(P. 44, P. 127)

### 【その介護サービスを選んだ理由】

介護が必要となった場合に使いたい介護サービスとして選んだ理由は、「介護する家族の負担を軽くしたいから」(42.9%)が最も多く、次に「自宅で暮らし続けたいから」(37.0%)、「住み慣れた場所で生活したいから」(30.7%)が3割以上で続いている。

性別にみると、「家族とともに暮らせるから」は女性(21.1%)に比べて男性(32.3%)が多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって「自宅で暮らし続けたいから」、「住み慣れた場所で生活したいから」、「家族とともに暮らせるから」が多くなっている。一方、概ね年齢が低くなるにしたがって「介護する家族の負担を軽くしたいから」が多くなっている。

世帯状況別にみると、ひとり暮らし(特養などに入所含む)で「介護する家族の負担を軽くしたいから」、「家族とともに暮らせるから」との回答が他の世帯構成に比べて少なくなっており、「より手厚い介護を受けたいから」、「他人との共同生活をしたくないから」、「集合住宅、施設は設備やサービスが充実しているから」との回答が他の世帯構成に比べて多くなっている。

健康状態別にみると、健康状態が良くなるにしたがって「住み慣れた場所で生活したいから」との回答が多くなり、「自宅で介護サービスを受けるのは大変だから」、「他人との共同生活をしたくないから」との回答が少なくなっている。

保険料段階別にみると、「介護する家族の負担を軽くしたいから」が、第4段階、第5段階、第6段階で5割を超えており、他の段階に比べて多くなっている。

保険料の負担感別にみると、ほとんどの項目で概ね支払える額であるとする人ほど、多くなっている。(P. 45, P. 128)

### 【介護保険制度のメリット】

介護保険制度のサービスを使うことによってメリットがあると思われる点は、「介護者や家族の身体的負担が減る」(66.9%)、「介護者や家族の精神的負担が減る」(63.4%)が6割を超えて多く、家族の負担軽減が上位に挙げられている。

年齢別にみると、「介護者や家族の身体的負担が減る」、「介護者や家族の精神的負担が減る」が65～69歳で、他の年齢層と比べて多くなっている。また、概ね年齢が高くなるにしたがって「在宅で生活ができる」が多くなっている。

世帯状況別にみると、ひとり暮らし(特養などに入所含む)で「介護者や家族の身体的負担が減る」、

「介護者や家族の精神的負担が減る」との回答が他の世帯構成に比べて少なくなっている。

保険料段階別にみると、「介護者や家族の身体的負担が減る」、「介護者や家族の精神的負担が減る」、「在宅で生活ができる」は、おおむね保険料段階が高くなるにしたがって多くなっている。

保険料の負担感別にみると、ほとんどの項目で概ね支払える額であるとする人ほど、多くなっている。(P. 45, P. 131)

#### 【介護保険制度で不十分なもの】

介護保険制度で不十分なものは、「要介護認定の申請や契約など、手続きが面倒くさい」(31.0%)が最も多く、次に「どの事業者を選んだらよいかわからない」(19.8%)、「サービスの利用と費用負担の関係がわかりにくい」(18.0%)が続いている。なお、「介護保険のサービスを利用しなくても、保険料を納めなければならない」(17.0%)は前回調査(平成22年度)より4.9ポイント低くなっている。また、「わからない」(33.0%)との回答が3割以上ある。

年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって「どの事業者を選んだらよいかわからない」が多くなっている。

健康状態別にみると、ほとんどの項目で、概ね健康状態が悪くなるにしたがって多くなっている。(P. 46, P. 134)

## 13 地域包括支援センターについて

#### 【地域包括支援センターの認知状況】

地域包括支援センターの認知度は、「名前は知っているが、どのようなサービスが提供されているかは知らない」(38.6%)と「名前も知っているし、どのようなサービスが提供されているかも知っている」(18.1%)を合わせた『知っている』が56.7%と5割以上を占める。なお、『知っている』は前回調査(平成22年度)より6.4ポイント高くなっており、一方、「名前も知らない」(30.2%)は前回調査より10.9ポイント低くなっている。

性別にみると、「名前も知らない」は女性(26.0%)に比べて男性(35.7%)が多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって「名前も知っているし、どのようなサービスが提供されているかも知っている」が多くなっている。一方、概ね年齢が低くなるにしたがって「名前は知っているが、どのようなサービスが提供されているかは知らない」、「名前も知らない」が多くなっている。

世帯状況別にみると、「名前も知らない」は夫婦のみ(どちらかが65歳以上)の世帯で多くなっている。(P. 47, P. 137)

#### 【地域包括支援センターの利用経験】

地域包括支援センターの利用経験は、「利用したことがない」が70.5%と約7割を占めており、「利用したことがある」は26.1%であり、前回調査(平成22年度)と、ほぼ同様の結果となっている。

性別にみると、「利用したことがある」は男性(20.6%)に比べて女性(30.3%)が多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって「利用したことがある」が多くなっている。

世帯状況別にみると、「利用したことがある」は上記以外で全員が65歳以上の世帯で多くなっている。(P. 48, P. 138)

#### 【地域包括支援センターに今後期待すること】

地域包括支援センターに今後期待することは、「介護や保健福祉サービスの相談受付」(48.6%)が最も多く、次に「地域の医療機関や福祉機関などとのネットワークの充実」(30.8%)、「認知症に関する普及啓発や、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの推進」(25.7%)が続いている。

年齢別にみると、年齢が低くなるにしたがって「介護や保健福祉サービスの相談受付」、「介護予防の普及啓発や運動教室等の実施」が多くなっている。(P. 48, P. 140)

## 14 高齢者福祉サービスについて

### 【現在利用しているサービス】

現在利用しているサービスについては、「利用しているサービスはない」(77.6%)との回答が最も多く7割以上ある。現在サービスを利用している方のなかでは、「緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス」(4.5%)が特に多く、次に「弁当を自宅に配達するサービス」(3.7%)、「ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象とした、掃除・洗濯や外出時の援助など日常生活のお手伝いをするサービス」(3.5%)が続いている。

年齢別にみると、ほとんどの項目は、概ね年齢が高くなるにしたがって多くなっている。

世帯状況別にみると、「緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス」はひとり暮らし(特養などに入所含む)で多く、「利用しているサービスはない」は夫婦のみ(どちらかが65歳以上)で多くなっている。(P. 49, P. 141)

### 【今後利用したいサービス】

今後利用してみたいサービスは、「緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス」(27.7%)が特に多く、次に「ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象とした、掃除・洗濯や外出時の援助など日常生活のお手伝いをするサービス」(19.2%)、「弁当を自宅に配達するサービス」(18.8%)が続いている。また、「特にない」(39.9%)との回答が約4割ある。

年齢別にみると、多くのサービス項目は、概ね年齢が高くなるにしたがって多くなっている。

世帯状況別にみると、「緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス」、「ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象とした、掃除・洗濯や外出時の援助など日常生活のお手伝いをするサービス」はひとり暮らし(特養などに入所含む)で多く、「特にない」は夫婦のみ(どちらかが65歳以上)の世帯で多くなっている。(P. 50, P. 143)

### 【現在利用しているサービス(介護保険のサービスを除く)】

介護保険のサービス以外で現在利用しているサービスについては、「利用していない」(86.4%)との回答が最も多く8割以上ある。現在サービスを利用している方のなかでは、「食事、掃除、洗濯、買い物などの家事援助」(1.6%)が多く、次に「通院や買い物などの福祉車両による送迎」(0.8%)、「身体の清拭や洗髪などの介護援助」(0.7%)と続くが、いずれも1.0%前後である。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「利用していない」が多くなっている。

世帯状況別にみると、「利用していない」が上記以外で全員が65歳以上の世帯で、他の世帯構成に比べて少なくなっている。(P. 51, P. 144)

### 【サービス(介護保険のサービスを除く)を利用しない理由】

利用していない理由は、「地域でそのようなサービスが提供されているかどうかの情報がない」(28.0%)が特に多く、次に「そのようなサービスが地域にない」(4.7%)が続いている。

年齢別にみると、「地域でそのようなサービスが提供されているかどうかの情報がない」が80~84歳で、他の年齢層に比べて多くなっている。

世帯状況別にみると、「地域でそのようなサービスが提供されているかどうかの情報がない」はひとり暮らし(特養などに入所含む)、上記以外で全員が65歳以上の世帯で多くなっている。(P. 51, P. 146)

### 【今後利用したいサービス（介護保険のサービスを除く）】

今後利用したいサービスは、「食事、掃除、洗濯、買い物などの家事援助」（36.7%）が最も多く、次に「通院や買い物などの福祉車両による送迎」（29.7%）、「食事会や食事の配達」（19.5%）が続いている。

性別にみると、「食事、掃除、洗濯、買い物などの家事援助」、「防犯や安否確認のための見守り」は女性に比べて男性で多く、「通院や買い物などの福祉車両による送迎」は男性に比べて女性で多くなっている。（P. 52, P. 147）

### 【今後サービス（介護保険のサービスを除く）を利用しない理由】

利用したくない理由については、「サービスに関する情報が入手しにくい」（66.7%）が最も多くなっている。（P. 52）

### 【高齢者福祉サービスの利用者負担金について】

介護保険以外の高齢者福祉サービスの利用者負担金についての考えは、「利用者負担金もサービスも現状の程度でよい」（20.0%）が特に多く、次に「サービスの水準を今より抑えても、利用者負担金が低くなる方がよい」（13.7%）、「利用者負担金が高くなってもよいから、サービスを充実させた方がよい」（10.5%）が続いている。また、「わからない」（44.1%）が4割以上を占めている。

年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって「利用者負担金もサービスも現状の程度でよい」が多くなっている。一方、概ね年齢が低くなるにしたがって「サービスの水準を今より抑えても、利用者負担金が低くなる方がよい」が多くなっている。

世帯状況別にみると、「サービスの水準を今より抑えても、利用者負担金が低くなる方がよい」は上記以外で全員が65歳以上の世帯で多くなっている。

世帯の年間総収入額別にみると、概ね収入が高くなるにしたがって「利用者負担金が高くなってもよいから、サービスを充実させた方がよい」が多くなっている。一方、概ね収入が低くなるにしたがって「サービスの水準を今より抑えても、利用者負担金が低くなる方がよい」が多くなっている。（P. 53, P. 149）

## 15 介護予防について

### 【介護予防の認知度】

「介護予防」という言葉については、聞いたことがある人が67.0%と6割以上を占め、聞いたことがないという人は28.6%である。なお、聞いたことがある人は、前回調査（平成22年度）より2.8ポイント高くなっている。

性別にみると、介護予防を知っていると答えた人は男性（63.9%）に比べて女性（69.8%）が多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「はい」（介護予防という言葉を知ったことがあると回答）が多くなっている。

健康状態別にみると、概ね健康と答えた人の方が「はい」（介護予防という言葉を知ったことがあると回答）が多くなっている。（P. 54, P. 151）

### 【介護予防についての取り組み状況】

介護予防に関する取り組みについては、取り組んでいる人が53.2%と5割以上を占め、取り組んでいない人が39.9%と約4割であり、前回調査（平成22年度）と、ほぼ同様の結果となっている。

性別にみると、介護予防に取り組んでいると答えた人は男性（47.8%）に比べて女性（58.1%）が多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって介護予防に取り組んでいるとする回答が多くなっている。

世帯状況別にみると、上記以外で全員が65歳以上の世帯で介護予防に取り組んでいるとする回答が、他の世帯状況に比べて少なくなっている。

健康状態別にみると、健康状態がよくなるにしたがって介護予防に取り組んでいるとする回答が多くなっている。(P. 54, P. 153)

### 【介護予防のために取り組んでいること】

介護予防として今取り組んでいることは、「散歩などの軽い運動・多く外出すること」(68.8%)が最も多く、次に「友人、知人とのつきあい・家族との交流」(53.9%)、「趣味・学習」(52.8%)が続いている。

性別にみると、「ご自身でのスポーツ、体力づくり」、「仕事」は女性に比べて男性で多く、「友人、知人とのつきあい・家族との交流」、「健康づくりのための教室への参加」は男性に比べて女性で多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「散歩などの軽い運動・多く外出すること」、「友人、知人とのつきあい・家族との交流」、「趣味・学習」、「ご自身でのスポーツ、体力づくり」、「仕事」が多くなっている。一方、概ね年齢が高くなるにしたがって「老人クラブの活動」が多くなっている。

世帯状況別にみると、「趣味・学習」は上記以外で全員が65歳以上の世帯で多く、「健康づくりのための教室への参加」は夫婦のみ(どちらかが65歳以上)で少なくなっている。また、「仕事」は夫婦のみ(どちらかが65歳以上)、上記以外で全員が65歳以上の世帯で多くなっている。

健康状態別にみると、概ねほとんどの項目で、健康状態がよくなるにしたがって取り組んでいることへの回答が多くなっている。(P. 55, P. 155)

### 【介護予防に取り組まない理由】

介護予防に取り組まない理由は、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が30.5%で最も多く、次に「今は取り組んでいないが、今後取り組む予定」(20.0%)、「家のことや趣味で忙しいから」(12.8%)などが続いている。

性別にみると、「外に出るのがおっくうだから」は男性に比べて女性で多く、「今は取り組んでいないが、今後取り組む予定」は女性に比べて男性で多くなっている。

年齢別にみると、年齢が低くなるにしたがって「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」、「今は取り組んでいないが、今後取り組む予定」が多くなっている。

世帯状況別にみると、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」、「今は取り組んでいないが、今後取り組む予定」は夫婦のみ(どちらかが65歳以上)で多くなっている。

健康状態別にみると、概ね健康状態がよくなるにしたがって「家のことや趣味などで忙しいから」、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が多くなっている。(P. 55, P. 157)

### 【介護予防として仙台市に力を入れて欲しいこと】

介護予防として仙台市に力を入れて欲しいことは、「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」(36.8%)が最も多く、次に、「筋力の維持・向上のための運動教室開催などの取り組み」(30.5%)、「生きがいづくりのための取り組み」(20.5%)が続いている。

性別にみると、「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」、「栄養バランスのとれた食生活のための講座の開催などの取り組み」は男性に比べて女性で多く、「運動などの活動するための場所の確保」は女性に比べて男性で多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「筋力の維持・向上のための運動教室開催などの取り組み」、「生きがいづくりのための取り組み」、「運動などの活動するための場所の確保」が多く

なっている。

世帯状況別にみると、「介護予防の普及開発」、「運動などの活動に取り組んでいる団体の紹介などの情報提供」は夫婦のみ（どちらかが65歳以上）で多く、「子どもや孫など他世代との交流」は上記以外で全員が65歳以上の世帯で多くなっている。（P. 56, P. 159）

## 16 認知症対策について

### 【5分前のことが思い出せるか】

5分前のことが思い出せるかについては、「はい」と回答した人が83.5%と8割を超えており、「いいえ」と回答した人は11.8%である。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって5分前のことが思い出せるとの回答が多くなっている。（P. 57, P. 161）

### 【その日の活動を自分で判断できるか】

その日の活動を自分で判断できるかについては、「困難なくできる」（82.8%）と「いくらか困難であるが、できる」（8.4%）を合わせた『できる』が91.2%と9割以上を占める。

年齢別にみると、年齢が低くなるにしたがって「困難なくできる」が多くなっている。

世帯状況別にみると、「困難なくできる」は夫婦のみ（どちらかが65歳以上）で多くなっている。（P. 57, P. 163）

### 【人に自分の考えをうまく伝えられるか】

人に自分の考えをうまく伝えられるかについては、「伝えられる」（80.5%）と「いくらか困難であるが、伝えられる」（10.3%）を合わせた『伝えられる』が90.8%と9割以上を占める。

年齢別にみると、年齢が低くなるにしたがって「伝えられる」が多くなっている。（P. 58, P. 164）

### 【認知症について知っていること】

認知症についての認知度は、「「認知症」という言葉は聞いたことがある」が89.1%と最も多く、次に「脳の病気によるものである」（64.2%）、「「ぼけ」のことである」（49.3%）が続いている。また、「認知症の方や家族を見守り支援する「認知症サポーター」を知っている」と回答した人は14.2%である。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「「認知症」という言葉は聞いたことがある」、「脳の病気によるものである」が多くなっている。（P. 58, P. 166）

### 【認知症になっても安心して生活するために必要なこと】

認知症になっても安心して生活するために必要なことは、「家族などの介護者が負担を抱え込まないようにするためのサービスの充実」が60.1%、「医療・福祉の専門職による早期の適切な支援が得られる環境の整備」が58.5%と、これら2つの理由が特に多い。次に「地域住民の認知症についての正しい理解と、見守りや支え合い」（46.2%）、「認知症対応型の入所施設の整備」（34.4%）が続いている。

世帯状況別にみると、「家族などの介護者が負担を抱え込まないようにするためのサービスの充実」はその他世帯で多く、「医療・福祉の専門職による早期の適切な支援が得られる環境の整備」は夫婦のみ（どちらかが65歳以上）で多くなっている。また、「認知症対応型の入所施設の整備」はひとり暮らし（特養などに入所含む）、夫婦のみ（どちらかが65歳以上）で多くなっている。（P. 59, P. 167）

## 17 地域包括ケアシステムの構築について

### 【地域包括ケアシステムの構築のために必要なこと】

要介護状態になってもできるだけ在宅で暮らしていくことができる社会（地域包括ケアシステムの構築）を目指すために必要なことは、「24時間対応の在宅介護サービスの充実」（40.8%）が最も多く、次に「地域包括支援センターなどの介護について相談できる機関の充実」（40.5%）、「ケアマネジャーなどの専門職によるケアマネジメント機能の充実」（37.7%）が続いている。

性別にみると、「ショートステイなど介護者の負担軽減のためのサービスの充実」は男性（32.6%）に比べて女性（41.0%）で多くなっている。

世帯状況別にみると、「高齢者が一人でも安心して暮らせる住居の確保」はひとり暮らし（特養などに入所含む）、上記以外で全員が65歳以上の世帯で多くなっている。一方、「ショートステイなど介護者の負担軽減のためのサービスの充実」はひとり暮らし（特養などに入所含む）で少なく、「買い物や見守りなどの生活支援サービスの充実」は上記以外で全員が65歳以上の世帯で少なくなっている。

（P. 60, P. 169）

## 18 健康や福祉について

### 【健康や福祉に関する情報の入手先】

健康や福祉に関する情報源は、「新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、専門書など」（52.0%）が最も多く、次に「「市政だより」などの市の広報」（42.7%）、「家族や親戚」（34.3%）、「病院や診療所の医師など」（33.8%）が続いている。なお、前回調査（平成22年度）では、「新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、専門書など」（48.4%）、「病院や診療所の医師など」（41.0%）、「家族や親戚」（37.4%）、「「市政だより」などの市の広報」（34.0%）の順であり、「病院や診療所の医師など」が7.2ポイント減少した一方で、「「市政だより」などの市の広報」が8.7ポイント増加している。

性別にみると、「病院や診療所の医師など」、「インターネットなど」は女性に比べて男性で多く、「知人や近所の方」は男性に比べて女性で多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、専門書など」、「インターネットなど」が多くなっている。一方、概ね年齢が高くなるにしたがって「家族や親戚」、「病院や診療所の医師など」、「地域包括支援センター」、「ケアマネジャー」が多くなっている。

世帯状況別にみると、「家族や親戚」はその他世帯で多く、「ケアマネジャー」、「自宅を訪問する保健師、看護師、ホームヘルパーなど」は上記以外で全員が65歳以上の世帯で多くなっている。

健康状態別にみると、健康状態が良くなるにしたがって「家族や親戚」、「知人や近所の方」、「講演会、健康セミナーなどの催し」、「特にどこからも得ていない」が多くなっている。一方、健康状態が悪くなるにしたがって「地域包括支援センター」、「ケアマネジャー」、「民生委員」、「自宅を訪問する保健師、看護師、ホームヘルパーなど」が多くなっている。（P. 61, P. 171）

### 【家族以外との会話の頻度】

同居している家族以外との会話については、「週4回以上」（38.3%）が最も多く、次に「週2～3回」（28.2%）、「月に数回」（11.3%）が続いている。また、「ほとんどない」という人が6.3%である。

性別にみると、「月に数回」、「ほとんどない」は女性に比べて男性で多く、男性の方が家族以外との会話の頻度が少なくなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって家族以外との会話の頻度が多くなっている。

世帯状況別にみると、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」を合わせた『週1回以上』が夫婦のみ（ともに65歳以上）、夫婦のみ（どちらかが65歳以上）で多くなっている。

健康状態別にみると、概ね健康状態が良くなるにしたがって家族以外との会話の頻度が多くなって

いる。(P. 61, P. 173)

## 19 高齢者虐待防止について

### 【高齢者に対する虐待の防止のために必要な取り組み】

高齢者虐待防止のために必要な取り組みは、「地域の声がけや見守りなどの助け合い」(56.2%)が最も多く、次に「適切な介護サービスの利用による介護者の負担軽減」(49.4%)、「介護者が相談できる窓口の設置」(49.0%)が続いている。

性別にみると、「適切な介護サービスの利用による介護者の負担軽減」、「介護者同士の交流の機会づくり」は男性に比べて女性で多く、「高齢者虐待の防止の普及啓発」は女性に比べて男性で多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「適切な介護サービスの利用による介護者の負担軽減」、「介護者が相談できる窓口の設置」が多くなっている。(P. 62, P. 175)

## 20 孤立死について

### 【孤立死に対する考え】

孤立死についての考えは、「身近な問題だと思う」(32.7%)と「やや身近な問題だと思う」(21.5%)を合わせた、身近な問題と感じている人の割合が54.2%と5割以上を占める。一方で、「あまり身近な問題だと思わない」(17.1%)と「身近な問題だと思わない」(11.8%)を合わせた、身近な問題と感じていない人の割合は28.9%と約3割である。いずれも、前回調査(平成22年度)と、ほぼ同様の結果となっている。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「身近な問題だと思う」と「やや身近な問題だと思う」を合わせた『身近な問題である』が多くなっている。

世帯状況別にみると、『身近な問題である』はひとり暮らし(特養などに入所含む)が多くなっている。(P. 63, P. 177)

### 【孤立死を防ぐために有効な手段】

孤立死を防ぐために有効な手段は、「日ごろから家族や友人、知人とのつながりを作る」(66.1%)が最も多く、次に「近所の人と声を掛け合う」(54.5%)、「家族と同居する」(46.7%)などが続いている。前回調査(平成22年度)と比べると、ほとんどの項目で増えているが、「家族と同居する」は4.1ポイント低くなっている。

性別にみると、「日ごろから家族や友人、知人とのつながりを作る」、「健康づくり、介護予防を心がける」、「介護保険サービス等を利用する」は男性に比べて女性で多く、「家族と同居する」は女性に比べて男性で多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「日ごろから家族や友人、知人とのつながりを作る」、「健康づくり、介護予防を心がける」が多くなっている。一方、概ね年齢が高くなるにしたがって「家族と同居する」が多くなっている。

世帯状況別にみると、「日ごろから家族や友人、知人とのつながりを作る」は夫婦のみ(ともに65歳以上)で多く、「家族と同居する」はその他世帯で多く、ひとり暮らし(特養などに入所含む)で少なくなっている。また、「安否確認サービス付きの高齢者向け住宅や施設に入居する」はひとり暮らし(特養などに入所含む)が多くなっている。

健康状態別にみると、健康状態が良くなるにしたがって、「日ごろから家族や友人、知人とのつながりを作る」、「近所の人と声を掛け合う」、「健康づくり、介護予防を心がける」、「町内会や老人クラブ等、地域の見守り活動を活発にする」、「町内会や社会福祉協議会などの行事に積極的に参加する」が



多くなっている。一方、概ね健康状態が悪くなるにしたがって、「安否確認サービス付きの高齢者向け住宅や施設に入居する」、「地域包括支援センターによる高齢者の把握」が多くなっている。(P. 64, P. 179)

## 21 災害時の安否確認について

### 【東日本大震災時の安否確認について】

東日本大震災時の安否確認については、「家族や親せき」が84.6%と8割を超えて最も多く、次に「知人や友人」(53.1%)、「ご近所の方」(42.7%)が続いている。また、「自らも安否確認活動を行った」と回答した人は21.4%である。

性別にみると、ほとんどの項目で女性が男性を上回っている。

年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「知人や友人」、「自らも安否確認活動を行った」が多くなっている。一方、概ね年齢が高くなるにしたがって「民生委員」、「ケアマネジャー」が多くなっている。

世帯状況別にみると、「知人や友人」は夫婦のみ(ともに65歳以上)が多く、「町内会の方」は上記以外で全員が65歳以上の世帯で多くなっている。また、「民生委員」はひとり暮らし(特養などに入所含む)が多く、「自らも安否確認活動を行った」は夫婦のみ(どちらかが65歳以上)で多くなっている。

健康状態別にみると、健康状態がよくなるにしたがって「知人や友人」、「自らも安否確認活動を行った」が多くなっている。一方、健康状態が悪くなるにしたがって「民生委員」、「ケアマネジャー」が多くなっている。(P. 65, P. 181)

### 【誰に安否確認をしてほしいか】

災害時の安否確認については、「家族や親せき」(89.2%)が約9割と最も多く、次に「ご近所の方」(63.3%)、「知人や友人」(54.7%)が続いている。

年齢別にみると、年齢が低くなるにしたがって「知人や友人」が多くなっている。一方、概ね年齢が高くなるにしたがって「民生委員」、「ケアマネジャー」が多くなっている。

世帯状況別にみると、「ご近所の方」は夫婦のみ(ともに65歳以上)が多く、「民生委員」はひとり暮らし(特養などに入所含む)で多くなっている。

健康状態別にみると、健康状態が良くなるにしたがって「知人や友人」が多くなっている。一方、概ね健康状態が悪くなるにしたがって「地域包括支援センター職員」、「かかりつけの医師や看護師」、「ケアマネジャー」が多くなっている。(P. 65, P. 183)

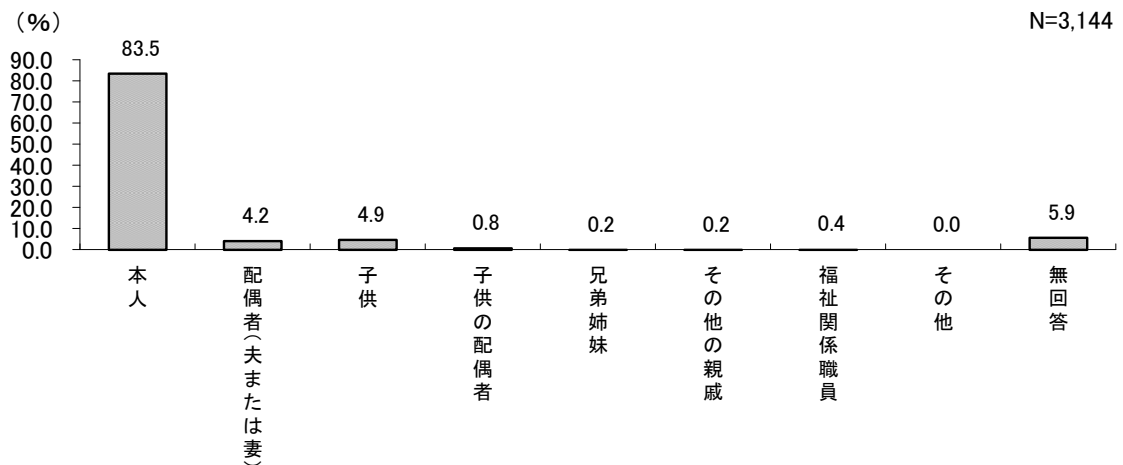
### Ⅲ 設問項目ごとの集計結果

#### 1 調査対象者の属性

##### 1- (1) 調査票の記入者

問1 この調査票を記入なさっている方は、ご本人から見て、どなたにあたりますか。  
 ご本人から見た続柄等でお答えください。(あてはまるもの1つに〇)

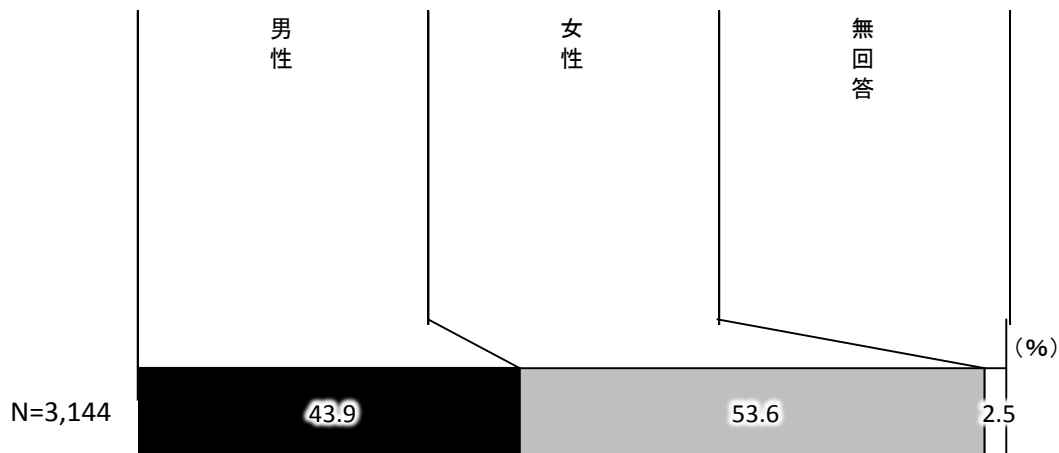
○回答者は、「本人」が83.5%を占めて最も多く、次に「子供」(4.9%)、「配偶者(夫または妻)」(4.2%)が続いている。



##### 1- (2) 性別

問2 ご本人の性別をお答えください。(あてはまるもの1つに〇)

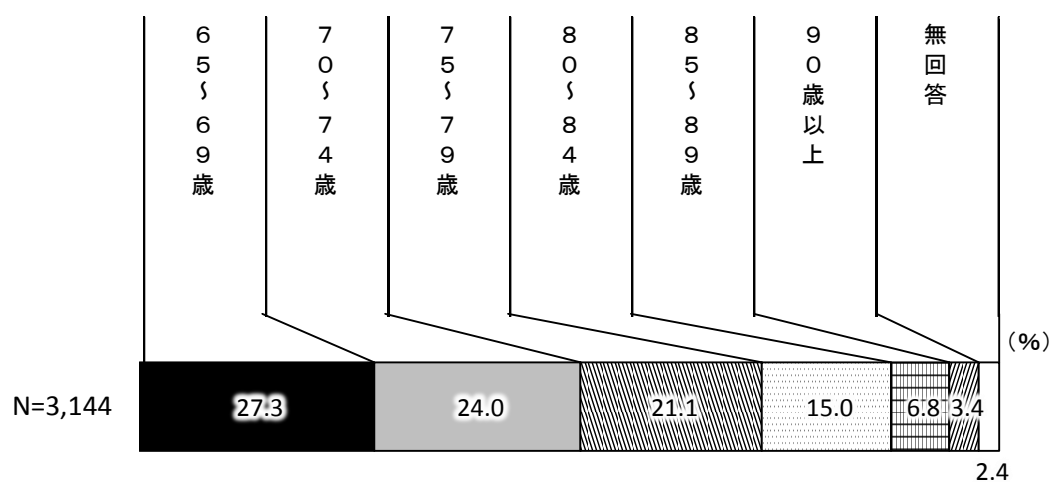
○本人の性別は、女性が53.6%を占めている。



1 - (3) 年齢

問3 ご本人の年齢をお答えください。(あてはまるもの1つに〇)

○本人の年齢は、「65～69歳」が27.3%を占めて最も多く、次に「70～74歳」が24.0%が続いており、これらを合わせた『65～74歳』の前期高齢者が51.3%を占めている。



前期高齢者	後期高齢者
51.3%	46.3%

※前期高齢者とは、65歳以上75歳未満の高齢者、  
後期高齢者とは、75歳以上の高齢者のことをいう。

1 - (4) 現在お住まいの地域

問4 現在お住まいの中学校区を教えてください。(あてはまるもの1つに〇)  
 (お近くの中学校をお選びください。わからない場合は町名を記入してください。)

〈 青 葉 区 〉 26.7

1. 五橋中	2.5	5. 北仙台中	2.2	9. 三条中	1.7	13. 中山中	1.8
2. 大沢中	1.0	6. 広陵中	0.5	10. 第一中	2.3	14. 広瀬中	2.1
3. 折立中	1.2	7. 五城中	1.6	11. 第二中	1.6	15. 南吉成中	1.0
4. 上杉山中	1.6	8. 桜丘中	2.2	12. 台原中	2.7	16. 吉成中	0.7

〈 宮 城 野 区 〉 16.1

17. 岩切中	1.6	20. 田子中	0.7	23. 中野中	1.3	26. 宮城野中	2.7
18. 幸町中	1.3	21. 鶴谷中	2.2	24. 西山中	1.8		
19. 高砂中	1.5	22. 東華中	1.3	25. 東仙台中	1.7		

〈 若 林 区 〉 10.3

27. 沖野中	1.7	29. 七郷中	1.1	31. 南小泉中	2.5
28. 蒲町中	1.5	30. 八軒中	2.0	32. 六郷中	1.5

〈 太 白 区 〉 23.1

33. 秋保中	0.5	37. 富沢中	2.1	41. 人来田中	1.2	45. 柳生中	1.5
34. 愛宕中	1.0	38. 中田中	1.7	42. 袋原中	2.2	46. 山田中	1.9
35. 生出中	0.3	39. 長町中	3.3	43. 茂庭台中	0.8		
36. 郡山中	2.1	40. 西多賀中	1.7	44. 八木山中	2.8		

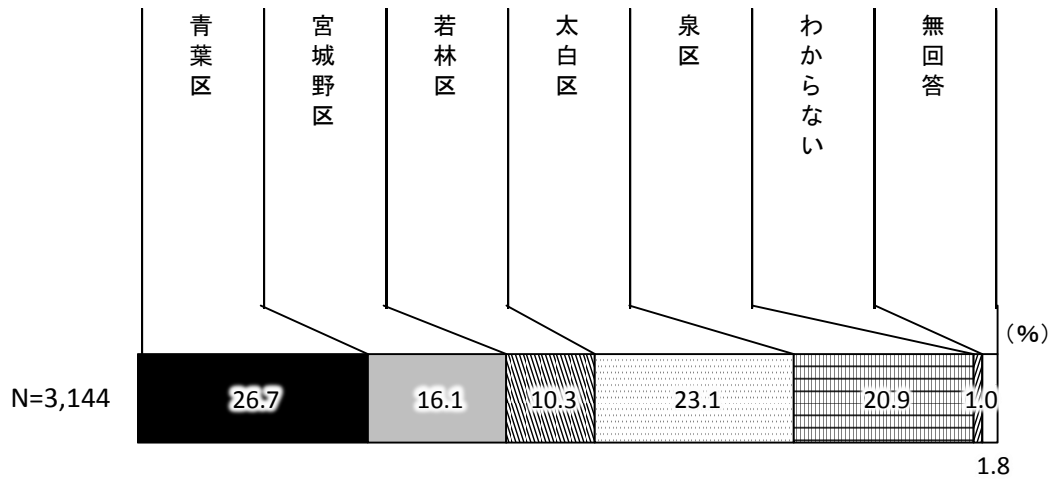
〈 泉 区 〉 20.9

47. 加茂中	2.0	52. 住吉台中	0.3	57. 七北田中	1.3	62. 八乙女中	1.7
48. 向陽台中	1.8	53. 高森中	0.9	58. 南光台中	1.7	63. 館中	0.4
49. 将監中	1.4	54. 長命ヶ丘中	1.5	59. 南光台東中	1.0		
50. 将監東中	1.8	55. 鶴が丘中	1.5	60. 根白石中	0.6		
51. 松陵中	0.9	56. 寺岡中	0.9	61. 南中山中	1.2		

〈わからない方は町名を記入してください 例：青葉区本町〉

64. わからない( ) 区 ( )	1.0
無回答	1.8

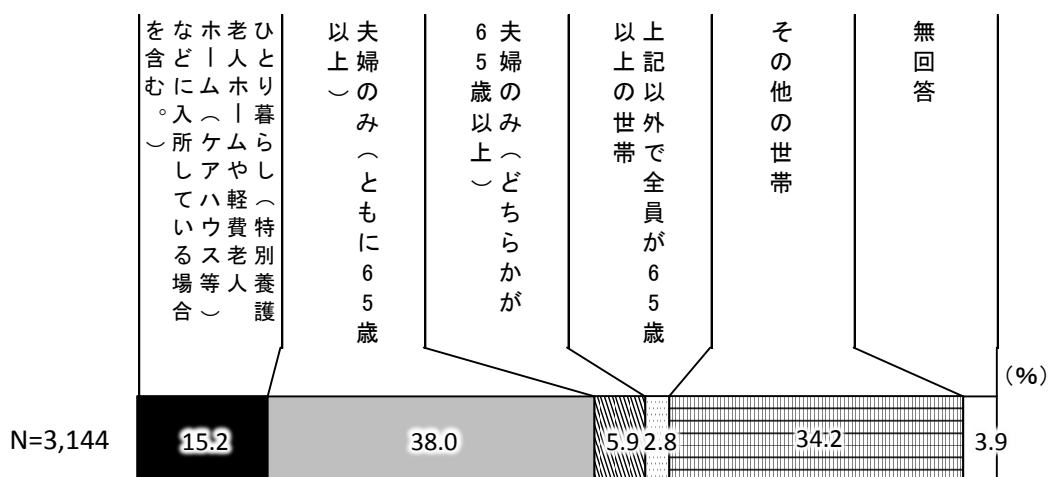
<行政区ごと>



1 - (5) 世帯の状況

問5 世帯の状況は、次のどれですか。(あてはまるもの1つに○)

○世帯の状況は、「夫婦のみ（ともに65歳以上）」が38.0%を占めて最も多く、次に「その他の世帯」が34.2%が続いている。なお、65歳以上のみの高齢世帯は56.0%で、前回調査（平成22年度）より1.1ポイント高くなっている。

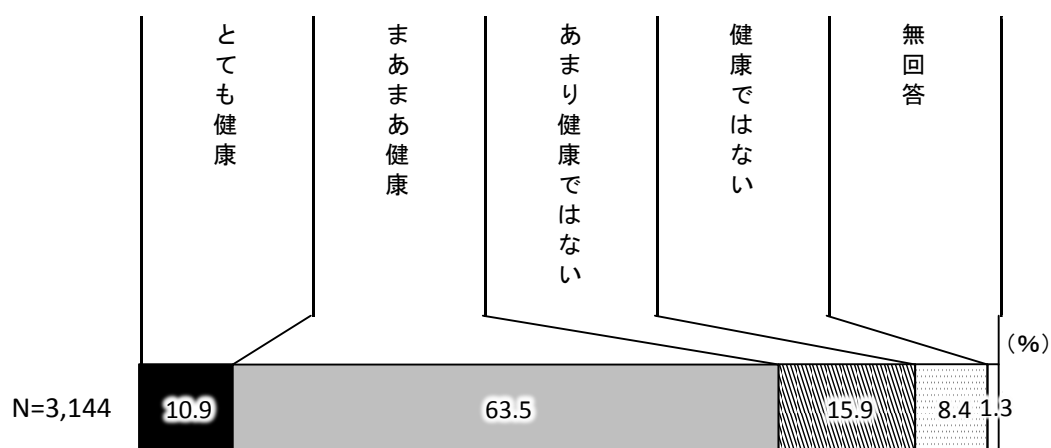


## 2 健康状態について

### 2- (1) 健康状態

問6 健康状態をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに〇)

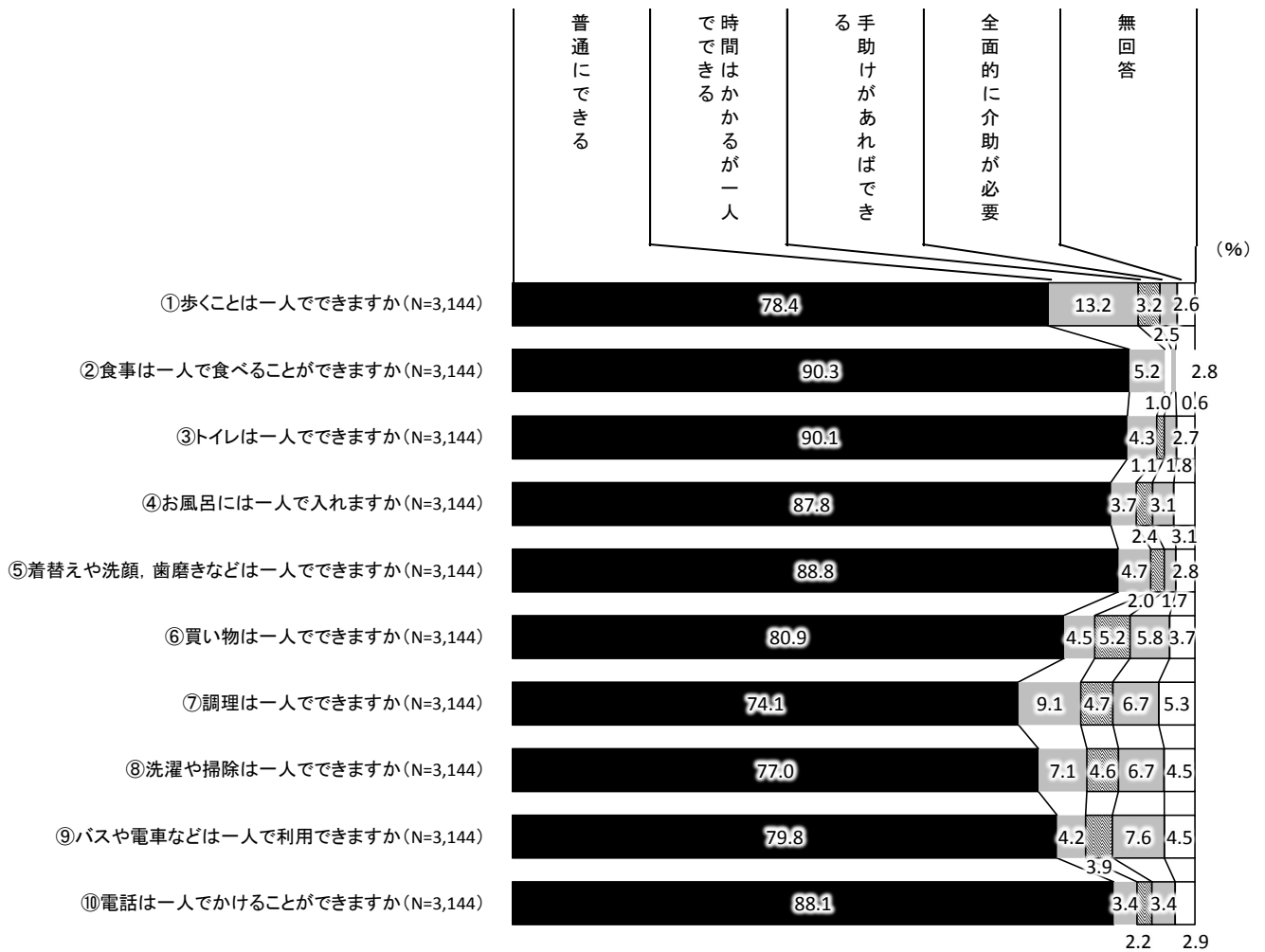
○本人の健康状態は、「まあまあ健康」が63.5%を占めて最も多く、次に「あまり健康ではない」が15.9%、「とても健康」が10.9%が続いている。「とても健康」と「まあまあ健康」を合わせると74.4%となり、前回調査（平成22年度）より5.2ポイント高くなっている。



2 - (2) 健康状態による日常生活の状況について

問7 日常生活の状況について、次にあげる①～⑩の各項目それぞれについて、該当する番号1つに○をつけてください。(①～⑩それぞれあてはまるもの1つに○)

○日常生活は、「普通にできる」がどの項目もほぼ7割以上を占めて最も多く、「時間はかかるが一人でできる」、「手助けがあればできる」を合わせた『できる』が8～9割以上となっている。なお、「普通にできる」について、「調理」は74.1%と他の項目に比べてやや低い。

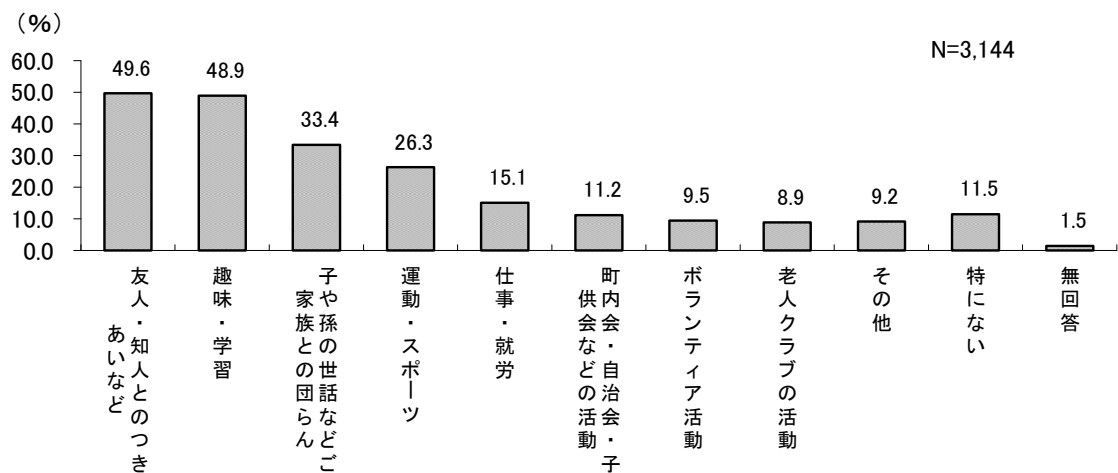


### 3 楽しさ・生きがいについて

#### 3- (1) 楽しさや生きがいを感じること

問8 現在の生活の中で、どのようなことに楽しさや生きがいを感じていますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

○楽しさやいきがいを感じることは、「友人・知人とのつきあいなど」(49.6%)、「趣味・学習」(48.9%)の両者が多く、次に「子や孫の世話などご家族との団らん」(33.4%)が続いている。また、11.5%の方が「特にない」と回答しているが、前回調査(平成22年度)より1.6ポイント低くなっている。なお、前回調査では、「趣味・学習」が46.6%と最も多く、「友人・知人とのつきあいなど」が46.4%と2位であったが、今回調査では両者の順位が入れ替わった。



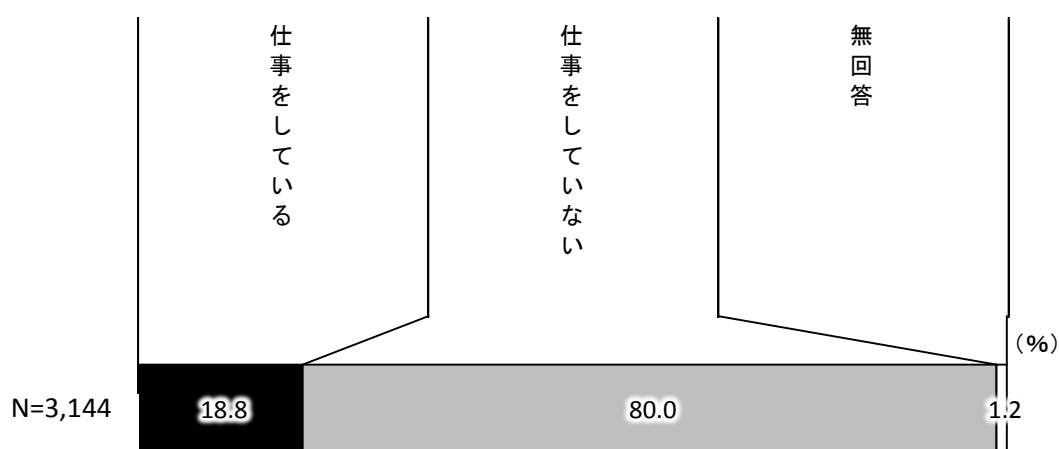


## 4 仕事について

### 4- (1) 現在の仕事の有無

問9 現在、仕事をしていますか。(あてはまるもの1つに〇)

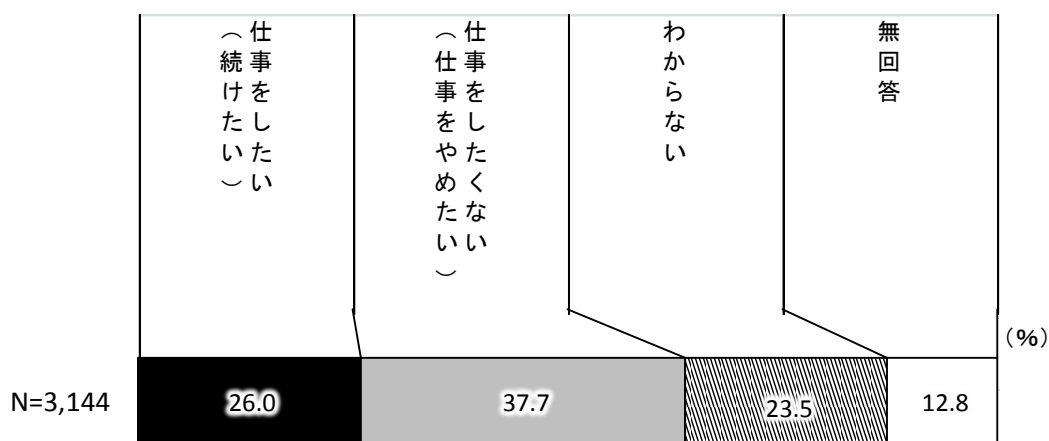
○仕事をしているかどうかは、「仕事をしていない」が80.0%と8割を占めて圧倒的に多く、「仕事をしている」は18.8%である。なお、前回調査(平成22年度)では「仕事をしていない」が79.7%、「仕事をしている」が18.7%となっており、今回調査は前回調査とほぼ同様の結果となっている。



### 4- (2) 今後の仕事の意向

問10 今後、仕事をしたい(続けたい)と思いますか。(あてはまるもの1つに〇)

○今後の就業意向は、「仕事をしたくない(仕事をやめたい)」(37.7%)が「仕事をしたい(続けたい)」(26.0%)を上回っている。なお、前回調査(平成22年度)では「仕事をしたくない(仕事をやめたい)」が35.0%、「仕事をしたい(続けたい)」が25.1%となっており、今回調査は前回調査と、ほぼ同様の結果となっている。

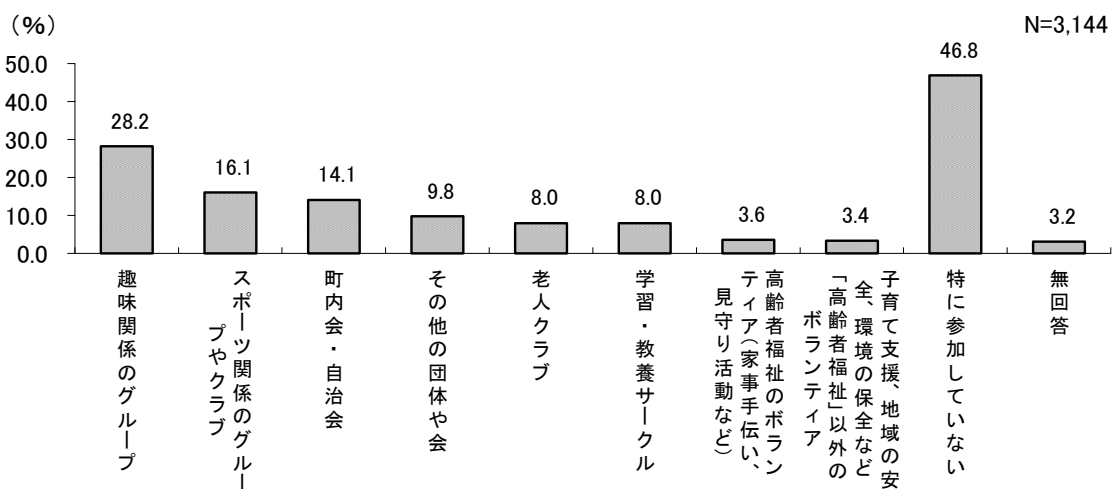


## 5 社会参加の状況と社会貢献について

### 5- (1) 社会参加の状況

問 11 社会参加についておたずねします。次のような会・グループ等に月1回以上参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

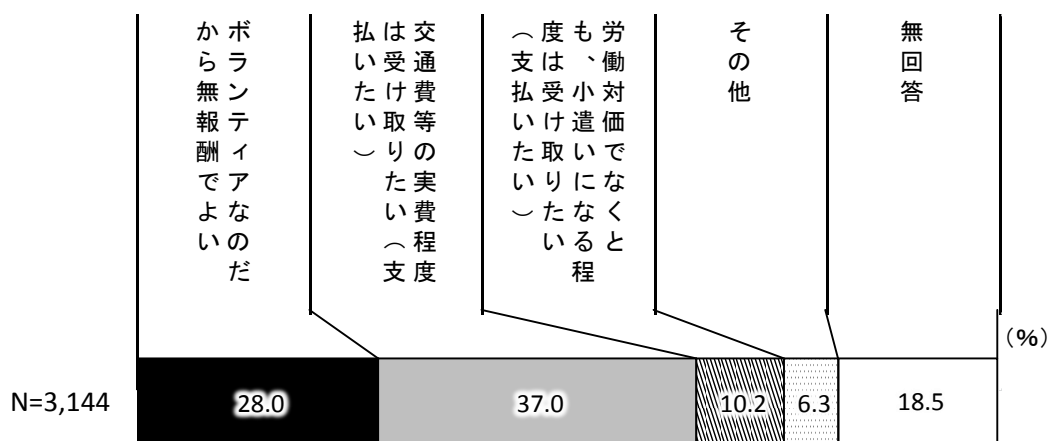
○社会参加の状況は、「特に参加していない」が46.8%と圧倒的に多く、参加しているもののうち回答割合が高かったのは、「趣味関係のグループ」(28.2%)、「スポーツ関係のグループやクラブ」(16.1%)、「町内会・自治会」(14.1%) などである。



### 5- (2) ボランティアの報酬についての考え方

問 12 ボランティアの報酬について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

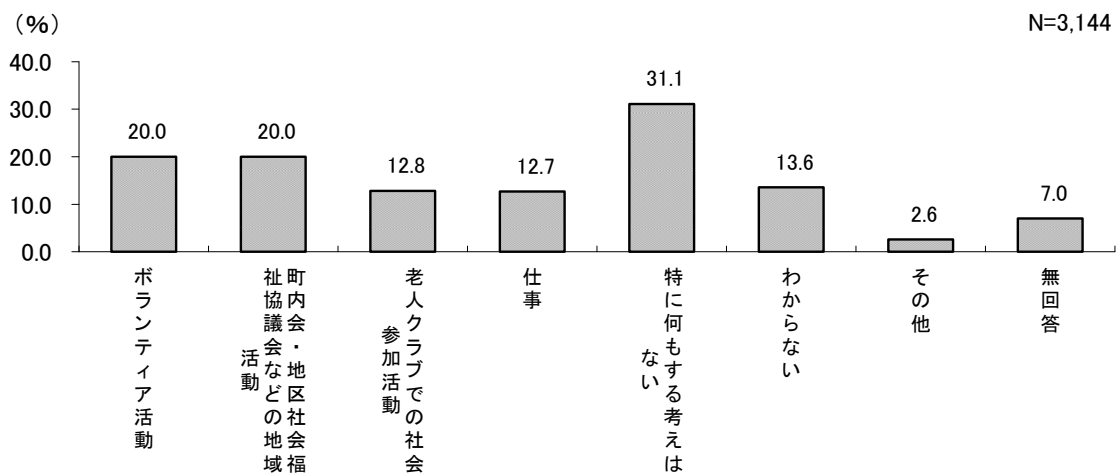
○ボランティアの報酬は、「交通費等の実費程度は受け取りたい(支払いたい)」が37.0%を占めて最も多く、次に「ボランティアなのだから無報酬でよい」が28.0%で続いている。



5－(3) 地域社会に貢献できると思うこと

問13 今後、少子高齢化がさらに進むことが予想されますが、その中で、地域社会を支える担い手として、高齢者のより一層の活躍が期待されます。そのような中、地域社会にどのような形で貢献できると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

○地域社会に貢献できると思うことは、「ボランティア活動」(20.0%)、「町内会・地区社会福祉協議会などの地域活動」(20.0%)、「老人クラブでの社会参加活動」(12.8%)、「仕事」(12.7%)と続いている。なお、「特に何もする考えはない」が31.1%と最も多いが、前回調査(平成22年度)よりは6.9ポイント低くなっている。

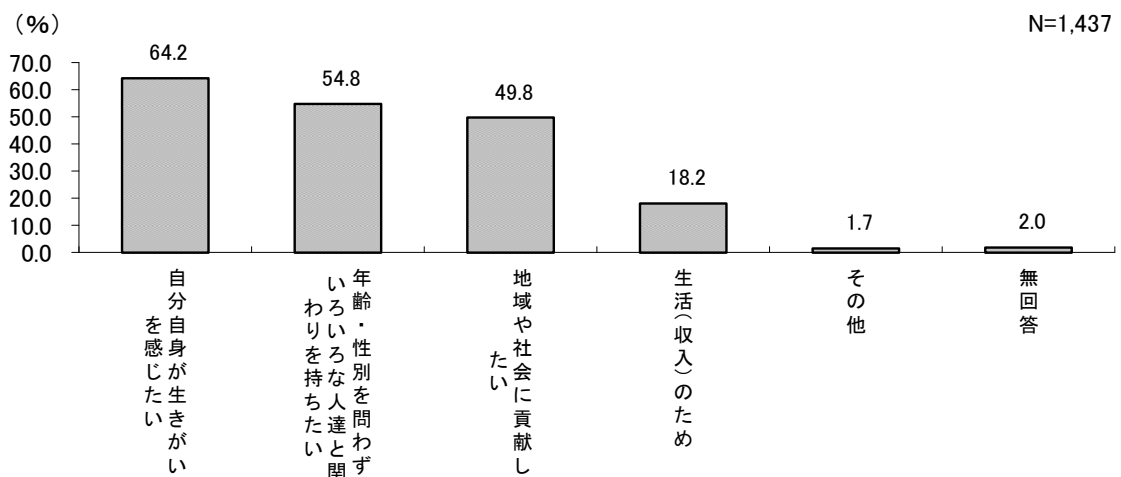


5－(4) 地域社会に貢献できると思う理由

【問13で「ボランティア活動」、「町内会・地区社会福祉協議会などの地域活動」、「老人クラブでの社会参加活動」、「仕事」と回答した方におたずねします。】

問14 その理由は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

○地域社会に貢献できると思う理由は、「自分自身が生きがいを感じたい」(64.2%)が6割を超えて最も多く、次に「年齢・性別を問わず、いろいろな人達と関わりを持ちたい」(54.8%)、「地域や社会に貢献したい」(49.8%)が続いている。

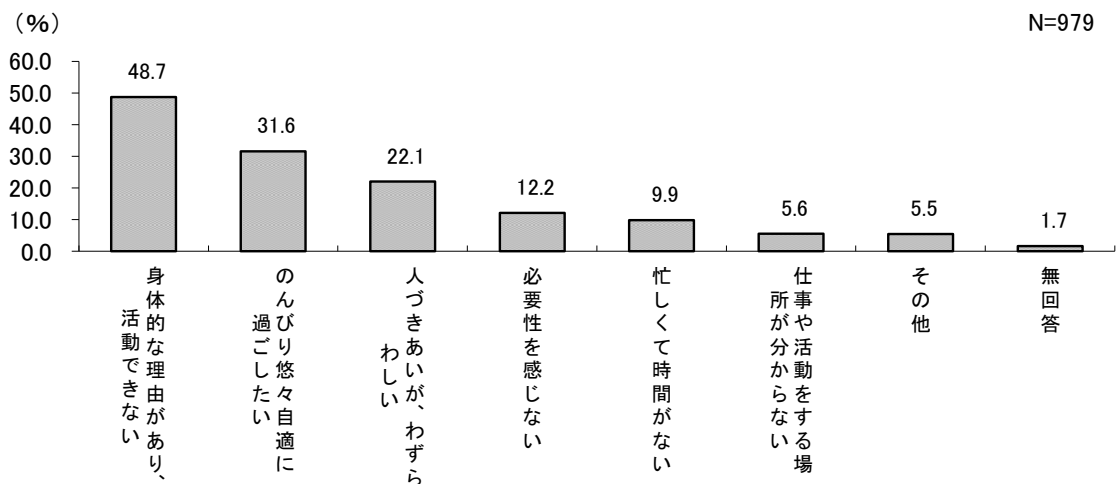


5 - (5) 地域社会に特に何もする考えがない理由

【問13で「特に何もする考えはない」と回答した方におたずねします。】

問15 その理由は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

○地域社会に貢献する考えがない理由は、「身体的な理由があり、活動できない」(48.7%)が約5割と最も多く、次に「のんびり悠々自適に過ごしたい」(31.6%)、「人づきあいが、わずらわしい」(22.1%)が続いている。なお、「必要性を感じない」が12.2%となっている。



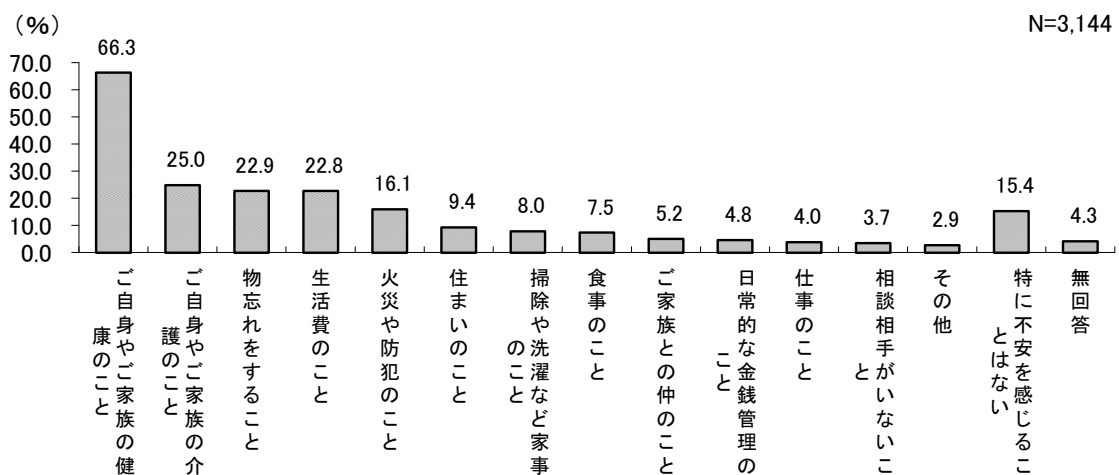
6 日常生活について

6 - (1) 日常生活に対する不安

問16 毎日の生活に不安を感じていることは、次のうちどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

○日常生活に対する不安は、「ご自身やご家族の健康のこと」が66.3%と圧倒的に多く、次に「ご自身やご家族の介護のこと」(25.0%)、「物忘れをすること」(22.9%)、「生活費のこと」(22.8%)が2割以上で続いている。なお、前回調査(平成22年度)では「生活費のこと」が33.6%で2位であったが、今回調査では4位となっている。

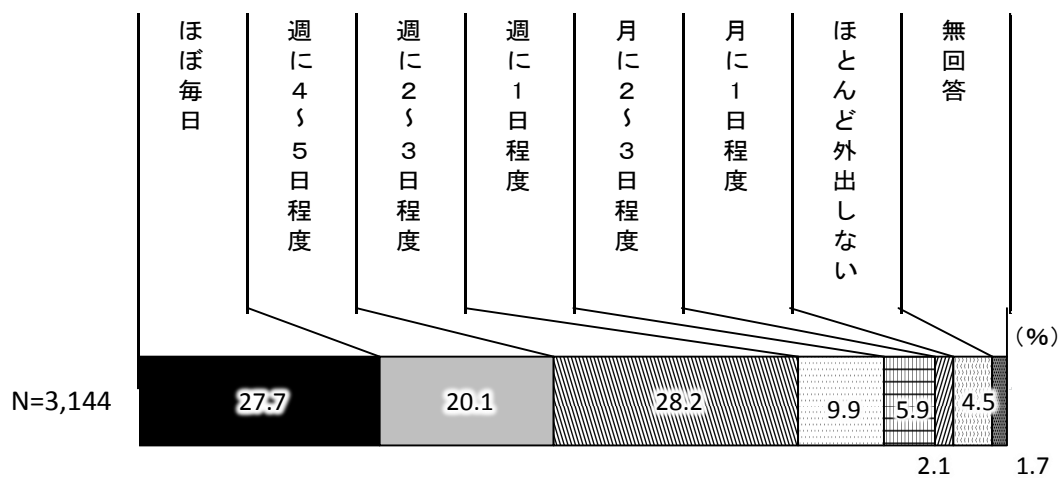


## 7 外出について

### 7- (1) 外出頻度

問17 普段どの程度外出していますか。(あてはまるもの1つに○)

○外出頻度は、「週に2～3日程度」(28.2%)、「ほぼ毎日」(27.7%)の両者が多く、次に「週に4～5日程度」(20.1%)が続いている。なお、前回調査(平成22年度)では、「週に2～3日程度」が28.2%、「ほぼ毎日」が27.6%となっており、今回調査は前回調査と、ほぼ同様の結果となっている。

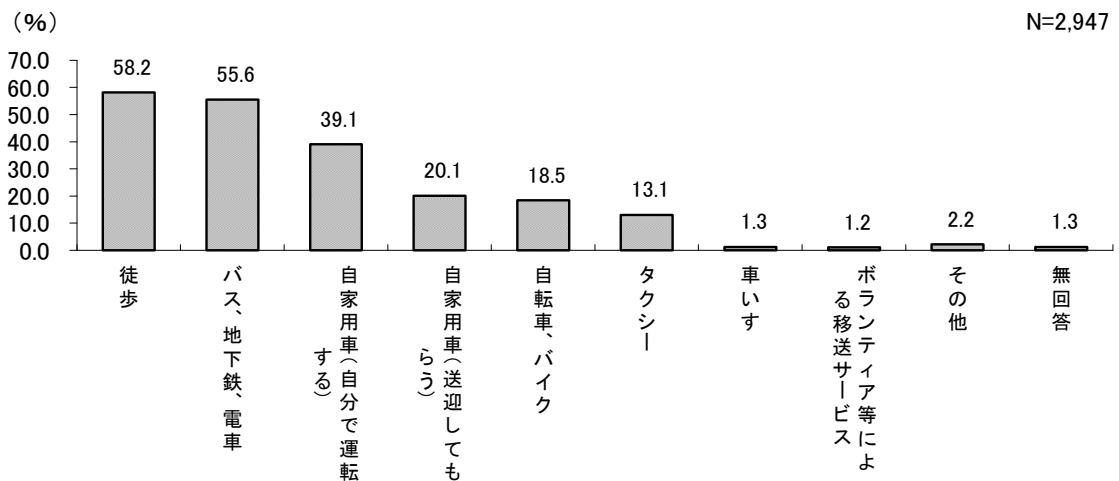


### 7- (2) 外出の際の手段

【問17で「ほとんど外出しない」以外に回答した方におたずねします。】

問18 普段どのような方法で外出しますか。(主なもの3つまでに○)

○外出の際の交通手段は、「徒歩」(58.2%)、「バス、地下鉄、電車」(55.6%)の両手段が多い。

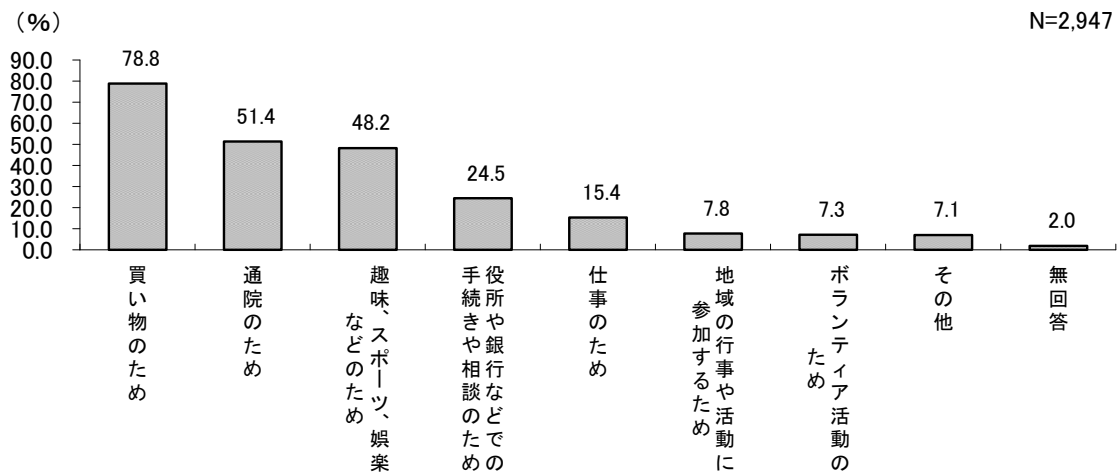


7- (3) 外出の目的

【引き続き、問17で「ほとんど外出しない」以外に回答した方におたずねします。】

問19 普段どのような目的で外出しますか。(主なものを3つまでに○)

○外出の目的は、「買い物のため」(78.8%)が7割を超えて最も多く、次に「通院のため」(51.4%)、「趣味、スポーツ、娯楽などのため」(48.2%)が続いている。

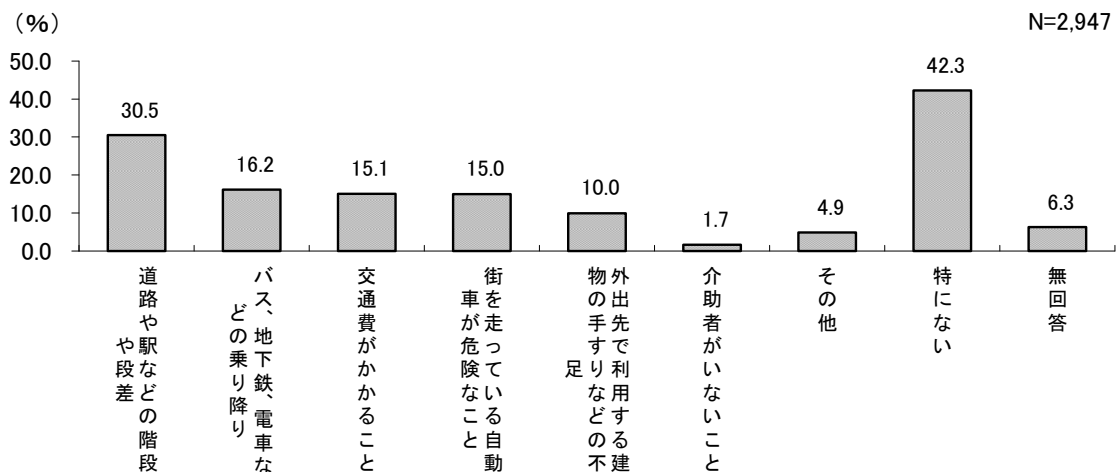


7- (4) 外出の際に困ること

【引き続き、問17で「ほとんど外出しない」以外に回答した方におたずねします。】

問20 外出の際、お困りになることは次のうちどれですか。(あてはまるものをすべてに○)

○外出の際に困っていることは、「道路や駅などの階段や段差」(30.5%)が最も多く、次に「バス、地下鉄、電車などの乗り降り」(16.2%)、「交通費がかかること」(15.1%)、「街を走っている自動車が危険なこと」(15.0%)が続いている。

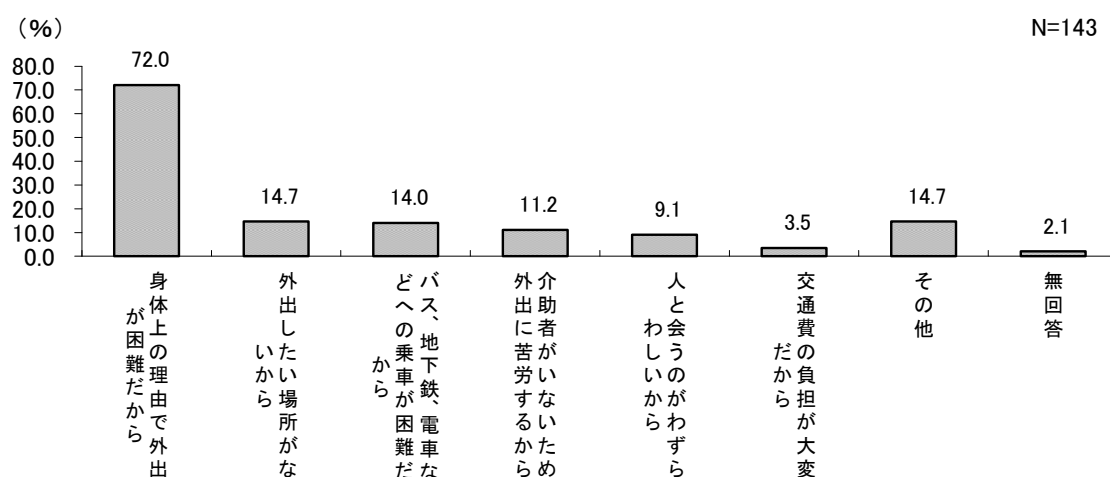


7- (5) 外出しない理由

【問17で「ほとんど外出しない」と回答した方におたずねします。】

問21 その理由は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

○外出しない理由は、「身体上の理由で外出が困難だから」(72.0%)が圧倒的に多く、次に「外出したい場所がないから」(14.7%)、「バス、地下鉄、電車などへの乗車が困難だから」(14.0%)が続いている。なお、前回調査(平成22年度)では、「外出したい場所がないから」が6.6%、「人と会うのがわずらわしいから」が3.3%となっており、今回調査では前回調査に比べて「外出したい場所がないから」が8.1ポイント、「人と会うのがわずらわしいから」が5.8ポイント高くなっている。



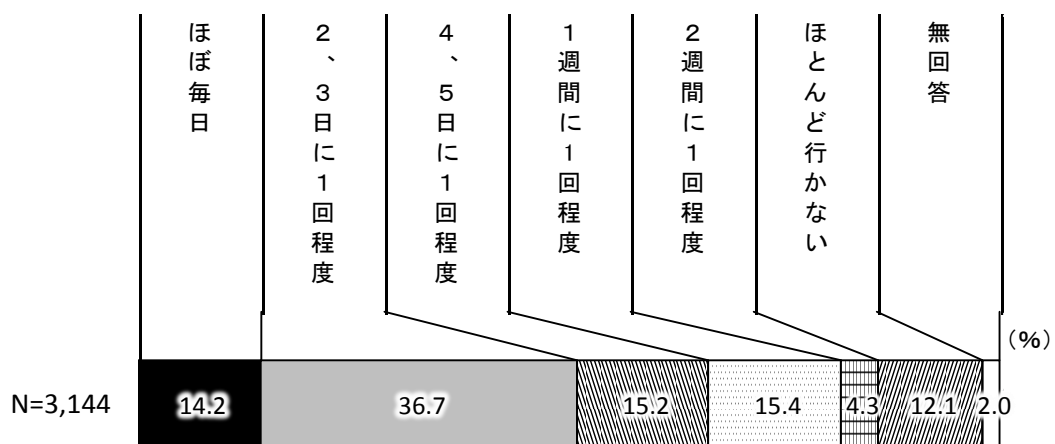
## 8 買い物について

### 8- (1) 買い物に行く頻度

問22 どれくらいの頻度で食料品や日用品の買い物に行っていますか。

(あてはまるもの1つに○)

○買い物に行く頻度は、「2、3日に1回程度」が36.7%を占めて最も多く、次に「1週間に1回程度」(15.4%)、「4、5日に1回程度」(15.2%)、「ほぼ毎日」(14.2%)が続いている。なお、「ほとんど行かない」は12.1%で、前回調査(平成22年度)より2.1ポイント低くなっている。

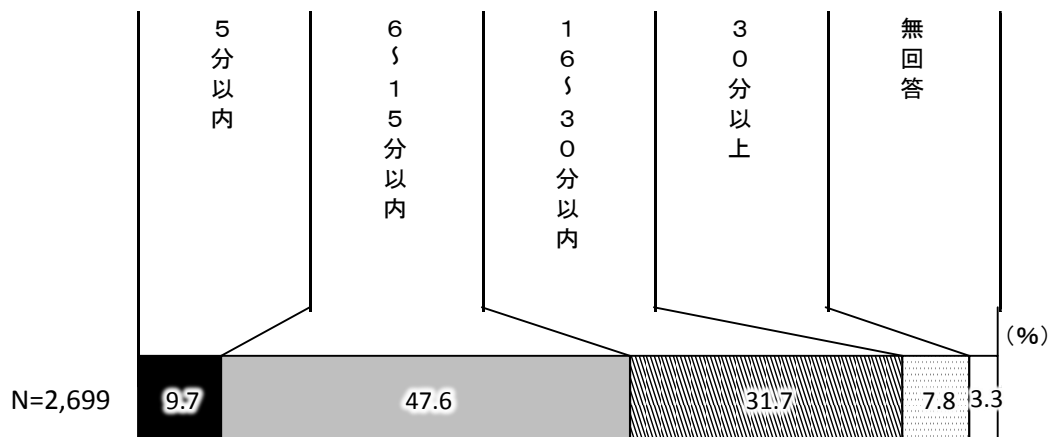


### 8- (2) 普段買い物をする店までの所要時間(片道)

【問22で「ほとんど行かない」以外に回答した方におたずねします。】

問23 普段買い物をする店まで、片道何分くらいかかりますか。(あてはまるもの1つに○)

○普段買い物をする店までの所要時間は、「6～15分以内」が47.6%を占めて最も多く、次に「16～30分以内」(31.7%)が続いている。





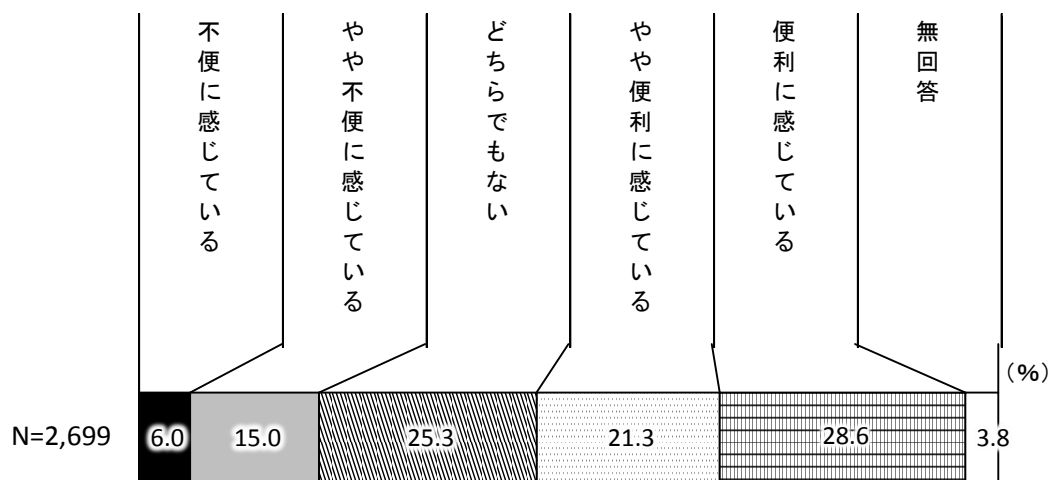
8 - (3) 普段の買い物の利便性

【引き続き、問22で「ほとんど行かない」以外に回答した方におたずねします。】

問24 普段の食料品や日用品の買い物についてどのようにお感じですか。

(あてはまるもの1つに〇)

○買い物の利便性についての考えは、「便利に感じている」が28.6%を占めて最も多く、次に「どちらでもない」(25.3%)、「やや便利に感じている」(21.3%)と続いている。なお、「不便に感じている」と「やや不便に感じている」を合わせた『不便』との回答は21.0%と約2割である。

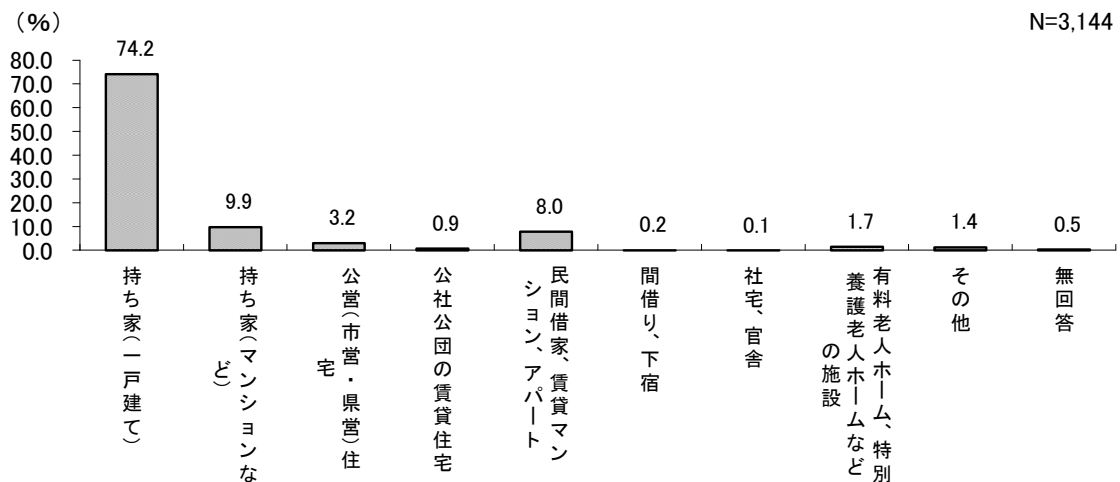


## 9 住宅、住み替え意向について

### 9- (1) 住居形態

問25 現在のお住まいは、次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに〇)

○本人の現在の居住形態は、「持ち家（一戸建て）」が74.2%を占めて最も多く、次に「持ち家（マンションなど）」(9.9%)、「民間借家、賃貸マンション、アパート」(8.0%)が続いている。

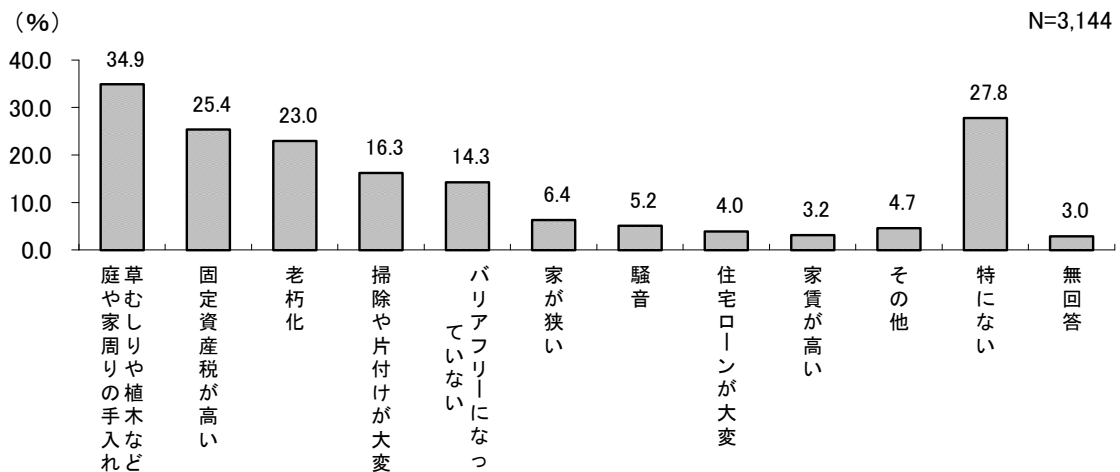


### 9- (2) 住宅に関して困っていること

問26 現在お住まいの住宅に関して困っていることがありますか。

(あてはまるものすべてに〇)

○住宅に関して困っていることは、「草むしりや植木など庭や家周りの手入れ」(34.9%)が最も多く、次に「固定資産税が高い」(25.4%)、「老朽化」(23.0%)、「掃除や片付けが大変」(16.3%)などが続いている。

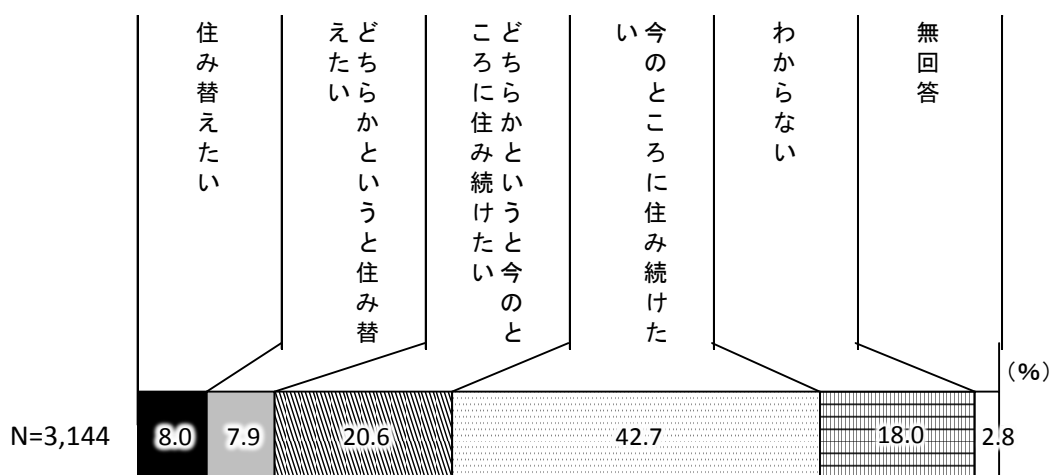


9 - (3) 介護が必要になった際の住み替えの意向

問27 介護が必要になったら今お住まいの所からの住み替えを希望しますか。

(あてはまるもの1つに〇)

○介護になった場合の住み替えの意向は、「今のところに住み続けたい」(42.7%)が最も多く、次に「どちらかという今このところに住み続けたい」(20.6%)が続き、両回答を合わせた『住み続けたい』が63.3%と6割以上を占める。なお、「今のところに住み続けたい」は前回調査(平成22年度)より3.5ポイント低くなっており、「わからない」(18.0%)は前回調査より3.6ポイント高くなっている。

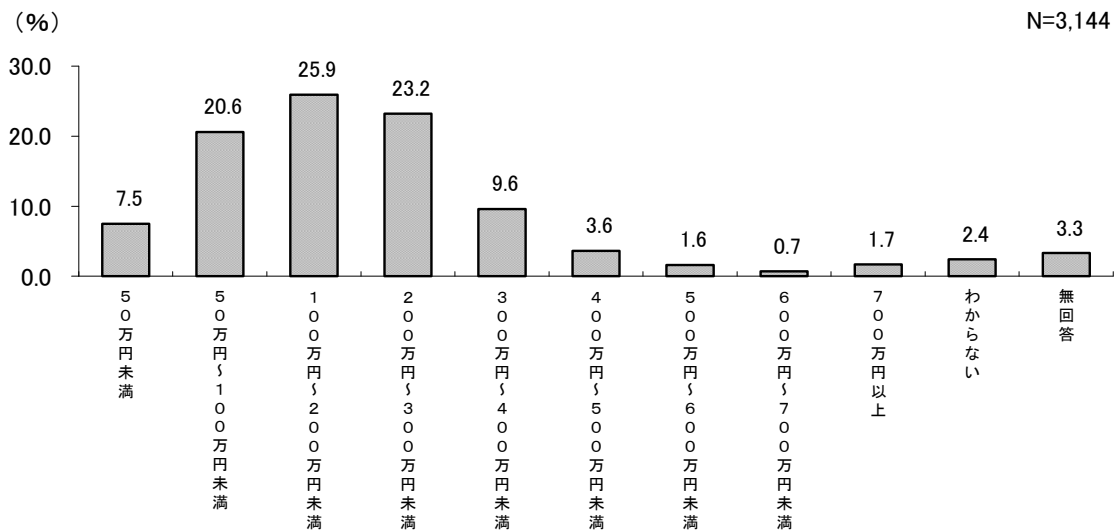


## 10 本人・世帯の年間総収入について

### 10-（1）本人の年間総収入

問 28 ご本人の年間総収入（年金、仕送りなども含みます。）の額は、およそどれくらいですか。（あてはまるもの1つに○）

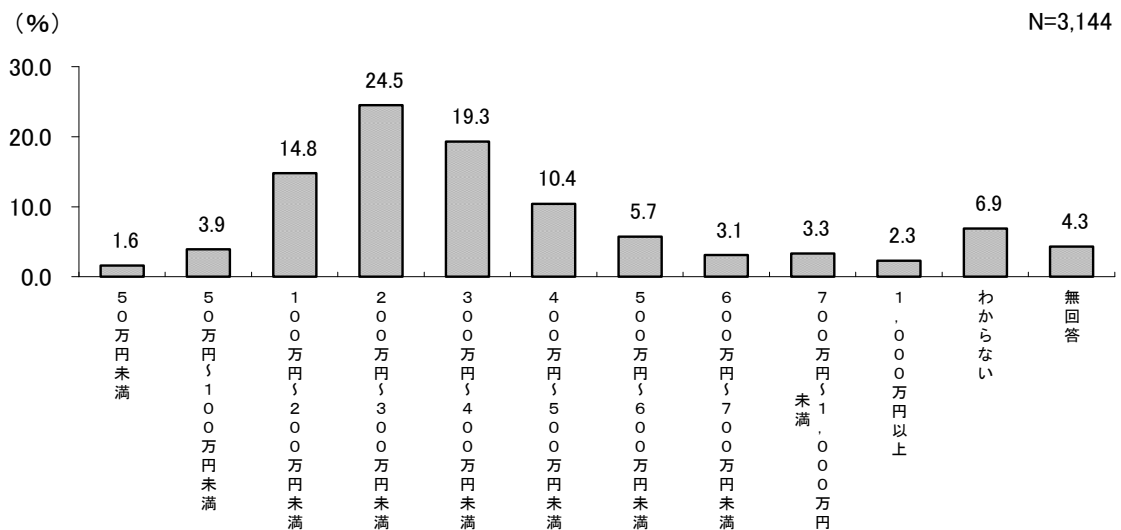
○本人の年間総収入は、「100～200万円未満」が25.9%を占めて最も多く、次に「200～300万円未満」が23.2%で続いている。なお、『100万円未満』も28.1%と3割近くに達している。



### 10-（2）世帯の年間総収入

問 29 ご本人も含めた世帯全員の年間総収入（年金、仕送りなども含みます。）の合計額は、およそどれくらいですか。（あてはまるもの1つに○）

○本人も含めた世帯全員の年間総収入は、「200～300万円未満」が24.5%を占めて最も多く、次に「300～400万円未満」が19.3%で続いている。

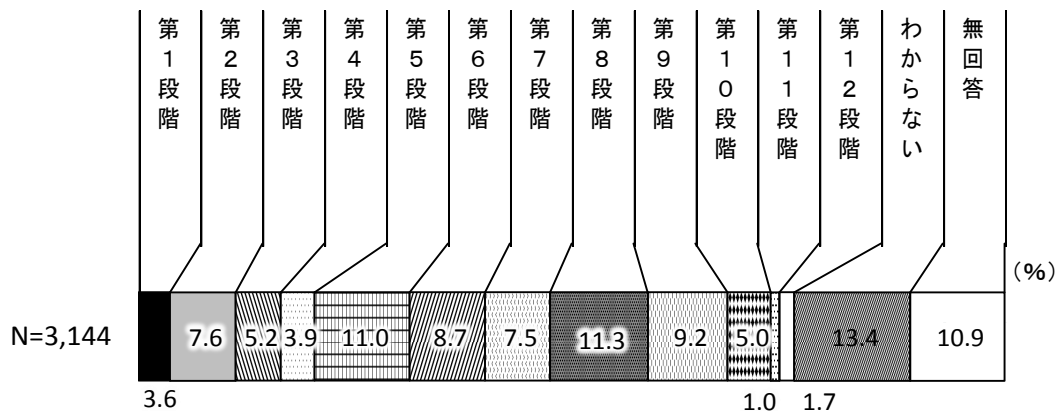


## 11 介護保険料について

### 11-1 (1) 保険料段階

問 30 ご本人の保険料段階は、次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに〇)

○保険料段階は、「わからない」が13.4%で最も多く、次に「第8段階」(11.3%)、「第5段階」(11.0%)、「第9段階」(9.2%)が続いている。



【参考】仙台市の第1号被保険者（65歳以上の方）の保険料（平成24～26年度）

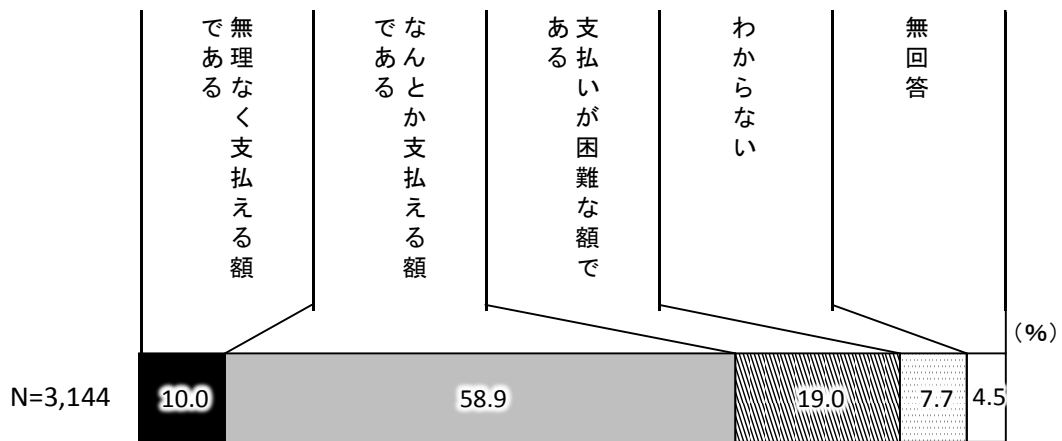
所得段階	対象となる方	基準額に対する割合	年額保険料 ※	月額換算
第1段階	次のいずれかに該当する方 ①生活保護を受けている方 ②本人が老齢福祉年金受給者で、世帯全員が市町村民税非課税の方	0.50	30,800円	2,571円
第2段階	本人の前年の「合計所得金額」と「課税年金収入額」の合計額が80万円以下の方	0.50	30,800円	2,571円
第3段階	世帯全員が市町村民税非課税で 本人の前年の「合計所得金額」と「課税年金収入額」の合計額が80万円を超え、120万円以下の方	0.65	40,100円	3,342円
第4段階	本人の前年の「合計所得金額」と「課税年金収入額」の合計額が120万円を超える方	0.75	46,200円	3,857円
第5段階	本人が市町村民税非課税で、他の世帯員に市町村民税を課税されている方がいて 本人の前年の「合計所得金額」と「課税年金収入額」の合計額が80万円以下の方	0.85	52,400円	4,371円
第6段階	本人の前年の「合計所得金額」と「課税年金収入額」の合計額が80万円を超える方	1.00 (基準額)	61,700円	5,142円
第7段階	本人の前年の「合計所得金額」が125万円未満の方	1.10	67,800円	5,656円
第8段階	本人の前年の「合計所得金額」が125万円以上200万円未満の方	1.25	77,100円	6,428円
第9段階	本人の前年の「合計所得金額」が200万円以上300万円未満の方	1.50	92,500円	7,713円
第10段階	本人の前年の「合計所得金額」が300万円以上500万円未満の方	1.65	101,800円	8,484円
第11段階	本人の前年の「合計所得金額」が500万円以上700万円未満の方	1.85	114,100円	9,513円
第12段階	本人の前年の「合計所得金額」が700万円以上の方	2.00	123,400円	10,284円

※ 100円未満切捨て

1 1 - (2) 保険料の負担感

問31 現在の保険料額を、どのように感じていますか。(あてはまるもの1つに〇)

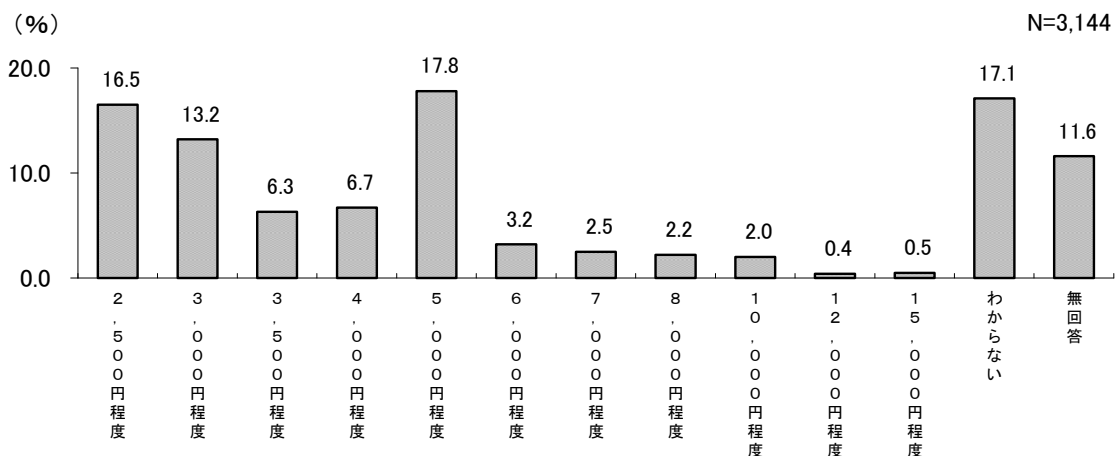
○保険料の負担感は、「なんとか支払える額である」(58.9%)が半数以上を占めて最も多く、「無理なく支払える額である」(10.0%)を合わせた7割近く(68.9%)が『支払える額』と考えている。なお、「なんとか支払える額である」は前回調査(平成22年度)より6.2ポイント高くなっている。



1 1 - (3) ひと月あたりの妥当と考える保険料額

問32 現在のご本人の保険料段階として、妥当と考える保険料の額は、ひと月あたりどのくらいの額ですか。(あてはまるもの1つに〇)

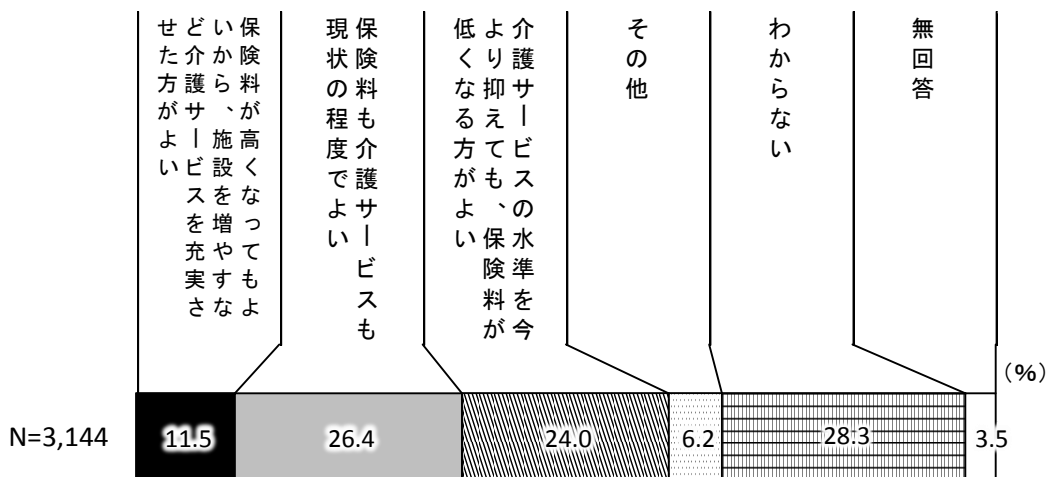
○妥当と思う保険料は、「5,000円程度」(17.8%)が最も多く、次に「わからない」(17.1%)、「2,500円程度」(16.5%)、「3,000円程度」(13.2%)が続いている。なお、前回調査(平成22年度)では、「3,000円程度」が16.8%と最も多かった。



11- (4) 保険料と介護サービスのあり方

問 33 介護保険料の基準額は、介護サービスの利用量によって決まります。よって、施設が増えたり、介護サービスが充実するなどして利用量が増えると、保険料も増加することになります。このことを踏まえ、保険料と介護サービスのあり方について、ご本人の考えに最も近いものは、次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに〇)

〇保険料と介護サービスのあり方については、「保険料も介護サービスも現状の程度でよい」が26.4%を占めて最も多く、次に「介護サービスの水準を今より抑えても、保険料が低くなる方がよい」(24.0%)が続いている。なお、前回調査(平成22年度)では、「介護サービスの水準を今より抑えても、保険料が低くなる方がよい」が23.3%と最も多く、「保険料も介護サービスも現状の程度でよい」が22.0%と2位であったが、今回調査では両者の順位が入れ替わった。



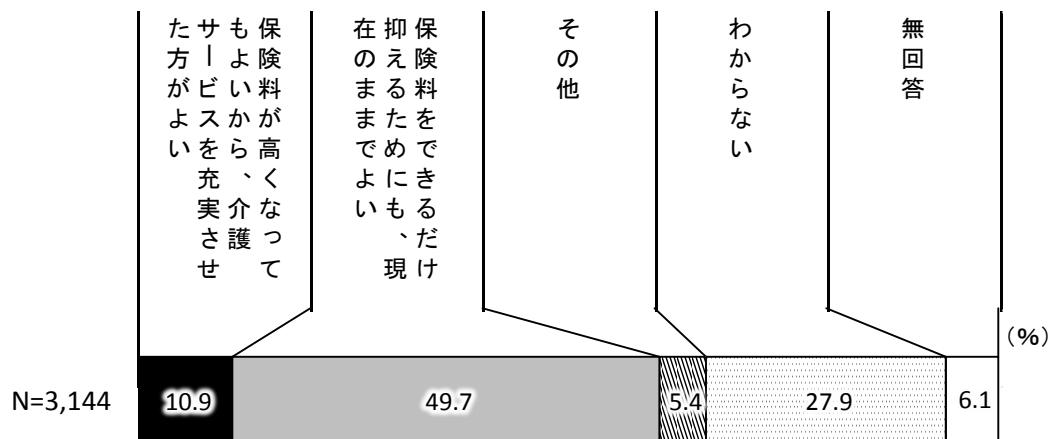
11- (5) 市独自の介護保険サービスと保険料のあり方

問 34 介護保険制度では、基本的なサービスの水準を国が定めていますが、仙台市の判断でその他のサービスを保険給付の対象に加えたり、サービスの利用限度額（1割負担で利用できる限度額）を高く設定することができます。

ただしこの場合、必要な費用は全額65歳以上の方の保険料でまかなうことになるため、皆様からいただく保険料が高くなります。

このことを踏まえ、保険料と介護サービスのあり方について、ご本人の考えに最も近いものは、次のうちどれですか。（あてはまるもの1つに○）

○市独自のサービスと保険料のあり方については、「保険料をできるだけ抑えるためにも、現在のままでよい」が49.7%と約5割を占めて最も多く、「保険料が高くなってもよいから、介護サービスを充実させた方がよい」は10.9%である。また、「わからない」との回答が27.9%と3割近くを占めている。





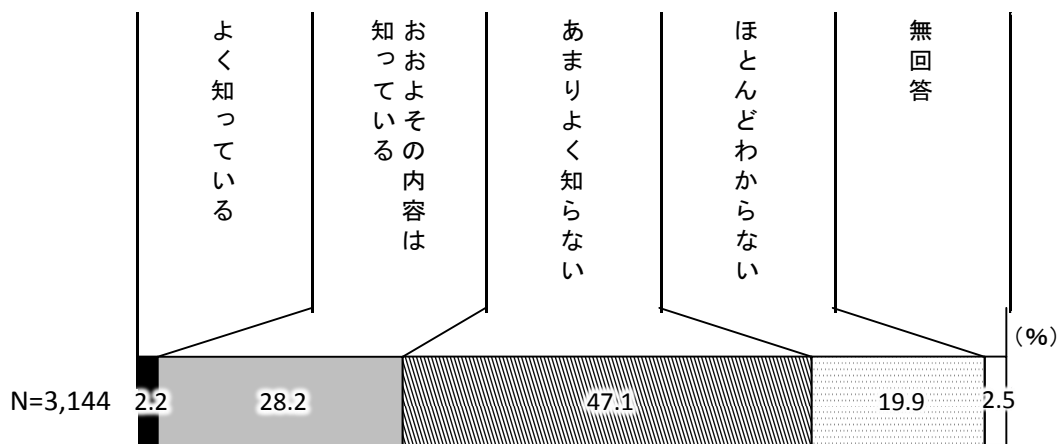
## 12 介護保険制度について

### 12-1 (1) 介護保険制度の仕組みについての周知状況

問 35 介護保険制度の仕組みなどについて、どの程度ご存知ですか。

(あてはまるもの1つに○)

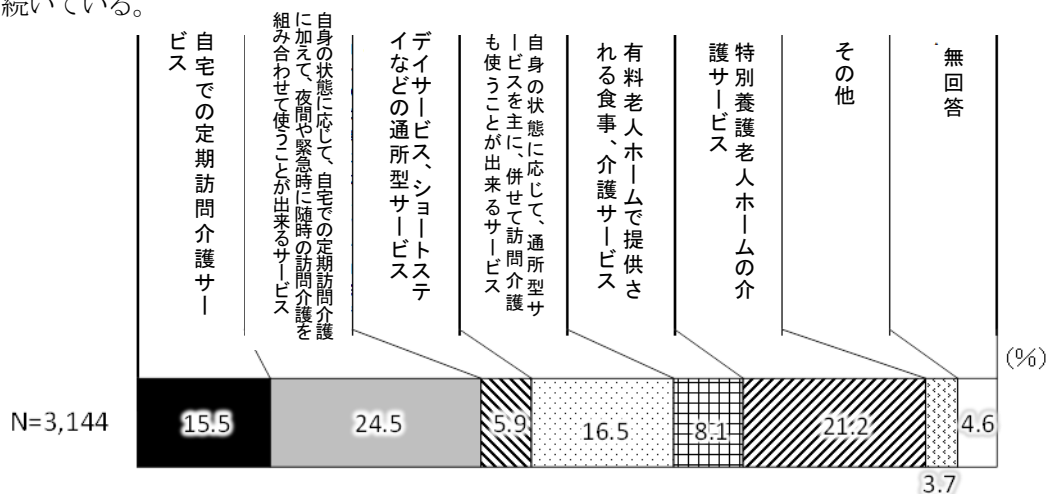
○介護保険制度の仕組みの周知状況については、「よく知っている」(2.2%)と「おおよその内容は知っている」(28.2%)を合わせた『知っている』が30.4%、一方「あまりよく知らない」(47.1%)と「ほとんどわからない」(19.9%)を合わせた『知らない』が67.0%となっており、『知らない』が『知っている』を大きく上回っている。



### 12-1 (2) 今後利用したい介護サービス

問 36 ほぼ寝たきりの状態となり、介護が必要となった場合、主にどのような介護サービスを使いたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

○介護が必要となった場合にしたい介護サービスについては、「自身の状態に応じて、自宅での定期訪問介護に加えて、夜間や緊急時に随時の訪問介護を組み合わせることができるサービス」(24.5%)が最も多く、次に「特別養護老人ホームの介護サービス」(21.2%)、「自身の状態に応じて、通所型サービス」(16.5%)が続き、「自宅での定期訪問介護サービス」(15.5%)が続いている。

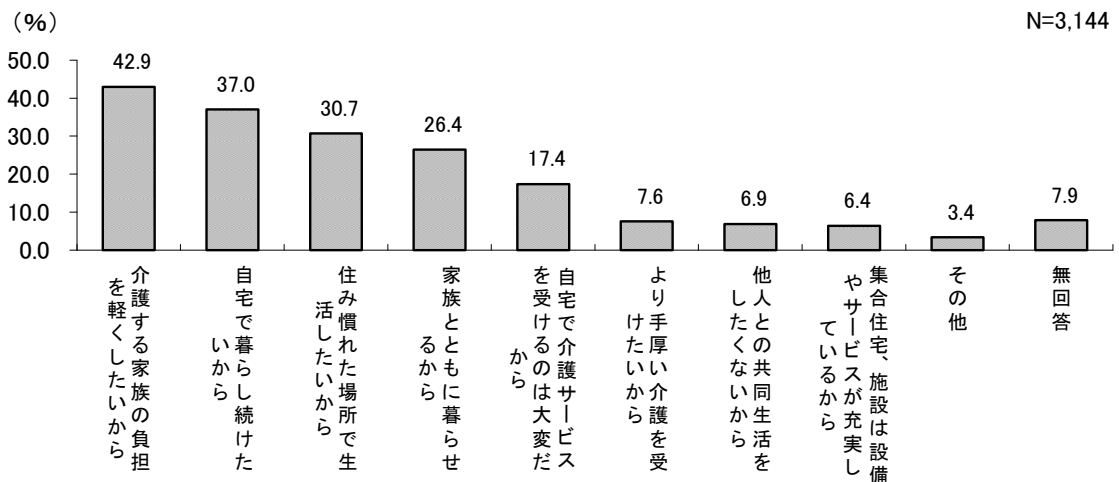


12- (3) その介護サービスを選んだ理由

問37 問36の介護サービスを選んだ理由は、次のうちどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

○介護が必要となった場合に使いたい介護サービスとして選んだ理由は、「介護する家族の負担を軽くしたいから」(42.9%)が最も多く、次に「自宅で暮らし続けたいから」(37.0%)、「住み慣れた場所で生活したいから」(30.7%)が3割以上で続いている。

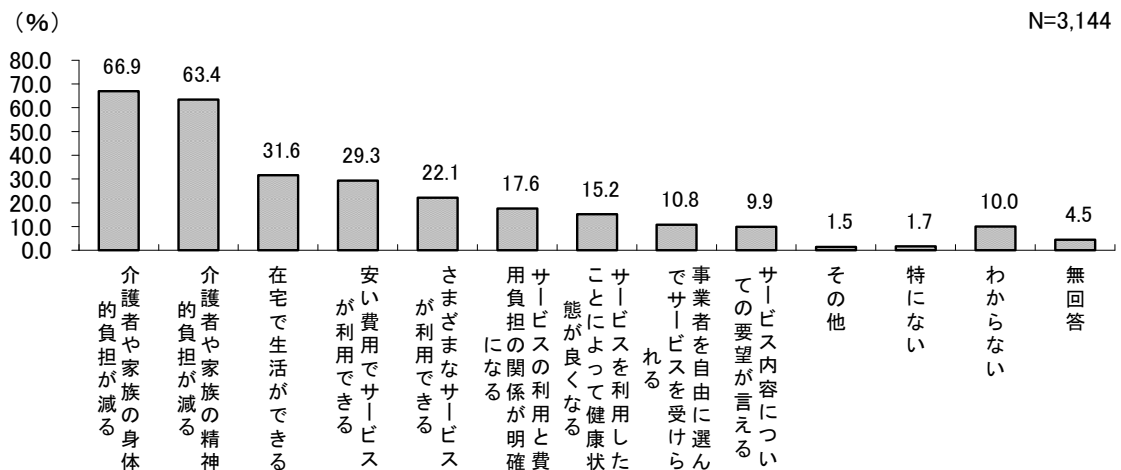


12- (4) 介護保険制度のメリット

問38 介護保険制度のサービスを使うことによって、メリットがあると思われる点は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

○介護保険制度のサービスを使うことによってメリットがあると思われる点は、「介護者や家族の身体的負担が減る」(66.9%)、「介護者や家族の精神的負担が減る」(63.4%)が6割を超えて多く、家族の負担軽減が上位に挙げられている。

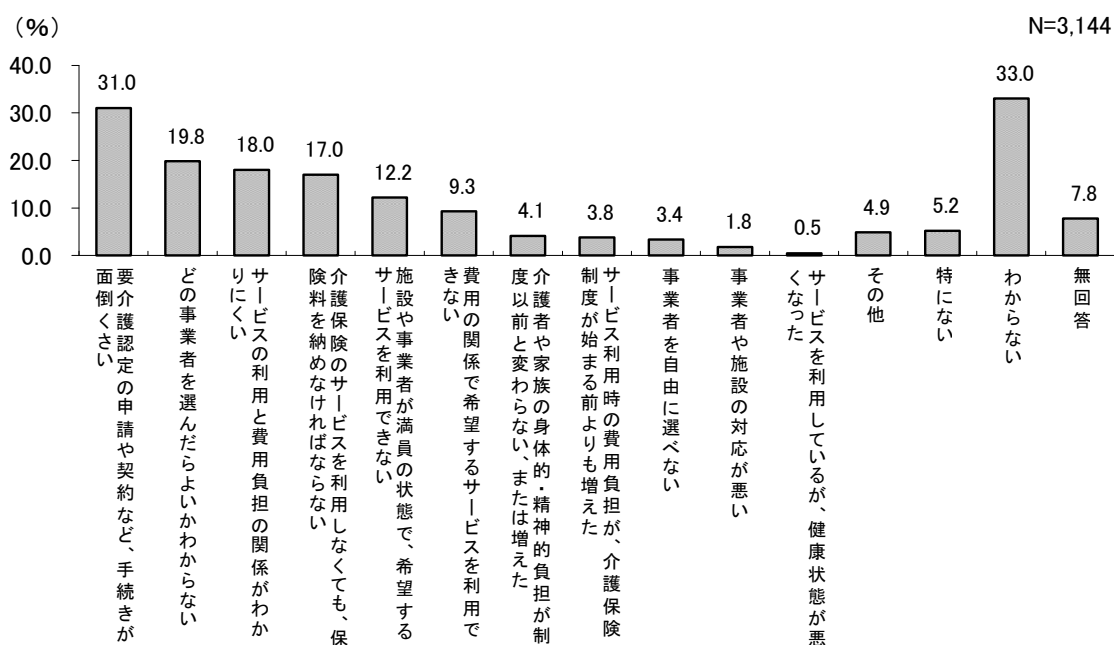


12- (5) 介護保険制度で不十分なもの

問 39 介護保険制度のサービスについて、不十分だと思われる点は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

○介護保険制度で不十分なものは、「要介護認定の申請や契約など、手続きが面倒くさい」(31.0%)が最も多く、次に「どの事業者を選んだらよいかわからない」(19.8%)、「サービスの利用と費用負担の関係がわかりにくい」(18.0%)が続いている。なお、「介護保険のサービスを利用しなくても、保険料を納めなければならない」(17.0%)は前回調査(平成22年度)より4.9ポイント低くなっている。また、「わからない」(33.0%)との回答が3割以上ある。



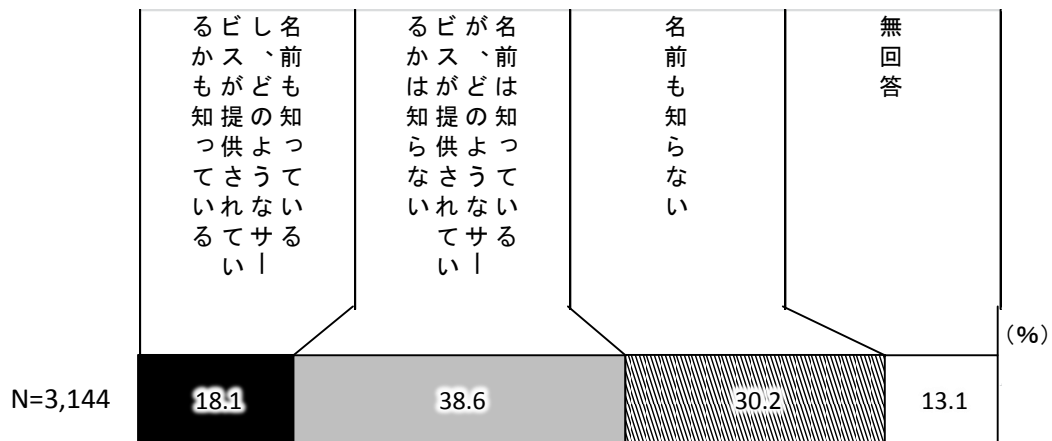
## 13 地域包括支援センターについて

### 13-1 地域包括支援センターの認知状況

問 40 地域住民の保健医療の向上や、福祉の増進を支援する施設として、市内に 49 か所の地域包括支援センターがあります。地域包括支援センターについて知っていますか。

(あてはまるもの1つに〇)

○地域包括支援センターの認知度は、「名前は知っているが、どのようなサービスが提供されているかは知らない」(38.6%)と「名前も知っているし、どのようなサービスが提供されているかも知っている」(18.1%)を合わせた『知っている』が56.7%と5割以上を占める。なお、『知っている』は前回調査(平成22年度)より6.4ポイント高くなっており、一方、「名前も知らない」(30.2%)は前回調査より10.9ポイント低くなっている。

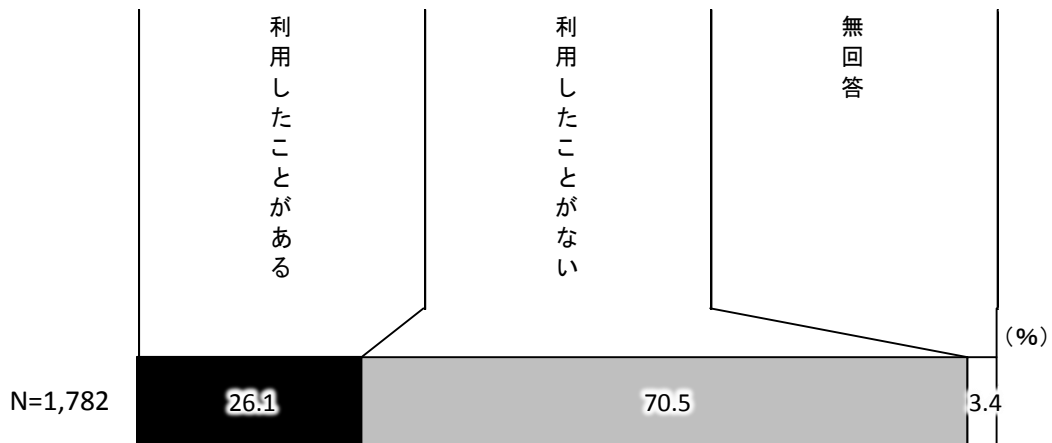


13- (2) 地域包括支援センターの利用経験

【問40で「名前も知っているし、どのようなサービスが提供されているかも知っている」、「名前は知っているが、どのようなサービスが提供されているかは知らない」と回答した方におたずねします。】

問41 ご本人やご家族のことに、地域包括支援センターを利用したことがありますか。  
(あてはまるもの1つに○)

○地域包括支援センターの利用経験は、「利用したことがない」が70.5%と約7割を占めており、「利用したことがある」は26.1%であり、前回調査(平成22年度)と、ほぼ同様の結果となっている。

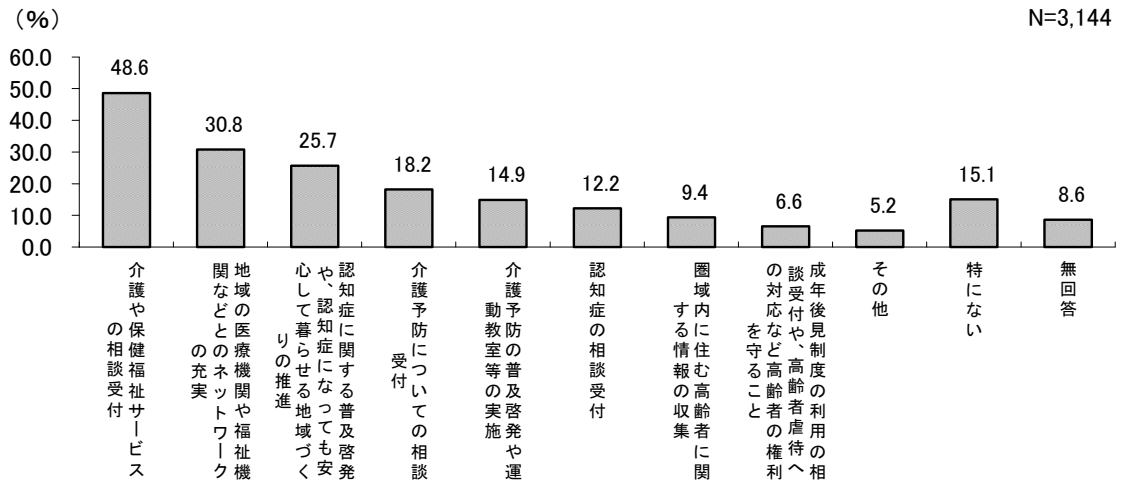


13- (3) 地域包括支援センターに今後期待すること

問42 地域包括支援センターに今後どのようなことを期待しますか。

(主なもの3つまでに○)

○地域包括支援センターに今後期待することは、「介護や保健福祉サービスの相談受付」(48.6%)が最も多く、次に「地域の医療機関や福祉機関などのネットワークの充実」(30.8%)、「認知症に関する普及啓発や、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの推進」(25.7%)が続いている。

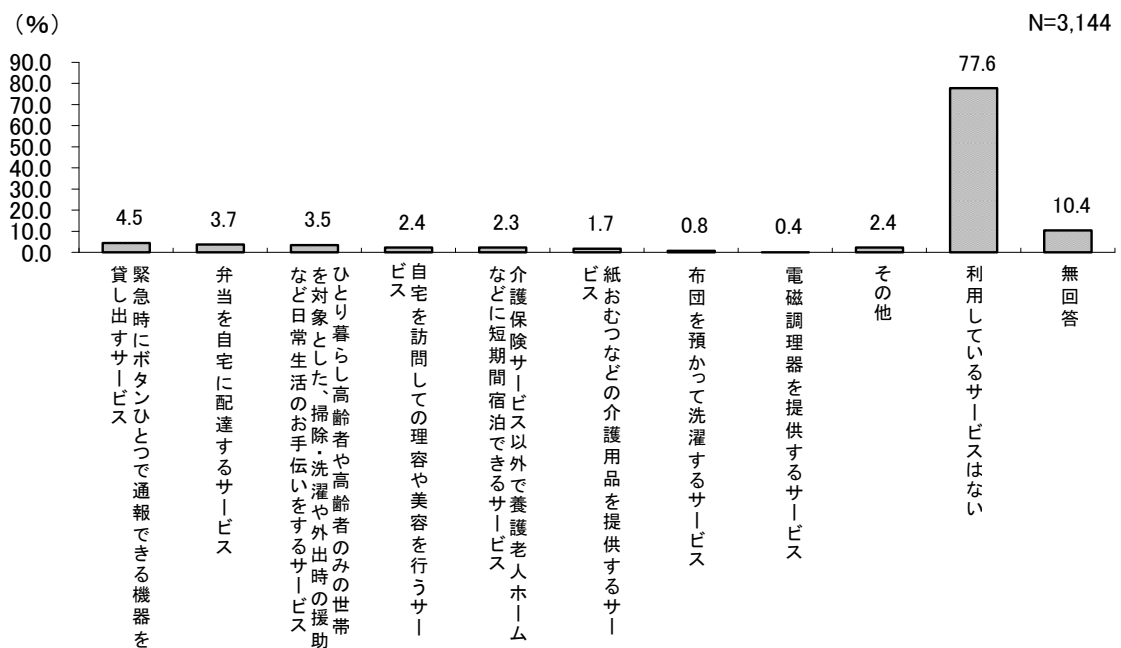


## 14 高齢者福祉サービスについて

### 14-（1）現在利用しているサービス

問 43 日常生活の不便さを解消するために、現在利用しているサービスはありますか。  
 （あてはまるものすべてに○）

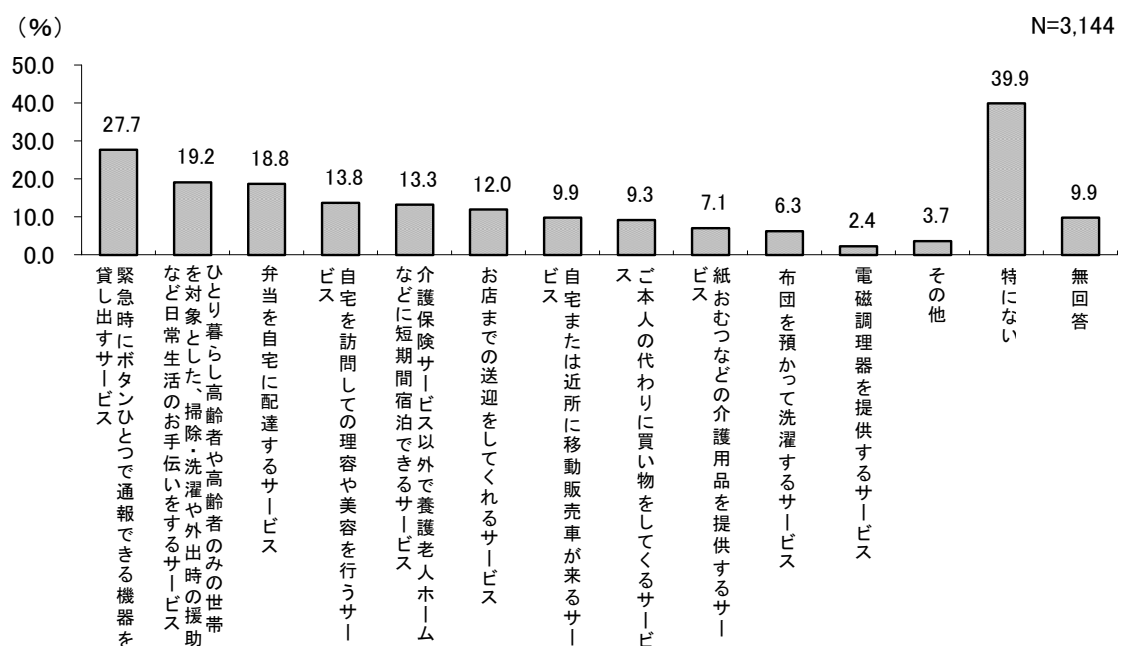
○現在利用しているサービスについては、「利用しているサービスはない」（77.6%）との回答が最も多く7割以上ある。現在サービスを利用している方のなかでは、「緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス」（4.5%）が特に多く、次に「弁当を自宅に配達するサービス」（3.7%）、「ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象とした、掃除・洗濯や外出時の援助など日常生活のお手伝いをするサービス」（3.5%）が続いている。



14 - (2) 今後利用したいサービス

問44 日常生活の不便さを解消するために、今後利用してみたい(引き続き利用したい)と思うサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

○今後利用してみたいサービスは、「緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス」(27.7%)が特に多く、次に「ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象とした、掃除・洗濯や外出時の援助など日常生活のお手伝いをするサービス」(19.2%)、「弁当を自宅に配達するサービス」(18.8%)が続いている。また、「特にない」(39.9%)との回答が約4割ある。

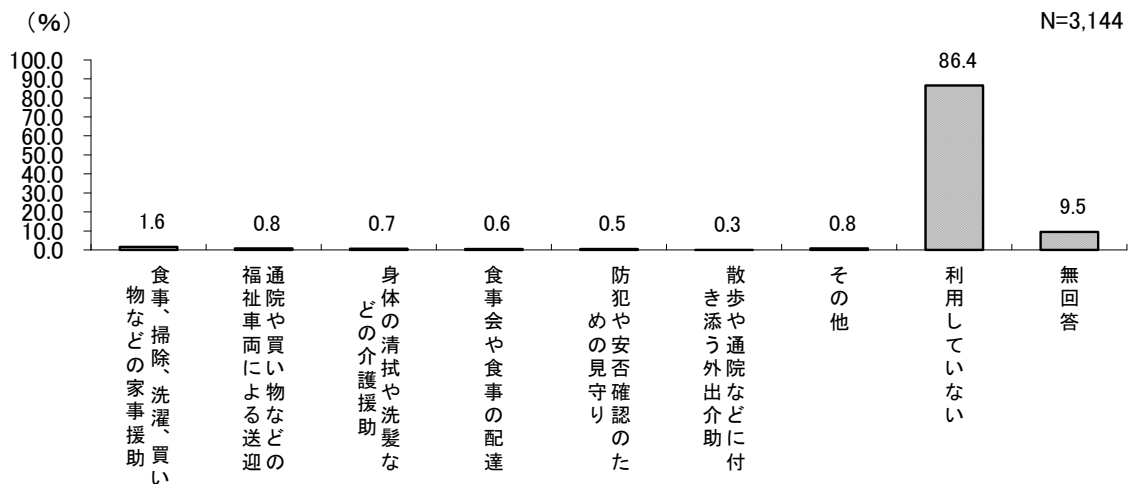


14- (3) 現在利用しているサービス（介護保険のサービスを除く）

問45 ご近所やお住まいの地域、NPOやボランティアの方々によるサービス（介護保険のサービスは除く）の利用状況と利用意向についてお聞きします。

(1) 現在利用しているサービスはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

○介護保険のサービス以外で現在利用しているサービスについては、「利用していない」（86.4%）との回答が最も多く8割以上ある。現在サービスを利用している方なかでは、「食事、掃除、洗濯、買い物などの家事援助」（1.6%）が多く、次に「通院や買い物などの福祉車両による送迎」（0.8%）、「身体の清拭や洗髪などの介護援助」（0.7%）と続くが、いずれも1.0%前後である。

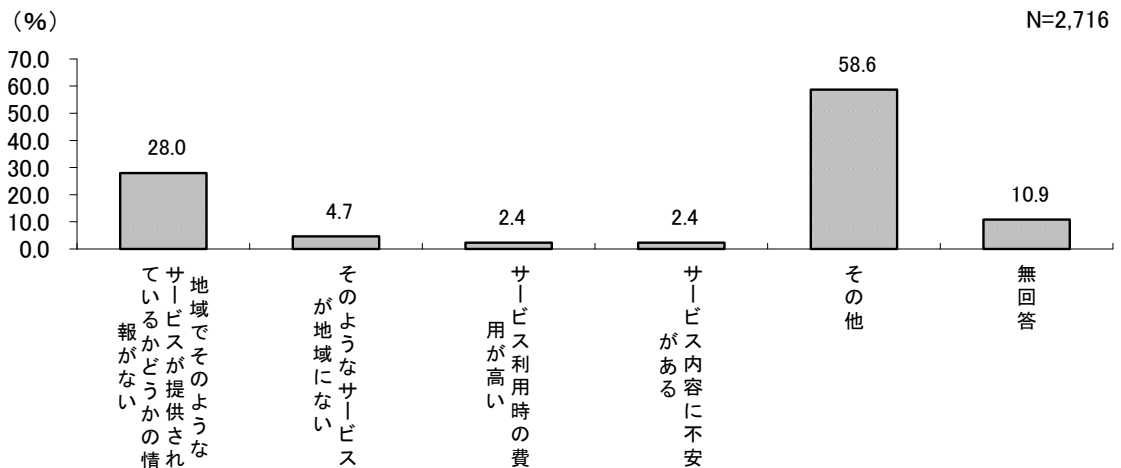


14- (4) サービス（介護保険のサービスを除く）を利用しない理由

【(1)で「利用していない」と回答した方におたずねします】

(2) 利用していない理由は次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

○利用していない理由は、「地域でそのようなサービスが提供されているかどうかの情報がない」（28.0%）が特に多く、次に「そのようなサービスが地域にない」（4.7%）が続いている。





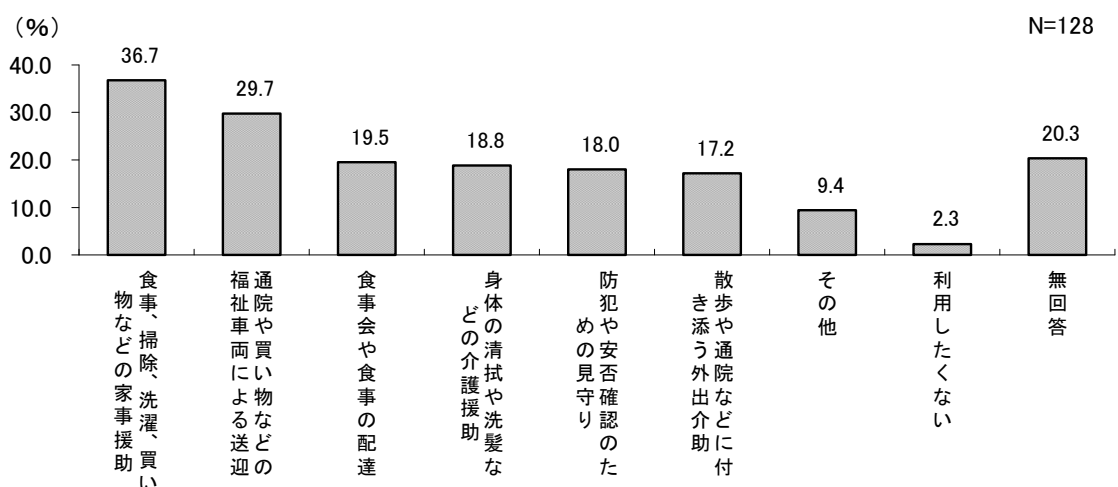
14- (5) 今後利用したいサービス（介護保険のサービスを除く）

【(1)で「利用していない」以外に回答した方におたずねします】

(3) 今後利用したい（引き続き利用したい）と思うサービスはどれですか

(あてはまるものすべてに○)

○今後利用したいサービスは、「食事、掃除、洗濯、買い物などの家事援助」(36.7%)が最も多く、次に「通院や買い物などの福祉車両による送迎」(29.7%)、「食事会や食事の配達」(19.5%)が続いている。

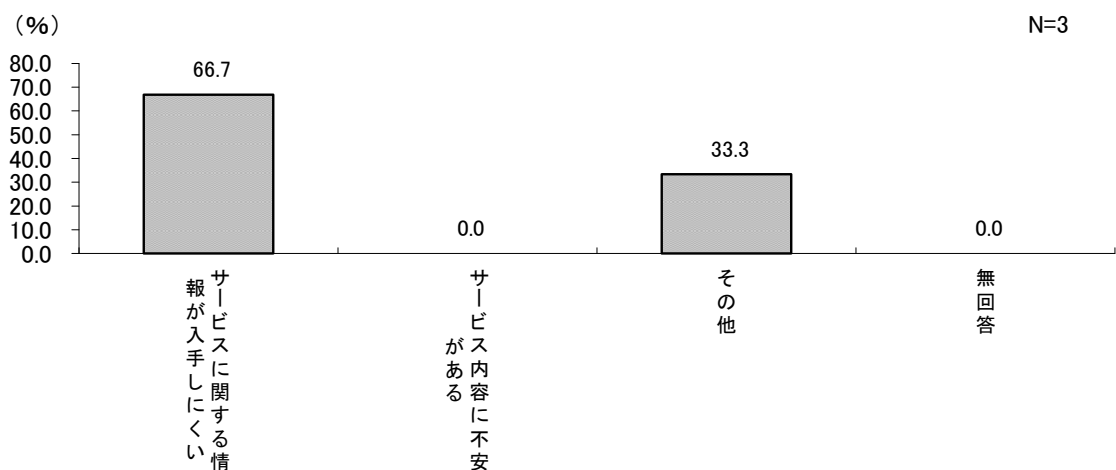


14- (6) 今後サービス（介護保険のサービスを除く）を利用しない理由

【(3)で「利用したくない」と回答した方におたずねします】

(4) 利用したくない理由は次のうちどれですか（あてはまるものすべてに○)

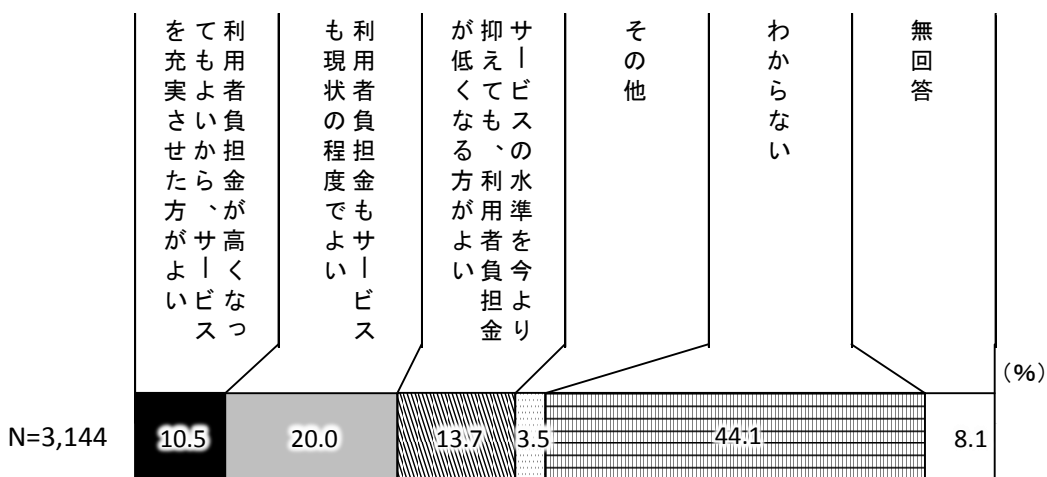
○利用したくない理由については、「サービスに関する情報が入手しにくい」(66.7%)が最も多くなっている。



14- (7) 高齢者福祉サービスの利用者負担金について

問 46 介護保険以外の高齢者福祉サービスを利用するにあたって、一定程度の利用者負担金を頂いている場合がありますが、この利用者負担金について、ご本人の考えに最も近いものは、次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに○)

○介護保険以外の高齢者福祉サービスの利用者負担金についての考えは、「利用者負担金もサービスも現状の程度でよい」(20.0%) が特に多く、次に「サービスの水準を今より抑えても、利用者負担金が低くなる方がよい」(13.7%)、「利用者負担金が高くなってもよいから、サービスを充実させた方がよい」(10.5%) が続いている。また、「わからない」(44.1%) が 4 割以上を占めている。



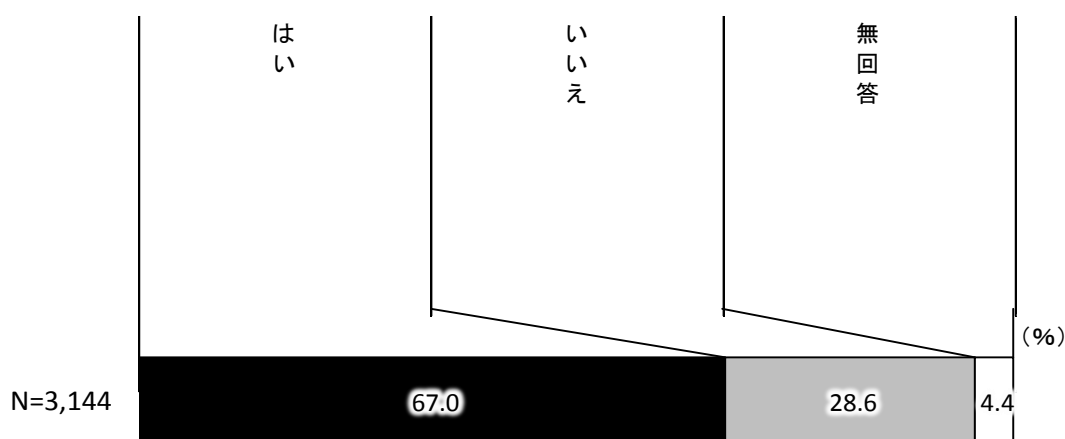
## 15 介護予防について

### 15-（1）介護予防の認知度

問47 「介護予防」という言葉を聞いたことがありますか。(あてはまるもの1つに〇)

※ 「介護予防」とは、介護を受ける状態になることをできる限り防ぎ、または遅らせ、そして介護を受ける状態になってもその悪化をできる限り防ぐよう、取り組むことをいいます。

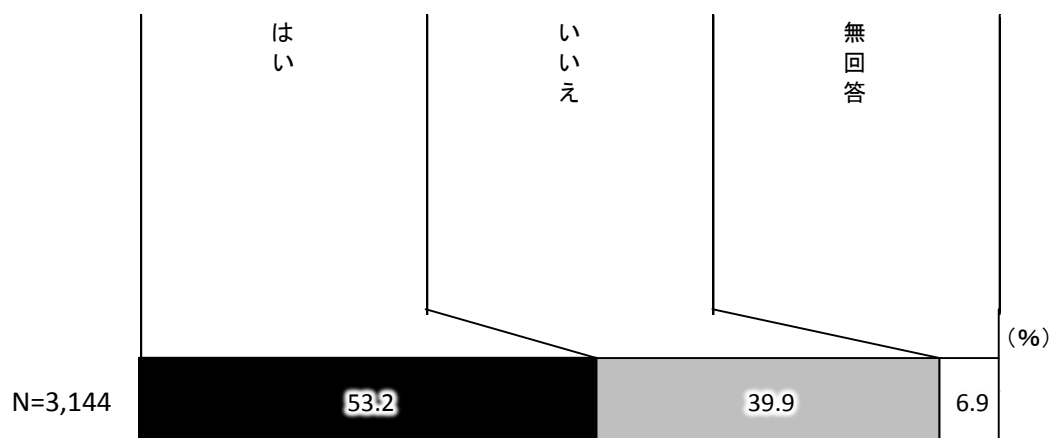
○「介護予防」という言葉については、聞いたことがある人が67.0%と6割以上を占め、聞いたことがないという人は28.6%である。なお、聞いたことがある人は、前回調査（平成22年度）より2.8ポイント高くなっている。



### 15-（2）介護予防についての取組み状況

問48 介護予防について、何か取り組んでいることはありますか。(あてはまるもの1つに〇)

○介護予防に関する取り組みについては、取り組んでいる人が53.2%と5割以上を占め、取り組んでいない人が39.9%と約4割であり、前回調査（平成22年度）と、ほぼ同様の結果となっている。

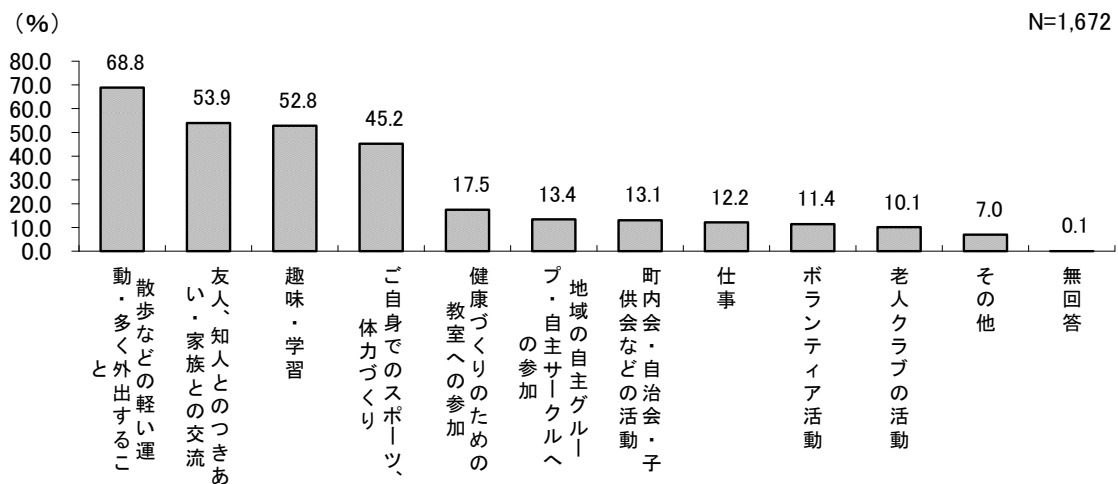


15- (3) 介護予防のために取り組んでいること

【問48で「はい」と回答した方におたずねします。】

問49 介護予防として今取り組んでいることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

○介護予防として今取り組んでいることは、「散歩などの軽い運動・多く外出すること」(68.8%)が最も多く、次に「友人、知人とのつきあい・家族との交流」(53.9%)、「趣味・学習」(52.8%)が続いている。

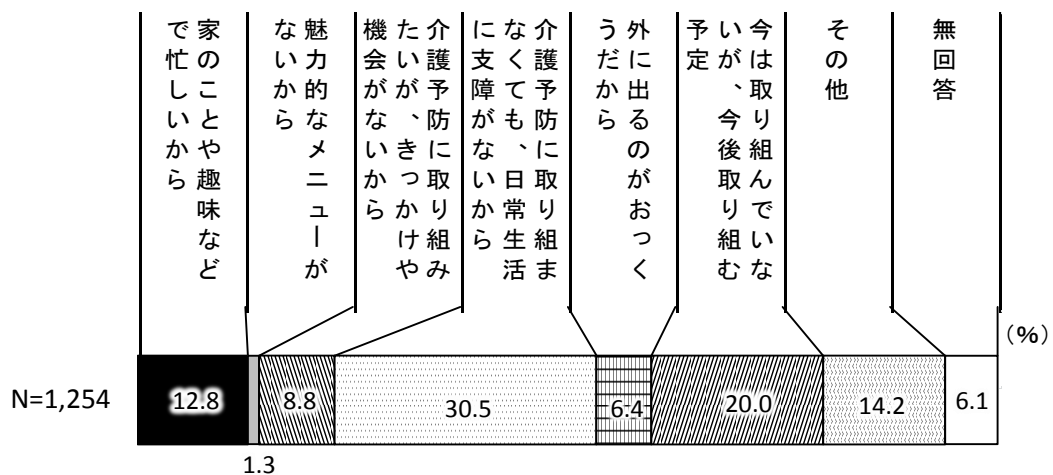


15- (4) 介護予防に取り組まない理由

【問48で「いいえ」と回答した方におたずねします。】

問50 介護予防について、取り組まない理由は何ですか。(あてはまるもの1つに○)

○介護予防に取り組まない理由は、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が30.5%で最も多く、次に「今は取り組んでいないが、今後取り組む予定」(20.0%)、「家のことや趣味で忙しいから」(12.8%)などが続いている。

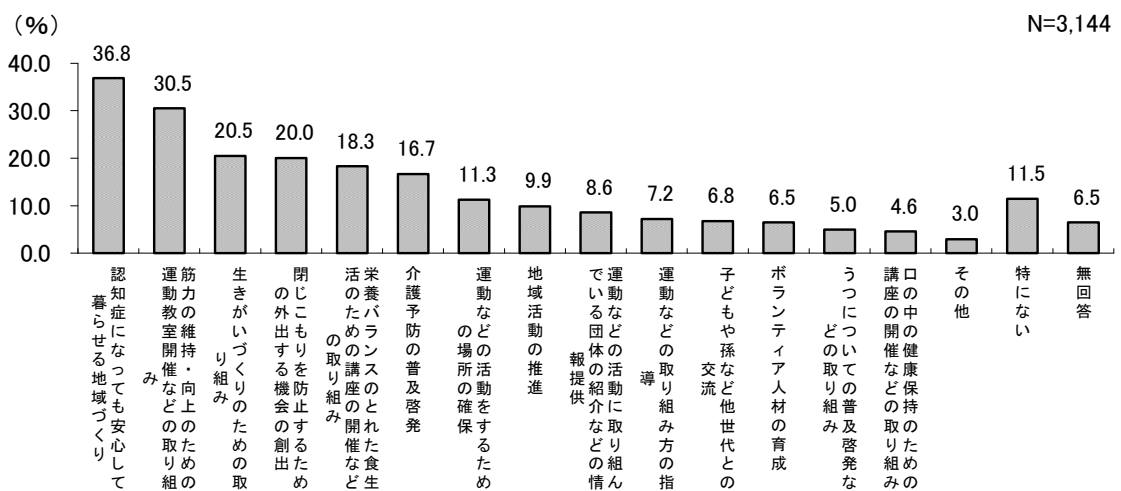


15－(5) 介護予防として仙台市に力を入れて欲しいこと

問51 いつまでも自立していきいきと生活するには、介護予防に取り組むことが重要となります。今後仙台市に力を入れて欲しい取り組みは、次のうちどれですか。

(あてはまるもの3つまでに○)

○介護予防として仙台市に力を入れて欲しいことは、「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」(36.8%)が最も多く、次に、「筋力の維持・向上のための運動教室開催などの取り組み」(30.5%)、「生きがいがづくりのための取組」(20.5%)が続いている。



## 16 認知症対策について

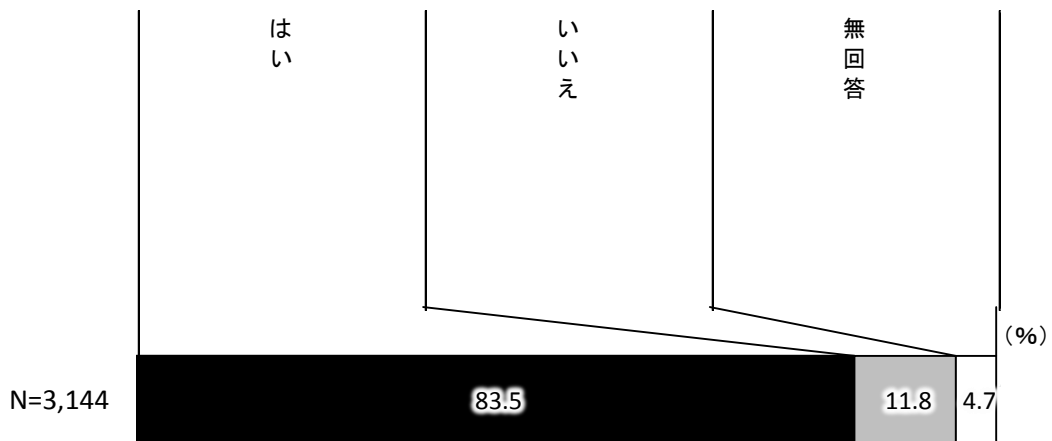
### 16- (1) 5分前のことが思い出せるか

問52 日常生活での物忘れについてお聞きします。

((1)~(3) それぞれあてはまるもの1つに○)

(1) 5分前のことが思い出せますか。

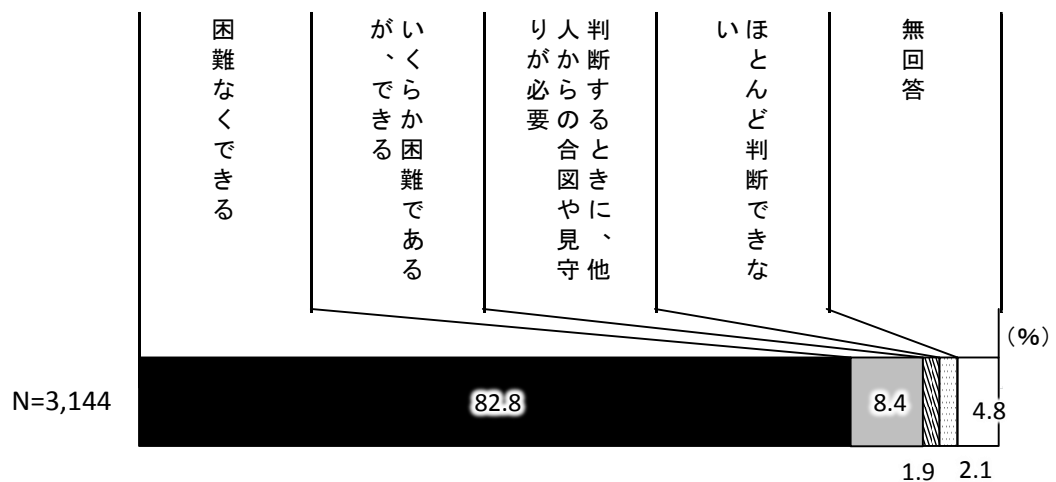
○5分前のことが思い出せるかについては、「はい」と回答した人が83.5%と8割を超えており、「いいえ」と回答した人は11.8%である。



### 16- (2) その日の活動を自分で判断できるか

(2) その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか。

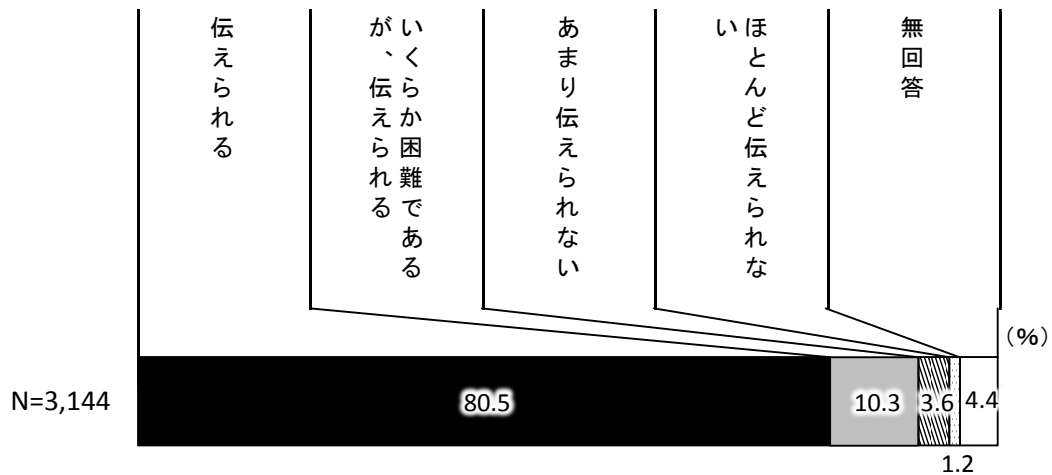
○その日の活動を自分で判断できるかについては、「困難なくできる」(82.8%)と「いくらか困難であるが、できる」(8.4%)を合わせた『できる』が91.2%と9割以上を占める。



16- (3) 人に自分の考えをうまく伝えられるか

(3) 人に自分の考えをうまく伝えられますか。

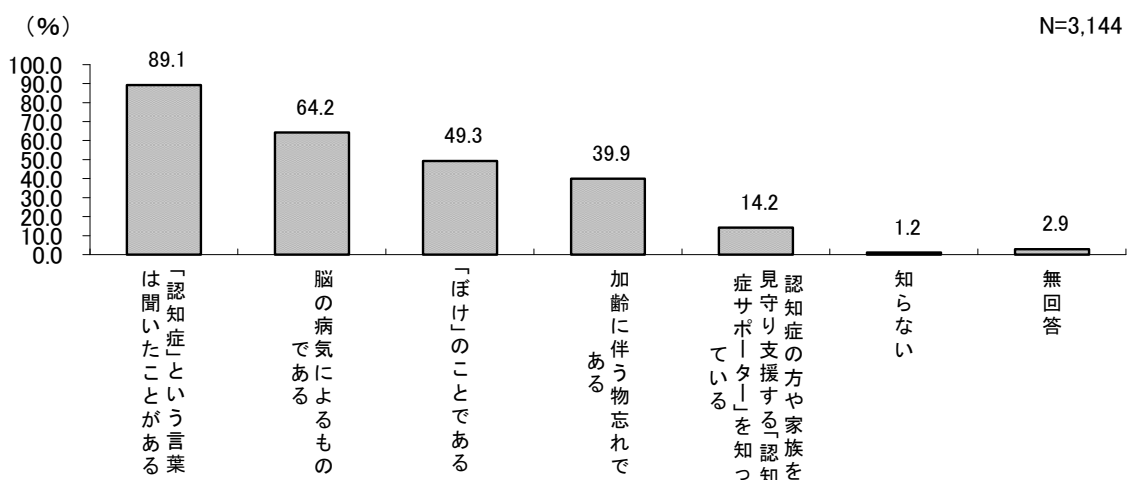
○人に自分の考えをうまく伝えられるかについては、「伝えられる」(80.5%)と「いくらか困難であるが、伝えられる」(10.3%)を合わせた『伝えられる』が90.8%と9割以上を占める。



16- (4) 認知症について知っていること

問53 認知症について知っていることをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

○認知症についての認知度は、「認知症」という言葉は聞いたことがある」が89.1%と最も多く、次に「脳の病気によるものである」(64.2%)、「ぼけ」のことである」(49.3%)が続いている。また、「認知症の方や家族を見守り支援する「認知症サポーター」を知っている」と回答した人は14.2%である。

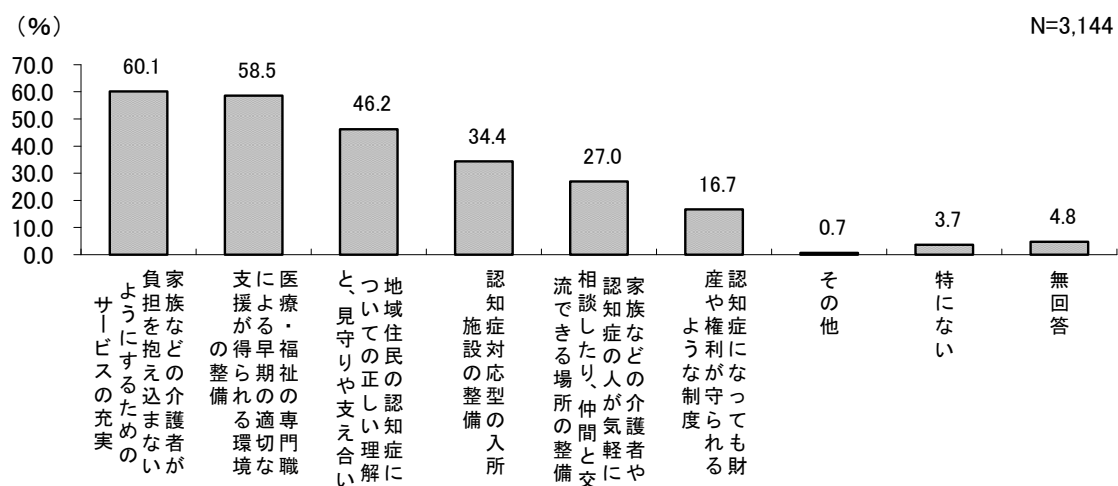


16- (5) 認知症になっても安心して生活するために必要なこと

問 54 認知症になっても安心して生活するには、どのようなことが必要と考えますか。

(あてはまるもの3つまでに○)

○認知症になっても安心して生活するために必要なことは、「家族などの介護者が負担を抱え込まないようするためのサービスの充実」が60.1%、「医療・福祉の専門職による早期の適切な支援が得られる環境の整備」が58.5%と、これら2つの理由が特に多い。次に「地域住民の認知症についての正しい理解と、見守りや支え合い」(46.2%)、「認知症対応型の入所施設の整備」(34.4%)が続いている。



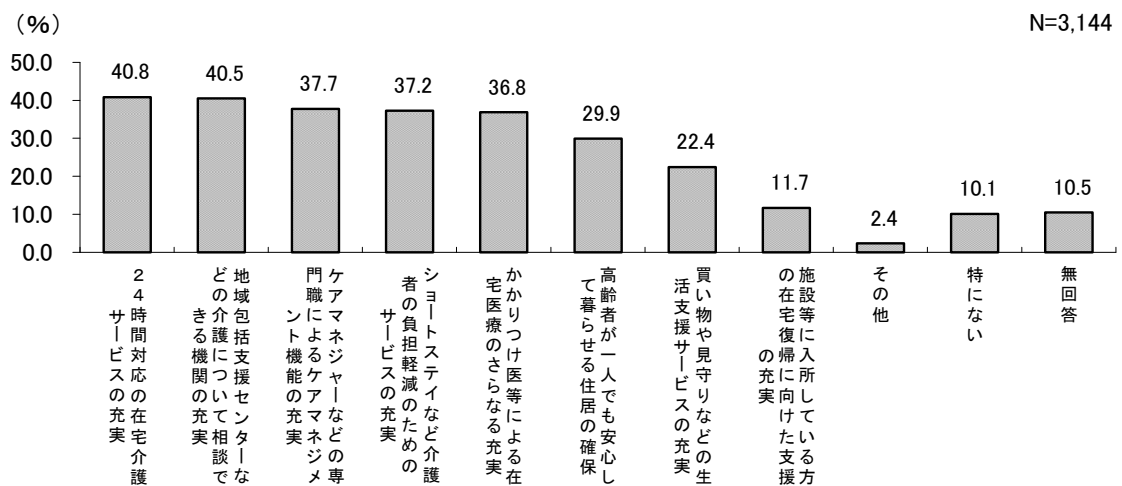


## 17 地域包括ケアシステムの構築について

### 17-1 (1) 地域包括ケアシステムの構築のために必要なこと

問 55 現在、国や仙台市では、要介護状態になってもできるだけ在宅（住み慣れた地域）で暮らしていくことができる社会（地域包括ケアシステムの構築）を目指して施策を進めています。今後、高齢者の増加に伴い、要介護者も増えていく中で、本人の希望に沿いながら、できるだけ在宅で暮らしていけるようになるには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

○要介護状態になってもできるだけ在宅で暮らしていくことができる社会（地域包括ケアシステムの構築）を目指すために必要なことは、「24時間対応の在宅介護サービスの充実」(40.8%)が最も多く、次に「地域包括支援センターなどの介護について相談できる機関の充実」(40.5%)、「ケアマネジャーなどの専門職によるケアマネジメント機能の充実」(37.7%)が続いている。



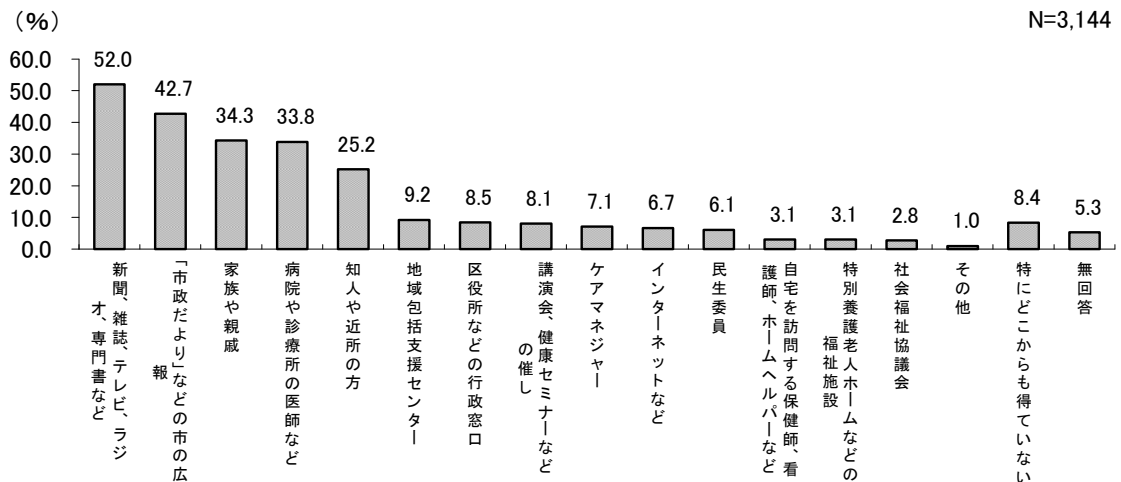
## 18 健康や福祉について

### 18- (1) 健康や福祉に関する情報の入手先

問 56 ご本人に関係する健康や福祉の情報は、どこから得ていますか。

(あてはまるものすべてに○)

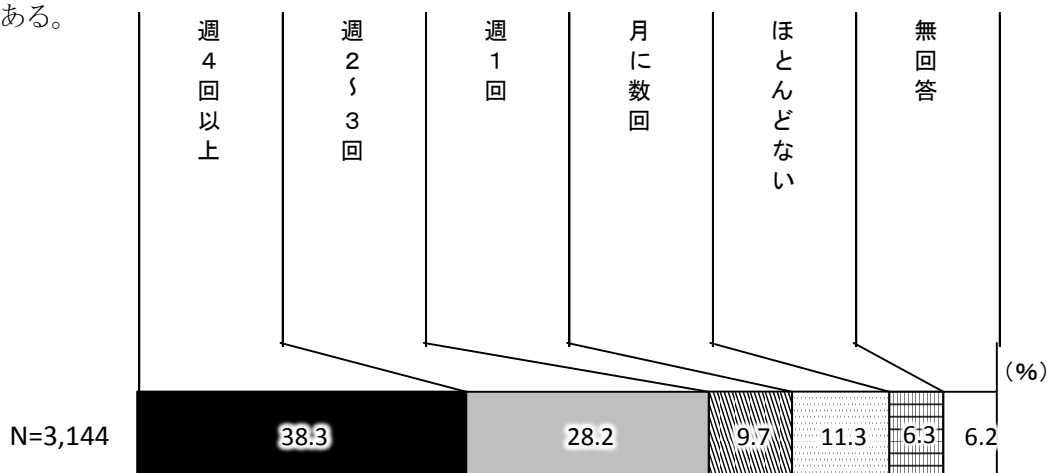
○健康や福祉に関する情報源は、「新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、専門書など」(52.0%)が最も多く、次に「「市政だより」などの市の広報」(42.7%)、「家族や親戚」(34.3%)、「病院や診療所の医師など」(33.8%)が続いている。なお、前回調査(平成22年度)では、「新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、専門書など」(48.4%)、「病院や診療所の医師など」(41.0%)、「家族や親戚」(37.4%)、「「市政だより」などの市の広報」(34.0%)の順であり、「病院や診療所の医師など」が7.2ポイント減少した一方で、「「市政だより」などの市の広報」が8.7ポイント増加している。



### 18- (2) 家族以外との会話の頻度

問 57 普段、どれくらいの頻度で、同居している家族以外の方々と話しをしますか。(挨拶程度は含まない) (あてはまるもの1つに○)

○同居している家族以外との会話については、「週4回以上」(38.3%)が最も多く、次に「週2〜3回」(28.2%)、「月に数回」(11.3%)が続いている。また、「ほとんどない」という人が6.3%である。



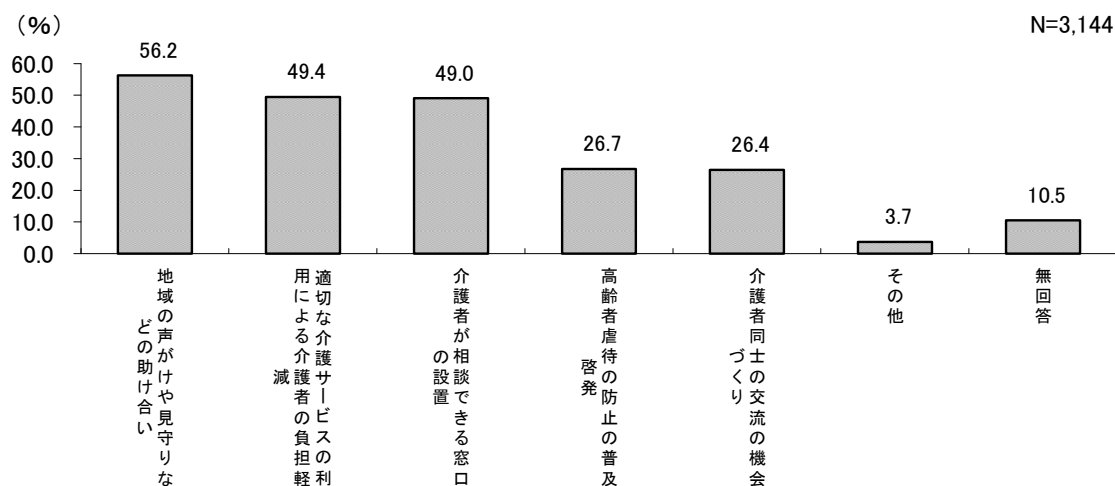
## 19 高齢者虐待防止について

### 19- (1) 高齢者に対する虐待の防止のために必要な取り組み

問 58 最近、高齢者に対する虐待についての関心が高まっており、その防止のための取り組みが必要となっています。

高齢者に対する虐待が起きないための取り組みとして必要だと思うことは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

○高齢者虐待防止のために必要な取り組みは、「地域の声かけや見守りなどの助け合い」(56.2%)が最も多く、次に「適切な介護サービスの利用による介護者の負担軽減」(49.4%)、「介護者が相談できる窓口」(49.0%)が続いている。



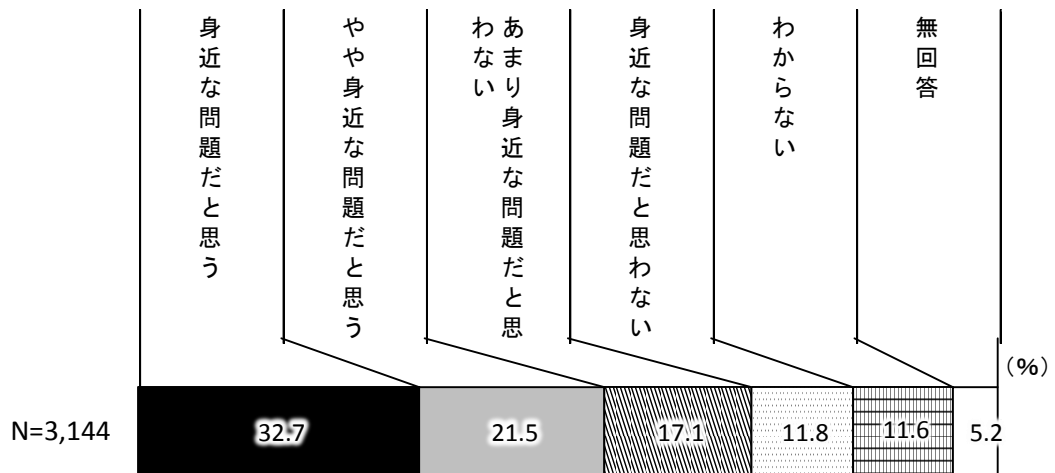
## 20 孤立死について

### 20-（1）孤立死に対する考え

問 59 孤立死について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに〇)

※ ここでいう「孤立死」とは、誰にも看取られることなく息を引き取り、その後、相当期間放置されるような状態のことをいいます。

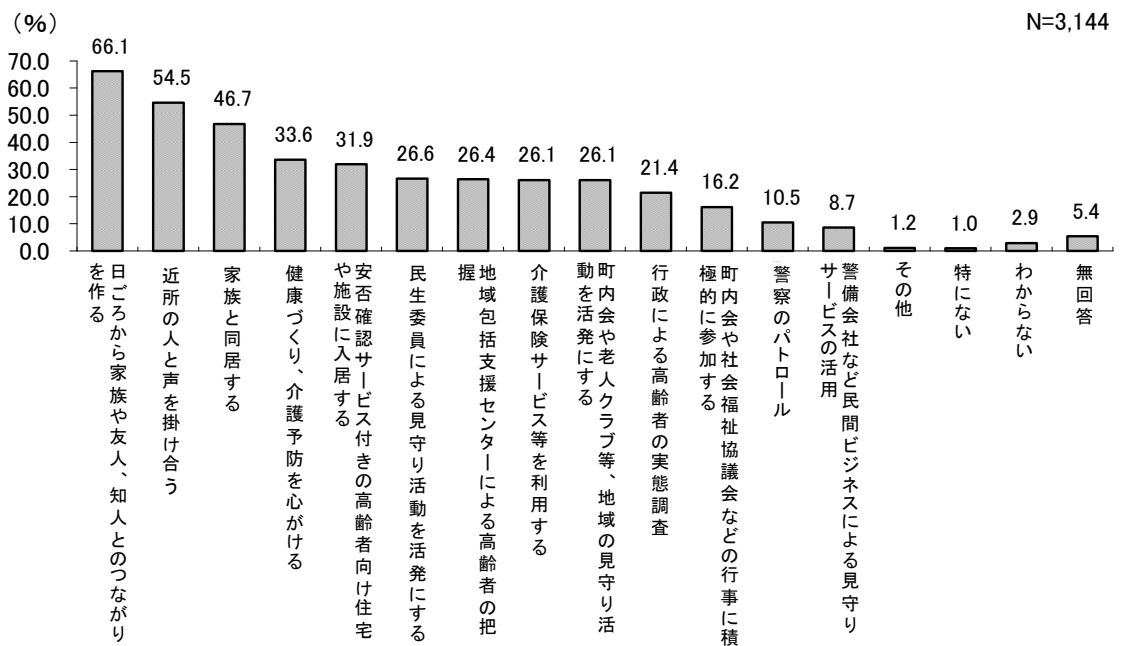
○孤立死についての考えは、「身近な問題だと思う」(32.7%)と「やや身近な問題だと思う」(21.5%)を合わせた、身近な問題と感じている人の割合が54.2%と5割以上を占める。一方で、「あまり身近な問題だと思わない」(17.1%)と「身近な問題だと思わない」(11.8%)を合わせた、身近な問題と感じていない人の割合は28.9%と約3割である。いずれも、前回調査(平成22年度)と、ほぼ同様の結果となっている。



20-(2) 孤立死を防ぐために有効な手段

問60 孤立死を防ぐためにどのようなことが有効だと思いますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

○孤立死を防ぐために有効な手段は、「日ごろから家族や友人、知人とのつながりを作る」(66.1%)が最も多く、次に「近所の人と声を掛け合う」(54.5%)、「家族と同居する」(46.7%)などが続いている。前回調査(平成22年度)と比べると、ほとんどの項目で増えているが、「家族と同居する」は4.1ポイント低くなっている。

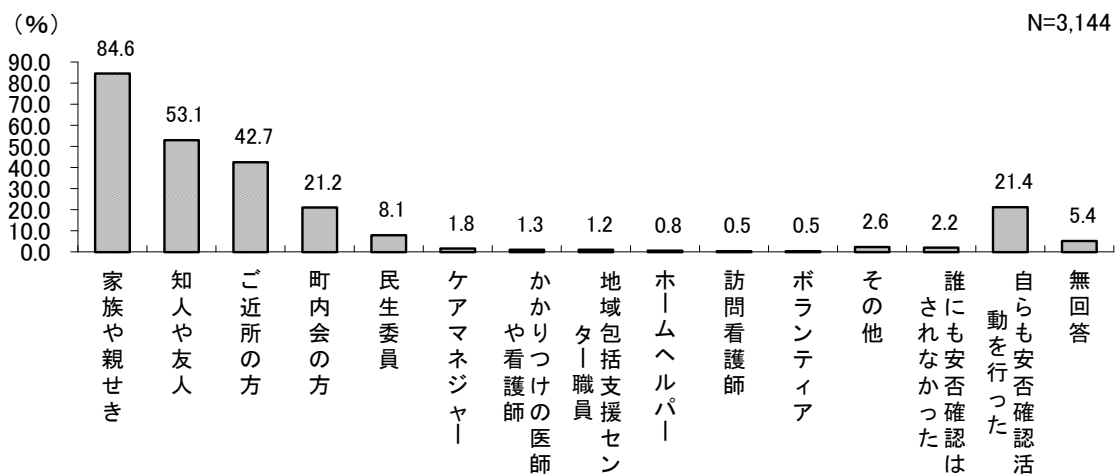


## 21 災害時の安否確認について

### 21-1 (1) 東日本大震災時の安否確認について

問 61 平成 23 年 3 月に東日本大震災が発生したときに、誰かに安否確認をしてもらいましたか。(あてはまるものすべてに○)

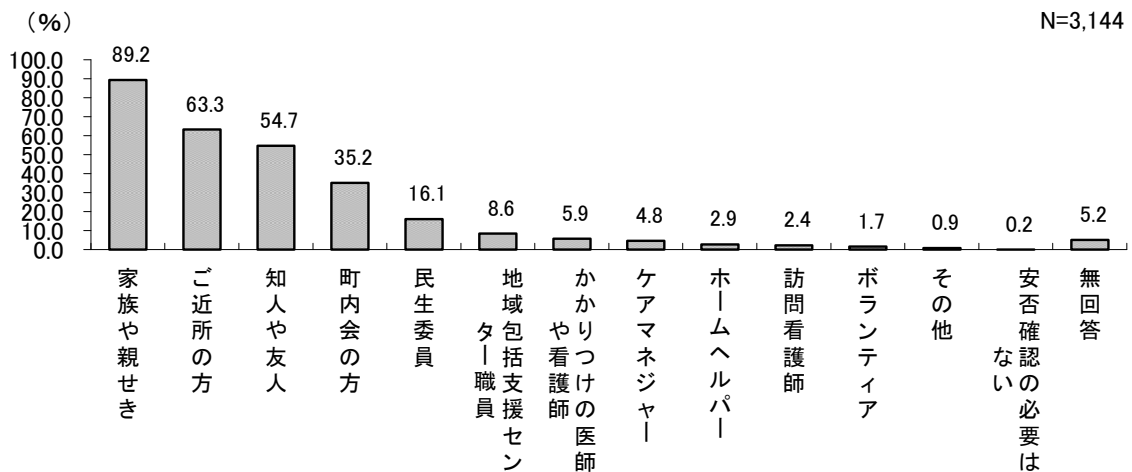
○東日本大震災時の安否確認については、「家族や親せき」が 84.6%と 8 割を超えて最も多く、次に「知人や友人」(53.1%)、「ご近所の方」(42.7%)が続いている。また、「自らも安否確認活動を行った」と回答した人は 21.4%である。



### 21-1 (2) 誰に安否確認をしてほしいか

問 62 地震などの災害が起きた場合、誰に安否確認をしてもらうのがよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

○災害時の安否確認については、「家族や親せき」(89.2%)が約 9 割と最も多く、次に「ご近所の方」(63.3%)、「知人や友人」(54.7%)が続いている。



## 22 仙台市への意見・要望について

問 63 仙台市の介護保険事業や高齢者保健福祉施策に関してご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書き下さい。

アンケートの最後に、自由に発言していただける欄を設けたところ、回答があったのは815人であった。

以下は意見内容を分類し、多い順に示した結果である。

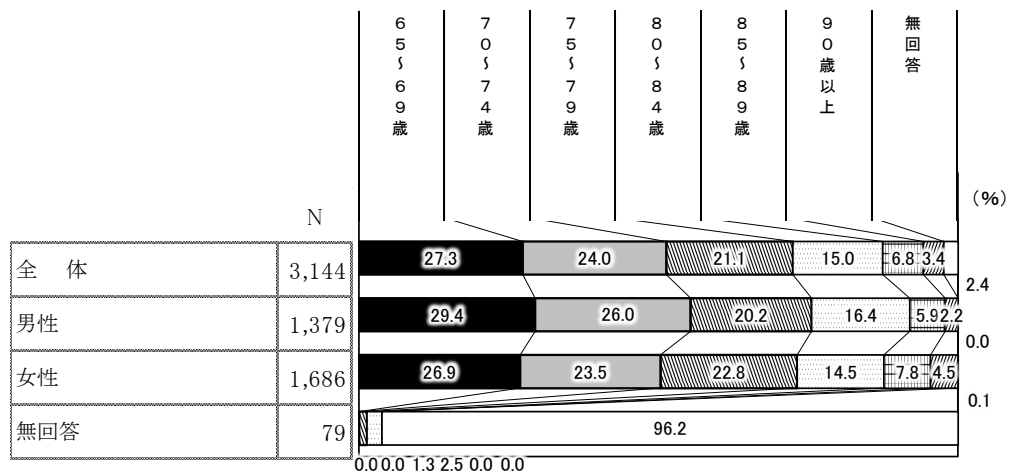
順位	項目	意見数(件)	比率(%)
1	高齢者施策全般	96	11.8
2	情報提供	89	10.9
3	介護保険制度について	85	10.4
4	福祉全般について	68	8.3
5	施設サービスの充実	67	8.2
6	日常生活について	65	8.0
7	アンケートについて	59	7.2
8	感謝	57	7.0
9	経済的負担の軽減	52	6.4
10	相談、手続き体制	28	3.4
11	市政全般	10	1.2
12	介護の負担	8	1.0
13	在宅サービスの充実	3	0.4
14	わからない、特になし	110	13.5
15	その他	18	2.2
合計		815	100.0

## IV 調査結果の分析

### 1 調査対象者の属性

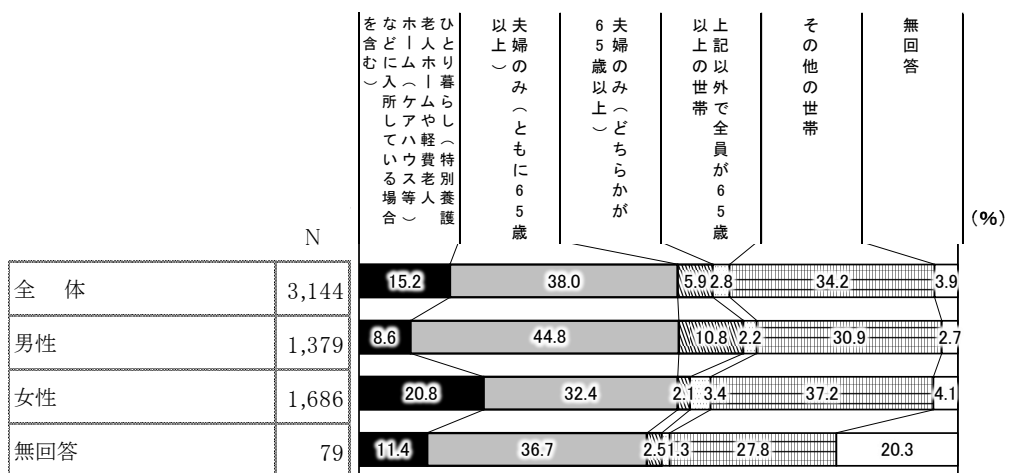
#### (1) 年齢

- ◆ 性別にみると、65～74歳は男性で55.4%、女性で50.4%となっている。一方、75歳以上は男性で44.7%、女性で49.6%と、女性の方が男性に比べてやや年齢が高くなっている。



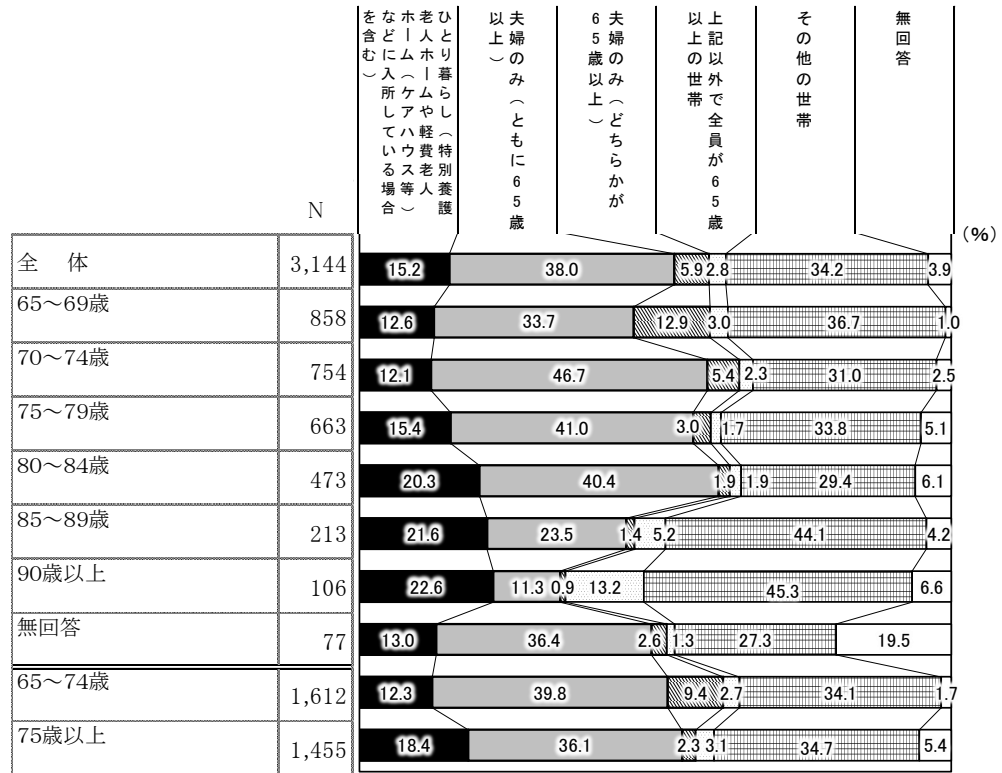
#### (2) 世帯の状況

- ◆ 性別にみると、「ひとり暮らし（特養などに入所含む）」は男性（8.6%）に比べて女性（20.8%）で多くなっている。





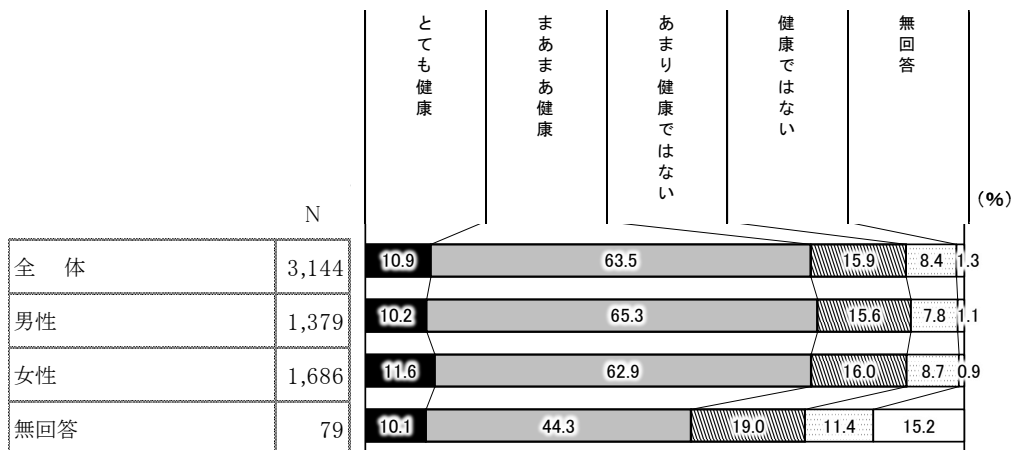
- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって「ひとり暮らし（特養などに入所含む）」が多くなっている。また、「夫婦のみ（ともに65歳以上）」は70～84歳で4割を超えて、他の年齢層に比べて多くなっている。



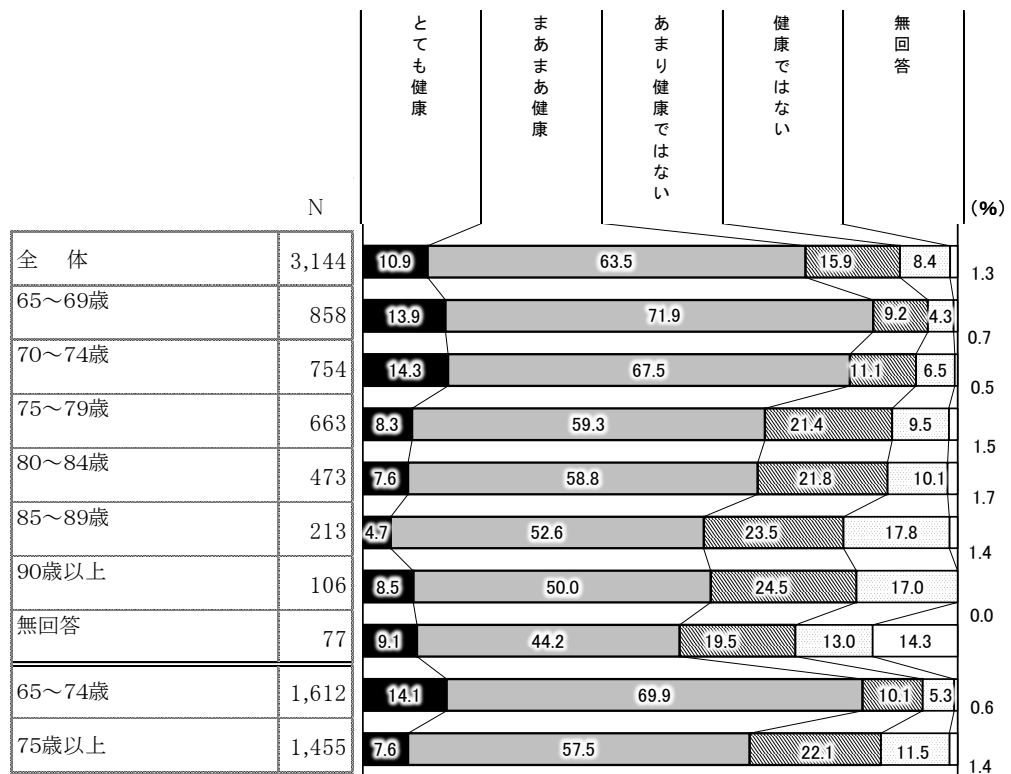
## 2 健康状態について

### (1) 健康状態

- ◆ 性別にみると、大きな差はみられない。



- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「とても健康」、「まあまあ健康」が多くなっている。一方、概ね年齢が高くなるにしたがって「あまり健康ではない」、「健康ではない」が多くなっている。



### 3 楽しさ・生きがいについて

#### (1) 楽しさや生きがいを感じること

- ◆ 性別にみると、「友人・知人とのつきあいなど」は男性に比べて女性で多く、「運動・スポーツ」、「仕事・就労」は女性に比べて男性で多くなっている。

	調査数	友人・知人とのつきあいなど	趣味・学習	子や孫の世話などご家族との団らん	運動・スポーツ	仕事・就労	町内会・自治会・子供会などの活動	ボランティア活動	老人クラブの活動	その他	特にない	無回答
全体	3,144	1,560	1,536	1,051	826	474	351	298	280	288	363	46
	100.0	49.6	48.9	33.4	26.3	15.1	11.2	9.5	8.9	9.2	11.5	1.5
男性	1,379	530	695	403	460	297	182	136	107	101	182	14
	100.0	38.4	50.4	29.2	33.4	21.5	13.2	9.9	7.8	7.3	13.2	1.0
女性	1,686	994	812	627	350	170	165	155	166	183	172	21
	100.0	59.0	48.2	37.2	20.8	10.1	9.8	9.2	9.8	10.9	10.2	1.2
無回答	79	36	29	21	16	7	4	7	7	4	9	11
	100.0	45.6	36.7	26.6	20.3	8.9	5.1	8.9	8.9	5.1	11.4	13.9

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、楽しさや生きがいを感じる具体的な活動内容への回答は、概ね年齢が低くなるにしたがって多くなっている。一方、「特にない」は年齢が高くなるにしたがって多くなっている。

	調査数	友人・知人とのつきあいなど	趣味・学習	子や孫の世話などご家族との団らん	運動・スポーツ	仕事・就労	町内会・自治会・子供会などの活動	ボランティア活動	老人クラブの活動	その他	特にない	無回答
全体	3,144 100.0	1,560 49.6	1,536 48.9	1,051 33.4	826 26.3	474 15.1	351 11.2	298 9.5	280 8.9	288 9.2	363 11.5	46 1.5
65～69歳	858 100.0	439 51.2	467 54.4	335 39.0	283 33.0	209 24.4	79 9.2	94 11.0	21 2.4	53 6.2	70 8.2	4 0.5
70～74歳	754 100.0	412 54.6	407 54.0	258 34.2	250 33.2	133 17.6	94 12.5	100 13.3	64 8.5	55 7.3	71 9.4	6 0.8
75～79歳	663 100.0	340 51.3	326 49.2	206 31.1	156 23.5	63 9.5	85 12.8	57 8.6	79 11.9	63 9.5	71 10.7	11 1.7
80～84歳	473 100.0	229 48.4	204 43.1	142 30.0	99 20.9	49 10.4	69 14.6	30 6.3	74 15.6	59 12.5	64 13.5	5 1.1
85～89歳	213 100.0	80 37.6	75 35.2	60 28.2	19 8.9	10 4.7	17 8.0	10 4.7	28 13.1	31 14.6	50 23.5	4 1.9
90歳以上	106 100.0	26 24.5	30 28.3	30 28.3	4 3.8	4 3.8	3 2.8	0 0.0	8 7.5	23 21.7	28 26.4	4 3.8
無回答	77 100.0	34 44.2	27 35.1	20 26.0	15 19.5	6 7.8	4 5.2	7 9.1	6 7.8	4 5.2	9 11.7	12 15.6
65～74歳	1,612 100.0	851 52.8	874 54.2	593 36.8	533 33.1	342 21.2	141 8.7	173 10.7	194 12.0	108 6.7	85 5.3	10 0.6
75歳以上	1,455 100.0	675 46.4	635 43.6	438 30.1	278 19.1	126 8.7	213 14.6	174 12.0	97 6.7	176 12.1	189 13.0	24 1.6

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯状況別にみると、「趣味・学習」、「運動・スポーツ」は夫婦のみの世帯で多くなっている。「子や孫の世話などご家族との団らん」は、その他世帯で40.5%と多く、ひとり暮らし(特養などに入所含む)で17.6%と少なくなっている。

	調査数	友人・知人とのつきあいなど	趣味・学習	子や孫の世話などご家族との団らん	運動・スポーツ	仕事・就労	町内会・自治会・子供会などの活動	ボランティア活動	老人クラブの活動	その他	特にない	無回答
全体	3,144 100.0	1,560 49.6	1,536 48.9	1,051 33.4	826 26.3	474 15.1	351 11.2	298 9.5	280 8.9	288 9.2	363 11.5	46 1.5
ひとり暮らし(特養などに入所含む。)	477 100.0	249 52.2	210 44.0	84 17.6	99 20.8	50 10.5	48 10.1	31 6.5	48 10.1	59 12.4	70 14.7	3 0.6
夫婦のみ(ともに65歳以上)	1,194 100.0	633 53.0	651 54.5	412 34.5	375 31.4	185 15.5	160 13.4	146 12.2	115 9.6	93 7.8	112 9.4	9 0.8
夫婦のみ(どちらかが65歳以上)	187 100.0	73 39.0	106 56.7	66 35.3	67 35.8	52 27.8	13 7.0	18 9.6	8 4.3	10 5.3	18 9.6	3 1.6
上記以外で全員が65歳以上の世帯	89 100.0	35 39.3	36 40.4	23 25.8	20 22.5	13 14.6	7 7.9	4 4.5	3 3.4	9 10.1	14 15.7	2 2.2
その他世帯	1,075 100.0	520 48.4	496 46.1	435 40.5	247 23.0	163 15.2	110 10.2	91 8.5	87 8.1	109 10.1	131 12.2	11 1.0
無回答	122 100.0	50 41.0	37 30.3	31 25.4	18 14.8	11 9.0	13 10.7	8 6.6	19 15.6	8 6.6	18 14.8	18 14.8

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 健康状態別にみると、楽しさや生きがいを感じる具体的な活動内容への回答は、概ね健康状態がよくなるにしたがって多くなっている。一方、「特にない」は、健康状態が悪くなるにしたがって多くなっている。

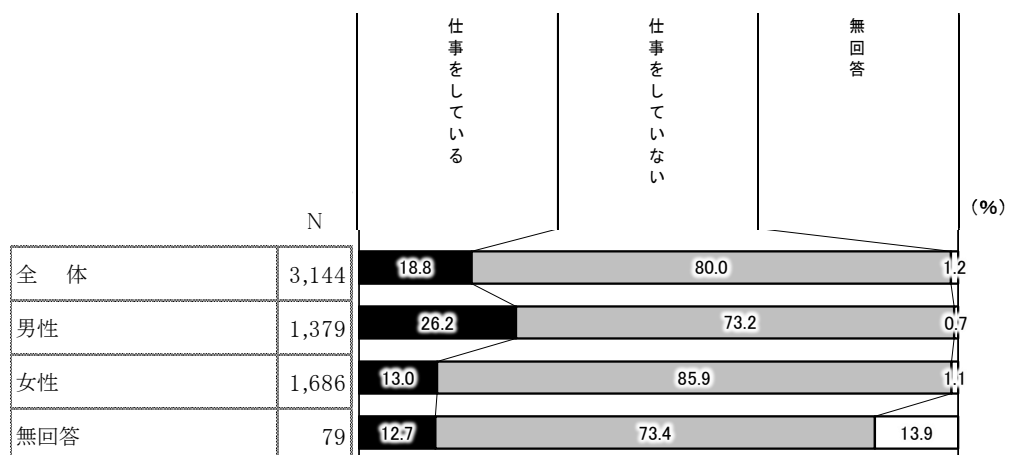
	調査数	友人・知人とのつきあいなど	趣味・学習	子や孫の世話などご家族との団らん	運動・スポーツ	仕事・就労	町内会・自治会・子供会などの活動	ボランティア活動	老人クラブの活動	その他	特にない	無回答
全体	3,144 100.0	1,560 49.6	1,536 48.9	1,051 33.4	826 26.3	474 15.1	351 11.2	298 9.5	280 8.9	288 9.2	363 11.5	46 1.5
とても健康	344 100.0	212 61.6	200 58.1	138 40.1	149 43.3	88 25.6	47 13.7	48 14.0	36 10.5	36 10.5	10 2.9	1 0.3
まあまあ健康	1,996 100.0	1,080 54.1	1,077 54.0	710 35.6	608 30.5	332 16.6	263 13.2	223 11.2	191 9.6	155 7.8	151 7.6	14 0.7
あまり健康ではない	499 100.0	187 37.5	179 35.9	138 27.7	45 9.0	39 7.8	30 6.0	20 4.0	34 6.8	56 11.2	116 23.2	9 1.8
健康ではない	263 100.0	70 26.6	69 26.2	57 21.7	16 6.1	12 4.6	7 2.7	5 1.9	16 6.1	40 15.2	82 31.2	6 2.3
無回答	42 100.0	11 26.2	11 26.2	8 19.0	8 19.0	3 7.1	4 9.5	2 4.8	3 7.1	1 2.4	4 9.5	16 38.1

(上段:実数、下段:%)

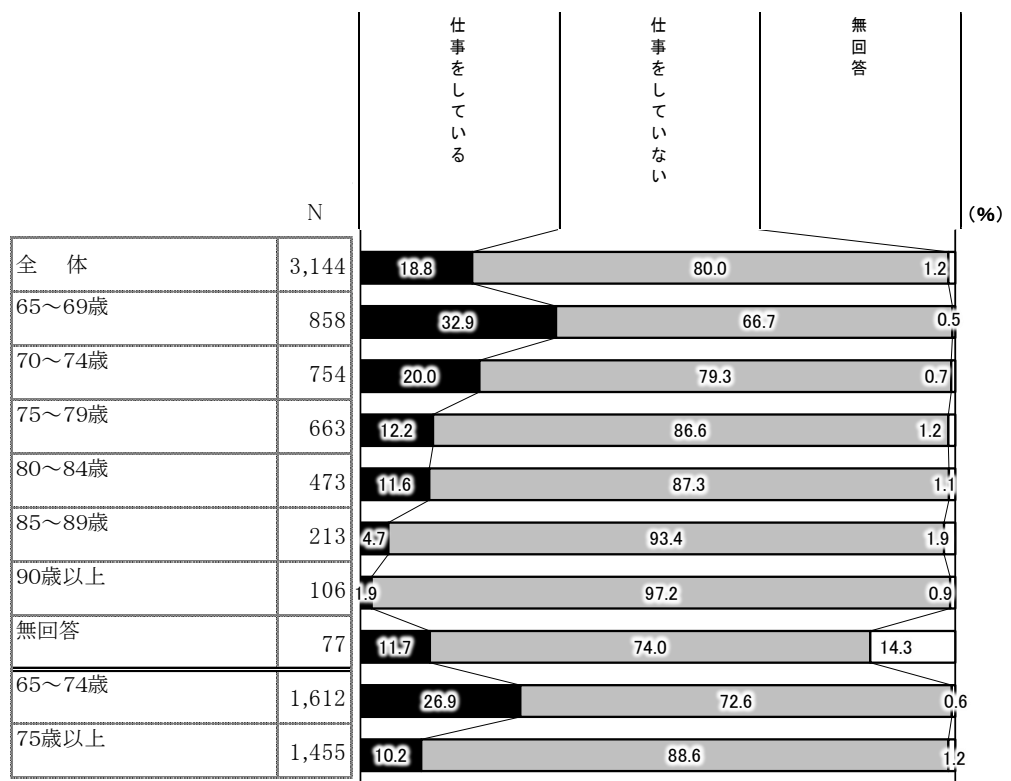
## 4 仕事について

### (1) 現在の仕事の有無

- ◆ 性別にみると、「仕事をしている」は女性 (13.0%) に比べて男性 (26.2%) で多くなっている。

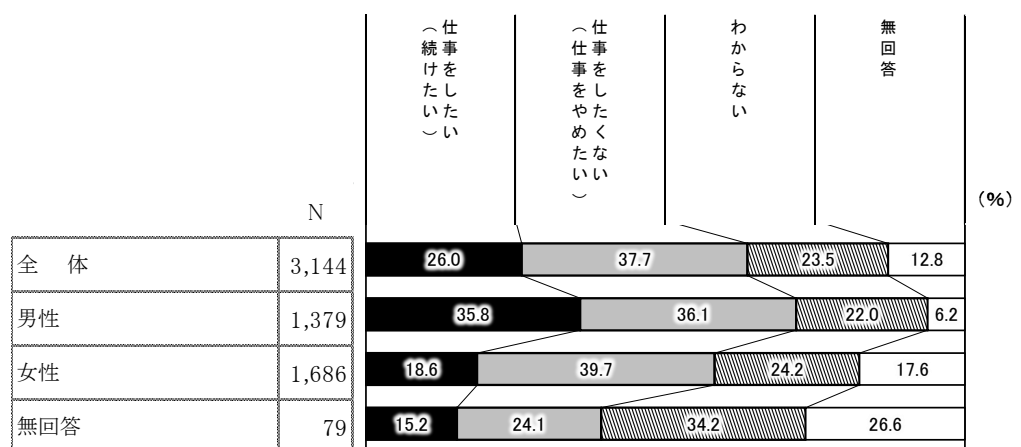


◆ 年齢別にみると、年齢が低くなるにしたがって「仕事をしている」が多くなっている。

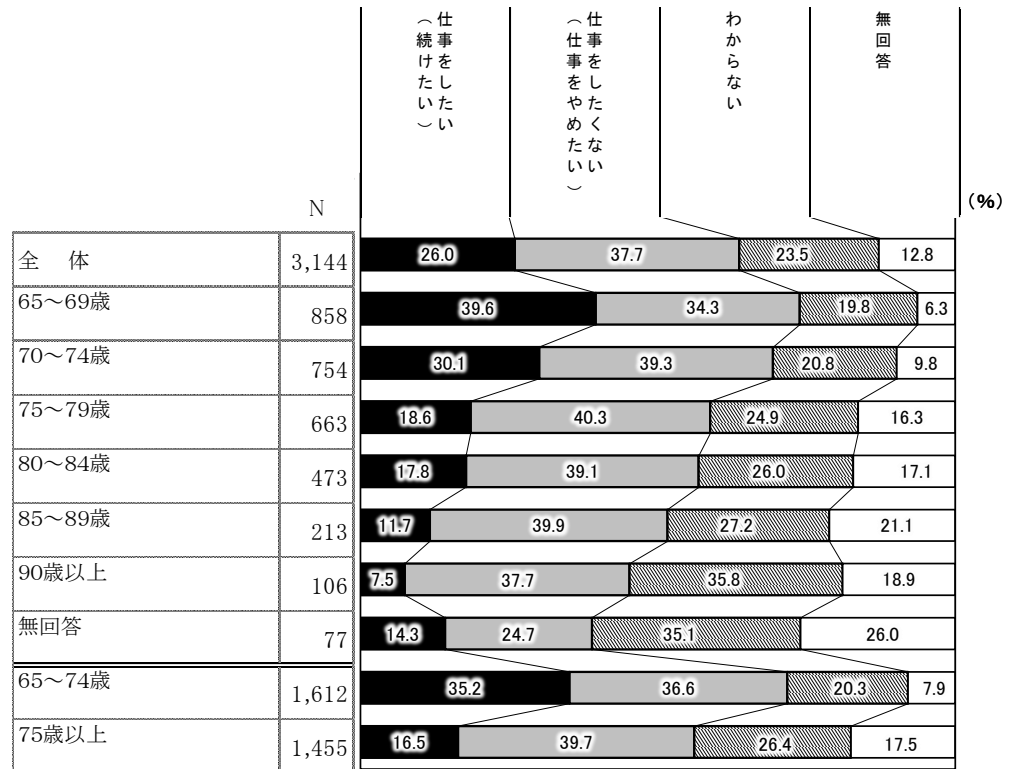


## (2) 今後の仕事の意向

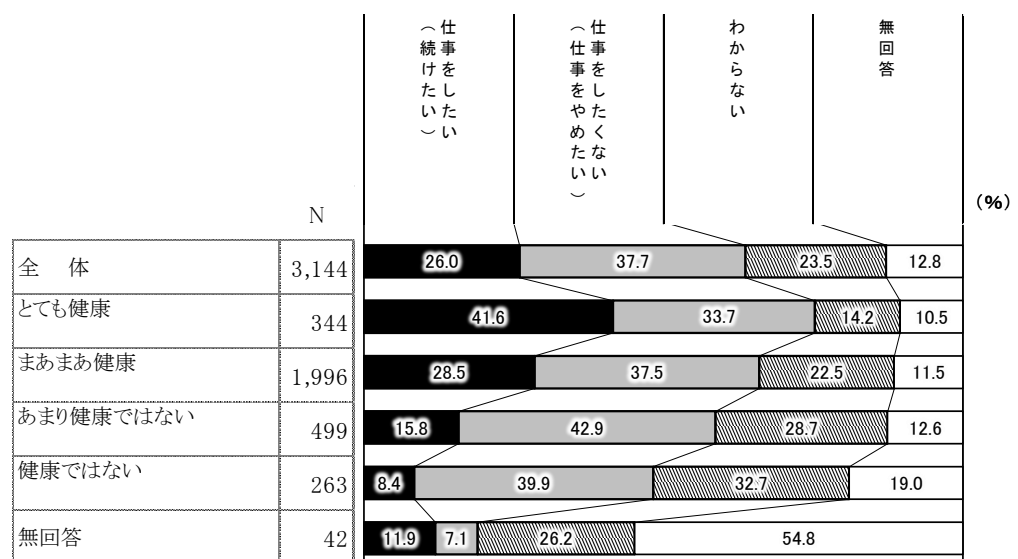
◆ 性別にみると、「仕事をしたい（続けたい）」は女性（18.6%）に比べて男性（35.8%）で多くなっている。



- ◆ 年齢別にみると、年齢が低くなるにしたがって「仕事をしたい（続けたい）」が多くなっており、65～69歳では39.6%となっている。



- ◆ 健康状態別にみると、健康状態がよくなるにしたがって「仕事をしたい（続けたい）」が多くなっており、とても健康では41.6%となっている。



## 5 社会参加の状況と社会貢献について

### (1) 社会参加の状況

- ◆ 性別にみると、「趣味関係のグループ」は男性（24.3%）に比べて女性（31.7%）で多くなっている。

	調査数	趣味関係のグループ	スポーツ関係のグループ	町内会・自治会	その他の団体や会	老人クラブ	学習・教養サークル	（高齢者福祉のボランティアなど） （家事手伝い、見守り活動など）	子育て支援、地域の安全、環境の保全など「1.高齢者福祉」以外のボランティア	特に参加していない	無回答
全体	3,144 100.0	888 28.2	505 16.1	442 14.1	307 9.8	251 8.0	250 8.0	112 3.6	106 3.4	1,471 46.8	100 3.2
男性	1,379 100.0	335 24.3	234 17.0	227 16.5	152 11.0	93 6.7	94 6.8	48 3.5	52 3.8	673 48.8	27 2.0
女性	1,686 100.0	534 31.7	263 15.6	209 12.4	152 9.0	150 8.9	150 8.9	60 3.6	52 3.1	766 45.4	59 3.5
無回答	79 100.0	19 24.1	8 10.1	6 7.6	3 3.8	8 10.1	6 7.6	4 5.1	2 2.5	32 40.5	14 17.7

（上段：実数、下段：%）

- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって、社会参加が多くなっている。

	調査数	趣味関係のグループ	スポーツ関係のグループ	町内会・自治会	その他の団体や会	老人クラブ	学習・教養サークル	（高齢者福祉のボランティアなど） （家事手伝い、見守り活動など）	子育て支援、地域の安全、環境の保全など「1.高齢者福祉」以外のボランティア	特に参加していない	無回答
全体	3,144 100.0	888 28.2	505 16.1	442 14.1	307 9.8	251 8.0	250 8.0	112 3.6	106 3.4	1,471 46.8	100 3.2
65～69歳	858 100.0	247 28.8	157 18.3	111 12.9	91 10.6	16 1.9	64 7.5	31 3.6	38 4.4	411 47.9	16 1.9
70～74歳	754 100.0	257 34.1	157 20.8	134 17.8	96 12.7	57 7.6	76 10.1	32 4.2	38 5.0	303 40.2	16 2.1
75～79歳	663 100.0	198 29.9	111 16.7	94 14.2	52 7.8	67 10.1	47 7.1	24 3.6	13 2.0	295 44.5	23 3.5
80～84歳	473 100.0	120 25.4	55 11.6	79 16.7	42 8.9	72 15.2	48 10.1	18 3.8	9 1.9	232 49.0	12 2.5
85～89歳	213 100.0	36 16.9	16 7.5	19 8.9	18 8.5	27 12.7	8 3.8	3 1.4	6 2.8	120 56.3	13 6.1
90歳以上	106 100.0	11 10.4	2 1.9	0 0.0	5 4.7	5 4.7	1 0.9	0 0.0	0 0.0	80 75.5	5 4.7
無回答	77 100.0	19 24.7	7 9.1	5 6.5	3 3.9	7 9.1	6 7.8	4 5.2	2 2.6	30 39.0	15 19.5
65～74歳	1,612 100.0	504 31.3	314 19.5	245 15.2	187 11.6	73 4.5	140 8.7	63 3.9	76 4.7	714 44.3	32 2.0
75歳以上	1,455 100.0	365 25.1	184 12.6	192 13.2	117 8.0	171 11.8	104 7.1	45 3.1	28 1.9	727 50.0	53 3.6

（上段：実数、下段：%）

◆ 世帯の年間総収入額別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	趣味関係のグループ	プスポーツ関係のグループ	町内会・自治会	その他の団体や会	老人クラブ	学習・教養サークル	高齢者福祉のボランティア（家事手伝い、見守り活動など）	子育て支援、地域の安全、環境の保全など（1.高齢者福祉以外のボランティア）	特に参加していない	無回答
全体	3,144 100.0	888 28.2	505 16.1	442 14.1	307 9.8	251 8.0	250 8.0	112 3.6	106 3.4	1,471 46.8	100 3.2
50万円未満	51 100.0	11 21.6	5 9.8	7 13.7	3 5.9	4 7.8	3 5.9	0 0.0	0 0.0	28 54.9	1 2.0
50万円～100万円未満	122 100.0	19 15.6	13 10.7	15 12.3	3 2.5	12 9.8	5 4.1	5 4.1	3 2.5	74 60.7	5 4.1
100万円～200万円未満	465 100.0	105 22.6	58 12.5	64 13.8	39 8.4	34 7.3	34 7.3	14 3.0	8 1.7	247 53.1	19 4.1
200万円～300万円未満	769 100.0	215 28.0	128 16.6	114 14.8	71 9.2	59 7.7	61 7.9	34 4.4	24 3.1	362 47.1	23 3.0
300万円～400万円未満	607 100.0	206 33.9	125 20.6	105 17.3	69 11.4	52 8.6	67 11.0	23 3.8	33 5.4	247 40.7	9 1.5
400万円～500万円未満	326 100.0	119 36.5	64 19.6	49 15.0	33 10.1	30 9.2	26 8.0	10 3.1	15 4.6	125 38.3	6 1.8
500万円～600万円未満	180 100.0	64 35.6	37 20.6	29 16.1	23 12.8	12 6.7	22 12.2	9 5.0	12 6.7	74 41.1	3 1.7
600万円～700万円未満	97 100.0	33 34.0	15 15.5	12 12.4	13 13.4	8 8.2	4 4.1	2 2.1	2 2.1	40 41.2	3 3.1
700万円～1,000万円未満	105 100.0	35 33.3	21 20.0	12 11.4	15 14.3	4 3.8	4 3.8	3 2.9	3 2.9	49 46.7	1 1.0
1,000万円以上	72 100.0	19 26.4	14 19.4	11 15.3	13 18.1	3 4.2	5 6.9	4 5.6	3 4.2	31 43.1	2 2.8
わからない	216 100.0	31 14.4	13 6.0	14 6.5	15 6.9	21 9.7	9 4.2	4 1.9	1 0.5	136 63.0	7 3.2
無回答	134 100.0	31 23.1	12 9.0	10 7.5	10 7.5	12 9.0	10 7.5	4 3.0	2 1.5	58 43.3	21 15.7

(上段:実数、下段:%)

◆ 健康状態別にみると、概ね健康状態がよくなるにしたがって、社会参加が多くなっている。

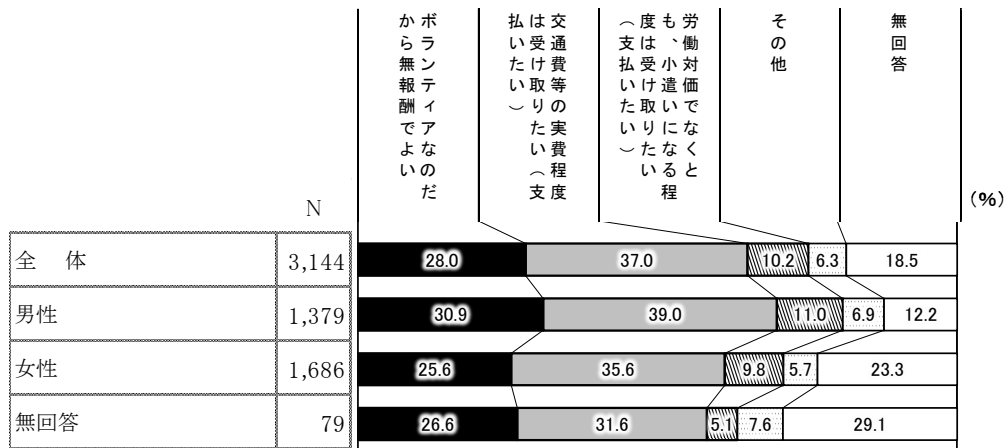
	調査数	趣味関係のグループ	プスポーツ関係のグループ	町内会・自治会	その他の団体や会	老人クラブ	学習・教養サークル	高齢者福祉のボランティア（家事手伝い、見守り活動など）	子育て支援、地域の安全、環境の保全など（1.高齢者福祉以外のボランティア）	特に参加していない	無回答
全体	3,144 100.0	888 28.2	505 16.1	442 14.1	307 9.8	251 8.0	250 8.0	112 3.6	106 3.4	1,471 46.8	100 3.2
とても健康	344 100.0	145 42.2	96 27.9	59 17.2	27 7.8	33 9.6	44 12.8	23 6.7	13 3.8	125 36.3	8 2.3
まあまあ健康	1,996 100.0	621 31.1	370 18.5	323 16.2	233 11.7	169 8.5	177 8.9	73 3.7	82 4.1	831 41.6	47 2.4
あまり健康ではない	499 100.0	92 18.4	23 4.6	38 7.6	35 7.0	34 6.8	22 4.4	10 2.0	8 1.6	311 62.3	17 3.4
健康ではない	263 100.0	23 8.7	9 3.4	16 6.1	9 3.4	9 3.4	7 2.7	6 2.3	2 0.8	186 70.7	22 8.4
無回答	42 100.0	7 16.7	7 16.7	6 14.3	3 7.1	6 14.3	0 0.0	0 0.0	1 2.4	18 42.9	6 14.3

(上段:実数、下段:%)

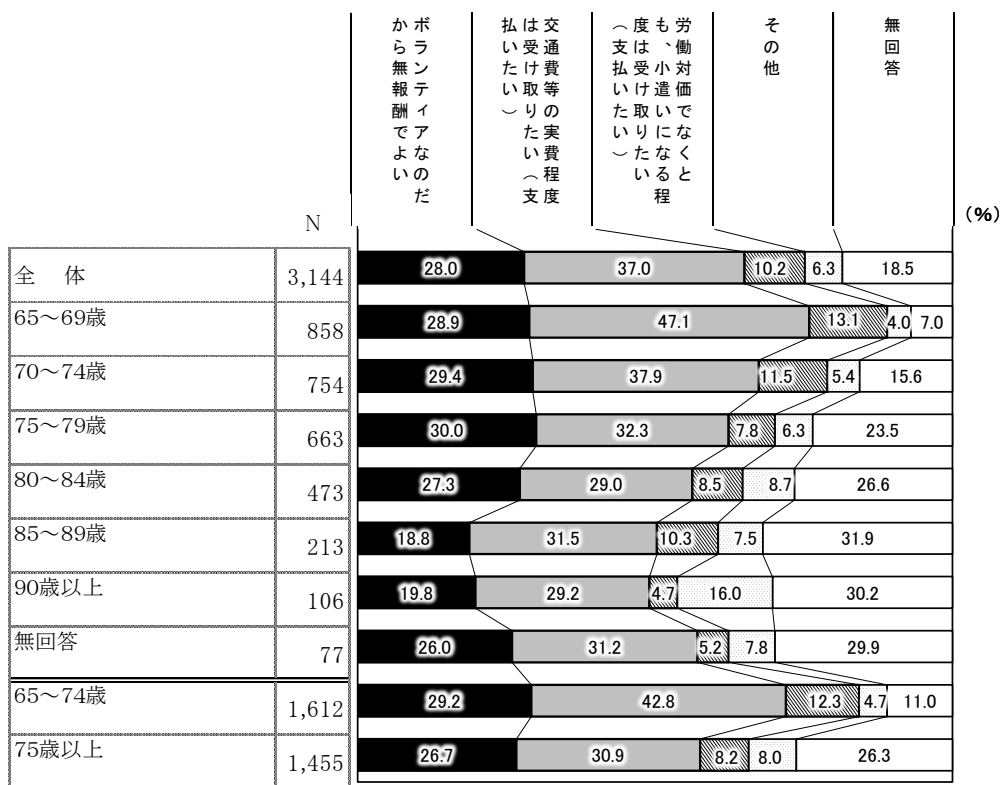


(2) ボランティアの報酬についての考え方

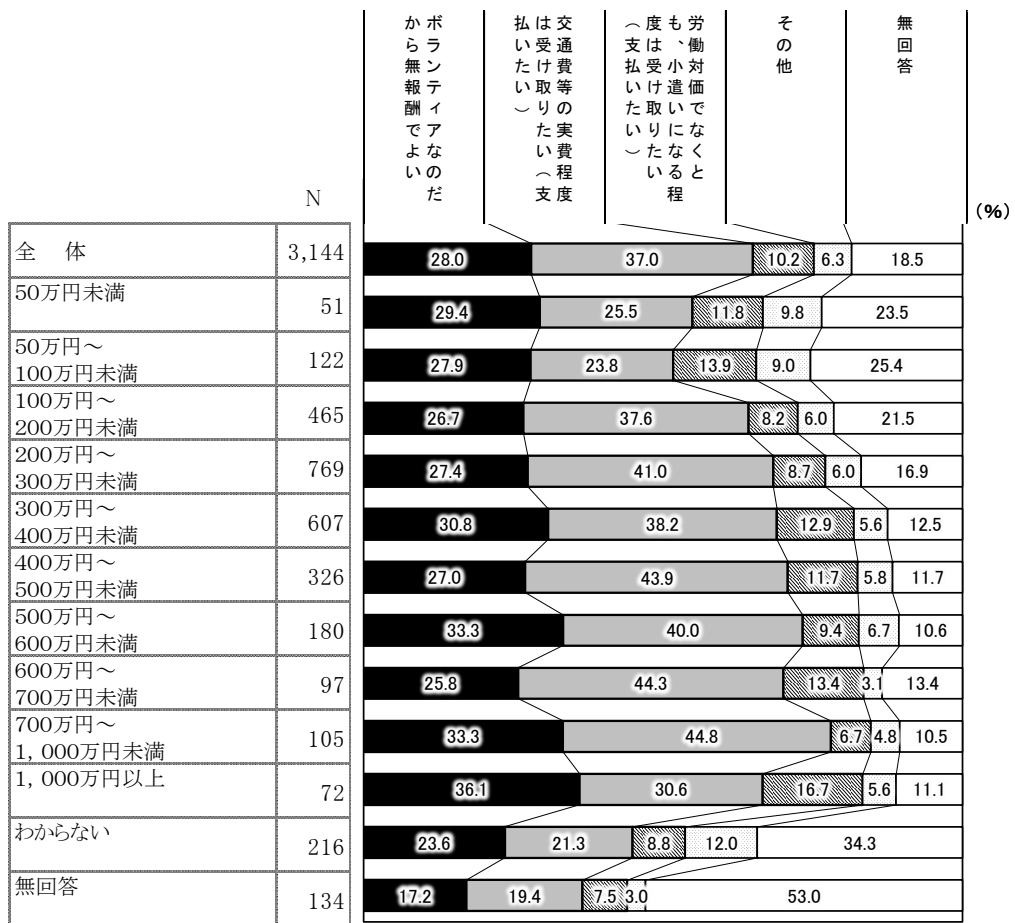
◆ 性別にみると、大きな差はみられない。



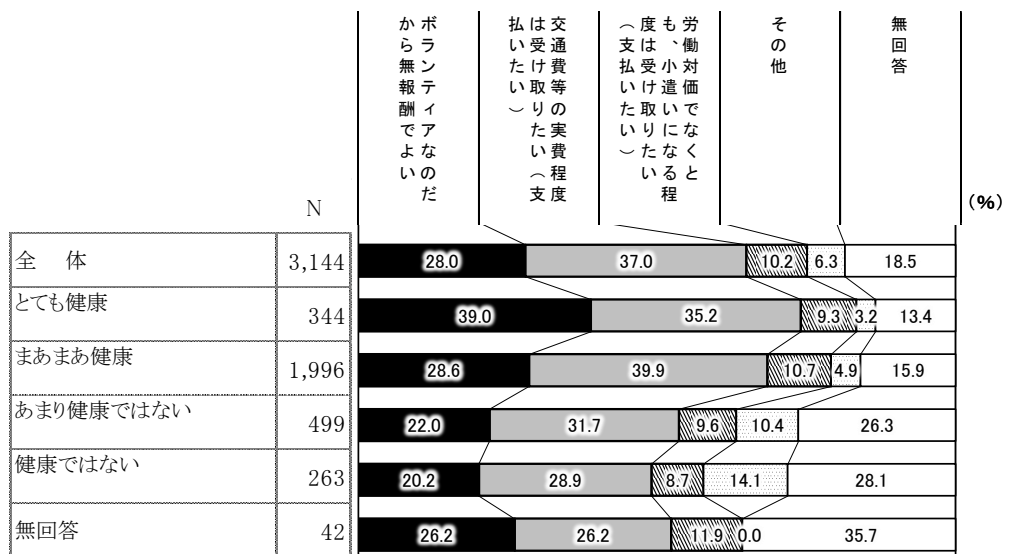
◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「交通費等の実費程度は受け取りたい(支払いたい)」、「労働対価でなくとも、小遣いになる程度は受け取りたい(支払いたい)」が多くなっている。



◆ 世帯の年間総収入額別にみると、大きな差はみられない。



◆ 健康状態別にみると、健康状態がよくなるにしたがって「ボランティアなので無報酬でよい」が多くなっている。



## (3) 地域社会に貢献できると思うこと

- ◆ 性別にみると、ほとんどの項目において男性が女性を上回っているが、中でも「仕事」が9.7ポイントと大きく上回っている。

	調査数	ボランティア活動	町内会・地区社会福祉協議会などの地域活動	加老人クラブでの社会参加	仕事	特に何もする考えはない	わからない	その他	無回答
全体	3,144 100.0	630 20.0	629 20.0	402 12.8	400 12.7	979 31.1	427 13.6	81 2.6	220 7.0
男性	1,379 100.0	294 21.3	327 23.7	178 12.9	250 18.1	406 29.4	170 12.3	22 1.6	62 4.5
女性	1,686 100.0	321 19.0	291 17.3	213 12.6	141 8.4	547 32.4	249 14.8	58 3.4	144 8.5
無回答	79 100.0	15 19.0	11 13.9	11 13.9	9 11.4	26 32.9	8 10.1	1 1.3	14 17.7

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「ボランティア活動」、「町内会・地区社会福祉協議会などの地域活動」、「仕事」が多くなっている。

	調査数	ボランティア活動	町内会・地区社会福祉協議会などの地域活動	加老人クラブでの社会参加	仕事	特に何もする考えはない	わからない	その他	無回答
全体	3,144 100.0	630 20.0	629 20.0	402 12.8	400 12.7	979 31.1	427 13.6	81 2.6	220 7.0
65～69歳	858 100.0	255 29.7	200 23.3	71 8.3	189 22.0	203 23.7	118 13.8	13 1.5	25 2.9
70～74歳	754 100.0	195 25.9	181 24.0	100 13.3	118 15.6	198 26.3	103 13.7	11 1.5	32 4.2
75～79歳	663 100.0	103 15.5	134 20.2	107 16.1	52 7.8	226 34.1	73 11.0	25 3.8	58 8.7
80～84歳	473 100.0	47 9.9	81 17.1	81 17.1	28 5.9	183 38.7	63 13.3	13 2.7	49 10.4
85～89歳	213 100.0	13 6.1	19 8.9	26 12.2	5 2.3	95 44.6	39 18.3	5 2.3	30 14.1
90歳以上	106 100.0	3 2.8	4 3.8	7 6.6	0 0.0	48 45.3	22 20.8	13 12.3	14 13.2
無回答	77 100.0	14 18.2	10 13.0	10 13.0	8 10.4	26 33.8	9 11.7	1 1.3	12 15.6
65～74歳	1,612 100.0	381 23.6	450 27.9	171 10.6	307 19.0	401 24.9	221 13.7	24 1.5	57 3.5
75歳以上	1,455 100.0	238 16.4	166 11.4	221 15.2	85 5.8	552 37.9	197 13.5	56 3.8	151 10.4

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯の年間総収入額別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	ボランティア活動	町内会・地区社会福祉協議会などの地域活動	加老人クラブでの社会参加	仕事	い特に何もする考えはない	わからない	その他	無回答
全体	3,144 100.0	630 20.0	629 20.0	402 12.8	400 12.7	979 31.1	427 13.6	81 2.6	220 7.0
50万円未満	51 100.0	3 5.9	5 9.8	8 15.7	5 9.8	13 25.5	12 23.5	2 3.9	5 9.8
50万円～100万円未満	122 100.0	15 12.3	15 12.3	16 13.1	17 13.9	42 34.4	18 14.8	2 1.6	14 11.5
100万円～200万円未満	465 100.0	76 16.3	81 17.4	51 11.0	57 12.3	162 34.8	71 15.3	12 2.6	31 6.7
200万円～300万円未満	769 100.0	149 19.4	160 20.8	92 12.0	85 11.1	255 33.2	118 15.3	19 2.5	35 4.6
300万円～400万円未満	607 100.0	158 26.0	147 24.2	91 15.0	73 12.0	173 28.5	67 11.0	18 3.0	30 4.9
400万円～500万円未満	326 100.0	71 21.8	66 20.2	51 15.6	40 12.3	108 33.1	38 11.7	6 1.8	17 5.2
500万円～600万円未満	180 100.0	50 27.8	51 28.3	27 15.0	27 15.0	47 26.1	21 11.7	7 3.9	4 2.2
600万円～700万円未満	97 100.0	23 23.7	25 25.8	15 15.5	33 34.0	20 20.6	12 12.4	2 2.1	2 2.1
700万円～1,000万円未満	105 100.0	28 26.7	24 22.9	12 11.4	20 19.0	31 29.5	10 9.5	2 1.9	4 3.8
1,000万円以上	72 100.0	14 19.4	14 19.4	6 8.3	25 34.7	14 19.4	8 11.1	0 0.0	5 6.9
わからない	216 100.0	25 11.6	23 10.6	20 9.3	11 5.1	78 36.1	36 16.7	9 4.2	35 16.2
無回答	134 100.0	18 13.4	18 13.4	13 9.7	7 5.2	36 26.9	16 11.9	2 1.5	38 28.4

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 健康状態別にみると、健康状態がよくなるにしたがって、地域社会に貢献できると思うことが多くなっている。

	調査数	ボランティア活動	町内会・地区社会福祉協議会などの地域活動	加老人クラブでの社会参加	仕事	い特に何もする考えはない	わからない	その他	無回答
全体	3,144 100.0	630 20.0	629 20.0	402 12.8	400 12.7	979 31.1	427 13.6	81 2.6	220 7.0
とても健康	344 100.0	66 19.2	109 31.7	67 19.5	91 26.5	82 23.8	33 9.6	4 1.2	11 3.2
まあまあ健康	1,996 100.0	285 14.3	448 22.4	269 13.5	462 23.1	552 27.7	252 12.6	37 1.9	126 6.3
あまり健康ではない	499 100.0	34 6.8	50 10.0	41 8.2	51 10.2	221 44.3	79 15.8	24 4.8	42 8.4
健康ではない	263 100.0	10 3.8	17 6.5	17 6.5	18 6.8	113 43.0	56 21.3	15 5.7	35 13.3
無回答	42 100.0	5 11.9	6 14.3	8 19.0	7 16.7	11 26.2	7 16.7	1 2.4	6 14.3

(上段:実数、下段:%)

## (4) 地域社会に貢献できると思う理由

- ◆ 性別にみると、「年齢・性別を問わず、いろいろな人達と関わりを持ちたい」は男性に比べて女性で多く、「地域や社会に貢献したい」は女性に比べて男性で多くなっている。

	調査数	自分自身が生きがいを感じたい	年齢・性別を問わず、いろいろな人達と関わりを持ちたい	地域や社会に貢献したい	生活（収入）のため	その他	無回答
全体	1,437 100.0	922 64.2	788 54.8	716 49.8	262 18.2	25 1.7	29 2.0
男性	719 100.0	445 61.9	340 47.3	417 58.0	159 22.1	15 2.1	13 1.8
女性	688 100.0	459 66.7	432 62.8	288 41.9	98 14.2	10 1.5	15 2.2
無回答	30 100.0	18 60.0	16 53.3	11 36.7	5 16.7	0 0.0	1 3.3

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別では、84歳までの中で見ると、年齢が低くなるにしたがって「生活（収入）のため」が多くなっている。なお、85歳以上はサンプル数が少ないため、参考値として参照されたい。

	調査数	自分自身が生きがいを感じたい	年齢・性別を問わず、いろいろな人達と関わりを持ちたい	地域や社会に貢献したい	生活（収入）のため	その他	無回答
全体	1,437 100.0	922 64.2	788 54.8	716 49.8	262 18.2	25 1.7	29 2.0
65～69歳	499 100.0	323 64.7	257 51.5	252 50.5	140 28.1	7 1.4	6 1.2
70～74歳	410 100.0	261 63.7	235 57.3	204 49.8	80 19.5	7 1.7	10 2.4
75～79歳	281 100.0	181 64.4	152 54.1	133 47.3	24 8.5	6 2.1	4 1.4
80～84歳	165 100.0	106 64.2	98 59.4	89 53.9	12 7.3	5 3.0	6 3.6
85～89歳	44 100.0	29 65.9	28 63.6	23 52.3	2 4.5	0 0.0	2 4.5
90歳以上	9 100.0	5 55.6	3 33.3	5 55.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	29 100.0	17 58.6	15 51.7	10 34.5	4 13.8	0 0.0	1 3.4
65～74歳	909 100.0	584 64.2	492 54.1	456 50.2	220 24.2	14 1.5	16 1.8
75歳以上	499 100.0	321 64.3	281 56.3	250 50.1	38 7.6	11 2.2	12 2.4

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯の年間総収入額別では、100万円～1,000万円未満の中でみると、概ね年収が高くなるにしたがって「地域や社会に貢献したい」が多くなっている。

	調査数	自分自身が 感じたい 生きがいを	年齢・性別を 問わず、 いろいろな 人達と関わり を持ちたい	地域や社会に 貢献した	生活（収入） のため	その他	無回答
全体	1,437 100.0	922 64.2	788 54.8	716 49.8	262 18.2	25 1.7	29 2.0
50万円未満	19 100.0	7 36.8	6 31.6	3 15.8	4 21.1	0 0.0	3 15.8
50万円～ 100万円未満	46 100.0	24 52.2	26 56.5	16 34.8	16 34.8	1 2.2	0 0.0
100万円～ 200万円未満	189 100.0	115 60.8	105 55.6	78 41.3	38 20.1	4 2.1	5 2.6
200万円～ 300万円未満	342 100.0	214 62.6	186 54.4	158 46.2	57 16.7	10 2.9	2 0.6
300万円～ 400万円未満	319 100.0	213 66.8	187 58.6	183 57.4	50 15.7	0 0.0	7 2.2
400万円～ 500万円未満	157 100.0	113 72.0	83 52.9	92 58.6	27 17.2	0 0.0	2 1.3
500万円～ 600万円未満	101 100.0	69 68.3	58 57.4	64 63.4	14 13.9	3 3.0	0 0.0
600万円～ 700万円未満	61 100.0	43 70.5	30 49.2	30 49.2	20 32.8	1 1.6	0 0.0
700万円～ 1,000万円未満	58 100.0	32 55.2	30 51.7	37 63.8	14 24.1	2 3.4	3 5.2
1,000万円以上	45 100.0	34 75.6	21 46.7	25 55.6	13 28.9	2 4.4	2 4.4
わからない	58 100.0	35 60.3	36 62.1	14 24.1	5 8.6	1 1.7	1 1.7
無回答	42 100.0	23 54.8	20 47.6	16 38.1	4 9.5	1 2.4	4 9.5

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 健康状態別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	自分自身が 感じたい 生きがいを	年齢・性別を 問わず、 いろいろな 人達と関わり を持ちたい	地域や社会に 貢献した	生活（収入） のため	その他	無回答
全体	1,437 100.0	922 64.2	788 54.8	716 49.8	262 18.2	25 1.7	29 2.0
とても健康	214 100.0	150 70.1	125 58.4	109 50.9	47 22.0	5 2.3	5 2.3
まあまあ健康	1,029 100.0	657 63.8	562 54.6	512 49.8	180 17.5	14 1.4	21 2.0
あまり健康ではない	133 100.0	77 57.9	70 52.6	66 49.6	22 16.5	5 3.8	3 2.3
健康ではない	44 100.0	30 68.2	24 54.5	22 50.0	8 18.2	0 0.0	0 0.0
無回答	17 100.0	8 47.1	7 41.2	7 41.2	5 29.4	1 5.9	0 0.0

(上段:実数、下段:%)

## (5) 地域社会に特に何もする考えがない理由

- ◆ 性別にみると、「身体的な理由があり、活動できない」は男性に比べて女性で多く、「のんびり悠々自適に過ごしたい」は女性に比べて男性で多くなっている。

	調査数	活動できない理由があり、身体的な理由がない	のんびり悠々自適に過ごしたい	人づきあいが、わずらわしい	必要性を感じない	忙しくて時間がない	仕事や活動をする場所が分からない	その他	無回答
全体	979 100.0	477 48.7	309 31.6	216 22.1	119 12.2	97 9.9	55 5.6	54 5.5	17 1.7
男性	406 100.0	172 42.4	152 37.4	100 24.6	60 14.8	29 7.1	33 8.1	27 6.7	4 1.0
女性	547 100.0	290 53.0	154 28.2	114 20.8	58 10.6	63 11.5	21 3.8	25 4.6	12 2.2
無回答	26 100.0	15 57.7	3 11.5	2 7.7	1 3.8	5 19.2	1 3.8	2 7.7	1 3.8

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別では、89歳までの中で見ると、概ね年齢が高くなるにしたがって、「身体的な理由があり、活動できない」が多くなっている。一方、概ね年齢が低くなるにしたがって「のんびり悠々自適に過ごしたい」、「仕事や活動をする場所が分からない」が多くなっている。なお、90歳以上は、サンプル数が少ないため、参考値として参照されたい。

	調査数	活動できない理由があり、身体的な理由がない	のんびり悠々自適に過ごしたい	人づきあいが、わずらわしい	必要性を感じない	忙しくて時間がない	仕事や活動をする場所が分からない	その他	無回答
全体	979 100.0	477 48.7	309 31.6	216 22.1	119 12.2	97 9.9	55 5.6	54 5.5	17 1.7
65～69歳	203 100.0	63 31.0	96 47.3	64 31.5	28 13.8	25 12.3	19 9.4	7 3.4	2 1.0
70～74歳	198 100.0	72 36.4	68 34.3	62 31.3	27 13.6	32 16.2	18 9.1	10 5.1	4 2.0
75～79歳	226 100.0	124 54.9	60 26.5	32 14.2	19 8.4	21 9.3	10 4.4	9 4.0	6 2.7
80～84歳	183 100.0	116 63.4	53 29.0	33 18.0	25 13.7	9 4.9	5 2.7	10 5.5	2 1.1
85～89歳	95 100.0	57 60.0	22 23.2	20 21.1	13 13.7	3 3.2	2 2.1	9 9.5	0 0.0
90歳以上	48 100.0	30 62.5	7 14.6	3 6.3	6 12.5	2 4.2	0 0.0	7 14.6	2 4.2
無回答	26 100.0	15 57.7	3 11.5	2 7.7	1 3.8	5 19.2	1 3.8	2 7.7	1 3.8
65～74歳	401 100.0	135 33.7	164 40.9	126 31.4	55 13.7	57 14.2	37 9.2	17 4.2	6 1.5
75歳以上	552 100.0	327 59.2	142 25.7	88 15.9	63 11.4	35 6.3	17 3.1	35 6.3	10 1.8

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯の年間総収入額別では、500万円までの中でみると、年収が低くなるにしたがって「身体的な理由があり、活動できない」が多くなっている。一方、年収が高くなるにしたがって「のんびり悠々自適に過ごしたい」、「人づきあいが、わずらわしい」が多くなっている。なお、500万円以上はサンプル数が少ないため、参考値として参照されたい。

	調査数	身体的な理由があり、活動できない	のんびり悠々自適に過ごしたい	人づきあいが、わずらわしい	必要性を感じない	忙しくて時間がない	仕事や活動をする場所が分からない	その他	無回答
全体	979 100.0	477 48.7	309 31.6	216 22.1	119 12.2	97 9.9	55 5.6	54 5.5	17 1.7
50万円未満	13 100.0	8 61.5	2 15.4	0 0.0	2 15.4	1 7.7	1 7.7	0 0.0	1 7.7
50万円～100万円未満	42 100.0	23 54.8	8 19.0	8 19.0	3 7.1	7 16.7	0 0.0	2 4.8	2 4.8
100万円～200万円未満	162 100.0	87 53.7	40 24.7	31 19.1	24 14.8	14 8.6	11 6.8	11 6.8	4 2.5
200万円～300万円未満	255 100.0	134 52.5	73 28.6	62 24.3	29 11.4	20 7.8	19 7.5	13 5.1	2 0.8
300万円～400万円未満	173 100.0	84 48.6	59 34.1	38 22.0	22 12.7	20 11.6	12 6.9	11 6.4	1 0.6
400万円～500万円未満	108 100.0	38 35.2	46 42.6	32 29.6	11 10.2	14 13.0	4 3.7	4 3.7	0 0.0
500万円～600万円未満	47 100.0	17 36.2	22 46.8	13 27.7	7 14.9	6 12.8	2 4.3	3 6.4	0 0.0
600万円～700万円未満	20 100.0	9 45.0	7 35.0	3 15.0	2 10.0	5 25.0	1 5.0	2 10.0	0 0.0
700万円～1,000万円未満	31 100.0	12 38.7	16 51.6	7 22.6	6 19.4	2 6.5	1 3.2	1 3.2	1 3.2
1,000万円以上	14 100.0	4 28.6	5 35.7	2 14.3	3 21.4	1 7.1	1 7.1	1 7.1	1 7.1
わからない	78 100.0	41 52.6	22 28.2	14 17.9	9 11.5	4 5.1	3 3.8	5 6.4	3 3.8
無回答	36 100.0	20 55.6	9 25.0	6 16.7	1 2.8	3 8.3	0 0.0	1 2.8	2 5.6

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 健康状態別にみると、健康状態が悪くなるにしたがって「身体的な理由があり、活動できない」が多くなっている。一方、健康状態が良くなるにしたがって「のんびり悠々自適に過ごしたい」、「必要性を感じない」、「忙しくて時間がない」、「仕事や活動をする場所が分からない」が多くなっている。

	調査数	身体的な理由があり、活動できない	のんびり悠々自適に過ごしたい	人づきあいが、わずらわしい	必要性を感じない	忙しくて時間がない	仕事や活動をする場所が分からない	その他	無回答
全体	979 100.0	477 48.7	309 31.6	216 22.1	119 12.2	97 9.9	55 5.6	54 5.5	17 1.7
とても健康	82 100.0	7 8.5	41 50.0	19 23.2	16 19.5	19 23.2	7 8.5	5 6.1	2 2.4
まあまあ健康	552 100.0	188 34.1	224 40.6	146 26.4	78 14.1	64 11.6	39 7.1	34 6.2	9 1.6
あまり健康ではない	221 100.0	174 78.7	36 16.3	41 18.6	21 9.5	9 4.1	8 3.6	11 5.0	5 2.3
健康ではない	113 100.0	104 92.0	7 6.2	9 8.0	2 1.8	2 1.8	1 0.9	2 1.8	1 0.9
無回答	11 100.0	4 36.4	1 9.1	1 9.1	2 18.2	3 27.3	0 0.0	2 18.2	0 0.0

(上段:実数、下段:%)



## 6 日常生活について

## (1) 日常生活に対する不安

- ◆ 性別にみると、「ご自身やご家族の介護のこと」、「物忘れをすること」は男性に比べて女性で多くなっている。

	調査数	ご自身やご家族の健康のこと	ご自身やご家族の介護のこと	物忘れをすること	生活費のこと	火災や防犯のこと	住まいのこと	掃除や洗濯など家事のこと	食事のこと	ご家族との仲のこと	日常的な金銭管理のこと	仕事のこと	相談相手がないこと	その他	特に不安を感じることはないこと	無回答
全体	3,144 100.0	2,083 66.3	786 25.0	721 22.9	718 22.8	506 16.1	294 9.4	251 8.0	236 7.5	164 5.2	151 4.8	125 4.0	117 3.7	91 2.9	483 15.4	135 4.3
男性	1,379 100.0	928 67.3	315 22.8	249 18.1	330 23.9	203 14.7	118 8.6	74 5.4	105 7.6	63 4.6	58 4.2	76 5.5	53 3.8	34 2.5	225 16.3	63 4.6
女性	1,686 100.0	1,112 66.0	457 27.1	454 26.9	372 22.1	294 17.4	166 9.8	167 9.9	122 7.2	98 5.8	90 5.3	47 2.8	62 3.7	57 3.4	247 14.7	64 3.8
無回答	79 100.0	43 54.4	14 17.7	18 22.8	16 20.3	9 11.4	10 12.7	10 12.7	9 11.4	3 3.8	3 3.8	2 2.5	2 2.5	0 0.0	11 13.9	8 10.1

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって「物忘れをすること」、「食事のこと」が多くなっている。一方、概ね年齢が低くなるにしたがって「生活費のこと」が多くなっている。

	調査数	ご自身やご家族の健康のこと	ご自身やご家族の介護のこと	物忘れをすること	生活費のこと	火災や防犯のこと	住まいのこと	掃除や洗濯など家事のこと	食事のこと	ご家族との仲のこと	日常的な金銭管理のこと	仕事のこと	相談相手がないこと	その他	特に不安を感じることはないこと	無回答
全体	3,144 100.0	2,083 66.3	786 25.0	721 22.9	718 22.8	506 16.1	294 9.4	251 8.0	236 7.5	164 5.2	151 4.8	125 4.0	117 3.7	91 2.9	483 15.4	135 4.3
65～69歳	858 100.0	549 64.0	187 21.8	121 14.1	214 24.9	86 10.0	82 9.6	29 3.4	37 4.3	45 5.2	32 3.7	49 5.7	21 2.4	21 2.4	176 20.5	34 4.0
70～74歳	754 100.0	513 68.0	176 23.3	125 16.6	200 26.5	117 15.5	71 9.4	35 4.6	43 5.7	35 4.6	37 4.9	39 5.2	28 3.7	22 2.9	117 15.5	27 3.6
75～79歳	663 100.0	445 67.1	189 28.5	176 26.5	154 23.2	119 17.9	51 7.7	67 10.1	56 8.4	34 5.1	38 5.7	22 3.3	29 4.4	18 2.7	88 13.3	34 5.1
80～84歳	473 100.0	329 69.6	129 27.3	157 33.2	91 19.2	115 24.3	56 11.8	65 13.7	57 12.1	33 7.0	25 5.3	11 2.3	22 4.7	11 2.3	49 10.4	19 4.0
85～89歳	213 100.0	140 65.7	63 29.6	79 37.1	31 14.6	43 20.2	18 8.5	34 16.0	19 8.9	9 4.2	8 3.8	1 0.5	9 4.2	9 4.2	27 12.7	9 4.2
90歳以上	106 100.0	66 62.3	28 26.4	44 41.5	11 10.4	17 16.0	6 5.7	10 9.4	14 13.2	4 3.8	7 6.6	1 0.9	5 4.7	10 9.4	15 14.2	4 3.8
無回答	77 100.0	41 53.2	14 18.2	19 24.7	17 22.1	9 11.7	10 13.0	11 14.3	10 13.0	4 5.2	4 5.2	2 2.6	3 3.9	0 0.0	11 14.3	8 10.4
65～74歳	1,612 100.0	1,062 65.9	363 22.5	246 15.3	414 25.7	203 12.6	153 9.5	64 4.0	80 5.0	80 5.0	69 4.3	88 5.5	49 3.0	43 2.7	293 18.2	61 3.8
75歳以上	1,455 100.0	980 67.4	409 28.1	456 31.3	287 19.7	294 20.2	131 9.0	176 12.1	146 10.0	80 5.5	78 5.4	35 2.4	65 4.5	48 3.3	179 12.3	66 4.5

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯状況別にみると、「ご自身やご家族の介護のこと」は上記以外で全員が65歳以上の世帯で多く、「住まいのこと」、「掃除や洗濯など家事のこと」、「相談相手がいないこと」はひとり暮らし（特養などに入所含む）で多くなっている。

	調査数	のご自身やご家族の健康のこと	のご自身やご家族の介護のこと	物忘れをすること	生活費のこと	火災や防犯のこと	住まいのこと	掃除や洗濯など家事のこと	食事のこと	ご家族との仲のこと	と日常的な金銭管理のこと	仕事のこと	相談相手がいないこと	その他	は特に不安を感じることに	無回答
全体	3,144 100.0	2,083 66.3	786 25.0	721 22.9	718 22.8	506 16.1	294 9.4	251 8.0	236 7.5	164 5.2	151 4.8	125 4.0	117 3.7	91 2.9	483 15.4	135 4.3
ひとり暮らし(特養などに入所含む)	477 100.0	281 58.9	105 22.0	132 27.7	124 26.0	95 19.9	70 14.7	63 13.2	54 11.3	34 7.1	23 4.8	15 3.1	43 9.0	25 5.2	60 12.6	20 4.2
夫婦のみ(ともに65歳以上)	1,194 100.0	847 70.9	332 27.8	247 20.7	233 19.5	200 16.8	100 8.4	93 7.8	91 7.6	49 4.1	55 4.6	39 3.3	25 2.1	32 2.7	182 15.2	45 3.8
夫婦のみ(どちらかが65歳以上)	187 100.0	111 59.4	39 20.9	27 14.4	44 23.5	19 10.2	15 8.0	4 2.1	5 2.7	3 1.6	7 3.7	7 3.7	3 1.6	3 1.6	48 25.7	8 4.3
上記以外で全員が65歳以上の世帯	89 100.0	54 60.7	31 34.8	24 27.0	17 19.1	11 12.4	9 10.1	10 11.2	7 7.9	7 7.9	7 7.9	4 4.5	4 4.5	3 3.4	11 12.4	6 6.7
その他世帯	1,075 100.0	717 66.7	260 24.2	257 23.9	269 25.0	163 15.2	83 7.7	69 6.4	65 6.0	64 6.0	53 4.9	49 4.6	33 3.1	26 2.4	170 15.8	42 3.9
無回答	122 100.0	73 59.8	19 15.6	34 27.9	31 25.4	18 14.8	17 13.9	12 9.8	14 11.5	7 5.7	6 4.9	11 9.0	9 7.4	2 1.6	12 9.8	14 11.5

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯の年間総収入額別にみると、概ね年収が低くなるにしたがって「生活費のこと」、「住まいのこと」、「掃除や洗濯など家事のこと」、「食事のこと」が多くなっている。一方、概ね年収が高くなるにしたがって「特に不安を感じることはない」が多くなっている。

	調査数	のご自身やご家族の健康のこと	のご自身やご家族の介護のこと	物忘れをすること	生活費のこと	火災や防犯のこと	住まいのこと	掃除や洗濯など家事のこと	食事のこと	ご家族との仲のこと	と日常的な金銭管理のこと	仕事のこと	相談相手がいないこと	その他	は特に不安を感じることに	無回答
全体	3,144 100.0	2,083 66.3	786 25.0	721 22.9	718 22.8	506 16.1	294 9.4	251 8.0	236 7.5	164 5.2	151 4.8	125 4.0	117 3.7	91 2.9	483 15.4	135 4.3
50万円未満	51 100.0	33 64.7	7 13.7	11 21.6	14 27.5	4 7.8	8 15.7	3 5.9	4 7.8	3 5.9	4 7.8	3 5.9	3 5.9	2 3.9	5 9.8	1 2.0
50万円～100万円未満	122 100.0	70 57.4	24 19.7	35 28.7	63 51.6	24 19.7	18 14.8	17 13.9	18 14.8	5 4.1	8 6.6	11 9.0	6 4.9	7 5.7	11 9.0	7 5.7
100万円～200万円未満	465 100.0	300 64.5	130 28.0	121 26.0	190 40.9	88 18.9	61 13.1	50 10.8	54 11.6	27 5.8	24 5.2	19 4.1	32 6.9	17 3.7	49 10.5	17 3.7
200万円～300万円未満	769 100.0	552 71.8	245 31.9	173 22.5	182 23.7	139 18.1	77 10.0	62 8.1	58 7.5	40 5.2	46 6.0	32 4.2	22 2.9	25 3.3	92 12.0	27 3.5
300万円～400万円未満	607 100.0	412 67.9	133 21.9	123 20.3	109 18.0	101 16.6	50 8.2	34 5.6	34 5.6	27 4.4	21 3.5	15 2.5	18 3.0	14 2.3	105 17.3	23 3.8
400万円～500万円未満	326 100.0	223 68.4	80 24.5	68 20.9	44 13.5	49 15.0	22 6.7	27 8.3	20 6.1	12 3.7	16 4.9	14 4.3	5 1.5	4 1.2	61 18.7	13 4.0
500万円～600万円未満	180 100.0	118 65.6	42 23.3	38 21.1	28 15.6	26 14.4	9 5.0	12 6.7	11 6.1	5 2.8	4 2.2	9 5.0	3 1.7	4 2.2	40 22.2	6 3.3
600万円～700万円未満	97 100.0	63 64.9	19 19.6	26 26.8	10 10.3	12 12.4	2 2.1	5 5.2	3 3.1	3 3.1	2 2.1	4 4.1	0 0.0	3 3.1	28 28.9	2 2.1
700万円～1,000万円未満	105 100.0	71 67.6	27 25.7	17 16.2	7 6.7	12 11.4	2 1.9	1 1.0	2 1.9	9 8.6	3 2.9	5 4.8	2 1.9	2 1.9	21 20.0	2 1.9
1,000万円以上	72 100.0	43 59.7	12 16.7	17 23.6	3 4.2	8 11.1	5 6.9	3 4.2	4 5.6	4 5.6	3 4.2	4 5.6	1 1.4	0 0.0	18 25.0	3 4.2
わからない	216 100.0	129 59.7	42 19.4	66 30.6	48 22.2	35 16.2	23 10.6	22 10.2	17 7.9	23 10.6	15 6.9	6 2.8	16 7.4	10 4.6	41 19.0	6 2.8
無回答	134 100.0	69 51.5	25 18.7	26 19.4	20 14.9	8 6.0	17 12.7	15 11.2	11 8.2	6 4.5	5 3.7	3 2.2	9 6.7	3 2.2	12 9.0	28 20.9

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 健康状態別にみると、概ね健康状態が悪くなるにしたがって、不安を感じるとの回答が多くなっている。

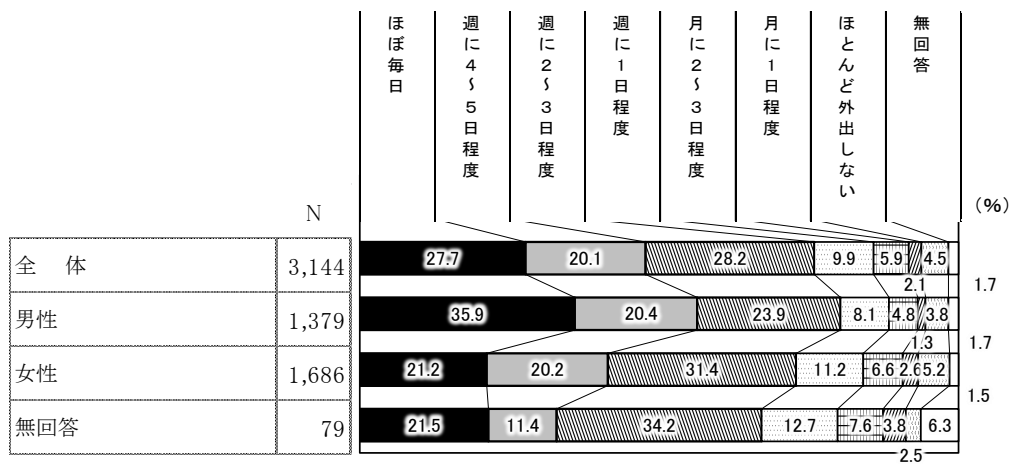
	調査数	ご自身やご家族の健康のこと	ご自身やご家族の介護のこと	物忘れをすること	生活費のこと	火災や防犯のこと	住まいのこと	掃除や洗濯など家事のこと	食事のこと	ご家族との仲のこと	日常的な金銭管理のこと	仕事のこと	相談相手がいないこと	その他	特にな不安を感じることに	無回答
全体	3,144 100.0	2,083 66.3	786 25.0	721 22.9	718 22.8	506 16.1	294 9.4	251 8.0	236 7.5	164 5.2	151 4.8	125 4.0	117 3.7	91 2.9	483 15.4	135 4.3
とても健康	344 100.0	162 47.1	50 14.5	44 12.8	70 20.3	38 11.0	24 7.0	7 2.0	13 3.8	9 2.6	15 4.4	15 4.4	7 2.0	8 2.3	110 32.0	14 4.1
まあまあ健康	1,996 100.0	1,309 65.6	446 22.3	436 21.8	412 20.6	315 15.8	156 7.8	104 5.2	102 5.1	97 4.9	86 4.3	81 4.1	69 3.5	46 2.3	333 16.7	85 4.3
あまり健康ではない	499 100.0	387 77.6	175 35.1	148 29.7	144 28.9	96 19.2	67 13.4	82 16.4	68 13.6	32 6.4	30 6.0	15 3.0	23 4.6	22 4.4	26 5.2	22 4.4
健康ではない	263 100.0	198 75.3	105 39.9	81 30.8	81 30.8	47 17.9	37 14.1	54 20.5	46 17.5	24 9.1	17 6.5	10 3.8	15 5.7	15 5.7	9 3.4	11 4.2
無回答	42 100.0	27 64.3	10 23.8	12 28.6	11 26.2	10 23.8	10 23.8	4 9.5	7 16.7	2 4.8	3 7.1	4 9.5	3 7.1	0 0.0	5 11.9	3 7.1

(上段:実数、下段:%)

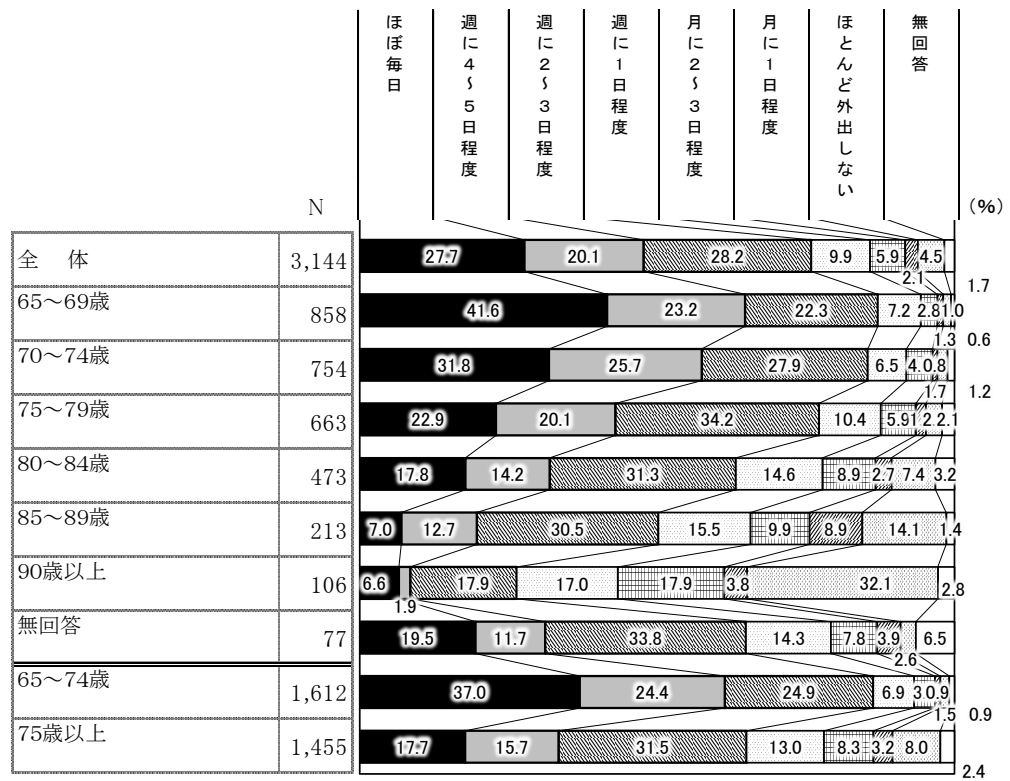
## 7 外出について

### (1) 外出頻度

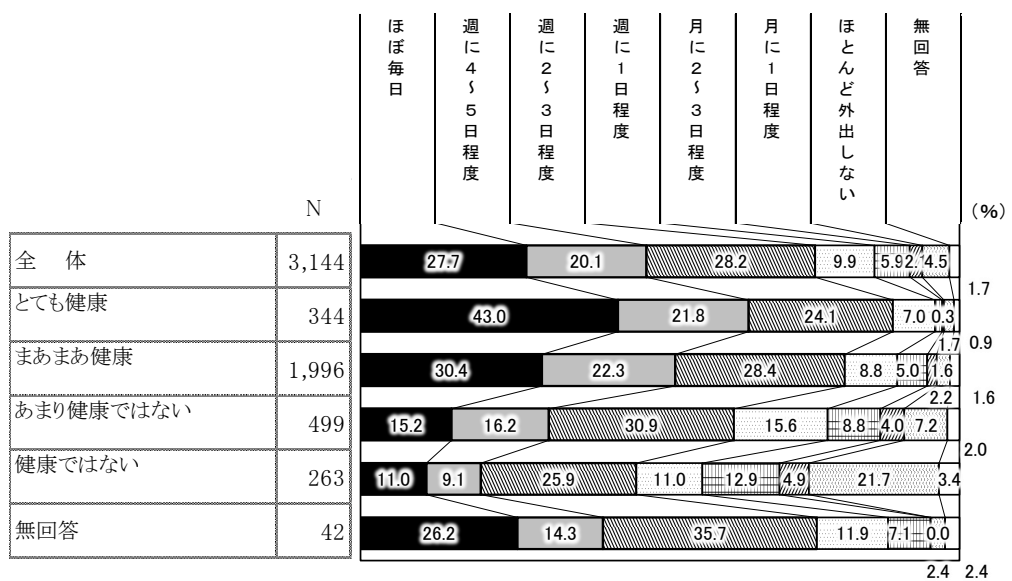
- ◆ 性別にみると、「ほぼ毎日」は女性 (21.2%) に比べて男性 (35.9%) で多くなっている。



◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって外出頻度が高くなっている。



◆ 健康状態別にみると、概ね健康状態がよくなるにしたがって外出頻度が高くなっており、とても健康では「ほぼ毎日」が43.0%となっている。



## (2) 外出の際の手段

- ◆ 性別にみると、「バス、地下鉄、電車」、「自家用車（送迎してもらう）」は男性に比べて女性で多く、「自家用車（自分で運転する）」は女性に比べて男性で多くなっている。

	調査数	徒歩	バス、地下鉄、電車	自家用車（自分で運転する）	自家用車（送迎してもらう）	自転車、バイク	タクシー	車いす	移送サービス等による	ポランテア等による	その他	無回答
全体	2,947 100.0	1,714 58.2	1,639 55.6	1,152 39.1	591 20.1	544 18.5	385 13.1	39 1.3	36 1.2	64 2.2	37 1.3	
男性	1,303 100.0	763 58.6	644 49.4	832 63.9	81 6.2	292 22.4	104 8.0	12 0.9	8 0.6	26 2.0	9 0.7	
女性	1,572 100.0	922 58.7	959 61.0	297 18.9	493 31.4	241 15.3	263 16.7	26 1.7	26 1.7	37 2.4	27 1.7	
無回答	72 100.0	29 40.3	36 50.0	23 31.9	17 23.6	11 15.3	18 25.0	1 1.4	2 2.8	1 1.4	1 1.4	

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、年齢が低くなるにしたがって「自家用車（自分で運転する）」、「自転車、バイク」が多くなっている。一方、概ね年齢が高くなるにしたがって「自家用車（送迎してもらう）」、「タクシー」が多くなっている。

	調査数	徒歩	バス、地下鉄、電車	自家用車（自分で運転する）	自家用車（送迎してもらう）	自転車、バイク	タクシー	車いす	移送サービス等による	ポランテア等による	その他	無回答
全体	2,947 100.0	1,714 58.2	1,639 55.6	1,152 39.1	591 20.1	544 18.5	385 13.1	39 1.3	36 1.2	64 2.2	37 1.3	
65～69歳	842 100.0	474 56.3	391 46.4	475 56.4	132 15.7	216 25.7	47 5.6	6 0.7	0 0.0	11 1.3	4 0.5	
70～74歳	732 100.0	455 62.2	432 59.0	354 48.4	140 19.1	149 20.4	45 6.1	5 0.7	3 0.4	10 1.4	8 1.1	
75～79歳	631 100.0	376 59.6	413 65.5	186 29.5	115 18.2	107 17.0	93 14.7	9 1.4	11 1.7	15 2.4	14 2.2	
80～84歳	423 100.0	271 64.1	266 62.9	94 22.2	96 22.7	48 11.3	97 22.9	6 1.4	7 1.7	9 2.1	8 1.9	
85～89歳	180 100.0	79 43.9	83 46.1	21 11.7	61 33.9	13 7.2	65 36.1	8 4.4	7 3.9	10 5.6	2 1.1	
90歳以上	69 100.0	32 46.4	19 27.5	0 0.0	31 44.9	1 1.4	20 29.0	4 5.8	6 8.7	8 11.6	0 0.0	
無回答	70 100.0	27 38.6	35 50.0	22 31.4	16 22.9	10 14.3	18 25.7	1 1.4	2 2.9	1 1.4	1 1.4	
65～74歳	1,574 100.0	929 59.0	823 52.3	829 52.7	272 17.3	365 23.2	92 5.8	11 0.7	3 0.2	21 1.3	12 0.8	
75歳以上	1,303 100.0	758 58.2	781 59.9	301 23.1	303 23.3	169 13.0	275 21.1	27 2.1	31 2.4	42 3.2	24 1.8	

(上段:実数、下段:%)

## (3) 外出の目的

- ◆ 性別にみると、「趣味、スポーツ、娯楽などのため」、「仕事のため」は女性に比べて男性で多く、「買い物のため」、「通院のため」は男性に比べて女性で多くなっている。

	調査数	買い物のため	通院のため	趣味、スポーツ、娯楽などのため	役所や銀行などでの手続きや相談のため	仕事のため	地域の行事や活動に参加するため	ボランティア活動のため	その他	無回答
全体	2,947 100.0	2,322 78.8	1,514 51.4	1,421 48.2	722 24.5	455 15.4	229 7.8	215 7.3	209 7.1	58 2.0
男性	1,303 100.0	974 74.8	593 45.5	692 53.1	306 23.5	303 23.3	119 9.1	96 7.4	86 6.6	18 1.4
女性	1,572 100.0	1,299 82.6	885 56.3	699 44.5	394 25.1	143 9.1	107 6.8	115 7.3	118 7.5	37 2.4
無回答	72 100.0	49 68.1	36 50.0	30 41.7	22 30.6	9 12.5	3 4.2	4 5.6	5 6.9	3 4.2

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「買い物のため」、「趣味、スポーツ、娯楽などのため」、「仕事のため」が多くなっている。一方、概ね年齢が高くなるにしたがって「通院のため」が多くなっている。

	調査数	買い物のため	通院のため	趣味、スポーツ、娯楽などのため	役所や銀行などでの手続きや相談のため	仕事のため	地域の行事や活動に参加するため	ボランティア活動のため	その他	無回答
全体	2,947 100.0	2,322 78.8	1,514 51.4	1,421 48.2	722 24.5	455 15.4	229 7.8	215 7.3	209 7.1	58 2.0
65～69歳	842 100.0	708 84.1	293 34.8	470 55.8	188 22.3	250 29.7	57 6.8	74 8.8	54 6.4	9 1.1
70～74歳	732 100.0	609 83.2	351 48.0	413 56.4	161 22.0	115 15.7	74 10.1	72 9.8	41 5.6	8 1.1
75～79歳	631 100.0	485 76.9	379 60.1	281 44.5	167 26.5	47 7.4	44 7.0	36 5.7	45 7.1	19 3.0
80～84歳	423 100.0	327 77.3	277 65.5	164 38.8	122 28.8	30 7.1	35 8.3	25 5.9	30 7.1	8 1.9
85～89歳	180 100.0	115 63.9	130 72.2	51 28.3	48 26.7	5 2.8	16 8.9	4 2.2	21 11.7	8 4.4
90歳以上	69 100.0	30 43.5	48 69.6	15 21.7	15 21.7	0 0.0	1 1.4	0 0.0	13 18.8	3 4.3
無回答	70 100.0	48 68.6	36 51.4	27 38.6	21 30.0	8 11.4	2 2.9	4 5.7	5 7.1	3 4.3
65～74歳	1,574 100.0	1,317 83.7	644 40.9	883 56.1	349 22.2	365 23.2	131 8.3	146 9.3	95 6.0	17 1.1
75歳以上	1,303 100.0	957 73.4	834 64.0	511 39.2	352 27.0	82 6.3	96 7.4	65 5.0	109 8.4	38 2.9

(上段:実数、下段:%)

## (4) 外出の際に困ること

- ◆ 性別にみると、概ね女性が男性を上回っている。一方、「特にない」は男性で50.7%と多くなっている。

	調査数	段差 道路や駅などの 階段や	バス、 地下鉄、 電車な どの 乗り降り	交通 費が かかる こと	街を 走っ ている 自動 車 が危 険な こと	外 出先 で利 用す る建 物の 手す りな どの 不足	介 助者 がい ない こと	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体	2,947 100.0	899 30.5	478 16.2	446 15.1	442 15.0	296 10.0	50 1.7	143 4.9	1,248 42.3	185 6.3
男性	1,303 100.0	311 23.9	148 11.4	182 14.0	199 15.3	114 8.7	13 1.0	58 4.5	660 50.7	57 4.4
女性	1,572 100.0	561 35.7	314 20.0	253 16.1	231 14.7	171 10.9	35 2.2	79 5.0	566 36.0	121 7.7
無回答	72 100.0	27 37.5	16 22.2	11 15.3	12 16.7	11 15.3	2 2.8	6 8.3	22 30.6	7 9.7

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって「道路や駅などの階段や段差」、「バス、地下鉄、電車などの乗り降り」、「外出先で利用する建物の手すりなどの不足」が多くなっている。一方、概ね年齢が低くなるにしたがって「特にない」が多くなっている。

	調査数	段差 道路や駅などの 階段や	バス、 地下鉄、 電車な どの 乗り降り	交通 費が かかる こと	街を 走っ ている 自動 車 が危 険な こと	外 出先 で利 用す る建 物の 手す りな どの 不足	介 助者 がい ない こと	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体	2,947 100.0	899 30.5	478 16.2	446 15.1	442 15.0	296 10.0	50 1.7	143 4.9	1,248 42.3	185 6.3
65～69歳	842 100.0	147 17.5	66 7.8	194 23.0	104 12.4	32 3.8	4 0.5	37 4.4	429 51.0	39 4.6
70～74歳	732 100.0	183 25.0	66 9.0	82 11.2	110 15.0	33 4.5	5 0.7	29 4.0	378 51.6	39 5.3
75～79歳	631 100.0	227 36.0	131 20.8	65 10.3	96 15.2	70 11.1	5 0.8	35 5.5	236 37.4	50 7.9
80～84歳	423 100.0	203 48.0	122 28.8	62 14.7	86 20.3	85 20.1	15 3.5	24 5.7	119 28.1	25 5.9
85～89歳	180 100.0	81 45.0	54 30.0	23 12.8	24 13.3	47 26.1	16 8.9	7 3.9	46 25.6	16 8.9
90歳以上	69 100.0	32 46.4	23 33.3	8 11.6	10 14.5	18 26.1	3 4.3	5 7.2	19 27.5	9 13.0
無回答	70 100.0	26 37.1	16 22.9	12 17.1	12 17.1	11 15.7	2 2.9	6 8.6	21 30.0	7 10.0
65～74歳	1,574 100.0	330 21.0	132 8.4	276 17.5	214 13.6	65 4.1	9 0.6	66 4.2	807 51.3	78 5.0
75歳以上	1,303 100.0	543 41.7	330 25.3	158 12.1	216 16.6	220 16.9	39 3.0	71 5.4	420 32.2	100 7.7

(上段:実数、下段:%)

## (5) 外出しない理由

- ◆ 性別にみると、「外出したい場所がないから」は女性（10.2%）に比べて男性（20.8%）で多くなっている。

	調査数	困難だから	身体上の理由で外出が	から出した場所がない	らどへの乗車困難だか	バス、地下鉄、電車などへの乗車困難だか	出に苦勞するからため外	介助者がいないため外	しいから	人と会うのがわずらわ	から交通費の負担が大変だ	その他	無回答
全体	143 100.0	103 72.0	21 14.7	20 14.0	16 11.2	13 9.1	5 3.5	21 14.7	3 2.1				
男性	53 100.0	38 71.7	11 20.8	8 15.1	6 11.3	5 9.4	2 3.8	6 11.3	2 3.8				
女性	88 100.0	64 72.7	9 10.2	12 13.6	10 11.4	8 9.1	3 3.4	15 17.0	1 1.1				
無回答	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0				

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、サンプル数が少ないため参考値として参照されたい。

	調査数	困難だから	身体上の理由で外出が	から出した場所がない	らどへの乗車困難だか	バス、地下鉄、電車などへの乗車困難だか	出に苦勞するからため外	介助者がいないため外	しいから	人と会うのがわずらわ	から交通費の負担が大変だ	その他	無回答
全体	143 100.0	103 72.0	21 14.7	20 14.0	16 11.2	13 9.1	5 3.5	21 14.7	3 2.1				
65～69歳	11 100.0	6 54.5	3 27.3	2 18.2	1 9.1	2 18.2	2 18.2	2 18.2	0 0.0				
70～74歳	13 100.0	11 84.6	2 15.4	1 7.7	2 15.4	0 0.0	1 7.7	1 7.7	0 0.0				
75～79歳	18 100.0	13 72.2	1 5.6	1 5.6	1 5.6	1 5.6	1 5.6	2 11.1	1 5.6				
80～84歳	35 100.0	26 74.3	7 20.0	9 25.7	6 17.1	4 11.4	0 0.0	4 11.4	1 2.9				
85～89歳	30 100.0	22 73.3	4 13.3	5 16.7	3 10.0	3 10.0	1 3.3	5 16.7	1 3.3				
90歳以上	34 100.0	24 70.6	3 8.8	2 5.9	3 8.8	3 8.8	0 0.0	7 20.6	0 0.0				
無回答	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0				
65～74歳	24 100.0	17 70.8	5 20.8	3 12.5	3 12.5	2 8.3	3 12.5	3 12.5	0 0.0				
75歳以上	117 100.0	85 72.6	15 12.8	17 14.5	13 11.1	11 9.4	2 1.7	18 15.4	3 2.6				

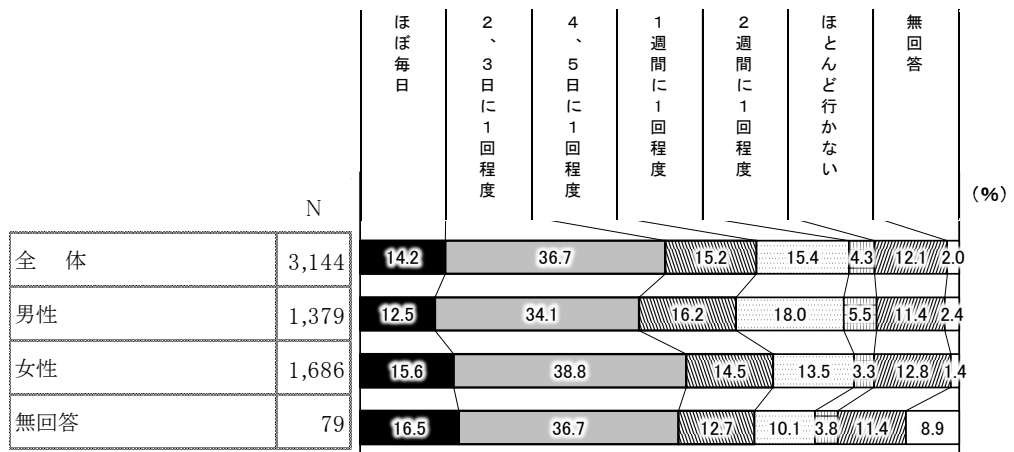
(上段:実数、下段:%)



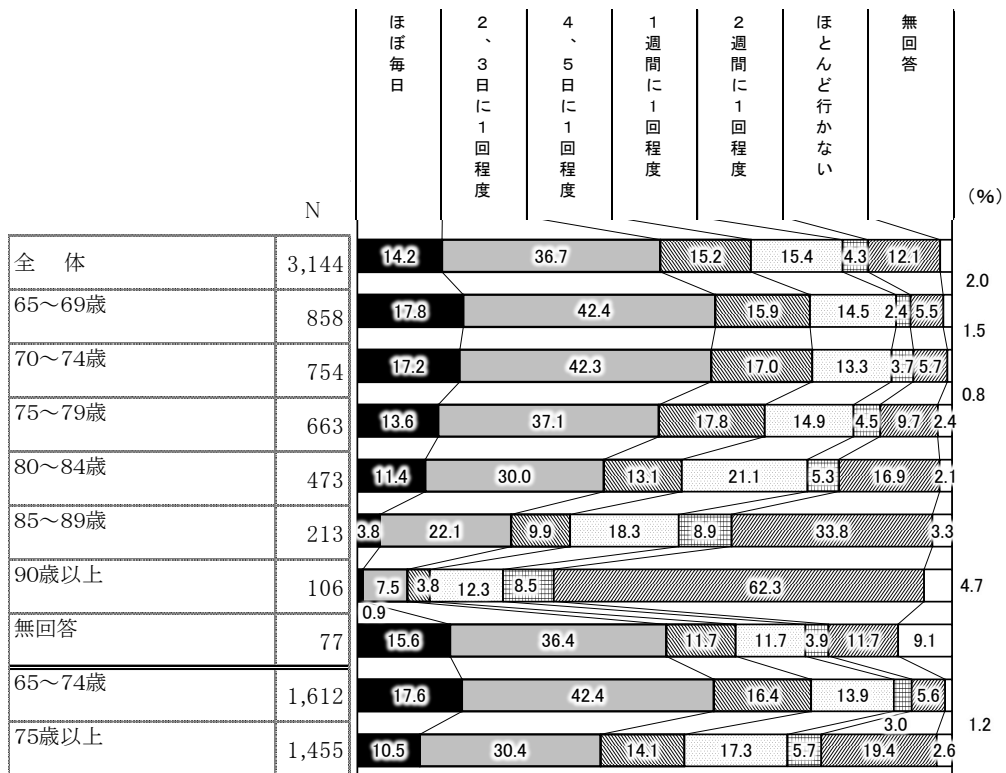
## 8 買い物について

### (1) 買い物に行く頻度

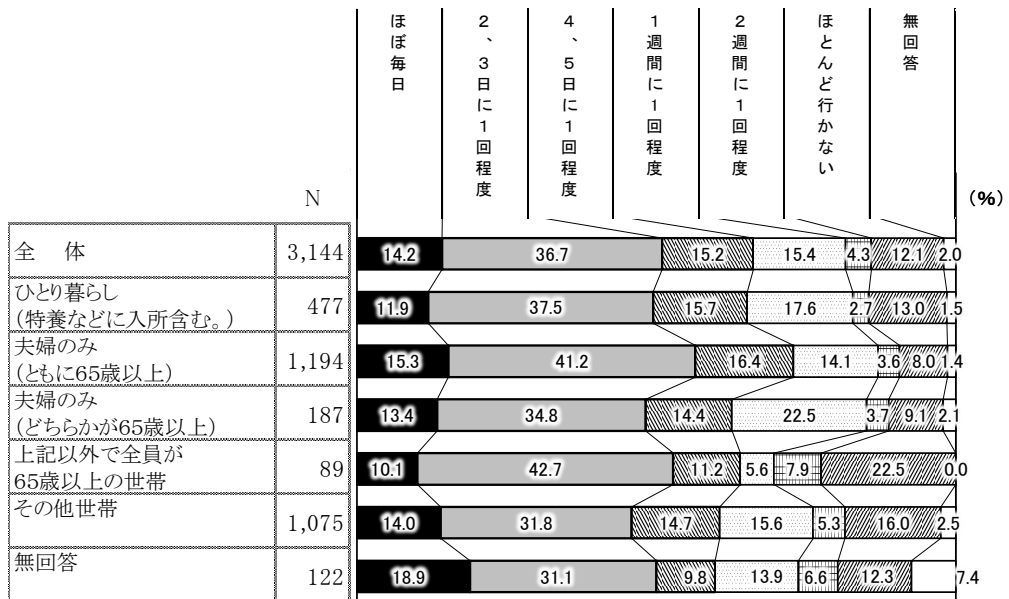
- ◆ 性別にみると、「ほぼ毎日」、「2、3日に1回程度」は男性に比べて女性で多く、「4、5日に1回程度」、「1週間に1回程度」、「2週間に1回程度」は女性に比べて男性で多くなっており、女性の方が買い物に行く頻度が高くなっている。



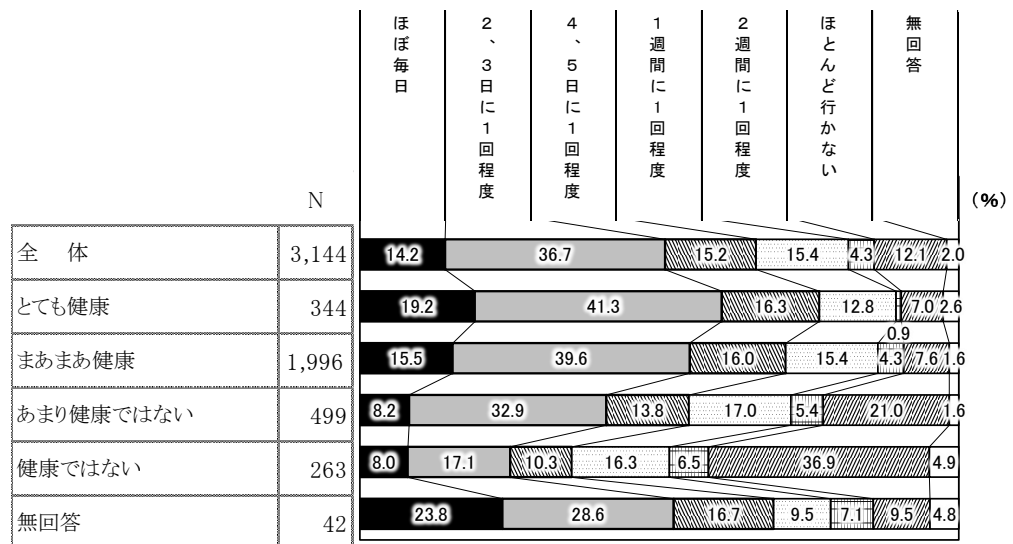
- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって、買い物に行く頻度が高くなっている。



◆ 世帯状況別にみると、大きな差はみられない。

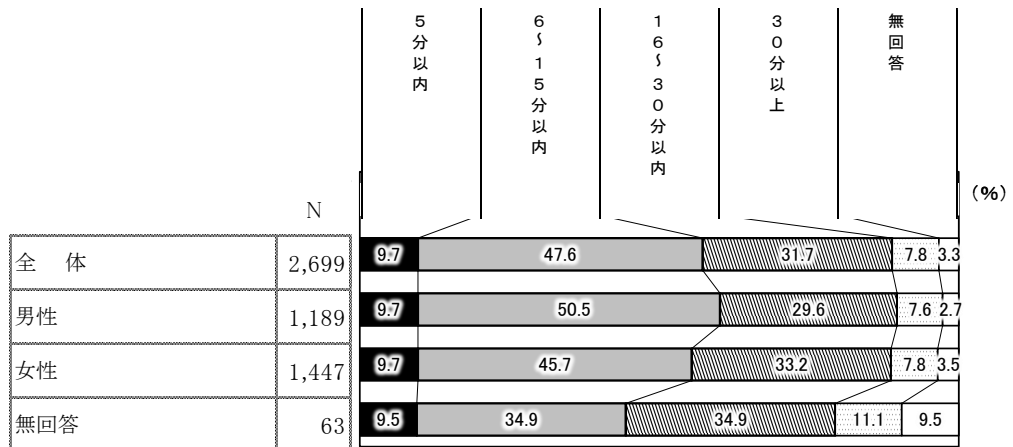


◆ 健康状態別にみると、概ね健康状態がよくなるにしたがって、買い物に行く頻度が高くなっている。

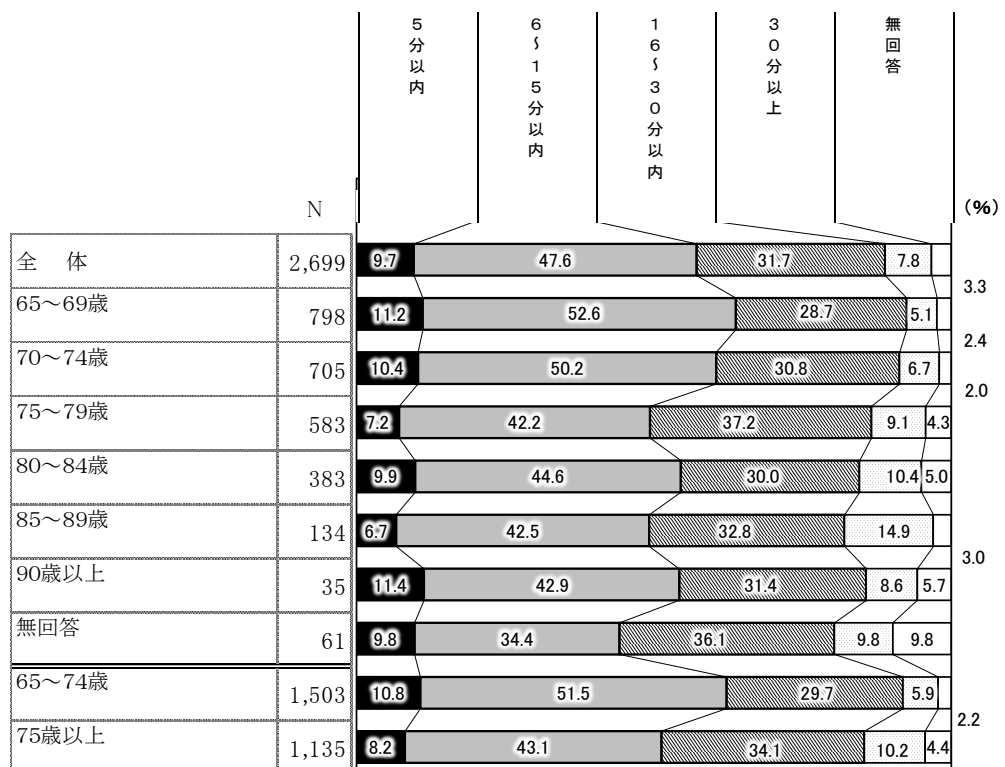


(2) 普段買い物をする店までの所要時間 (片道)

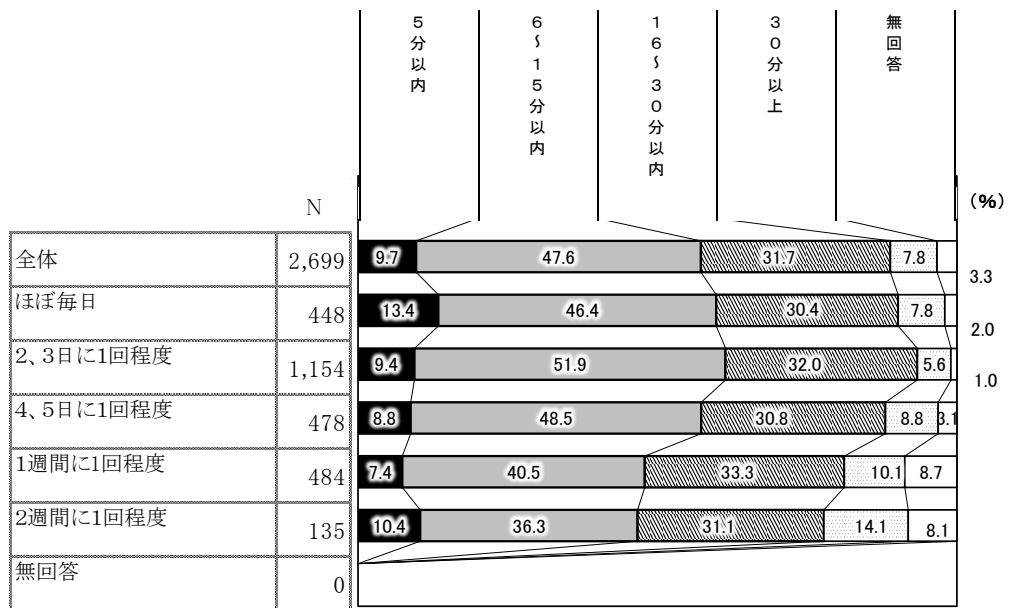
◆ 性別にみると、大きな差はみられない。



◆ 年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって、店までの移動所要時間が長くなっている。

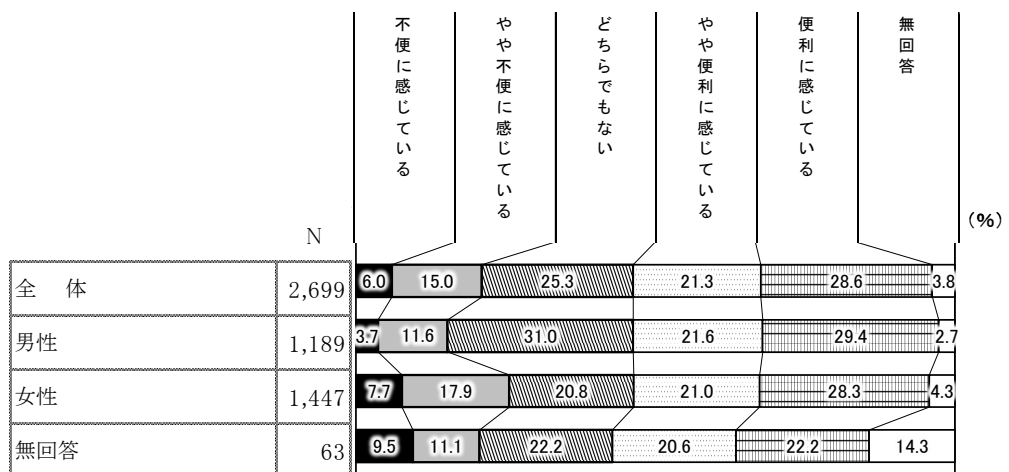


◆ 買い物に行く頻度別にみると、大きな差はみられない。

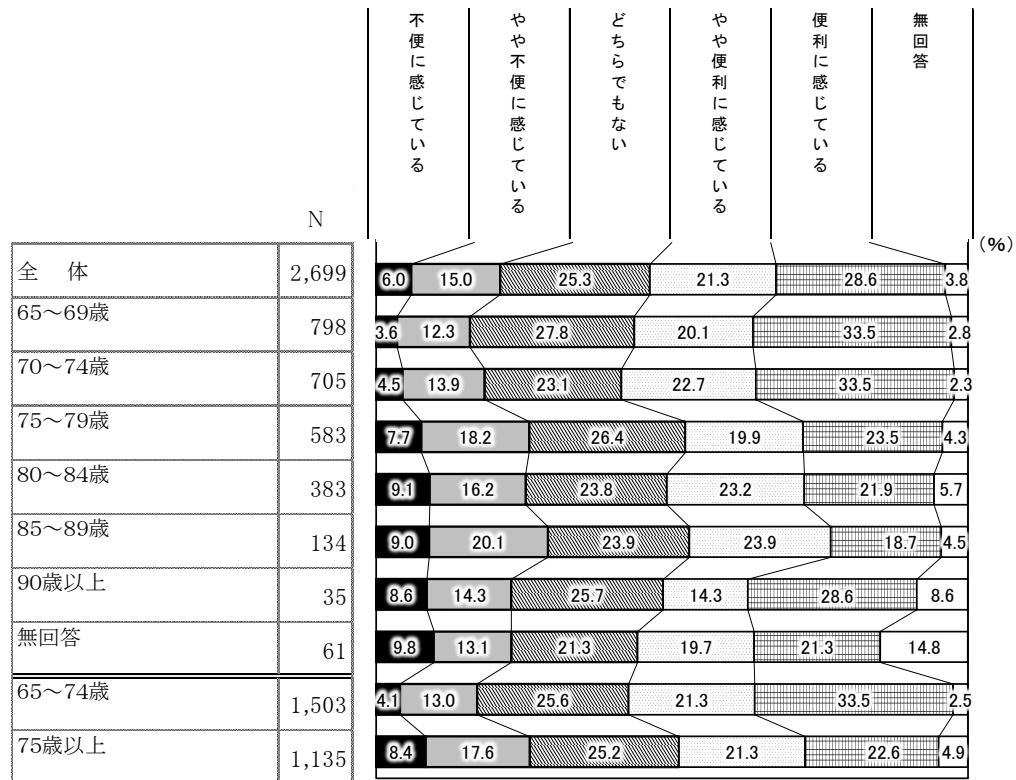


### (3) 普段の買い物の利便性

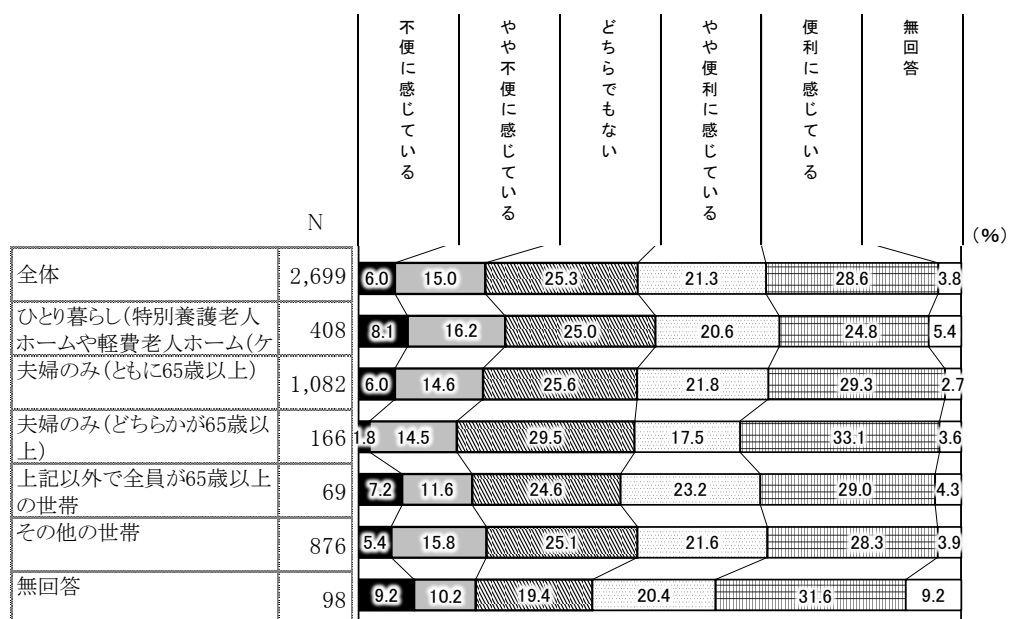
◆ 性別にみると、「不便に感じている」と「やや不便に感じている」を合わせた『不便』の割合が、男性が15.3%、女性が25.6%と女性が男性を10.3ポイント上回っている。



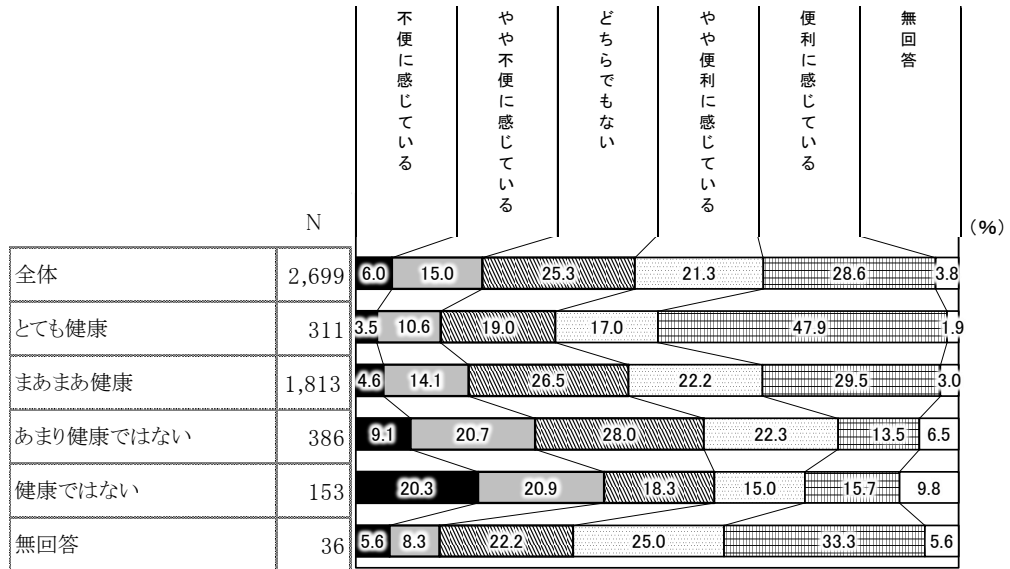
- ◆ 年齢別では、89歳までの中で見ると、概ね年齢が低くなるにしたがって、「やや便利に感じている」と「便利に感じている」を合わせた『便利』との回答が多くなっている。一方、概ね年齢が高くなるにしたがって『不便』が多くなっている。なお、90歳以上は、サンプル数が少ないため、参考値として参照されたい。



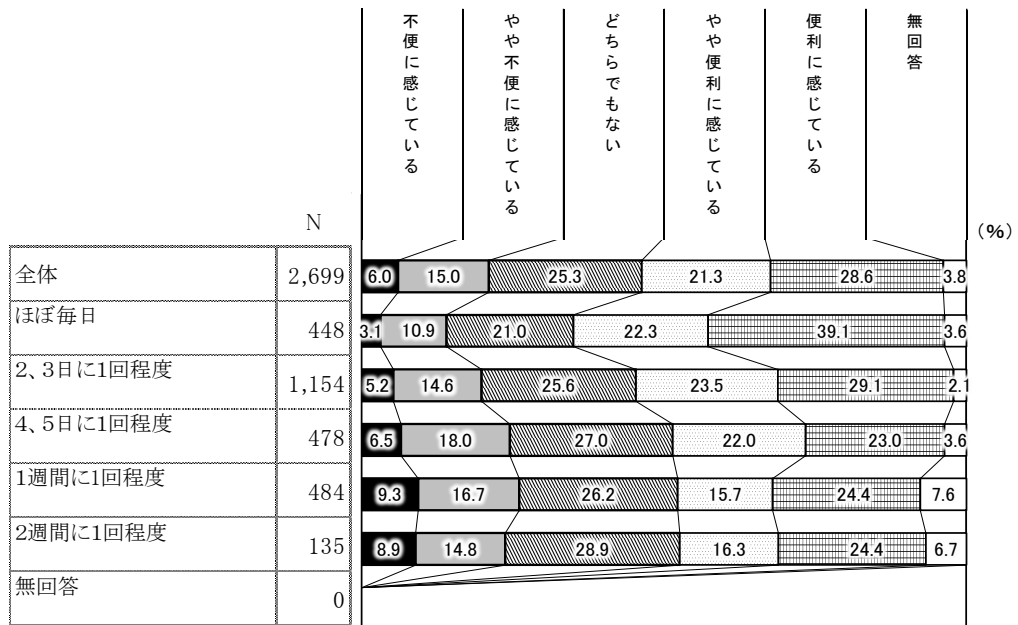
- ◆ 世帯状況別にみると、大きな差はみられない。



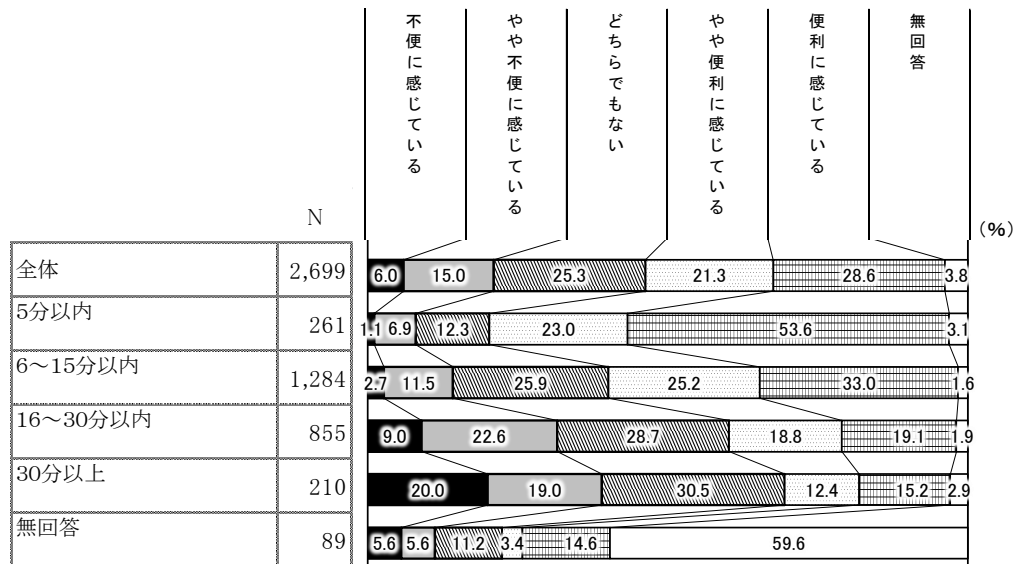
◆ 健康状態別にみると、健康状態がよくなるにしたがって『便利』が多くなっている。



◆ 買い物に行く頻度別にみると、概ね買い物に行く頻度が高くなるにしたがって『便利』が多くなっている。



- ◆ 買い物をする店までの所要時間別にみると、所要時間が短くなるにしたがって『便利』が多くなっている。



## 9 住宅、住み替え意向について

### (1) 住居形態

- ◆ 性別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	持ち家（一戸建て）	持ち家（マンションなど）	公営（市営・県営）住宅	公社公団の賃貸住宅	民間借家、賃貸マンション、アパート	間借り、下宿	社宅、官舎	施設 養護老人ホームなど	有料老人ホーム、特別	その他	無回答
全体	3,144 100.0	2,332 74.2	310 9.9	102 3.2	27 0.9	251 8.0	5 0.2	2 0.1	54 1.7	44 1.4	17 0.5	
男性	1,379 100.0	1,032 74.8	147 10.7	44 3.2	10 0.7	106 7.7	3 0.2	2 0.1	11 0.8	20 1.5	4 0.3	
女性	1,686 100.0	1,241 73.6	158 9.4	55 3.3	17 1.0	141 8.4	2 0.1	0 0.0	41 2.4	22 1.3	9 0.5	
無回答	79 100.0	59 74.7	5 6.3	3 3.8	0 0.0	4 5.1	0 0.0	0 0.0	2 2.5	2 2.5	4 5.1	

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、いずれの年齢層でも「持ち家（一戸建て）」が7割以上を占めている。「有料老人ホーム、特別養護老人ホームなどの施設」は、年齢が高くなるにしたがって多くなっている。

	調査数	持ち家（一戸建て）	持ち家（マンションなど）	公営（市営・県営）住宅	公社団体の賃貸住宅	民間借家、賃貸マンション、アパート	間借り、下宿	社宅、官舎	施設 養護老人ホーム、特別	有料老人ホーム、その他	無回答
全体	3,144 100.0	2,332 74.2	310 9.9	102 3.2	27 0.9	251 8.0	5 0.2	2 0.1	54 1.7	44 1.4	17 0.5
65～69歳	858 100.0	608 70.9	117 13.6	24 2.8	8 0.9	88 10.3	2 0.2	0 0.0	0 0.0	10 1.2	1 0.1
70～74歳	754 100.0	570 75.6	66 8.8	30 4.0	10 1.3	62 8.2	1 0.1	1 0.1	2 0.3	10 1.3	2 0.3
75～79歳	663 100.0	502 75.7	60 9.0	27 4.1	3 0.5	50 7.5	0 0.0	0 0.0	8 1.2	7 1.1	6 0.9
80～84歳	473 100.0	350 74.0	46 9.7	15 3.2	4 0.8	31 6.6	1 0.2	1 0.2	16 3.4	6 1.3	3 0.6
85～89歳	213 100.0	168 78.9	9 4.2	3 1.4	2 0.9	15 7.0	1 0.5	0 0.0	10 4.7	4 1.9	1 0.5
90歳以上	106 100.0	78 73.6	7 6.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	16 15.1	5 4.7	0 0.0
無回答	77 100.0	56 72.7	5 6.5	3 3.9	0 0.0	5 6.5	0 0.0	0 0.0	2 2.6	2 2.6	4 5.2
65～74歳	1,613 100.0	1,179 73.1	183 11.3	54 3.3	18 1.1	150 9.3	3 0.2	1 0.1	2 0.1	20 1.2	3 0.2
75歳以上	1,454 100.0	1,097 75.4	122 8.4	45 3.1	9 0.6	96 6.6	2 0.1	1 0.1	50 3.4	22 1.5	10 0.7

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯状況別にみると、ひとり暮らし（特養などに入所含む）で「持ち家（一戸建て）」が46.3%と最も少ない一方で、「民間借家、賃貸マンション、アパート」、「有料老人ホーム、特別養護老人ホームなどの施設」が多くなっている。

	調査数	持ち家（一戸建て）	持ち家（マンションなど）	公営（市営・県営）住宅	公社団体の賃貸住宅	民間借家、賃貸マンション、アパート	間借り、下宿	社宅、官舎	施設 養護老人ホーム、特別	有料老人ホーム、その他	無回答
全体	3,144 100.0	2,332 74.2	310 9.9	102 3.2	27 0.9	251 8.0	5 0.2	2 0.1	54 1.7	44 1.4	17 0.5
ひとり暮らし（特養などに入所含む。）	477 100.0	221 46.3	62 13.0	35 7.3	9 1.9	91 19.1	1 0.2	0 0.0	44 9.2	11 2.3	3 0.6
夫婦のみ（ともに65歳以上）	1,194 100.0	945 79.1	133 11.1	28 2.3	8 0.7	62 5.2	1 0.1	1 0.1	5 0.4	9 0.8	2 0.2
夫婦のみ（どちらかが65歳以上）	187 100.0	146 78.1	23 12.3	2 1.1	1 0.5	11 5.9	0 0.0	1 0.5	0 0.0	1 0.5	2 1.1
上記以外で全員が65歳以上の世帯	89 100.0	62 69.7	10 11.2	4 4.5	1 1.1	4 4.5	0 0.0	0 0.0	1 1.1	7 7.9	0 0.0
その他世帯	1,075 100.0	866 80.6	78 7.3	27 2.5	4 0.4	74 6.9	2 0.2	0 0.0	4 0.4	15 1.4	5 0.5
無回答	122 100.0	92 75.4	4 3.3	6 4.9	4 3.3	9 7.4	1 0.8	0 0.0	0 0.0	1 0.8	5 4.1

(上段:実数、下段:%)



## (2) 住居に関して困っていること

- ◆ 性別にみると、「草むしりや植木など庭や家周りの手入れ」は男性に比べて女性で多く、「固定資産税が高い」は女性に比べて男性で多くなっている。

	調査数	草むしりや植木など庭や家周りの手入れ	固定資産税が高い	老朽化	掃除や片付けが大変	バリアフリーになっていない	家が狭い	騒音	住宅ローンが大変	家賃が高い	その他	特にない	無回答
全体	3,144 100.0	1,096 34.9	799 25.4	724 23.0	512 16.3	450 14.3	200 6.4	165 5.2	125 4.0	100 3.2	149 4.7	874 27.8	94 3.0
男性	1,379 100.0	432 31.3	382 27.7	340 24.7	195 14.1	200 14.5	91 6.6	80 5.8	61 4.4	36 2.6	62 4.5	407 29.5	27 2.0
女性	1,686 100.0	636 37.7	393 23.3	365 21.6	303 18.0	241 14.3	106 6.3	83 4.9	61 3.6	63 3.7	84 5.0	446 26.5	61 3.6
無回答	79 100.0	28 35.4	24 30.4	19 24.1	14 17.7	9 11.4	3 3.8	2 2.5	3 3.8	1 1.3	3 3.8	21 26.6	6 7.6

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、89歳までは概ね年齢が高くなるにしたがって「草むしりや植木など庭や家周りの手入れ」、「掃除や片付けが大変」が多くなっている。また、90歳以上では「特にない」が46.2%と、他の年齢層に比べて多くなっている。

	調査数	草むしりや植木など庭や家周りの手入れ	固定資産税が高い	老朽化	掃除や片付けが大変	バリアフリーになっていない	家が狭い	騒音	住宅ローンが大変	家賃が高い	その他	特にない	無回答
全体	3,144 100.0	1,096 34.9	799 25.4	724 23.0	512 16.3	450 14.3	200 6.4	165 5.2	125 4.0	100 3.2	149 4.7	874 27.8	94 3.0
65～69歳	858 100.0	255 29.7	227 26.5	199 23.2	88 10.3	104 12.1	62 7.2	57 6.6	51 5.9	39 4.5	35 4.1	240 28.0	12 1.4
70～74歳	754 100.0	240 31.8	200 26.5	185 24.5	99 13.1	106 14.1	42 5.6	45 6.0	40 5.3	29 3.8	46 6.1	211 28.0	14 1.9
75～79歳	663 100.0	253 38.2	166 25.0	144 21.7	133 20.1	99 14.9	44 6.6	39 5.9	14 2.1	18 2.7	32 4.8	164 24.7	26 3.9
80～84歳	473 100.0	196 41.4	125 26.4	111 23.5	114 24.1	87 18.4	27 5.7	14 3.0	13 2.7	9 1.9	22 4.7	127 26.8	23 4.9
85～89歳	213 100.0	91 42.7	40 18.8	47 22.1	51 23.9	32 15.0	13 6.1	6 2.8	1 0.5	4 1.9	6 2.8	65 30.5	8 3.8
90歳以上	106 100.0	33 31.1	17 16.0	19 17.9	13 12.3	13 12.3	9 8.5	2 1.9	3 2.8	0 0.0	5 4.7	49 46.2	4 3.8
無回答	77 100.0	28 36.4	24 31.2	19 24.7	14 18.2	9 11.7	3 3.9	2 2.6	3 3.9	1 1.3	3 3.9	18 23.4	7 9.1
65～74歳	1,612 100.0	495 30.7	427 26.5	384 23.8	187 11.6	210 13.0	104 6.5	102 6.3	91 5.6	68 4.2	81 5.0	451 28.0	26 1.6
75歳以上	1,455 100.0	573 39.4	348 23.9	321 22.1	311 21.4	231 15.9	93 6.4	61 4.2	31 2.1	31 2.1	65 4.5	405 27.8	61 4.2

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯状況別にみると、ひとり暮らし（特養などに入所含む）で「固定資産税が高い」、「住宅ローンが大変」が他の世帯状況に比べて少なく、「家賃が高い」が他の世帯状況に比べて多くなっている。

	調査数	や草むしりや植木など庭の手入れ	固定資産税が高い	老朽化	掃除や片付けが大変	バリアフリーになっていない	家が狭い	騒音	住宅ローンが大変	家賃が高い	その他	特にない	無回答
全体	3,144 100.0	1,096 34.9	799 25.4	724 23.0	512 16.3	450 14.3	200 6.4	165 5.2	125 4.0	100 3.2	149 4.7	874 27.8	94 3.0
ひとり暮らし（特養などに入所含む。）	477 100.0	164 34.4	101 21.2	113 23.7	89 18.7	63 13.2	31 6.5	26 5.5	6 1.3	32 6.7	36 7.5	136 28.5	23 4.8
夫婦のみ（ともに65歳以上）	1,194 100.0	449 37.6	325 27.2	282 23.6	199 16.7	194 16.2	58 4.9	59 4.9	35 2.9	27 2.3	51 4.3	321 26.9	22 1.8
夫婦のみ（どちらかが65歳以上）	187 100.0	51 27.3	56 29.9	41 21.9	15 8.0	19 10.2	6 3.2	6 3.2	11 5.9	5 2.7	5 2.7	69 36.9	3 1.6
上記以外で全員が65歳以上の世帯	89 100.0	30 33.7	21 23.6	18 20.2	15 16.9	9 10.1	8 9.0	2 2.2	6 6.7	2 2.2	2 2.2	22 24.7	6 6.7
その他世帯	1,075 100.0	357 33.2	263 24.5	246 22.9	176 16.4	156 14.5	89 8.3	66 6.1	61 5.7	30 2.8	51 4.7	300 27.9	26 2.4
無回答	122 100.0	45 36.9	33 27.0	24 19.7	18 14.8	9 7.4	8 6.6	6 4.9	6 4.9	4 3.3	4 3.3	26 21.3	14 11.5

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 本人の年間総収入額別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	や草むしりや植木など庭の手入れ	固定資産税が高い	老朽化	掃除や片付けが大変	バリアフリーになっていない	家が狭い	騒音	住宅ローンが大変	家賃が高い	その他	特にない	無回答
全体	3,144 100.0	1,096 34.9	799 25.4	724 23.0	512 16.3	450 14.3	200 6.4	165 5.2	125 4.0	100 3.2	149 4.7	874 27.8	94 3.0
50万円未満	236 100.0	66 28.0	57 24.2	56 23.7	39 16.5	33 14.0	17 7.2	18 7.6	9 3.8	7 3.0	13 5.5	66 28.0	13 5.5
50万円～100万円未満	648 100.0	218 33.6	143 22.1	138 21.3	115 17.7	96 14.8	46 7.1	36 5.6	29 4.5	28 4.3	25 3.9	179 27.6	19 2.9
100万円～200万円未満	814 100.0	293 36.0	197 24.2	214 26.3	140 17.2	127 15.6	63 7.7	53 6.5	29 3.6	37 4.5	41 5.0	210 25.8	20 2.5
200万円～300万円未満	729 100.0	277 38.0	216 29.6	166 22.8	110 15.1	111 15.2	38 5.2	34 4.7	33 4.5	13 1.8	38 5.2	202 27.7	11 1.5
300万円～400万円未満	303 100.0	106 35.0	79 26.1	74 24.4	48 15.8	42 13.9	15 5.0	12 4.0	7 2.3	3 1.0	13 4.3	97 32.0	8 2.6
400万円～500万円未満	112 100.0	38 33.9	29 25.9	23 20.5	19 17.0	14 12.5	2 1.8	5 4.5	4 3.6	2 1.8	5 4.5	34 30.4	1 0.9
500万円～600万円未満	49 100.0	11 22.4	17 34.7	11 22.4	4 8.2	4 8.2	2 4.1	0 0.0	1 2.0	0 0.0	2 4.1	18 36.7	1 2.0
600万円～700万円未満	22 100.0	8 36.4	9 40.9	5 22.7	3 13.6	2 9.1	0 0.0	0 0.0	4 18.2	0 0.0	0 0.0	5 22.7	3 13.6
700万円以上	52 100.0	17 32.7	17 32.7	6 11.5	10 19.2	4 7.7	3 5.8	1 1.9	1 1.9	2 3.8	1 1.9	17 32.7	0 0.0
わからない	74 100.0	22 29.7	11 14.9	9 12.2	11 14.9	7 9.5	6 8.1	3 4.1	2 2.7	4 5.4	5 6.8	24 32.4	3 4.1
無回答	105 100.0	40 38.1	24 22.9	22 21.0	13 12.4	10 9.5	8 7.6	3 2.9	6 5.7	4 3.8	6 5.7	22 21.0	15 14.3

(上段:実数、下段:%)

## ◆ 世帯の年間総収入額別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	や草むしりや植木など庭の手入れ	固定資産税が高い	老朽化	掃除や片付けが大変	バリアフリーになっていない	家が狭い	騒音	住宅ローンが大変	家賃が高い	その他	特にない	無回答
全体	3,144 100.0	1,096 34.9	799 25.4	724 23.0	512 16.3	450 14.3	200 6.4	165 5.2	125 4.0	100 3.2	149 4.7	874 27.8	94 3.0
50万円未満	51 100.0	11 21.6	10 19.6	12 23.5	9 17.6	7 13.7	2 3.9	3 5.9	2 3.9	2 3.9	2 3.9	12 23.5	4 7.8
50万円～100万円未満	122 100.0	37 30.3	26 21.3	38 31.1	28 23.0	15 12.3	15 12.3	11 9.0	4 3.3	16 13.1	5 4.1	29 23.8	2 1.6
100万円～200万円未満	465 100.0	161 34.6	114 24.5	122 26.2	87 18.7	71 15.3	38 8.2	36 7.7	12 2.6	25 5.4	26 5.6	113 24.3	14 3.0
200万円～300万円未満	769 100.0	299 38.9	222 28.9	211 27.4	121 15.7	140 18.2	61 7.9	41 5.3	33 4.3	25 3.3	37 4.8	179 23.3	12 1.6
300万円～400万円未満	607 100.0	202 33.3	151 24.9	131 21.6	95 15.7	74 12.2	22 3.6	32 5.3	21 3.5	11 1.8	28 4.6	193 31.8	15 2.5
400万円～500万円未満	326 100.0	112 34.4	83 25.5	69 21.2	52 16.0	51 15.6	16 4.9	13 4.0	14 4.3	7 2.1	13 4.0	101 31.0	3 0.9
500万円～600万円未満	180 100.0	73 40.6	50 27.8	36 20.0	26 14.4	25 13.9	6 3.3	5 2.8	11 6.1	0 0.0	5 2.8	63 35.0	2 1.1
600万円～700万円未満	97 100.0	30 30.9	30 30.9	17 17.5	10 10.3	12 12.4	5 5.2	5 5.2	5 0.0	0 0.0	3 3.1	30 30.9	1 1.0
700万円～1,000万円未満	105 100.0	30 28.6	20 19.0	17 16.2	16 15.2	12 11.4	6 5.7	0 0.0	3 2.9	2 1.9	5 4.8	34 32.4	4 3.8
1,000万円以上	72 100.0	31 43.1	26 36.1	8 11.1	15 20.8	8 11.1	4 5.6	2 2.8	2 2.8	0 0.0	4 5.6	20 27.8	1 1.4
わからない	216 100.0	71 32.9	45 20.8	42 19.4	35 16.2	24 11.1	22 10.2	13 6.0	10 4.6	8 3.7	12 5.6	70 32.4	7 3.2
無回答	134 100.0	39 29.1	22 16.4	21 15.7	18 13.4	11 8.2	3 2.2	4 3.0	8 6.0	4 3.0	9 6.7	30 22.4	29 21.6

(上段:実数、下段:%)

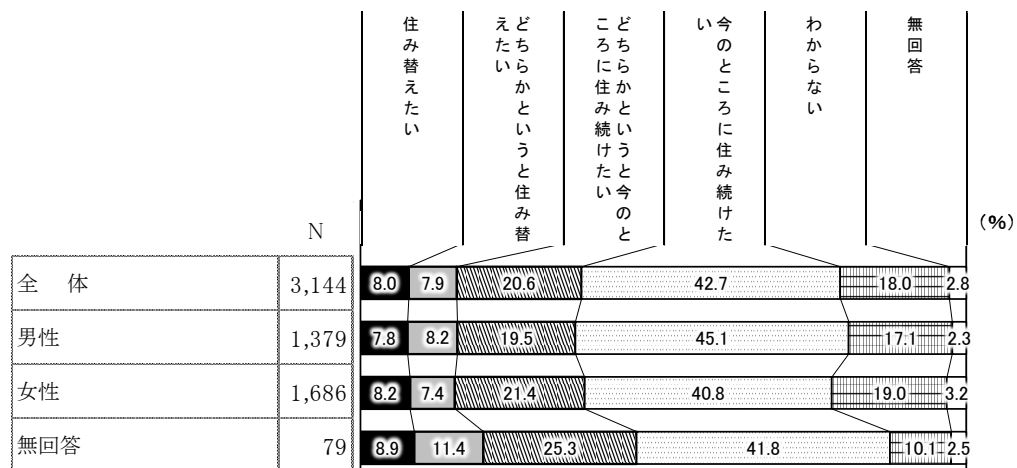
## ◆ 健康状態別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	や草むしりや植木など庭の手入れ	固定資産税が高い	老朽化	掃除や片付けが大変	バリアフリーになっていない	家が狭い	騒音	住宅ローンが大変	家賃が高い	その他	特にない	無回答
全体	3,144 100.0	1,096 34.9	799 25.4	724 23.0	512 16.3	450 14.3	200 6.4	165 5.2	125 4.0	100 3.2	149 4.7	874 27.8	94 3.0
とても健康	315 100.0	90 28.6	44 14.0	36 11.4	35 11.1	35 11.1	12 3.8	12 3.8	5 1.6	2 0.6	17 5.4	139 44.1	8 2.5
まあまあ健康	1,851 100.0	670 36.2	456 24.6	428 23.1	311 16.8	270 14.6	110 5.9	82 4.4	58 3.1	46 2.5	75 4.1	520 28.1	47 2.5
あまり健康ではない	597 100.0	215 36.0	229 38.4	180 30.2	113 18.9	108 18.1	55 9.2	50 8.4	54 9.0	35 5.9	39 6.5	87 14.6	15 2.5
健康ではない	241 100.0	65 27.0	34 14.1	54 22.4	30 12.4	21 8.7	15 6.2	12 5.0	3 1.2	12 5.0	10 4.1	96 39.8	7 2.9
無回答	140 100.0	56 40.0	36 25.7	26 18.6	23 16.4	16 11.4	8 5.7	9 6.4	5 3.6	5 3.6	8 5.7	32 22.9	17 12.1

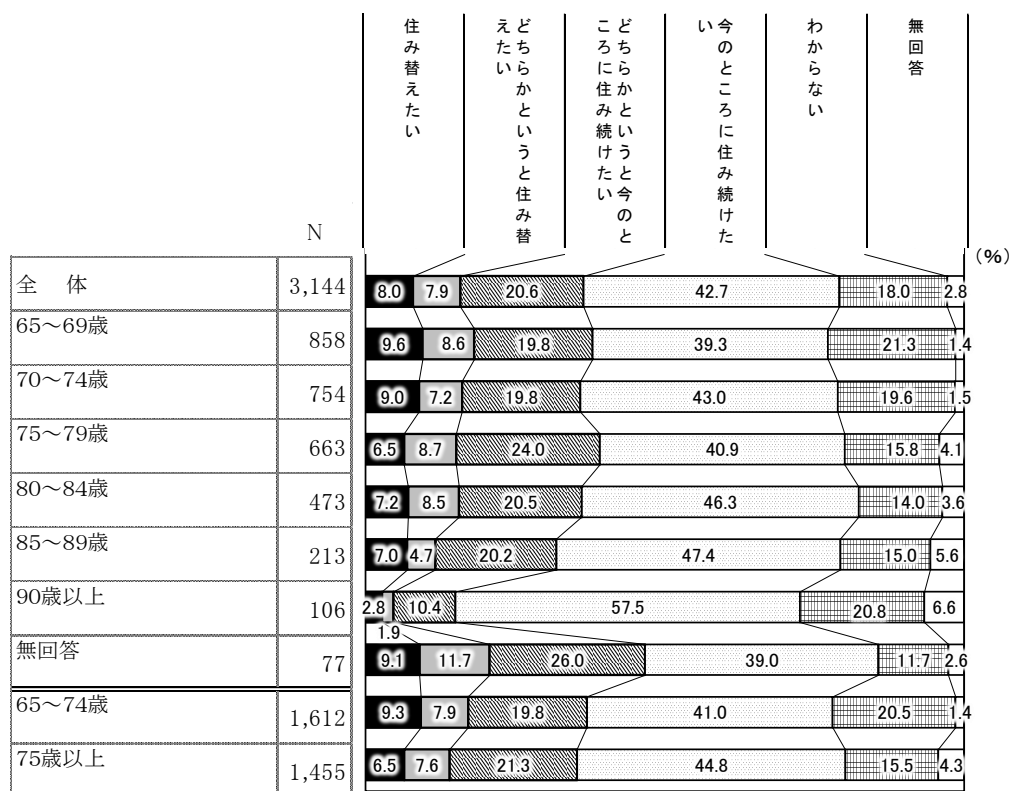
(上段:実数、下段:%)

## (3) 介護が必要になった際の住み替えの意向

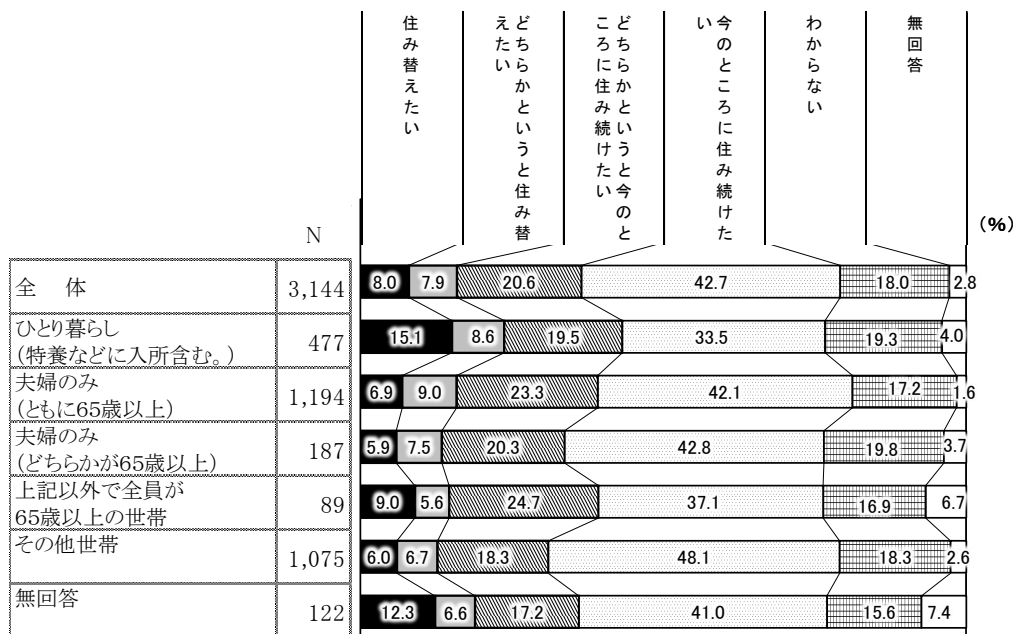
- ◆ 性別にみると、「今のところに住み続けたい」は女性（40.8%）に比べて男性（45.1%）で多くなっている。



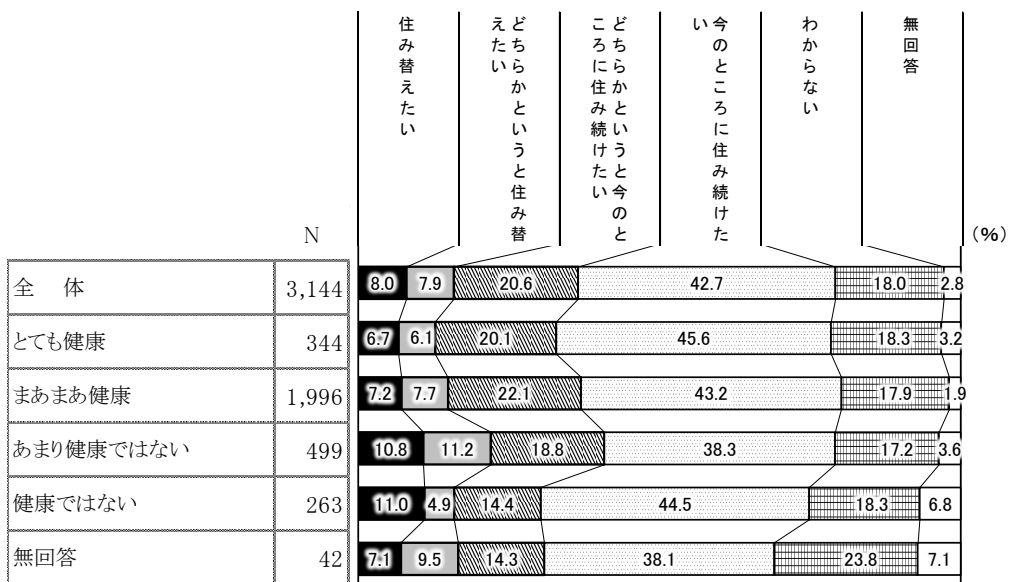
- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「住み替えたい」と「どちらかというところに住み替えたい」を合わせた『住み替え意向あり』が多くなっている。一方、年齢が高くなるにしたがって「どちらかというところに住み続けたい」と「今のところに住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』が多くなっている。



◆ 世帯状況別にみると、『住み替え意向あり』がひとり暮らし(特養などに入所含む)で多くなっている。



◆ 健康状態別にみると、概ね健康状態がよくなるにしたがって『住み続けたい』が多くなっている。



## 10 本人・世帯の年間総収入について

## (1) 本人の年間総収入

- ◆ 性別にみると、『100万円未満』が男性では7.7%、女性では45.1%と女性の方が多くなっている。一方、『200万円以上』では、男性が68.1%、女性が17.6%と男性が多くなっており、性別によって年収に差がみられる。

	調査数	50万円未満	50万円～99万円	100万円～199万円	200万円～299万円	300万円～399万円	400万円～499万円	500万円～599万円	600万円～699万円	700万円以上	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	236 7.5	648 20.6	814 25.9	729 23.2	303 9.6	112 3.6	49 1.6	22 0.7	52 1.7	74 2.4	105 3.3
男性	1,379 100.0	30 2.2	76 5.5	288 20.9	522 37.9	224 16.2	97 7.0	40 2.9	15 1.1	42 3.0	13 0.9	32 2.3
女性	1,686 100.0	201 11.9	560 33.2	502 29.8	193 11.4	70 4.2	14 0.8	5 0.3	7 0.4	9 0.5	56 3.3	69 4.1
無回答	79 100.0	5 6.3	12 15.2	24 30.4	14 17.7	9 11.4	1 1.3	4 5.1	0 0.0	1 1.3	5 6.3	4 5.1

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、「50万円未満」、「わからない」が90歳以上で多く、「200万円～300万円未満」が80～84歳で多くなっている。

	調査数	50万円未満	50万円～99万円	100万円～199万円	200万円～299万円	300万円～399万円	400万円～499万円	500万円～599万円	600万円～699万円	700万円以上	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	236 7.5	648 20.6	814 25.9	729 23.2	303 9.6	112 3.6	49 1.6	22 0.7	52 1.7	74 2.4	105 3.3
65～69歳	858 100.0	45 5.2	207 24.1	228 26.6	168 19.6	80 9.3	47 5.5	16 1.9	10 1.2	21 2.4	8 0.9	28 3.3
70～74歳	754 100.0	54 7.2	190 25.2	195 25.9	173 22.9	73 9.7	27 3.6	6 0.8	7 0.9	8 1.1	7 0.9	14 1.9
75～79歳	663 100.0	63 9.5	134 20.2	172 25.9	152 22.9	50 7.5	14 2.1	14 2.1	3 0.5	8 1.2	23 3.5	30 4.5
80～84歳	473 100.0	34 7.2	63 13.3	114 24.1	145 30.7	55 11.6	17 3.6	8 1.7	1 0.2	7 1.5	11 2.3	18 3.8
85～89歳	213 100.0	21 9.9	19 8.9	57 26.8	54 25.4	31 14.6	5 2.3	1 0.5	1 0.5	6 2.8	10 4.7	8 3.8
90歳以上	106 100.0	14 13.2	24 22.6	23 21.7	23 21.7	6 5.7	1 0.9	0 0.0	0 0.0	1 0.9	11 10.4	3 2.8
無回答	77 100.0	5 6.5	11 14.3	25 32.5	14 18.2	8 10.4	1 1.3	4 5.2	0 0.0	1 1.3	4 5.2	4 5.2
65～74歳	1,612 100.0	99 6.1	397 24.6	423 26.2	341 21.2	153 9.5	74 4.6	22 1.4	17 1.1	29 1.8	15 0.9	42 2.6
75歳以上	1,455 100.0	132 9.1	240 16.5	366 25.2	374 25.7	142 9.8	37 2.5	23 1.6	5 0.3	22 1.5	55 3.8	59 4.1

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯状況別にみると、夫婦のみ（どちらかが65歳以上）の世帯を除いて、『200万円未満』が5～6割を占めている。一方、夫婦のみ（どちらかが65歳以上）の世帯では『200万円以上』が63.1%と多くなっている。

	調査数	50万円未満	50万円～100万円	100万円～200万円	200万円～300万円	300万円～400万円	400万円～500万円	500万円～600万円	600万円～700万円	700万円以上	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	236 7.5	648 20.6	814 25.9	729 23.2	303 9.6	112 3.6	49 1.6	22 0.7	52 1.7	74 2.4	105 3.3
ひとり暮らし(特養などに入所含む。)	477 100.0	28 5.9	62 13.0	200 41.9	98 20.5	31 6.5	8 1.7	3 0.6	5 1.0	4 0.8	23 4.8	15 3.1
夫婦のみ(ともに65歳以上)	1,194 100.0	91 7.6	292 24.5	249 20.9	296 24.8	132 11.1	49 4.1	22 1.8	7 0.6	20 1.7	7 0.6	29 2.4
夫婦のみ(どちらかが65歳以上)	187 100.0	10 5.3	21 11.2	27 14.4	51 27.3	34 18.2	15 8.0	4 2.1	3 1.6	11 5.9	4 2.1	7 3.7
上記以外で全員が65歳以上の世帯	89 100.0	4 4.5	21 23.6	21 23.6	21 23.6	3 3.4	3 3.4	2 2.2	1 1.1	2 2.2	8 9.0	3 3.4
その他世帯	1,075 100.0	88 8.2	227 21.1	285 26.5	244 22.7	98 9.1	36 3.3	15 1.4	6 0.6	13 1.2	22 2.0	41 3.8
無回答	122 100.0	15 12.3	25 20.5	32 26.2	19 15.6	5 4.1	1 0.8	3 2.5	0 0.0	2 1.6	10 8.2	10 8.2

(上段:実数、下段:%)

## (2) 世帯の年間総収入

- ◆ 性別にみると、『200万円未満』が男性では15.6%、女性では23.9%と女性の方が多くなっている。これは、女性のひとり暮らしの割合が男性に比べて高いため、世帯収入は男性より低い傾向にあることによるものである。

	調査数	50万円未満	50万円～100万円	100万円～200万円	200万円～300万円	300万円～400万円	400万円～500万円	500万円～600万円	600万円～700万円	700万円～1,000万円	1,000万円以上	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	51 1.6	122 3.9	465 14.8	769 24.5	607 19.3	326 10.4	180 5.7	97 3.1	105 3.3	72 2.3	216 6.9	134 4.3
男性	1,379 100.0	15 1.1	34 2.5	166 12.0	366 26.5	310 22.5	166 12.0	95 6.9	52 3.8	57 4.1	43 3.1	48 3.5	27 2.0
女性	1,686 100.0	36 2.1	83 4.9	285 16.9	388 23.0	285 16.9	152 9.0	80 4.7	44 2.6	46 2.7	29 1.7	159 9.4	99 5.9
無回答	79 100.0	0 0.0	5 6.3	14 17.7	15 19.0	12 15.2	8 10.1	5 6.3	1 1.3	2 2.5	0 0.0	9 11.4	8 10.1

(上段:実数、下段:%)

◆ 年齢別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	50万円未満	50万円～100万円	100万円～200万円	200万円～300万円	300万円～400万円	400万円～500万円	500万円～600万円	600万円～700万円	700万円～800万円	800万円～900万円	900万円以上	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	51 1.6	122 3.9	465 14.8	769 24.5	607 19.3	326 10.4	180 5.7	97 3.1	105 3.3	72 2.3	216 6.9	134 4.3	
65～69歳	858 100.0	8 0.9	29 3.4	125 14.6	219 25.5	167 19.5	102 11.9	55 6.4	35 4.1	41 4.8	27 3.1	29 3.4	21 2.4	
70～74歳	754 100.0	9 1.2	31 4.1	121 16.0	197 26.1	159 21.1	88 11.7	44 5.8	25 3.3	13 1.7	16 2.1	32 4.2	19 2.5	
75～79歳	663 100.0	20 3.0	30 4.5	98 14.8	158 23.8	118 17.8	54 8.1	35 5.3	18 2.7	17 2.6	10 1.5	56 8.4	49 7.4	
80～84歳	473 100.0	10 2.1	18 3.8	63 13.3	116 24.5	91 19.2	49 10.4	28 5.9	9 1.9	20 4.2	8 1.7	35 7.4	26 5.5	
85～89歳	213 100.0	2 0.9	4 1.9	28 13.1	40 18.8	45 21.1	17 8.0	10 4.7	7 3.3	8 3.8	9 4.2	34 16.0	9 4.2	
90歳以上	106 100.0	2 1.9	5 4.7	15 14.2	24 22.6	15 14.2	9 8.5	3 2.8	2 1.9	4 3.8	2 1.9	22 20.8	3 2.8	
無回答	77 100.0	0 0.0	5 6.5	15 19.5	15 19.5	12 15.6	7 9.1	5 6.5	1 1.3	2 2.6	0 0.0	8 10.4	7 9.1	
65～74歳	1,612 100.0	17 1.1	60 3.7	246 15.3	416 25.8	326 20.2	190 11.8	99 6.1	60 3.7	54 3.3	43 2.7	61 3.8	40 2.5	
75歳以上	1,455 100.0	34 2.3	57 3.9	204 14.0	338 23.2	269 18.5	129 8.9	76 5.2	36 2.5	49 3.4	29 2.0	147 10.1	87 6.0	

(上段:実数、下段:%)

◆ 世帯状況別にみると、ひとり暮らし(特養などに入所含む)では『200万円未満』が約5割を占める。また、夫婦のみの世帯では『200万円～400万円未満』が5～6割を占める。

	調査数	50万円未満	50万円～100万円	100万円～200万円	200万円～300万円	300万円～400万円	400万円～500万円	500万円～600万円	600万円～700万円	700万円～800万円	800万円以上	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	51 1.6	122 3.9	465 14.8	769 24.5	607 19.3	326 10.4	180 5.7	97 3.1	105 3.3	72 2.3	216 6.9	134 4.3
ひとり暮らし(特養などに入所含む。)	477 100.0	20 4.2	48 10.1	176 36.9	82 17.2	35 7.3	9 1.9	4 0.8	6 1.3	6 1.3	2 0.4	40 8.4	49 10.3
夫婦のみ(ともに65歳以上)	1,194 100.0	14 1.2	26 2.2	123 10.3	378 31.7	332 27.8	136 11.4	78 6.5	24 2.0	31 2.6	16 1.3	19 1.6	17 1.4
夫婦のみ(どちらかが65歳以上)	187 100.0	3 1.6	6 3.2	22 11.8	48 25.7	48 25.7	25 13.4	5 2.7	5 2.7	5 2.7	11 5.9	6 3.2	3 1.6
上記以外で全員が65歳以上の世帯	89 100.0	1 1.1	5 5.6	9 10.1	23 25.8	11 12.4	12 13.5	5 5.6	3 3.4	2 2.2	2 2.2	10 11.2	6 6.7
その他世帯	1,075 100.0	9 0.8	31 2.9	110 10.2	226 21.0	171 15.9	139 12.9	82 7.6	57 5.3	61 5.7	38 3.5	115 10.7	36 3.3
無回答	122 100.0	4 3.3	6 4.9	25 20.5	12 9.8	10 8.2	5 4.1	6 4.9	2 1.6	0 0.0	3 2.5	26 21.3	23 18.9

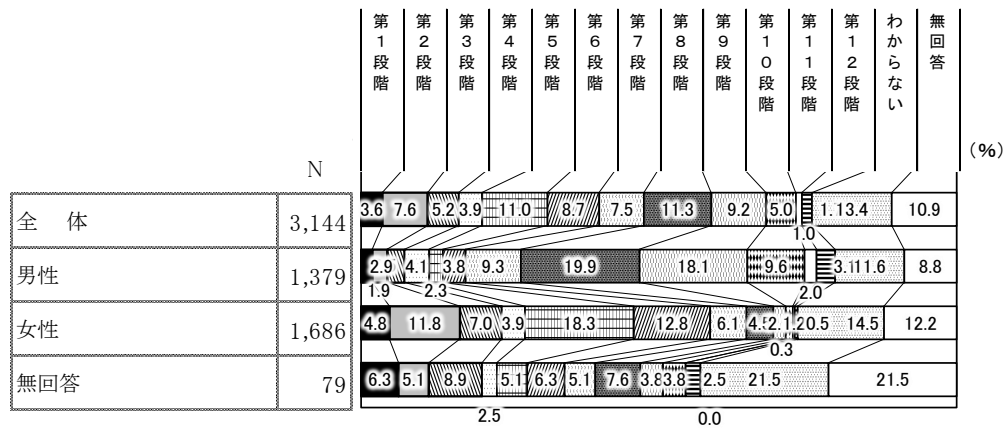
(上段:実数、下段:%)



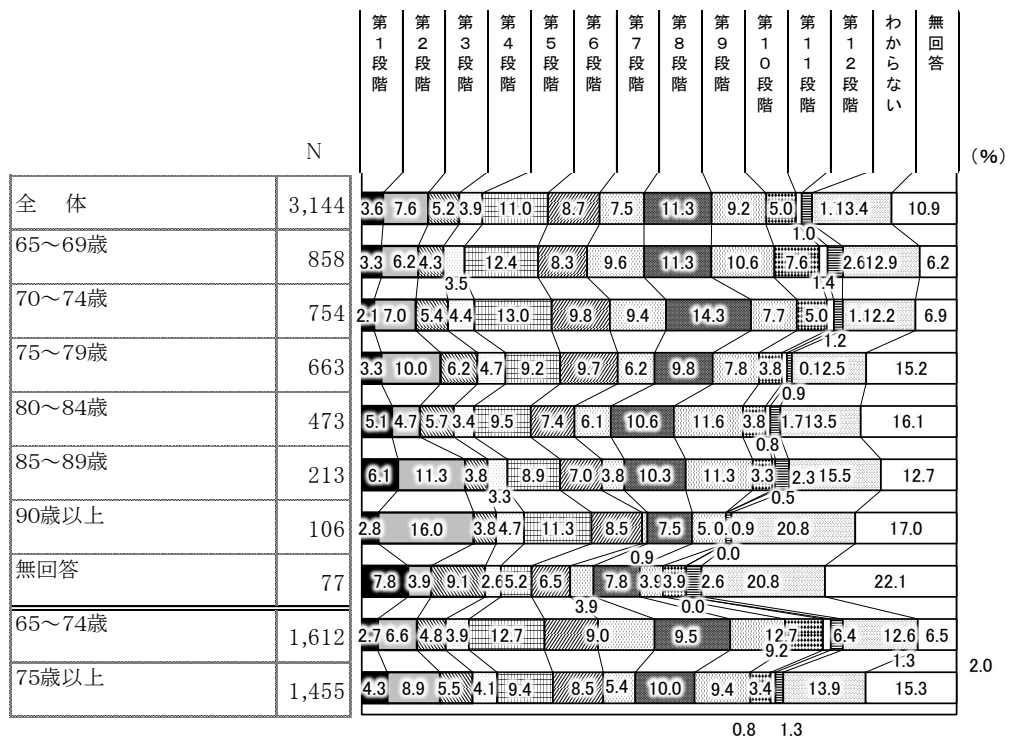
## 11 介護保険料について

### (1) 保険料段階

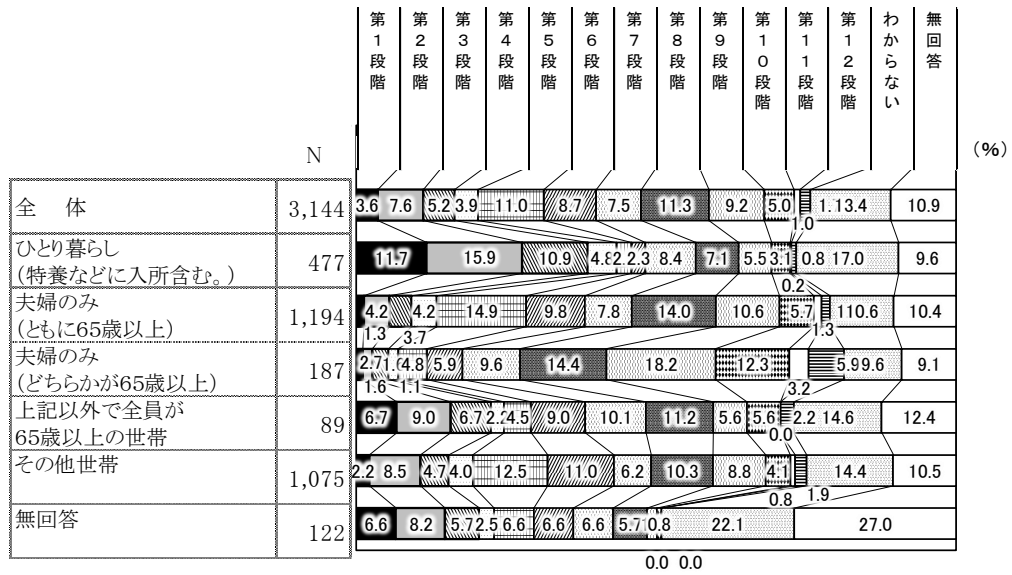
- ◆ 性別にみると、男性では「第7段階」～「第12段階」までの『第7段階以上』が62.0%と多く、一方、女性では「第1段階」から「第6段階」までの『第6段階以下』が58.6%と多くなっており、本人の年間総収入による違いがみられる。



- ◆ 年齢別にみると、「第2段階」が90歳以上で、他の年齢層に比べて多くなっている。

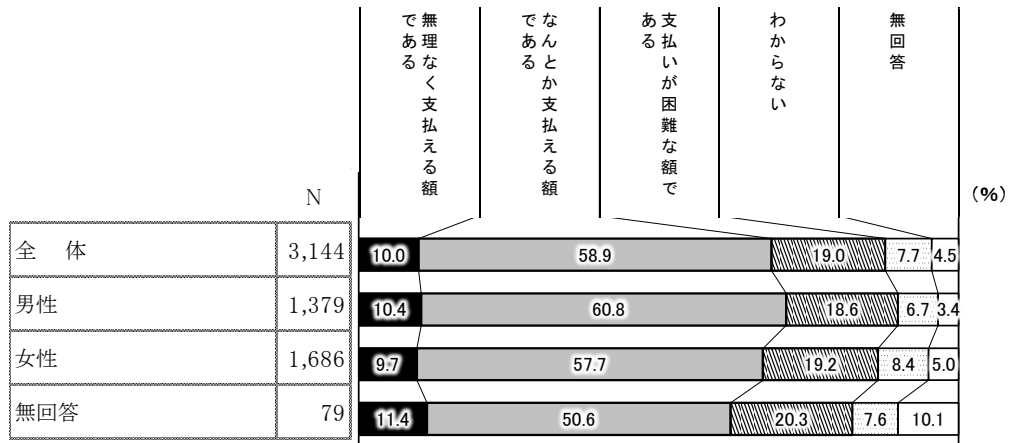


- ◆ 世帯状況別にみると、「第1段階」、「第2段階」、「第3段階」は、ひとり暮らし（特養などに入居含む）で多く、「第9段階」、「第10段階」は夫婦のみ（どちらかが65歳以上）で多くなっている。

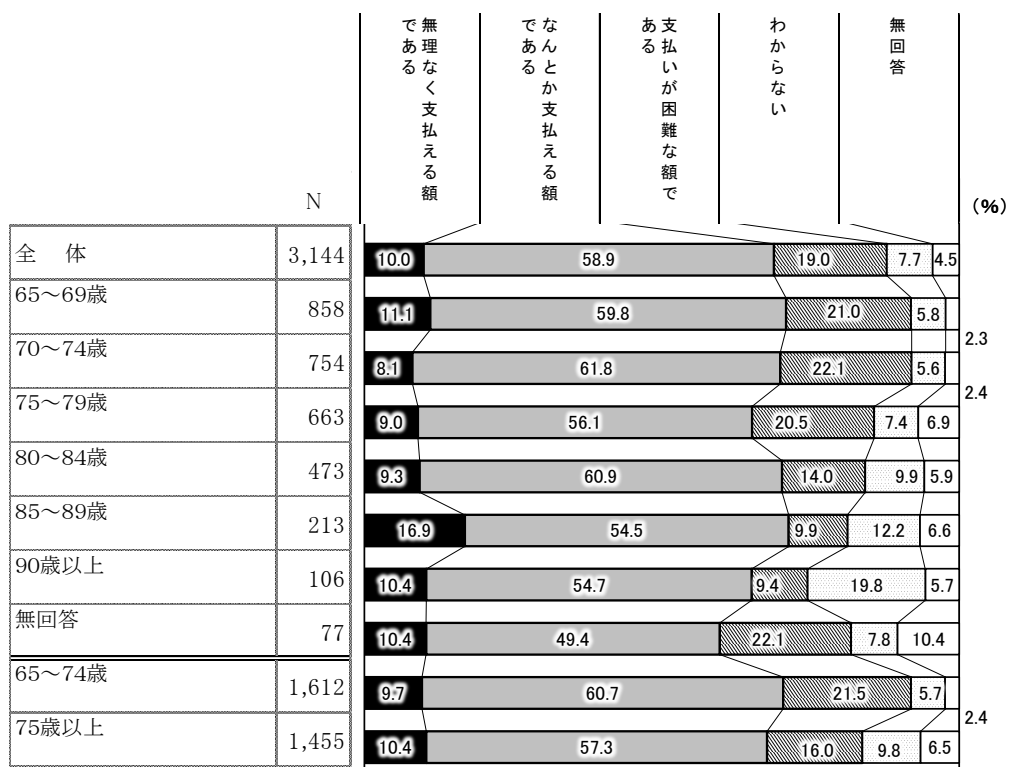


(2) 保険料の負担感

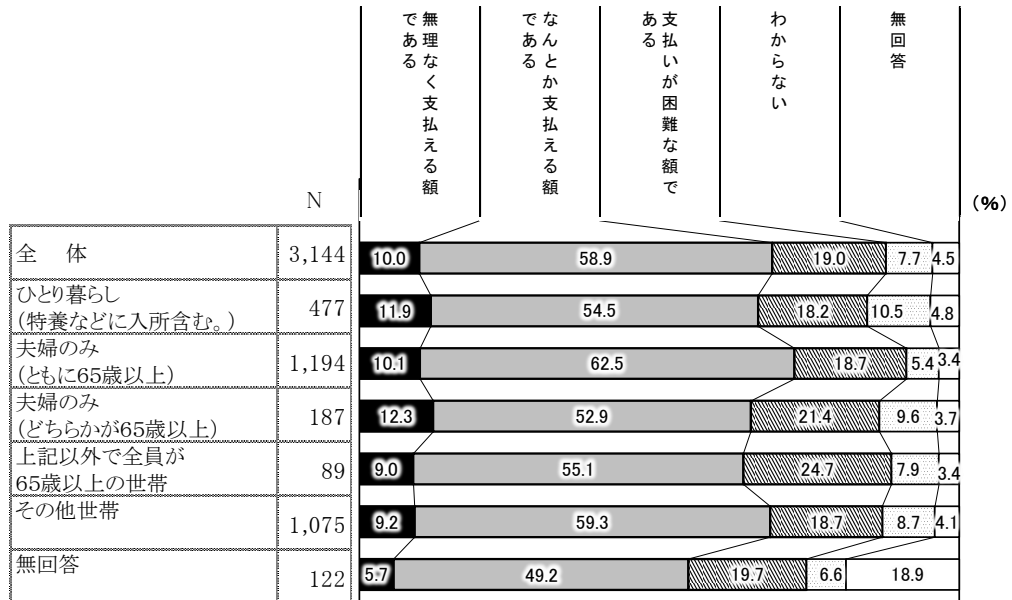
◆ 性別にみると、大きな差はみられない。



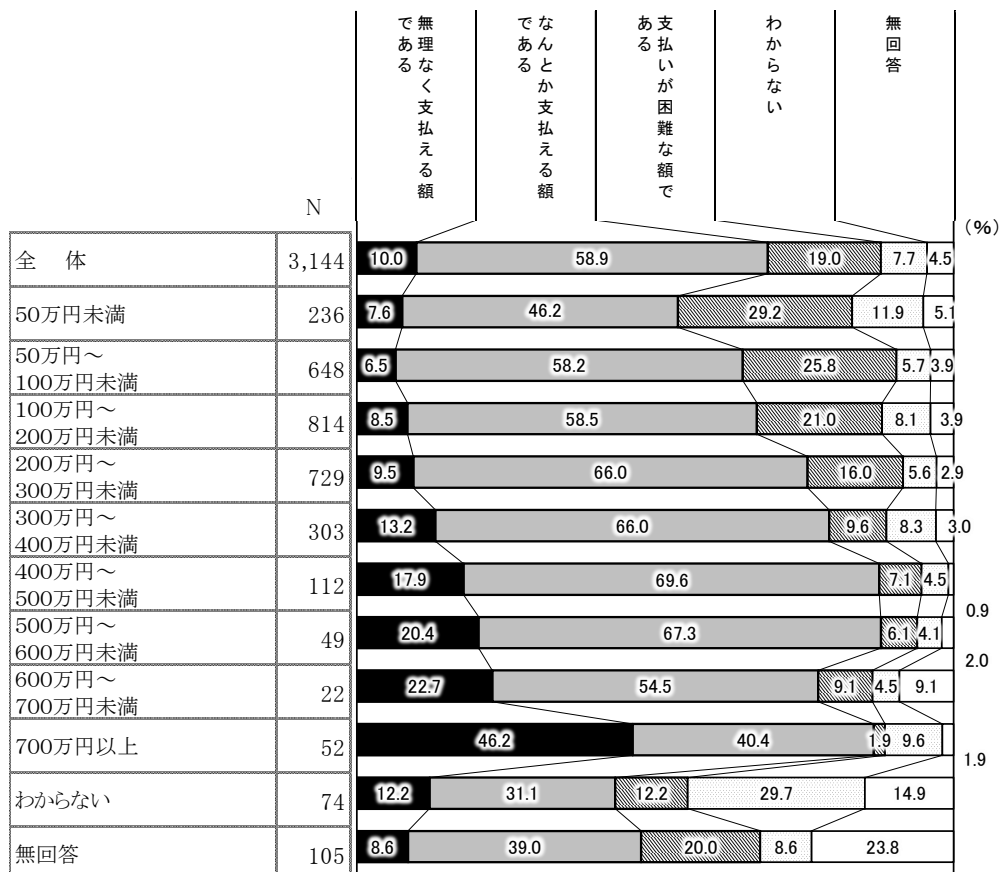
◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「支払いが困難な額である」が多くなっている。一方、概ね年齢が高くなるにしたがって「わからない」が多くなっている。



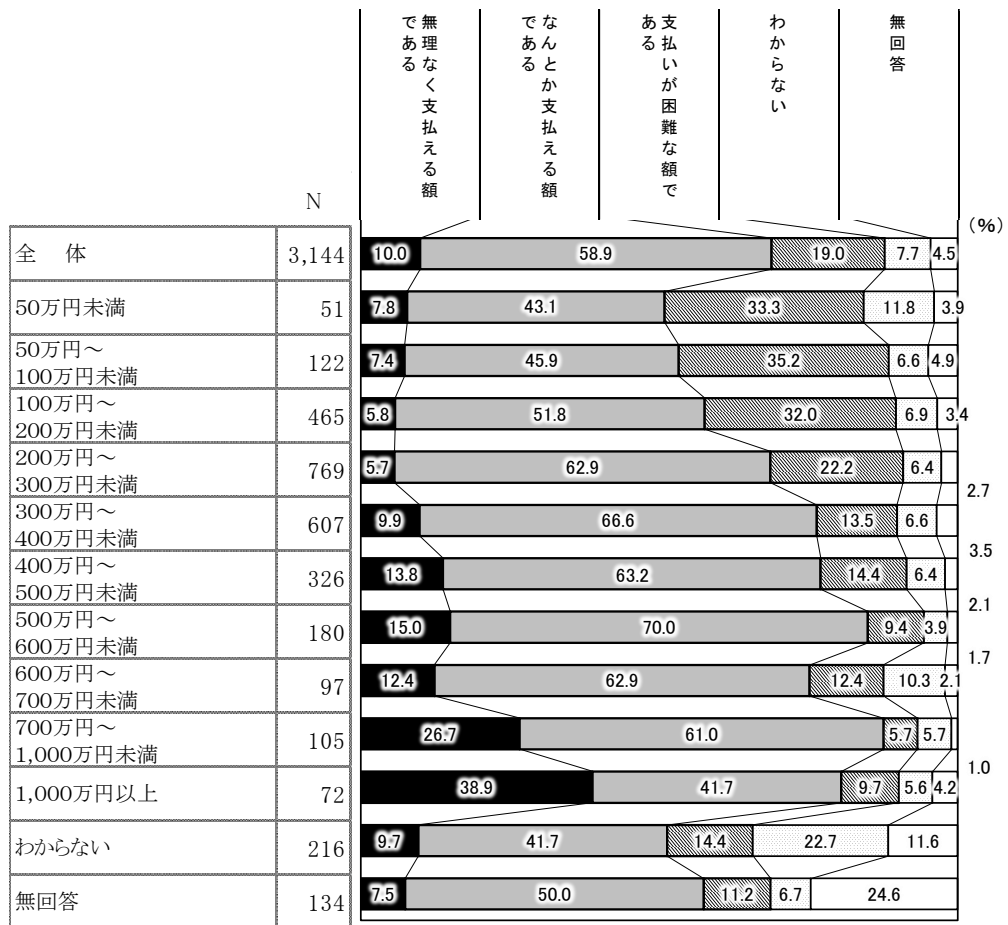
- ◆ 世帯状況別にみると、大きな差はみられない。



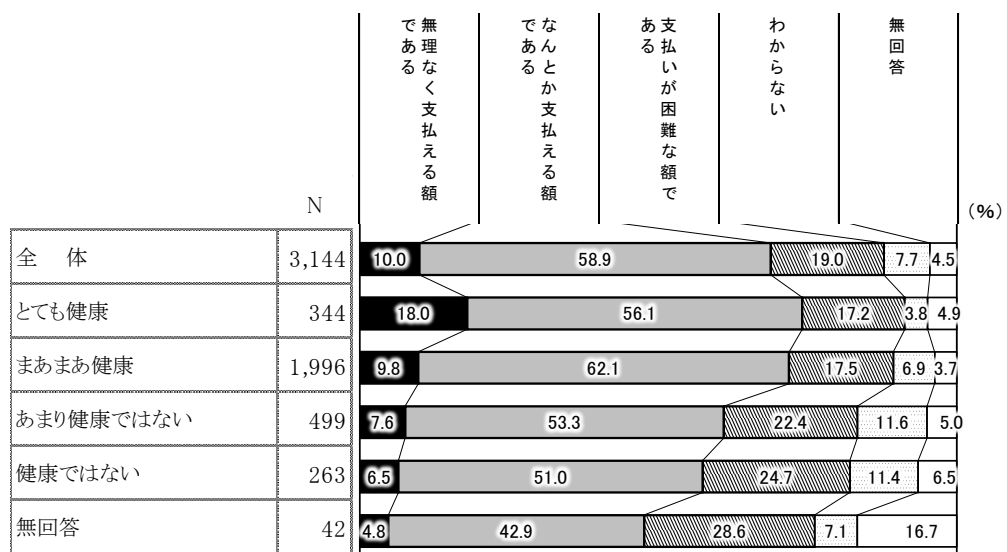
- ◆ 本人の年間総収入額別にみると、概ね年収が高くなるにしたがって「無理なく支払える額である」と「なんとか支払える額である」を合わせた『支払える額である』が多くなっている。なお、500万円以上の層はサンプル数が少ないため、参考値として参照されたい。



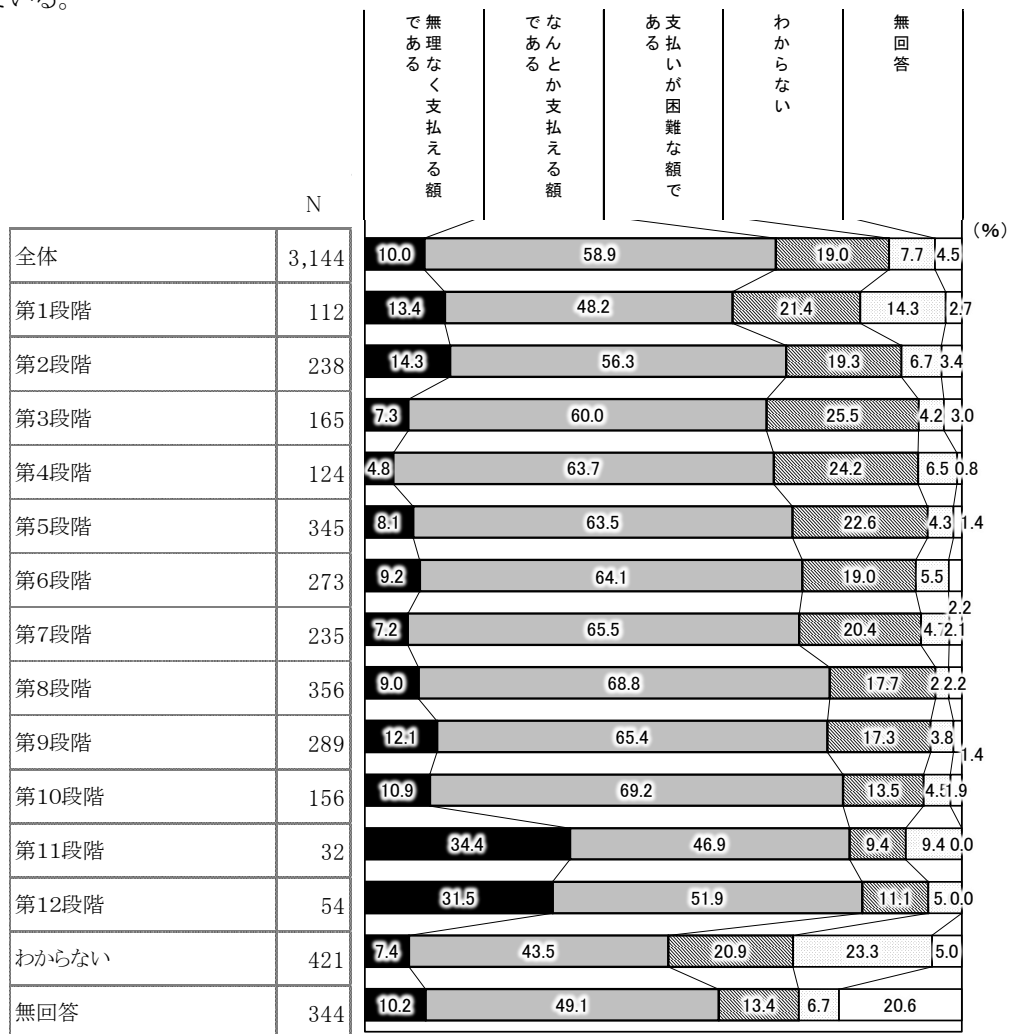
- ◆ 世帯の年間総収入額別にみると、概ね年収が高くなるにしたがって『支払える額である』との回答が多くなっている。



- ◆ 健康状態別にみると、健康状態が良くなるにしたがって『支払える額である』との回答が多くなっている。



- ◆ 保険料段階別にみると、概ね保険料段階が高くなるにしたがって『支払える額である』との回答が多くなっている。



(3) ひと月あたりの妥当と考える保険料額

- ◆ 性別にみると、女性では『2,500円～4,000円程度』が妥当であると考えている人が約5割と多いのに対し、男性では約3割となっている。

	調査数	2,500円程度	3,000円程度	3,500円程度	4,000円程度	5,000円程度	6,000円程度	7,000円程度	8,000円程度	10,000円程度	12,000円程度	15,000円程度	わからない	無回答
全体	3,144	520	416	197	212	559	101	78	68	63	12	16	537	365
男性	1,379	148	144	77	87	348	65	56	48	39	9	7	216	135
女性	1,686	357	262	117	122	197	34	18	18	22	3	8	309	219
無回答	79	15	10	3	3	14	2	4	2	2	0	1	12	11
	100.0	19.0	12.7	3.8	3.8	17.7	2.5	5.1	2.5	2.5	0.0	1.3	15.2	13.9

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、「わからない」が85歳～89歳、90歳以上で、他の年齢層に比べて多くなっている。

	調査数	2 5 0 0 円 程 度	3 0 0 0 円 程 度	3 5 0 0 円 程 度	4 0 0 0 円 程 度	5 0 0 0 円 程 度	6 0 0 0 円 程 度	7 0 0 0 円 程 度	8 0 0 0 円 程 度	1 0 0 0 円 程 度	1 2 0 0 円 程 度	1 5 0 0 円 程 度	わ か ら な い	無 回 答
全体	3,144	520	416	197	212	559	101	78	68	63	12	16	537	365
	100.0	16.5	13.2	6.3	6.7	17.8	3.2	2.5	2.2	2.0	0.4	0.5	17.1	11.6
65～69歳	858	155	124	66	60	183	18	20	13	15	0	4	143	57
	100.0	18.1	14.5	7.7	7.0	21.3	2.1	2.3	1.5	1.7	0.0	0.5	16.7	6.6
70～74歳	754	145	108	55	59	153	28	20	18	14	4	4	85	61
	100.0	19.2	14.3	7.3	7.8	20.3	3.7	2.7	2.4	1.9	0.5	0.5	11.3	8.1
75～79歳	663	106	86	36	44	93	21	16	10	16	2	5	114	114
	100.0	16.0	13.0	5.4	6.6	14.0	3.2	2.4	1.5	2.4	0.3	0.8	17.2	17.2
80～84歳	473	56	52	27	31	78	23	10	17	9	3	1	92	74
	100.0	11.8	11.0	5.7	6.6	16.5	4.9	2.1	3.6	1.9	0.6	0.2	19.5	15.6
85～89歳	213	29	21	8	9	28	7	7	8	6	3	1	56	30
	100.0	13.6	9.9	3.8	4.2	13.1	3.3	3.3	3.8	2.8	1.4	0.5	26.3	14.1
90歳以上	106	13	15	2	6	11	2	2	0	1	0	0	36	18
	100.0	12.3	14.2	1.9	5.7	10.4	1.9	1.9	0.0	0.9	0.0	0.0	34.0	17.0
無回答	77	16	10	3	3	13	2	3	2	2	0	1	11	11
	100.0	20.8	13.0	3.9	3.9	16.9	2.6	3.9	2.6	2.6	0.0	1.3	14.3	14.3
65～74歳	1,612	300	232	121	119	336	46	40	31	29	4	8	228	118
	100.0	18.6	14.4	7.5	7.4	20.8	2.9	2.5	1.9	1.8	0.2	0.5	14.1	7.3
75歳以上	1,455	204	174	73	90	210	53	35	35	32	8	7	298	236
	100.0	14.0	12.0	5.0	6.2	14.4	3.6	2.4	2.4	2.2	0.5	0.5	20.5	16.2

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯状況別にみると、ひとり暮らし(特養などに入所含む)で「2,500円程度」との回答が他の世帯構成に比べて多く、夫婦のみ(どちらかが65歳以上)で、「5,000円程度」との回答が他の世帯構成に比べて多くなっている。

	調査数	2 5 0 0 円 程 度	3 0 0 0 円 程 度	3 5 0 0 円 程 度	4 0 0 0 円 程 度	5 0 0 0 円 程 度	6 0 0 0 円 程 度	7 0 0 0 円 程 度	8 0 0 0 円 程 度	1 0 0 0 円 程 度	1 2 0 0 円 程 度	1 5 0 0 円 程 度	わ か ら な い	無 回 答
全体	3,144	520	416	197	212	559	101	78	68	63	12	16	537	365
	100.0	16.5	13.2	6.3	6.7	17.8	3.2	2.5	2.2	2.0	0.4	0.5	17.1	11.6
ひとり暮らし(特養などに入所含む)	477	120	58	27	18	54	13	7	5	6	1	1	108	59
	100.0	25.2	12.2	5.7	3.8	11.3	2.7	1.5	1.0	1.3	0.2	0.2	22.6	12.4
夫婦のみ(ともに65歳以上)	1,194	169	165	94	93	234	48	37	33	28	4	9	169	111
	100.0	14.2	13.8	7.9	7.8	19.6	4.0	3.1	2.8	2.3	0.3	0.8	14.2	9.3
夫婦のみ(どちらかが65歳以上)	187	22	16	13	9	51	10	5	6	7	0	0	30	18
	100.0	11.8	8.6	7.0	4.8	27.3	5.3	2.7	3.2	3.7	0.0	0.0	16.0	9.6
上記以外で全員が65歳以上の世帯	89	15	13	0	5	14	2	1	3	2	0	0	18	16
	100.0	16.9	14.6	0.0	5.6	15.7	2.2	1.1	3.4	2.2	0.0	0.0	20.2	18.0
その他世帯	1,075	171	150	60	83	197	23	28	19	19	6	5	191	123
	100.0	15.9	14.0	5.6	7.7	18.3	2.1	2.6	1.8	1.8	0.6	0.5	17.8	11.4
無回答	122	23	14	3	4	9	5	0	2	1	1	1	21	38
	100.0	18.9	11.5	2.5	3.3	7.4	4.1	0.0	1.6	0.8	0.8	0.8	17.2	31.1

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 本人の年間総収入額別にみると、概ね収入が低くなるにしたがって「2,500円程度」が多くなっている。一方、概ね年収が高くなるにしたがって妥当と思う保険料の金額が高くなっている傾向がみられる。なお、500万円以上の層は、サンプル数が少ないため、参考値として参照されたい。

	調査数	2 5 0 0 円 程度	3 0 0 0 円 程度	3 5 0 0 円 程度	4 0 0 0 円 程度	5 0 0 0 円 程度	6 0 0 0 円 程度	7 0 0 0 円 程度	8 0 0 0 円 程度	1 0 0 0 円 程度	1 2 0 0 円 程度	1 5 0 0 円 程度	わ か ら な い	無 回 答
全体	3,144 100.0	520 16.5	416 13.2	197 6.3	212 6.7	559 17.8	101 3.2	78 2.5	68 2.2	63 2.0	12 0.4	16 0.5	537 17.1	365 11.6
50万円未満	236 100.0	63 26.7	35 14.8	15 6.4	13 5.5	15 6.4	3 1.3	3 1.3	2 0.8	3 1.3	1 0.4	4 1.7	51 21.6	28 11.9
50万円～ 100万円未満	648 100.0	171 26.4	108 16.7	50 7.7	54 8.3	58 9.0	7 1.1	6 0.9	4 0.6	1 0.2	0 0.0	2 0.3	102 15.7	85 13.1
100万円～ 200万円未満	814 100.0	176 21.6	140 17.2	56 6.9	58 7.1	114 14.0	20 2.5	13 1.6	6 0.7	10 1.2	3 0.4	5 0.6	134 16.5	79 9.7
200万円～ 300万円未満	729 100.0	58 8.0	83 11.4	51 7.0	55 7.5	207 28.4	39 5.3	23 3.2	23 3.2	13 1.8	6 0.8	2 0.3	97 13.3	72 9.9
300万円～ 400万円未満	303 100.0	19 6.3	19 6.3	15 5.0	19 6.3	80 26.4	23 7.6	20 6.6	17 5.6	6 2.0	0 0.0	0 0.0	54 17.8	31 10.2
400万円～ 500万円未満	112 100.0	4 3.6	10 8.9	4 3.6	6 5.4	34 30.4	5 4.5	7 6.3	9 8.0	6 5.4	0 0.0	1 0.9	18 16.1	8 7.1
500万円～ 600万円未満	49 100.0	0 0.0	4 8.2	1 2.0	1 2.0	18 36.7	0 0.0	5 10.2	2 4.1	8 16.3	0 0.0	1 2.0	6 12.2	3 6.1
600万円～ 700万円未満	22 100.0	0 0.0	0 0.0	1 4.5	0 0.0	9 40.9	1 4.5	1 4.5	0 0.0	3 13.6	0 0.0	0 0.0	3 13.6	4 18.2
700万円以上	52 100.0	1 1.9	2 3.8	0 0.0	0 0.0	9 17.3	1 1.9	0 0.0	4 7.7	12 23.1	0 0.0	1 1.9	18 34.6	4 7.7
わからない	74 100.0	11 14.9	3 4.1	1 1.4	3 4.1	6 8.1	1 1.4	0 0.0	1 1.4	1 1.4	0 0.0	0 0.0	33 44.6	14 18.9
無回答	105 100.0	17 16.2	12 11.4	3 2.9	3 2.9	9 8.6	1 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.9	0 0.0	21 20.0	37 35.2

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯の年間総収入額別にみると、本人の年間総収入額別と同様、概ね収入が低くなるにしたがって「2,500円程度」が多くなっている。一方、概ね年収が高くなるにしたがって妥当と思う保険料の金額が高くなっている傾向がみられる。

	調査数	2 5 0 0 円 程度	3 0 0 0 円 程度	3 5 0 0 円 程度	4 0 0 0 円 程度	5 0 0 0 円 程度	6 0 0 0 円 程度	7 0 0 0 円 程度	8 0 0 0 円 程度	1 0 0 0 円 程度	1 2 0 0 円 程度	1 5 0 0 円 程度	わ か ら な い	無 回 答
全体	3,144 100.0	520 16.5	416 13.2	197 6.3	212 6.7	559 17.8	101 3.2	78 2.5	68 2.2	63 2.0	12 0.4	16 0.5	537 17.1	365 11.6
50万円未満	51 100.0	17 33.3	5 9.8	1 2.0	2 3.9	2 3.9	1 2.0	1 2.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0	10 19.6	10 19.6
50万円～ 100万円未満	122 100.0	44 36.1	16 13.1	6 4.9	2 1.6	6 4.9	3 2.5	3 0.8	1 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.6	22 18.0	20 16.4
100万円～ 200万円未満	465 100.0	153 32.9	79 17.0	28 6.0	26 5.6	34 7.3	10 2.2	8 1.7	1 0.2	1 0.2	2 0.4	3 0.6	74 15.9	46 9.9
200万円～ 300万円未満	769 100.0	137 17.8	128 16.6	61 7.9	59 7.7	130 16.9	23 3.0	16 2.1	11 1.4	7 0.9	3 0.4	3 0.4	115 15.0	76 9.9
300万円～ 400万円未満	607 100.0	63 10.4	81 13.3	43 7.1	60 9.9	149 24.5	28 4.6	12 2.0	17 2.8	10 1.6	2 0.3	3 0.5	88 14.5	51 8.4
400万円～ 500万円未満	326 100.0	18 5.5	44 13.5	23 7.1	25 7.7	90 27.6	16 4.9	17 5.2	16 4.9	7 2.1	2 0.6	0 0.0	45 13.8	23 7.1
500万円～ 600万円未満	180 100.0	18 10.0	13 7.2	12 6.7	16 8.9	52 28.9	10 5.6	8 4.4	5 2.8	10 5.6	1 0.6	1 0.6	20 11.1	14 7.8
600万円～ 700万円未満	97 100.0	6 6.2	9 9.3	6 6.2	4 4.1	24 24.7	2 2.1	7 7.2	2 2.1	4 4.1	1 1.0	0 0.0	21 21.6	11 11.3
700万円～ 1,000万円未満	105 100.0	6 5.7	9 8.6	3 2.9	5 4.8	32 30.5	1 1.0	3 2.9	6 5.7	8 7.6	0 0.0	0 0.0	22 21.0	10 9.5
1,000万円以上	72 100.0	9 12.5	3 4.2	2 2.8	0 0.0	13 18.1	4 5.6	2 2.8	4 5.6	11 15.3	0 0.0	1 1.4	15 20.8	8 11.1
わからない	216 100.0	27 12.5	16 7.4	9 4.2	8 3.7	19 8.8	2 0.9	3 1.4	4 1.9	2 0.9	0 0.0	2 0.9	80 37.0	44 20.4
無回答	134 100.0	22 16.4	13 9.7	3 2.2	5 3.7	8 6.0	1 0.7	0 0.0	1 0.7	3 2.2	1 0.7	0 0.0	25 18.7	52 38.8

(上段:実数、下段:%)



## ◆ 健康状態別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	2,500円程度	3,000円程度	3,500円程度	4,000円程度	5,000円程度	6,000円程度	7,000円程度	8,000円程度	10,000円程度	12,000円程度	15,000円程度	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	520 16.5	416 13.2	197 6.3	212 6.7	559 17.8	101 3.2	78 2.5	68 2.2	63 2.0	12 0.4	16 0.5	537 17.1	365 11.6
とても健康	344 100.0	71 20.6	43 12.5	25 7.3	26 7.6	61 17.7	13 3.8	9 2.6	9 2.6	15 4.4	2 0.6	2 0.6	32 9.3	36 10.5
まあまあ健康	1,996 100.0	289 14.5	277 13.9	130 6.5	132 6.6	386 19.3	66 3.3	54 2.7	48 2.4	38 1.9	7 0.4	10 0.5	342 17.1	217 10.9
あまり健康ではない	499 100.0	93 18.6	62 12.4	34 6.8	37 7.4	70 14.0	10 2.0	9 1.8	8 1.6	7 1.4	2 0.4	3 0.6	98 19.6	66 13.2
健康ではない	263 100.0	56 21.3	30 11.4	7 2.7	15 5.7	35 13.3	10 3.8	5 1.9	2 0.8	3 1.1	1 0.4	1 0.4	59 22.4	39 14.8
無回答	42 100.0	11 26.2	4 9.5	1 2.4	2 4.8	7 16.7	2 4.8	1 2.4	1 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 14.3	7 16.7

(上段:実数、下段:%)

## ◆ 保険料段階別にみると、概ね保険料段階が低くなるにしたがって「2,500円程度」が多くなっている。一方、概ね保険料段階が高くなるにしたがって妥当と思う保険料の金額が高くなっている傾向がみられる。

	調査数	2,500円程度	3,000円程度	3,500円程度	4,000円程度	5,000円程度	6,000円程度	7,000円程度	8,000円程度	10,000円程度	12,000円程度	15,000円程度	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	520 16.5	416 13.2	197 6.3	212 6.7	559 17.8	101 3.2	78 2.5	68 2.2	63 2.0	12 0.4	16 0.5	537 17.1	365 11.6
第1段階	112 100.0	63 56.3	7 6.3	3 2.7	1 0.9	1 0.9	0 0.0	2 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	19 17.0	16 14.3
第2段階	238 100.0	119 50.0	45 18.9	6 2.5	3 1.3	7 2.9	2 0.8	1 0.4	1 0.4	0 0.0	1 0.4	2 0.8	39 16.4	12 5.0
第3段階	165 100.0	53 32.1	45 27.3	13 7.9	9 5.5	11 6.7	2 1.2	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	20 12.1	11 6.7
第4段階	124 100.0	29 23.4	40 32.3	12 9.7	12 9.7	6 4.8	1 0.8	1 0.8	1 0.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 10.5	9 7.3
第5段階	345 100.0	60 17.4	82 23.8	32 9.3	48 13.9	41 11.9	3 0.9	1 0.3	2 0.6	3 0.9	0 0.0	1 0.3	46 13.3	26 7.5
第6段階	273 100.0	32 11.7	54 19.8	32 11.7	29 10.6	64 23.4	10 3.7	3 1.1	1 0.4	1 0.4	0 0.0	1 0.4	30 11.0	16 5.9
第7段階	235 100.0	18 7.7	38 16.2	28 11.9	32 13.6	59 25.1	11 4.7	7 3.0	1 0.4	3 1.3	1 0.4	2 0.9	17 7.2	18 7.7
第8段階	356 100.0	23 6.5	34 9.6	21 5.9	35 9.8	119 33.4	34 9.6	10 2.8	7 2.0	6 1.7	5 1.4	2 0.6	36 10.1	24 6.7
第9段階	289 100.0	15 5.2	16 5.5	15 5.2	12 4.2	105 36.3	19 6.6	34 11.8	14 4.8	12 4.2	0 0.0	1 0.3	38 13.1	8 2.8
第10段階	156 100.0	6 3.8	3 1.9	8 5.1	8 5.1	61 39.1	10 6.4	7 4.5	23 14.7	7 4.5	0 0.0	0 0.0	16 10.3	7 4.5
第11段階	32 100.0	0 0.0	1 3.1	2 6.3	0 0.0	11 34.4	2 6.3	2 6.3	1 3.1	4 12.5	0 0.0	0 0.0	6 18.8	3 9.4
第12段階	54 100.0	1 1.9	1 1.9	0 0.0	3 5.6	13 24.1	2 3.7	2 3.7	4 7.4	11 20.4	0 0.0	0 0.0	13 24.1	4 7.4
わからない	421 100.0	60 14.3	35 8.3	14 3.3	5 1.2	32 7.6	2 0.5	0 0.0	7 1.7	7 1.7	1 0.2	5 1.2	202 48.0	51 12.1
無回答	344 100.0	41 11.9	15 4.4	11 3.2	15 4.4	29 8.4	3 0.9	7 2.0	6 1.7	9 2.6	4 1.2	2 0.6	42 12.2	160 46.5

(上段:実数、下段:%)

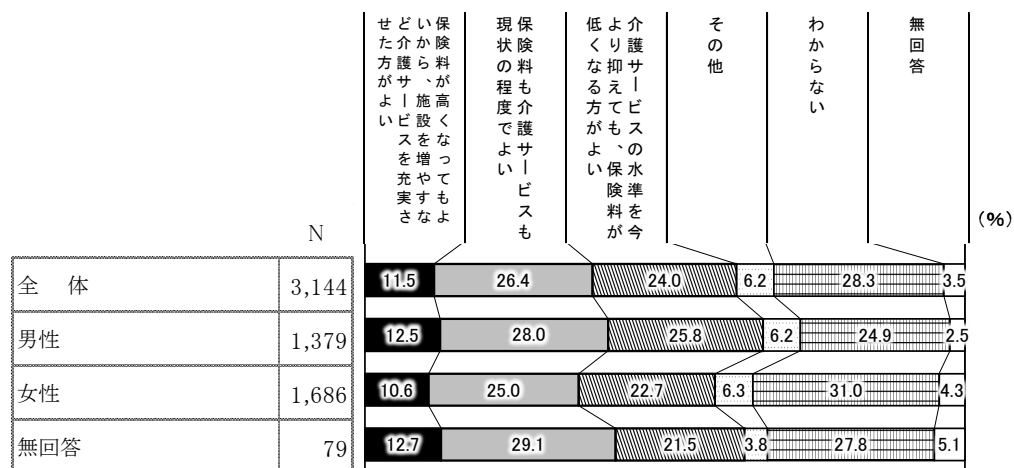
- ◆ 保険料の負担感別にみると、支払いが困難な額である人ほど、妥当だと考える金額は低くなっている。支払いが困難な額であるとする人の約5割が『2,500円～3,000円程度』を妥当な金額と考えている。

	調査数	2,500円程度	3,000円程度	3,500円程度	4,000円程度	5,000円程度	6,000円程度	7,000円程度	8,000円程度	10,000円程度	12,000円程度	15,000円程度	わからない	無回答
全体	3,144	520	416	197	212	559	101	78	68	63	12	16	537	365
	100.0	16.5	13.2	6.3	6.7	17.8	3.2	2.5	2.2	2.0	0.4	0.5	17.1	11.6
無理なく支払える額である	315	42	27	16	10	61	19	20	18	22	1	2	52	25
	100.0	13.3	8.6	5.1	3.2	19.4	6.0	6.3	5.7	7.0	0.3	0.6	16.5	7.9
なんとか支払える額である	1,851	264	266	131	157	399	70	50	42	36	8	7	241	180
	100.0	14.3	14.4	7.1	8.5	21.6	3.8	2.7	2.3	1.9	0.4	0.4	13.0	9.7
支払いが困難な額である	597	177	103	48	34	75	10	6	6	4	1	6	69	58
	100.0	29.6	17.3	8.0	5.7	12.6	1.7	1.0	1.0	0.7	0.2	1.0	11.6	9.7
わからない	241	24	11	0	6	11	1	1	1	0	0	1	160	25
	100.0	10.0	4.6	0.0	2.5	4.6	0.4	0.4	0.4	0.0	0.0	0.4	66.4	10.4
無回答	140	13	9	2	5	13	1	1	1	1	2	0	15	77
	100.0	9.3	6.4	1.4	3.6	9.3	0.7	0.7	0.7	0.7	1.4	0.0	10.7	55.0

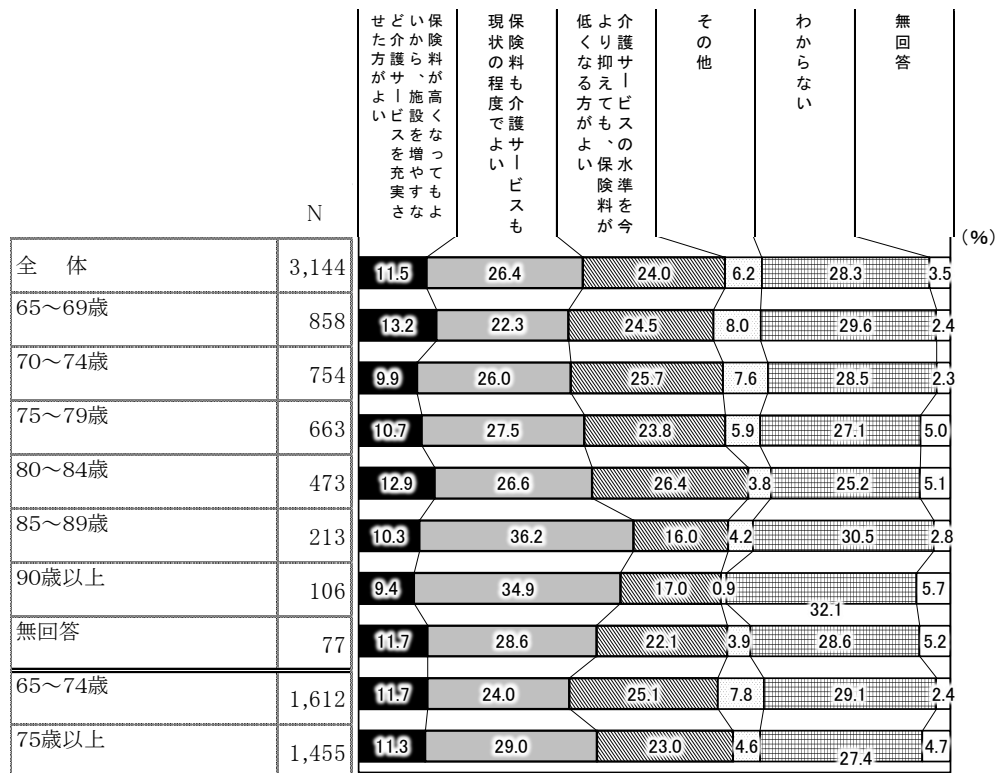
(上段:実数、下段:%)

#### (4) 保険料と介護サービスのあり方

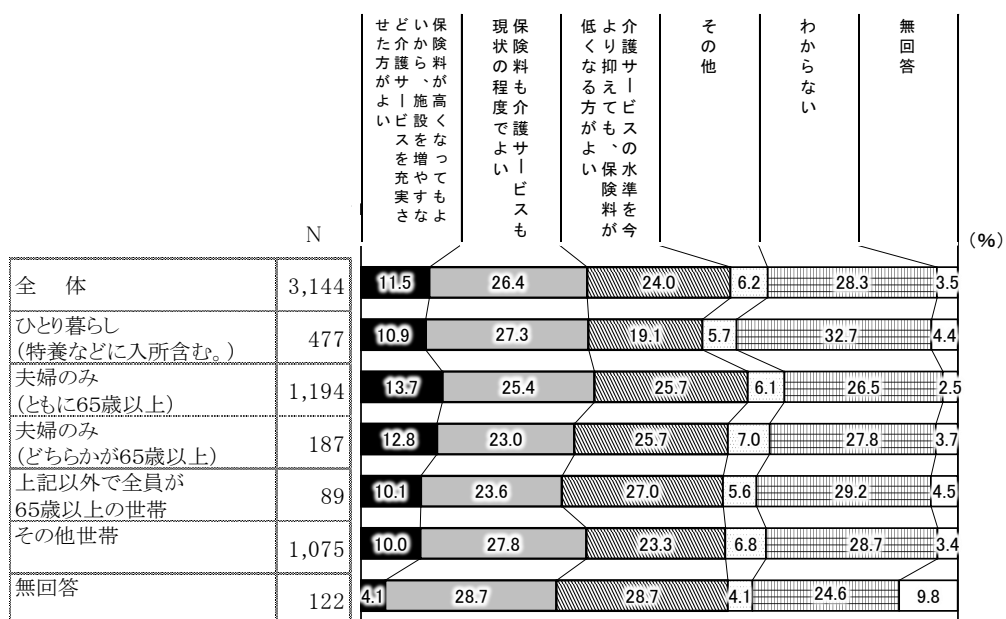
- ◆ 性別にみると、大きな差はみられない。



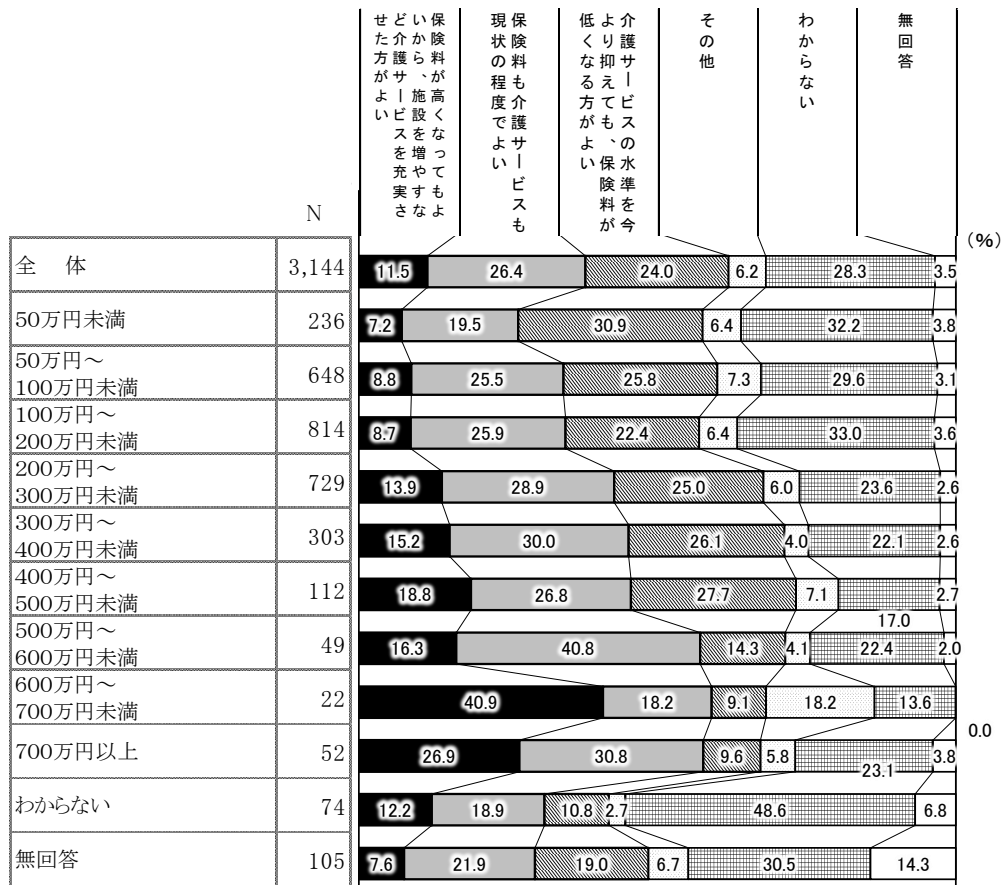
◆ 年齢別にみると、大きな差はみられない。



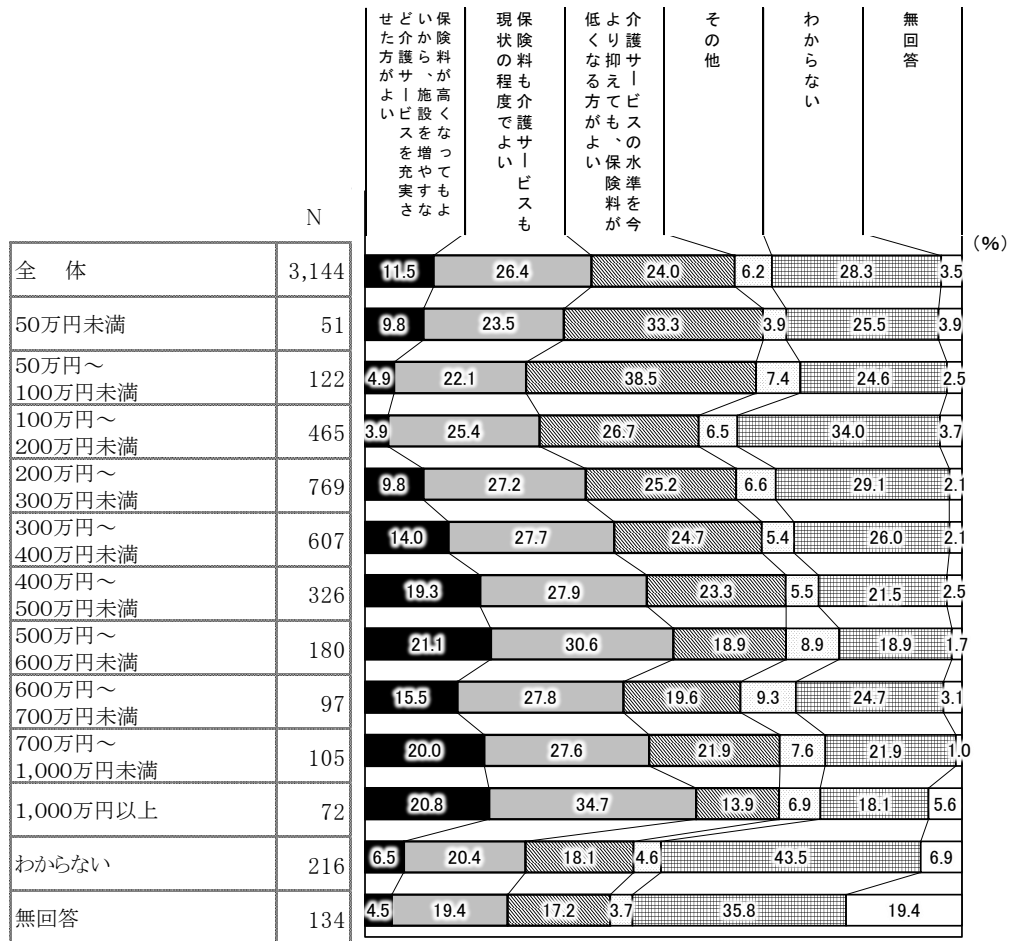
◆ 世帯状況別にみると、ひとり暮らし（特養などに入所含む）で「介護サービスの水準を今より抑えても、保険料が低くなる方がよい」との回答が他の世帯構成に比べて少なくなっている。



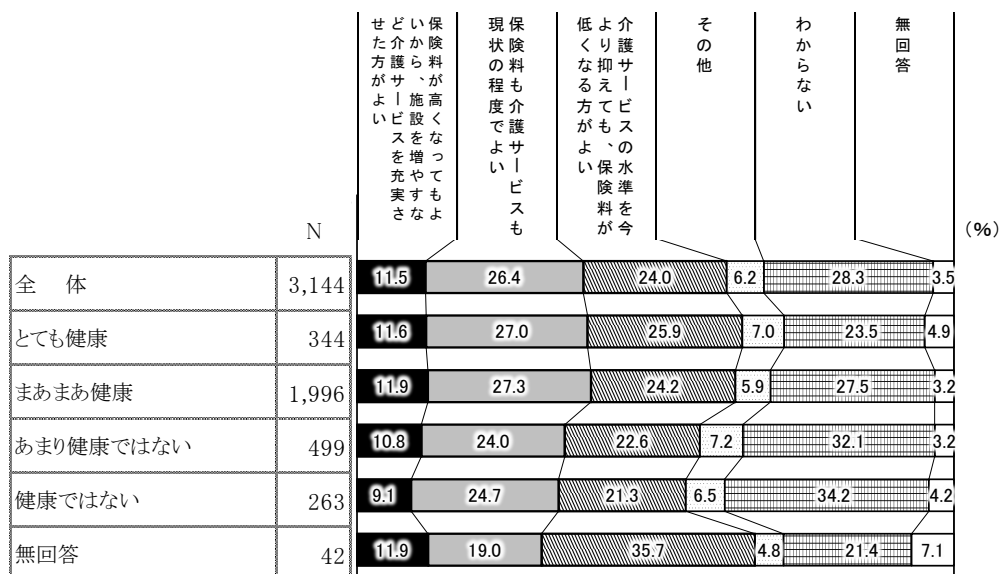
- ◆ 本人の年間総収入額別にみると、概ね年収が高くなるにしたがって「保険料が高くなってもよいから、施設を増やすなど介護サービスを充実させた方がよい」が多くなっている。



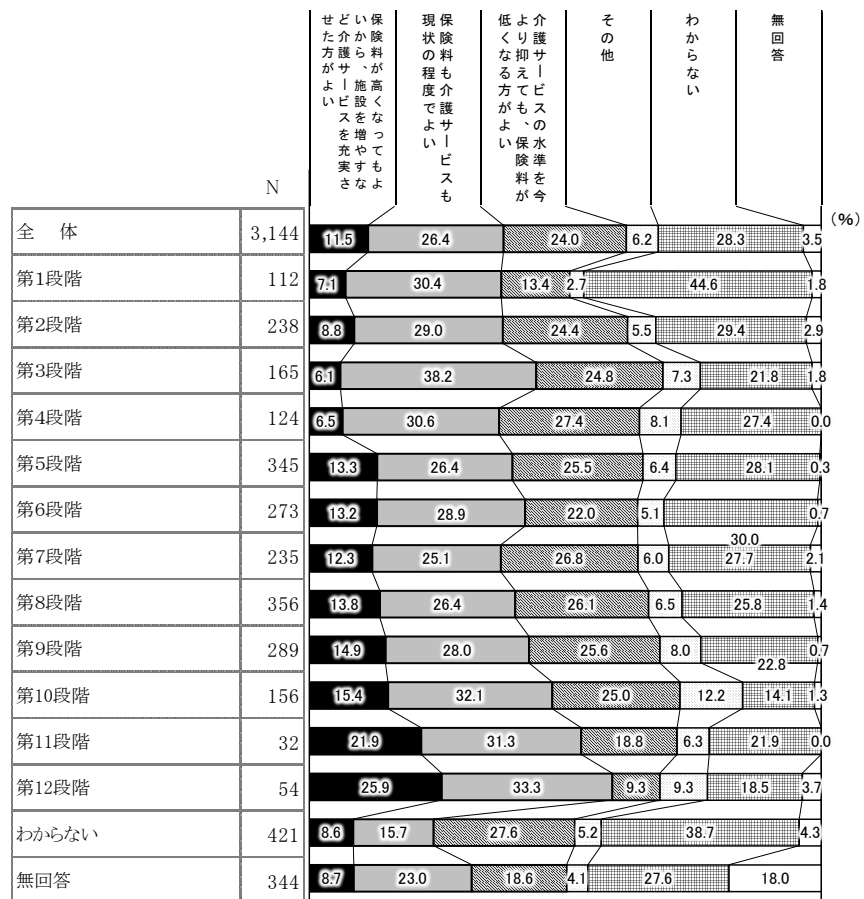
- ◆ 世帯の年間総収入額別にみると、概ね年間総収入が高くなるにしたがって「保険料が高くなってもよ  
いから、施設を増やすなど介護サービスを充実させた方がよい」が多くなっている。



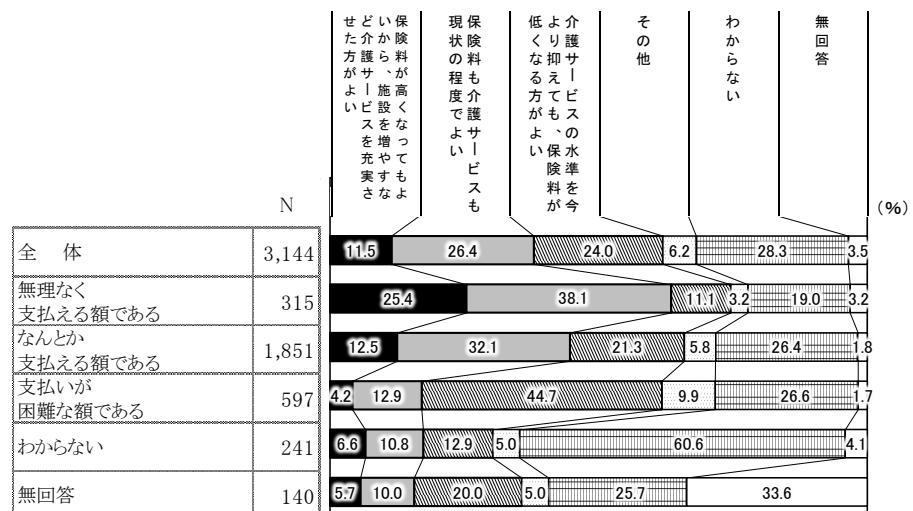
- ◆ 健康状態別にみると、大きな差はみられない。



- ◆ 保険料段階別にみると、概ね保険料段階が高くなるにしたがって「保険料が高くなってよいから、施設を増やすなど介護サービスを充実させた方がよい」が多くなっている。なお、第11段階はサンプル数が少ないため、参考値として参照されたい。

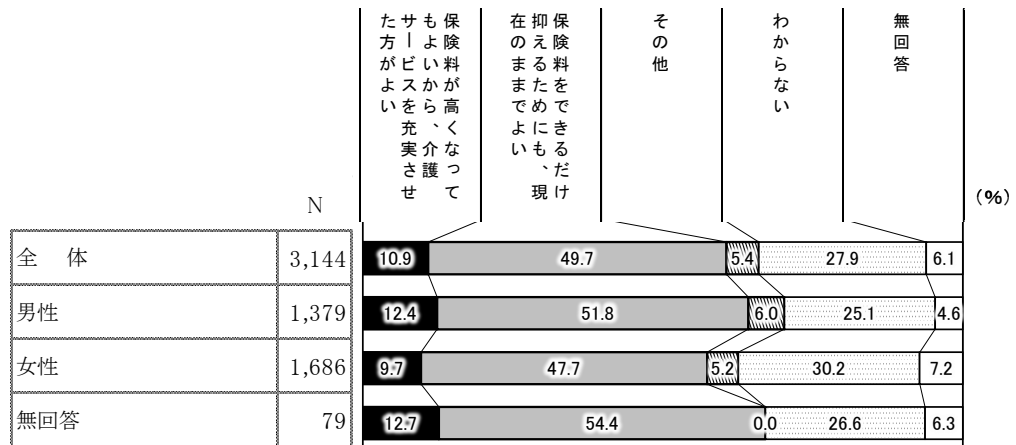


- ◆ 保険料の負担感別にみると、支払える額であるとする人ほど「保険料が高くなってよいから、施設を増やすなど介護サービスを充実させた方がよい」、「保険料も介護サービスも現状の程度でよい」との回答が多くなっている。一方、「介護サービスの水準を今より抑えても、保険料が低くなる方がよい」との回答は、支払いが困難な額であるとする人ほど多くなっている。

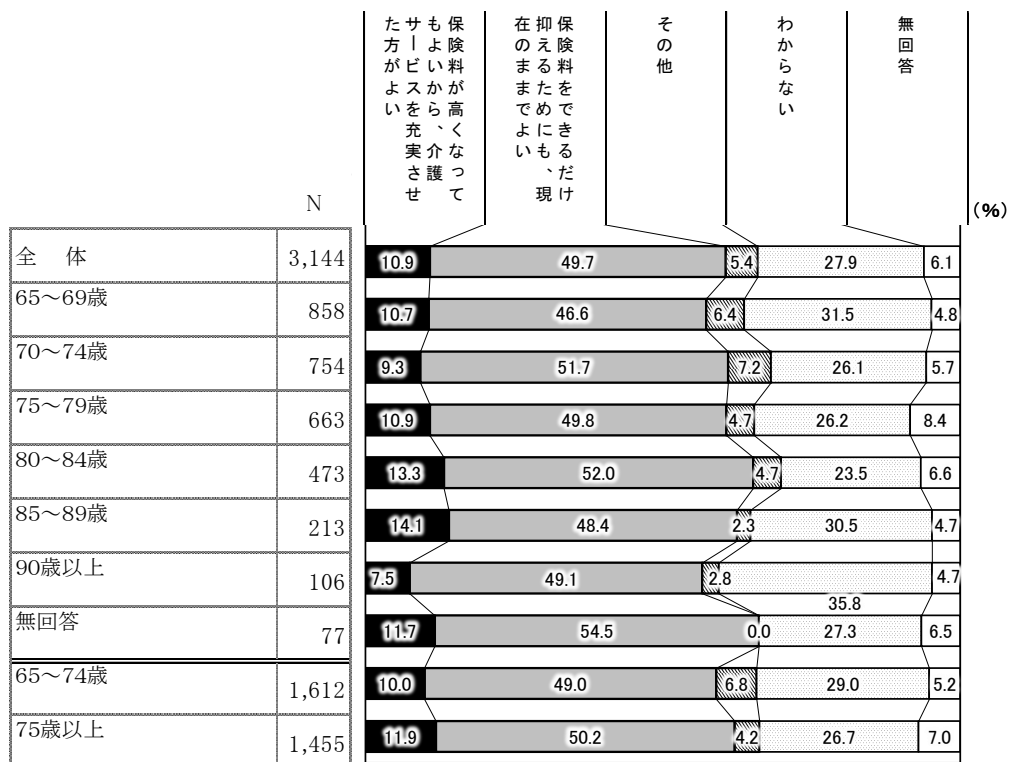


(5) 市独自の介護保険サービスと保険料のあり方

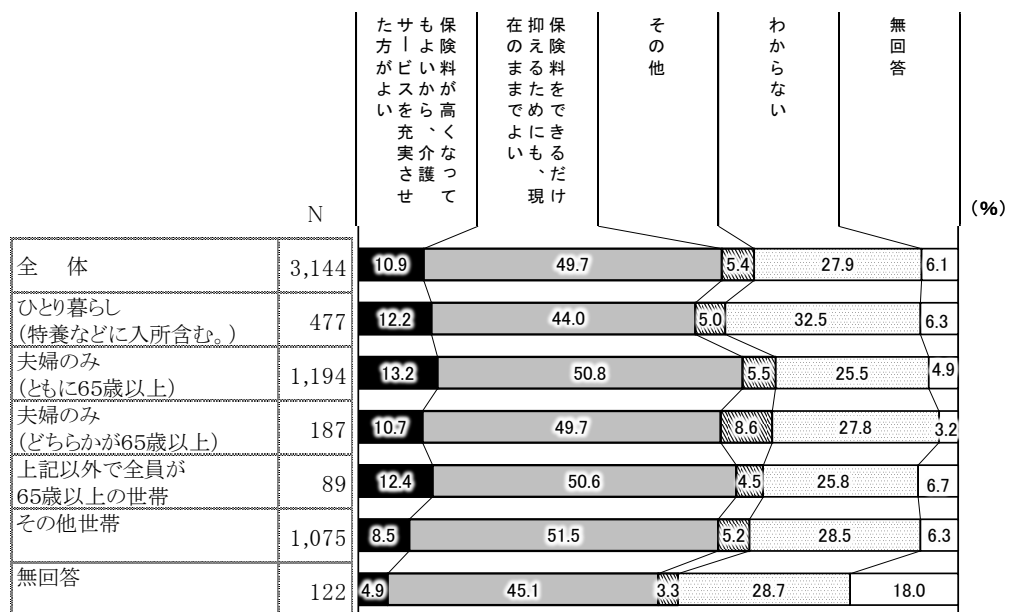
◆ 性別にみると、大きな差はみられない。



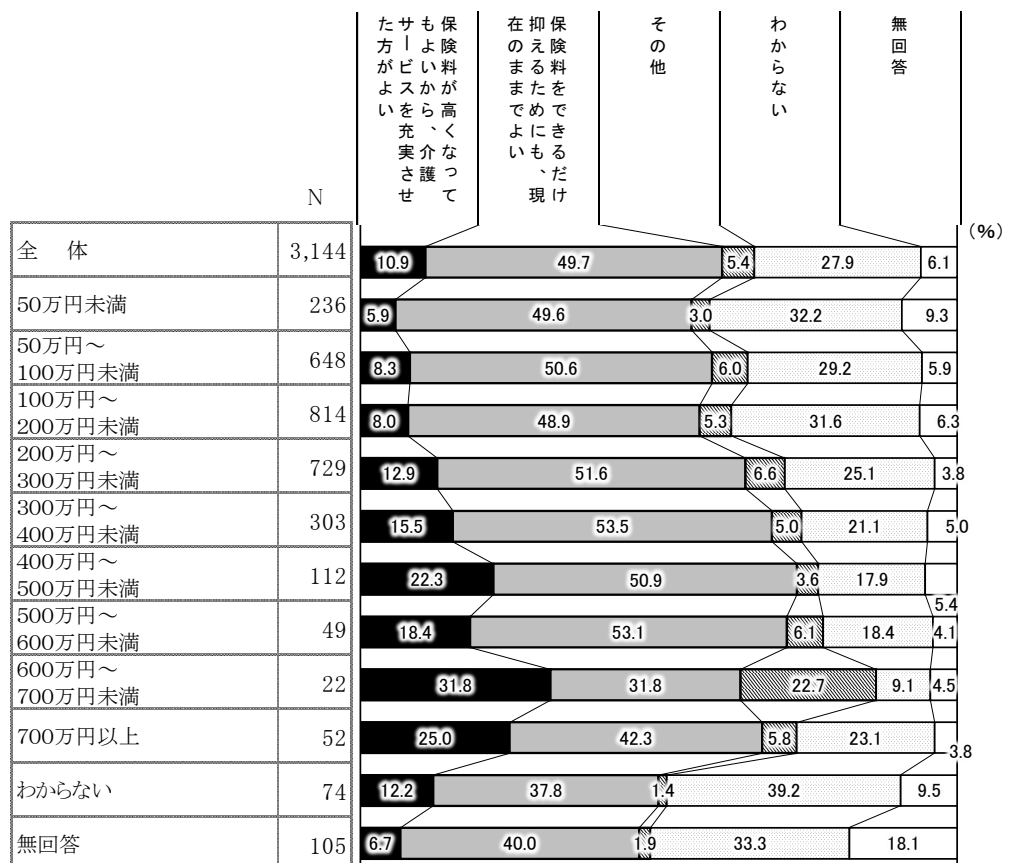
◆ 年齢別にみると、大きな差はみられない。



◆ 世帯状況別にみると、大きな差はみられない。

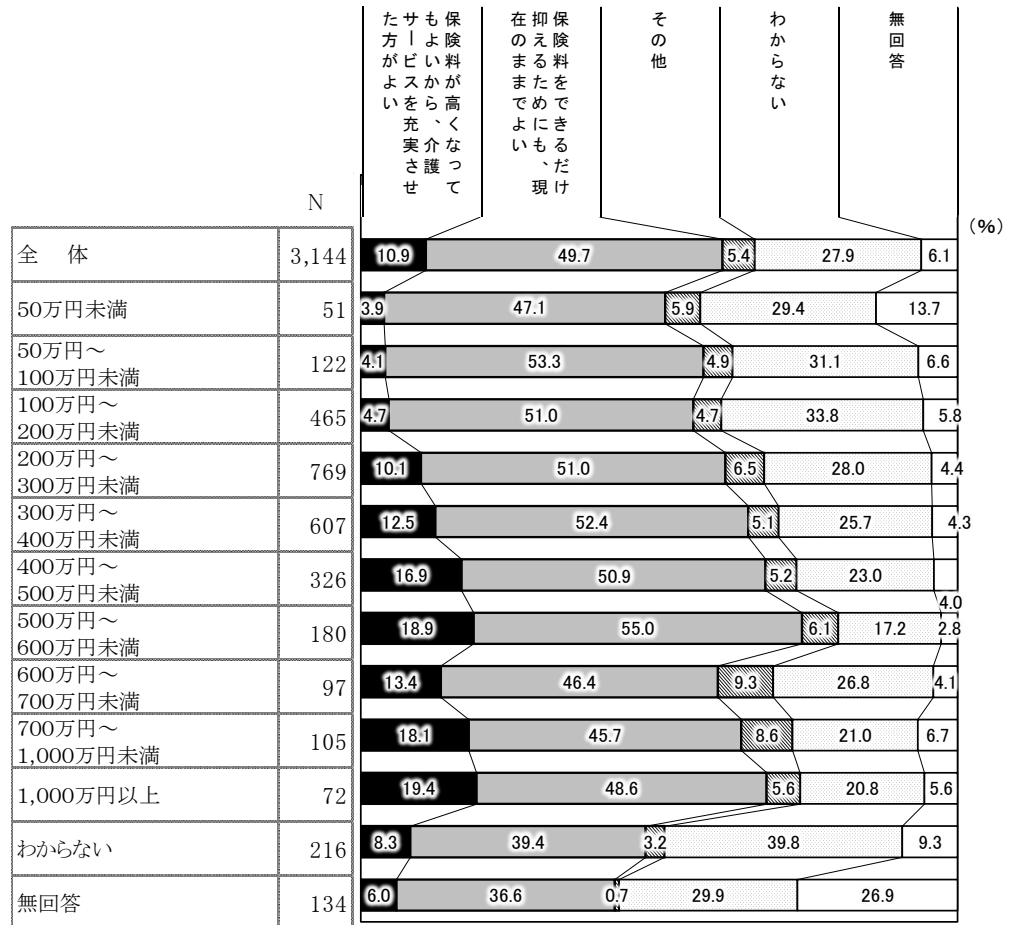


◆ 本人の年間総収入額別では、500万円未満までの中で見ると、概ね収入が高くなるにしたがって「保険料が高くなってから、介護サービスを充実させた方がよい」との回答が多くなっている。なお、500万円以上は、サンプル数が少ないため、参考値として参照されたい。

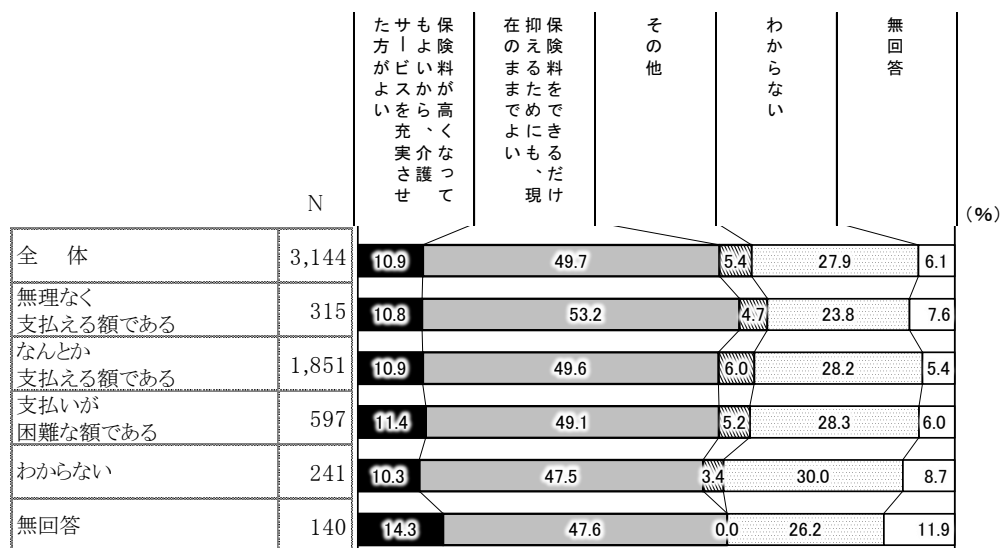




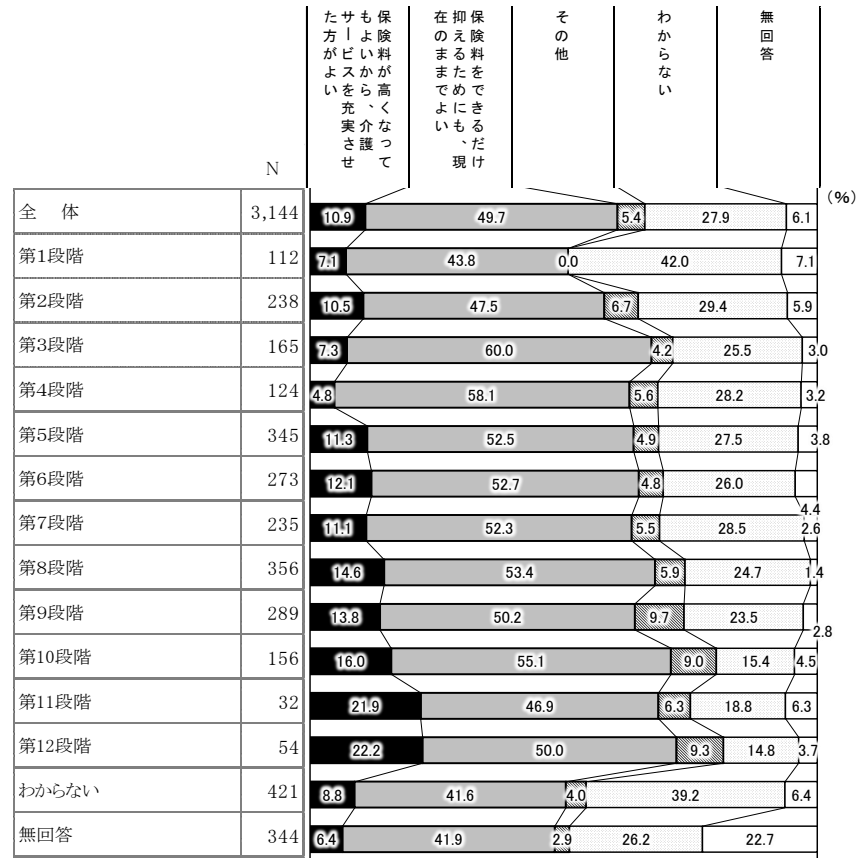
- ◆ 世帯の年間総収入額別にみると、概ね収入が高くなるにしたがって「保険料が高くなってもよいから、介護サービスを充実させた方がよい」との回答が多くなっている。



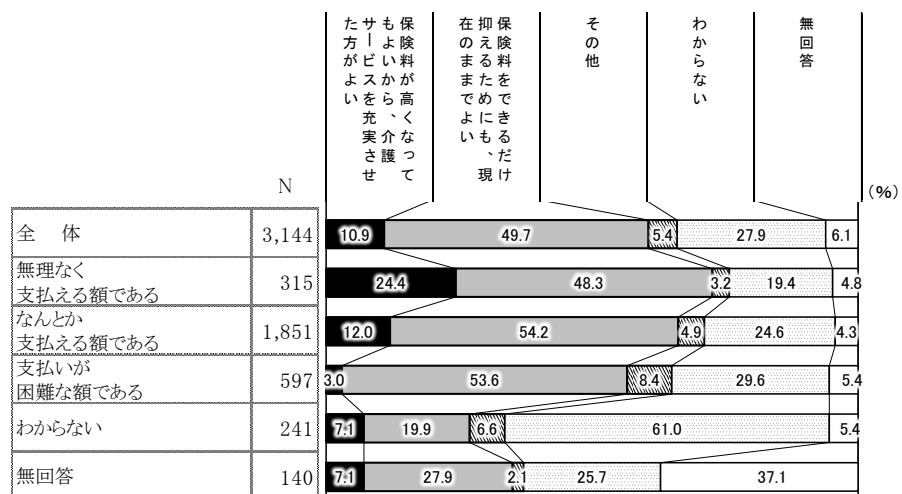
- ◆ 健康状態別にみると、大きな差はみられない。



- ◆ 保険料段階別にみると、概ね保険料段階が高くなるにしたがって「保険料が高くなってもよいから、介護サービスを充実させた方がよい」との回答が多くなっている。なお、第11段階は、サンプル数が少ないため、参考値として参照されたい。



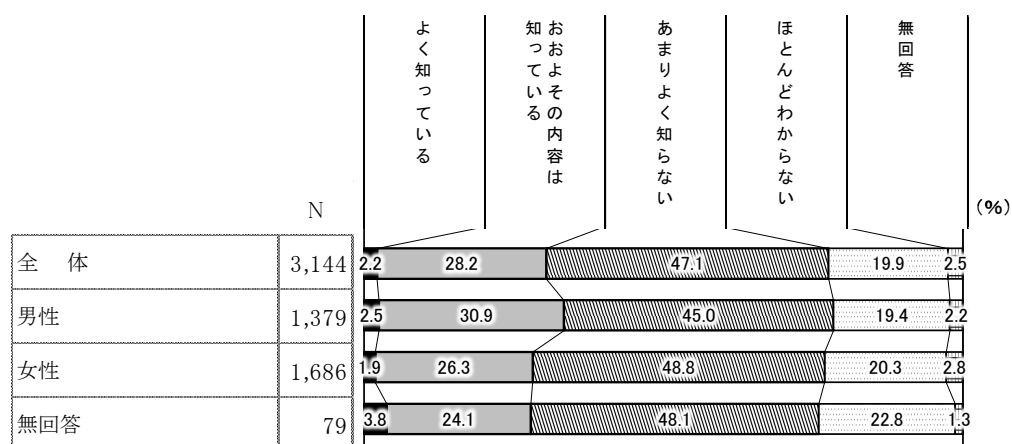
- ◆ 保険料の負担感別にみると、支払える額であるとする人ほど「保険料が高くなってもよいから、介護サービスを充実させた方がよい」との回答が多くなっている。



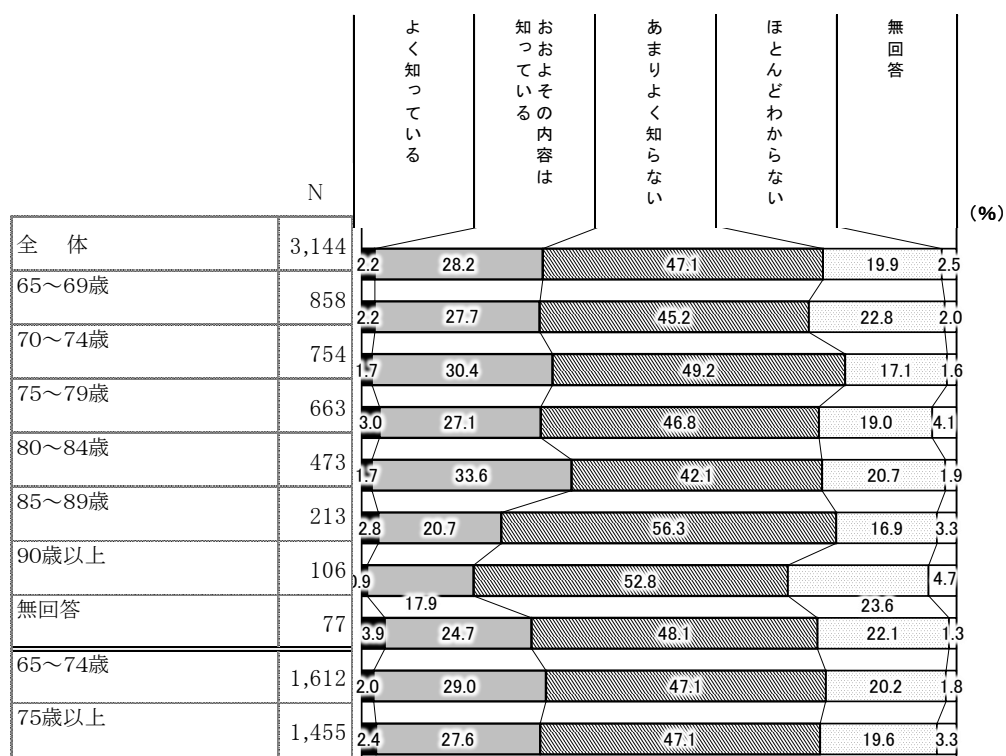
## 12 介護保険制度について

## (1) 介護保険制度の仕組みについての周知状況

◆ 性別にみると、大きな差はみられない。

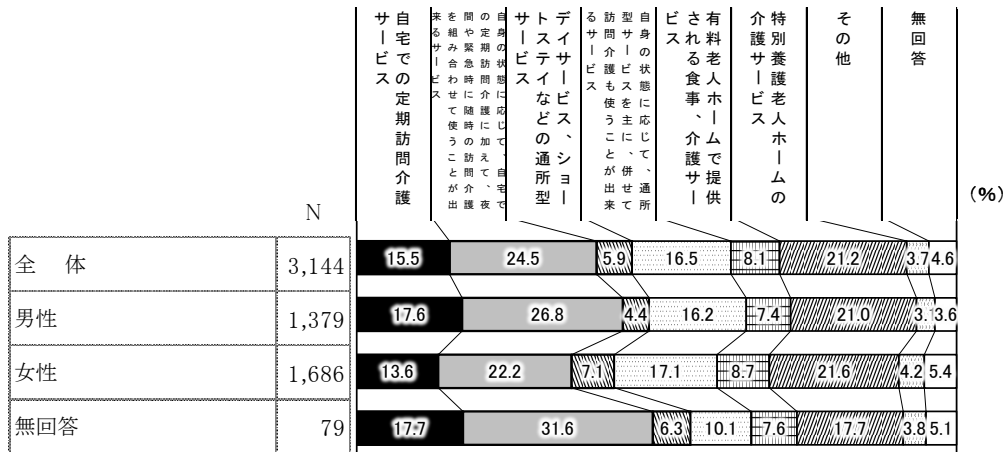


◆ 年齢別にみると、「よく知っている」と「おおよその内容は知っている」を合わせた『知っている』との回答が、他の年齢層に比べ85～89歳、90歳以上で少なくなっている。

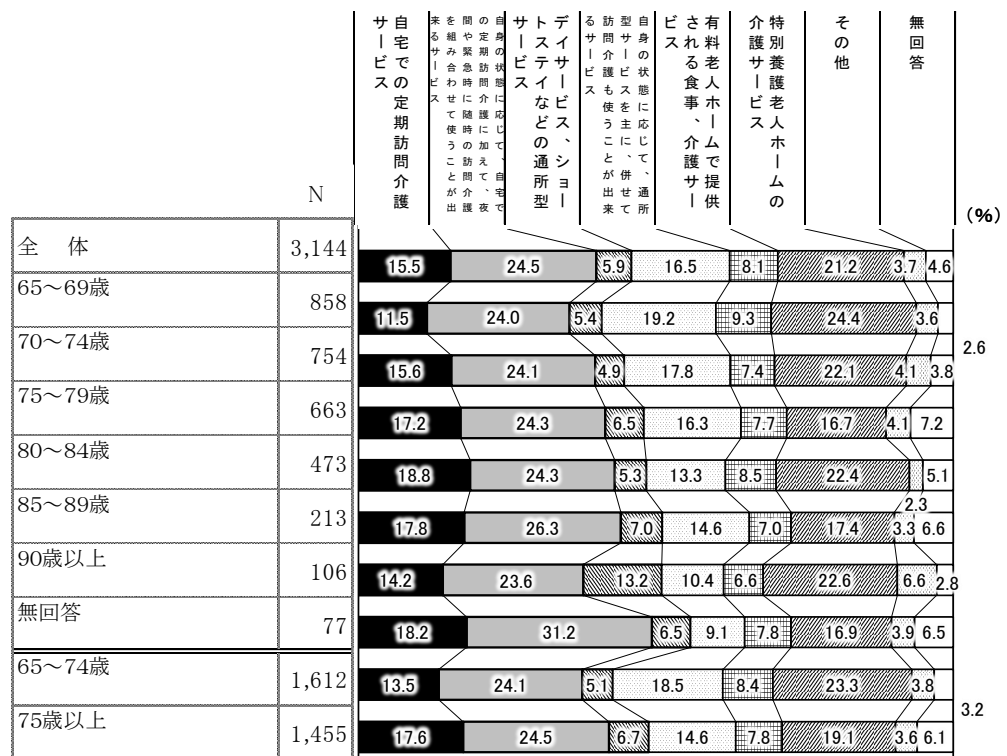


(2) 今後利用したい介護サービス

- ◆ 性別にみると、「自宅での定期訪問介護サービス」、「自身の状態に応じて、自宅での定期訪問介護に加えて、夜間や緊急時に随時の訪問介護を組み合わせるサービス」は女性に比べて男性で多くなっている。



- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって「デイサービス、ショートステイなどの通所型サービス」が多くなっている。一方、概ね年齢が低くなるにしたがって「自身の状態に応じて、通所型サービスを主に、併せて訪問介護も使うことが出来るサービス」が多くなっている。



## (3) その介護サービスを選んだ理由

- ◆ 性別にみると、「家族とともに暮らせるから」は女性（21.1％）に比べて男性（32.3％）で多くなっている。

	調査数	軽くしたいから介護する家族の負担を	自宅で暮らし続けたいから	住み慣れた場所で生活したいから	家族とともに暮らせるから	自宅で介護サービスを受けるのは大変だから	より手厚い介護を受けたいから	他人との共同生活をしたいから	集合住宅、施設は設備やサービスが充実しているか	その他	無回答
全体	3,144 100.0	1,349 42.9	1,164 37.0	966 30.7	829 26.4	547 17.4	238 7.6	216 6.9	200 6.4	107 3.4	248 7.9
男性	1,379 100.0	575 41.7	539 39.1	433 31.4	446 32.3	222 16.1	123 8.9	91 6.6	76 5.5	39 2.8	92 6.7
女性	1,686 100.0	743 44.1	585 34.7	504 29.9	356 21.1	315 18.7	109 6.5	120 7.1	121 7.2	68 4.0	150 8.9
無回答	79 100.0	31 39.2	40 50.6	29 36.7	27 34.2	10 12.7	6 7.6	5 6.3	3 3.8	0 0.0	6 7.6

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって「自宅で暮らし続けたいから」、「住み慣れた場所で生活したいから」、「家族とともに暮らせるから」が多くなっている。一方、概ね年齢が低くなるにしたがって「介護する家族の負担を軽くしたいから」が多くなっている。

	調査数	軽くしたいから介護する家族の負担を	自宅で暮らし続けたいから	住み慣れた場所で生活したいから	家族とともに暮らせるから	自宅で介護サービスを受けるのは大変だから	より手厚い介護を受けたいから	他人との共同生活をしたいから	集合住宅、施設は設備やサービスが充実しているか	その他	無回答
全体	3,144 100.0	1,349 42.9	1,164 37.0	966 30.7	829 26.4	547 17.4	238 7.6	216 6.9	200 6.4	107 3.4	248 7.9
65～69歳	858 100.0	414 48.3	268 31.2	253 29.5	188 21.9	178 20.7	70 8.2	53 6.2	57 6.6	28 3.3	58 6.8
70～74歳	754 100.0	339 45.0	285 37.8	226 30.0	205 27.2	139 18.4	48 6.4	52 6.9	52 6.9	30 4.0	47 6.2
75～79歳	663 100.0	260 39.2	256 38.6	205 30.9	165 24.9	92 13.9	42 6.3	42 6.3	36 5.4	23 3.5	74 11.2
80～84歳	473 100.0	192 40.6	189 40.0	153 32.3	140 29.6	82 17.3	44 9.3	30 6.3	32 6.8	13 2.7	36 7.6
85～89歳	213 100.0	73 34.3	90 42.3	69 32.4	69 32.4	25 11.7	22 10.3	23 10.8	16 7.5	7 3.3	17 8.0
90歳以上	106 100.0	42 39.6	36 34.0	33 31.1	35 33.0	21 19.8	6 5.7	11 10.4	4 3.8	6 5.7	9 8.5
無回答	77 100.0	29 37.7	40 51.9	27 35.1	27 35.1	10 13.0	6 7.8	5 6.5	3 3.9	0 0.0	7 9.1
65～74歳	1,612 100.0	753 46.7	553 34.3	479 29.7	393 24.4	317 19.7	118 7.3	105 6.5	109 6.8	58 3.6	105 6.5
75歳以上	1,455 100.0	567 39.0	571 39.2	460 31.6	409 28.1	220 15.1	114 7.8	106 7.3	88 6.0	49 3.4	136 9.3

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯状況別にみると、ひとり暮らし（特養などに入所含む）で「介護する家族の負担を軽くしたいから」、「家族とともに暮らせるから」との回答が他の世帯構成に比べて少なくなっており、「より手厚い介護を受けたいから」、「他人との共同生活をしたくないから」、「集合住宅、施設は設備やサービスが充実しているから」との回答が他の世帯構成に比べて多くなっている。

	調査数	軽くしたい家族の負担を	自宅で暮らし続けたい	住み慣れた場所で生活	家族とともに暮らせる	自宅で介護サービスを受けるのは大変だから	より手厚い介護を受けたいから	他人との共同生活をしたくないから	集合住宅、施設は設備やサービスが充実しているか	その他	無回答
全体	3,144 100.0	1,349 42.9	1,164 37.0	966 30.7	829 26.4	547 17.4	238 7.6	216 6.9	200 6.4	107 3.4	248 7.9
ひとり暮らし(特養などに入所含む)	477 100.0	145 30.4	150 31.4	123 25.8	13 2.7	106 22.2	54 11.3	55 11.5	55 11.5	29 6.1	46 9.6
夫婦のみ(ともに65歳以上)	1,194 100.0	578 48.4	468 39.2	370 31.0	339 28.4	205 17.2	103 8.6	72 6.0	70 5.9	29 2.4	80 6.7
夫婦のみ(どちらかが65歳以上)	187 100.0	87 46.5	70 37.4	58 31.0	54 28.9	28 15.0	14 7.5	10 5.3	9 4.8	5 2.7	10 5.3
上記以外で全員が65歳以上の世帯	89 100.0	31 34.8	31 34.8	24 27.0	23 25.8	18 20.2	7 7.9	7 7.9	8 9.0	6 6.7	6 6.7
その他世帯	1,075 100.0	479 44.6	401 37.3	363 33.8	372 34.6	176 16.4	56 5.2	65 6.0	52 4.8	36 3.3	85 7.9
無回答	122 100.0	29 23.8	44 36.1	28 23.0	28 23.0	14 11.5	4 3.3	7 5.7	6 4.9	2 1.6	21 17.2

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 健康状態別にみると、健康状態が良くなるにしたがって「住み慣れた場所で生活したいから」との回答が多くなり、「自宅で介護サービスを受けるのは大変だから」、「他人との共同生活をしたくないから」との回答が少なくなっている。

	調査数	軽くしたい家族の負担を	自宅で暮らし続けたい	住み慣れた場所で生活	家族とともに暮らせる	自宅で介護サービスを受けるのは大変だから	より手厚い介護を受けたいから	他人との共同生活をしたくないから	集合住宅、施設は設備やサービスが充実しているか	その他	無回答
全体	3,144 100.0	1,349 42.9	1,164 37.0	966 30.7	829 26.4	547 17.4	238 7.6	216 6.9	200 6.4	107 3.4	248 7.9
とても健康	344 100.0	157 45.6	144 41.9	118 34.3	100 29.1	52 15.1	30 8.7	19 5.5	16 4.7	11 3.2	33 9.6
まあまあ健康	1,996 100.0	858 43.0	725 36.3	624 31.3	515 25.8	351 17.6	128 6.4	132 6.6	125 6.3	55 2.8	143 7.2
あまり健康ではない	499 100.0	212 42.5	194 38.9	150 30.1	141 28.3	88 17.6	46 9.2	40 8.0	37 7.4	21 4.2	37 7.4
健康ではない	263 100.0	107 40.7	92 35.0	63 24.0	65 24.7	51 19.4	30 11.4	24 9.1	18 6.8	16 6.1	30 11.4
無回答	42 100.0	15 35.7	9 21.4	11 26.2	8 19.0	5 11.9	4 9.5	1 2.4	4 9.5	4 9.5	5 11.9

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 保険料段階別にみると、「介護する家族の負担を軽くしたいから」が、第4段階、第5段階、第6段階で5割を超えており、他の段階に比べて多くなっている。なお、第11段階は、サンプル数が少ないため参考値として参照されたい。

	調査数	軽くしたいから介護する家族の負担を	自宅で暮らし続けたいから	住み慣れた場所から生活したいから	家族とともに暮らせるから	自宅では大変だから介護サービスを受けたいから	より手厚い介護を受けたいから	他人との共同生活をしたいから	集合住宅、施設は設備やサービスが充実しているから	その他	無回答
全体	3,144 100.0	1,349 42.9	1,164 37.0	966 30.7	829 26.4	547 17.4	238 7.6	216 6.9	200 6.4	107 3.4	248 7.9
第1段階	112 100.0	38 33.9	40 35.7	32 28.6	19 17.0	18 16.1	8 7.1	15 13.4	10 8.9	7 6.3	12 10.7
第2段階	238 100.0	99 41.6	87 36.6	65 27.3	52 21.8	48 20.2	23 9.7	20 8.4	18 7.6	10 4.2	21 8.8
第3段階	165 100.0	62 37.6	56 33.9	56 33.9	34 20.6	35 21.2	13 7.9	17 10.3	15 9.1	7 4.2	13 7.9
第4段階	124 100.0	65 52.4	41 33.1	39 31.5	31 25.0	22 17.7	10 8.1	13 10.5	12 9.7	2 1.6	6 4.8
第5段階	345 100.0	189 54.8	129 37.4	115 33.3	97 28.1	69 20.0	21 6.1	22 6.4	18 5.2	8 2.3	16 4.6
第6段階	273 100.0	142 52.0	109 39.9	100 36.6	86 31.5	49 17.9	14 5.1	20 7.3	19 7.0	6 2.2	10 3.7
第7段階	235 100.0	92 39.1	88 37.4	70 29.8	73 31.1	44 18.7	21 8.9	6 2.6	17 7.2	9 3.8	16 6.8
第8段階	356 100.0	176 49.4	136 38.2	113 31.7	99 27.8	87 24.4	38 10.7	24 6.7	22 6.2	8 2.2	17 4.8
第9段階	289 100.0	123 42.6	117 40.5	100 34.6	102 35.3	46 15.9	23 8.0	12 4.2	14 4.8	11 3.8	10 3.5
第10段階	156 100.0	77 49.4	61 39.1	50 32.1	41 26.3	24 15.4	17 10.9	11 7.1	10 6.4	2 1.3	7 4.5
第11段階	32 100.0	13 40.6	11 34.4	4 12.5	9 28.1	6 18.8	5 15.6	2 6.3	2 6.3	2 6.3	3 9.4
第12段階	54 100.0	29 53.7	22 40.7	16 29.6	14 25.9	11 20.4	7 13.0	4 7.4	4 7.4	2 3.7	2 3.7
わからない	421 100.0	143 34.0	145 34.4	117 27.8	85 20.2	57 13.5	25 5.9	30 7.1	29 6.9	24 5.7	45 10.7
無回答	344 100.0	122 35.5	87 25.3	89 25.9	31 9.0	13 3.8	10 2.9	101 29.4	20 5.8	9 2.6	70 20.3

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 保険料の負担感別にみると、ほとんどの項目で概ね支払える額であるとする人ほど、多くなっている。

	調査数	軽くしたいから介護する家族の負担を	自宅で暮らし続けたいから	住み慣れた場所から生活したいから	家族とともに暮らせるから	自宅では大変だから介護サービスを受けたいから	より手厚い介護を受けたいから	他人との共同生活をしたいから	集合住宅、施設は設備やサービスが充実しているから	その他	無回答
全体	3,144 100.0	1,349 42.9	1,164 37.0	966 30.7	829 26.4	547 17.4	238 7.6	216 6.9	200 6.4	107 3.4	248 7.9
無回答	344 100.0	101 29.4	122 35.5	89 25.9	87 25.3	31 9.0	13 3.8	20 5.8	10 2.9	9 2.6	70 20.3
無理なく支払える額である	315 100.0	148 47.0	138 43.8	101 32.1	104 33.0	46 14.6	35 11.1	22 7.0	16 5.1	8 2.5	16 5.1
なんとか支払える額である	1,851 100.0	842 45.5	692 37.4	608 32.8	511 27.6	341 18.4	143 7.7	128 6.9	131 7.1	47 2.5	103 5.6
支払いが困難な額である	597 100.0	244 40.9	209 35.0	175 29.3	132 22.1	110 18.4	37 6.2	46 7.7	36 6.0	28 4.7	56 9.4
わからない	241 100.0	82 34.0	77 32.0	57 23.7	59 24.5	36 14.9	11 4.6	14 5.8	13 5.4	21 8.7	30 12.4
無回答	140 100.0	33 23.6	48 34.3	25 17.9	23 16.4	14 10.0	12 8.6	6 4.3	4 2.9	3 2.1	43 30.7

(上段:実数、下段:%)

## (4) 介護保険制度のメリット

- ◆ 性別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	介護者が減る	介護者が減る	在宅で生活ができる	安い費用でサービスが利用できる	さまざまなサービスが利用できる	負担の関係が明確になる	サービスを利用したことによって健康状態が良くなる	事業者を自由に選んでサービスを受けられる	サービスの内容について要望が言える	その他	特にな	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	2,104 66.9	1,992 63.4	995 31.6	922 29.3	694 22.1	554 17.6	478 15.2	340 10.8	310 9.9	47 1.5	54 1.7	315 10.0	141 4.5
男性	1,379 100.0	955 69.3	876 63.5	458 33.2	383 27.8	299 21.7	247 17.9	205 14.9	150 10.9	141 10.2	19 1.4	25 1.8	132 9.6	52 3.8
女性	1,686 100.0	1,104 65.5	1,070 63.5	512 30.4	519 30.8	380 22.5	292 17.3	263 15.6	183 10.9	168 10.0	26 1.5	28 1.7	176 10.4	83 4.9
無回答	79 100.0	45 57.0	46 58.2	25 31.6	20 25.3	15 19.0	15 19.0	10 12.7	7 8.9	1 1.3	2 2.5	1 1.3	7 8.9	6 7.6

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、「介護者や家族の身体的負担が減る」、「介護者や家族の精神的負担が減る」が65～69歳で、他の年齢層と比べて多くなっている。また、概ね年齢が高くなるにしたがって「在宅で生活ができる」が多くなっている。

	調査数	介護者が減る	介護者が減る	在宅で生活ができる	安い費用でサービスが利用できる	さまざまなサービスが利用できる	負担の関係が明確になる	サービスを利用したことによって健康状態が良くなる	事業者を自由に選んでサービスを受けられる	サービスの内容について要望が言える	その他	特にな	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	2,104 66.9	1,992 63.4	995 31.6	922 29.3	694 22.1	554 17.6	478 15.2	340 10.8	310 9.9	47 1.5	54 1.7	315 10.0	141 4.5
65～69歳	858 100.0	632 73.7	607 70.7	235 27.4	236 27.5	198 23.1	142 16.6	120 14.0	85 9.9	71 8.3	7 0.8	7 0.8	81 9.4	26 3.0
70～74歳	754 100.0	526 69.8	477 63.3	239 31.7	213 28.2	158 21.0	127 16.8	118 15.6	75 9.9	70 9.3	10 1.3	16 2.1	76 10.1	22 2.9
75～79歳	663 100.0	412 62.1	384 57.9	207 31.2	193 29.1	121 18.3	117 17.6	92 13.9	64 9.7	65 9.8	7 1.1	16 2.4	76 11.5	42 6.3
80～84歳	473 100.0	286 60.5	292 61.7	172 36.4	162 34.2	133 28.1	100 21.1	93 19.7	65 13.7	72 15.2	12 2.5	6 1.3	48 10.1	30 6.3
85～89歳	213 100.0	134 62.9	127 59.6	85 39.9	67 31.5	51 23.9	43 20.2	33 15.5	34 16.0	23 10.8	6 2.8	7 3.3	15 7.0	11 5.2
90歳以上	106 100.0	71 67.0	62 58.5	33 31.1	33 31.1	20 18.9	12 11.3	13 12.3	10 9.4	8 7.5	3 2.8	1 0.9	12 11.3	3 2.8
無回答	77 100.0	43 55.8	43 55.8	24 31.2	18 23.4	13 16.9	13 16.9	9 11.7	7 9.1	1 1.3	2 2.6	1 1.3	7 9.1	7 9.1
65～74歳	1,612 100.0	1,158 71.8	1,084 67.2	474 29.4	449 27.9	356 22.1	269 16.7	238 14.8	160 9.9	141 8.7	17 1.1	23 1.4	157 9.7	48 3.0
75歳以上	1,455 100.0	903 62.1	865 59.5	497 34.2	455 31.3	325 22.3	272 18.7	231 15.9	173 11.9	168 11.5	28 1.9	30 2.1	151 10.4	86 5.9

(上段:実数、下段:%)



- ◆ 世帯状況別にみると、ひとり暮らし（特養などに入所含む）で「介護者や家族の身体的負担が減る」、  
「介護者や家族の精神的負担が減る」との回答が他の世帯構成に比べて少なくなっている。

	調査数	介護者や家族の身体的負担が減る	介護者や家族の精神的負担が減る	在宅で生活ができる	安い費用でサービスが利用できる	さまざまなサービスが利用できる	サービスの関係が明確になる	サービスの利用と費用が良くなる	サービスを利用したことによって健康状態が良くなる	事業者を自由に選んでサービスを受けられる	サービスの内容について要望が言える	その他	特にな	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	2,104 66.9	1,992 63.4	995 31.6	922 29.3	694 22.1	554 17.6	478 15.2	340 10.8	310 9.9	47 1.5	54 1.7	315 10.0	141 4.5	
ひとり暮らし(特養などに入所含む)	477 100.0	245 51.4	244 51.2	128 26.8	144 30.2	99 20.8	77 16.1	59 12.4	53 11.1	51 10.7	9 1.9	12 2.5	70 14.7	23 4.8	
夫婦のみ(ともに65歳以上)	1,194 100.0	853 71.4	800 67.0	409 34.3	359 30.1	279 23.4	234 19.6	194 16.2	116 9.7	130 10.9	20 1.7	19 1.6	102 8.5	48 4.0	
夫婦のみ(どちらかが65歳以上)	187 100.0	137 73.3	121 64.7	59 31.6	50 26.7	39 20.9	25 13.4	22 11.8	19 10.2	13 7.0	2 1.1	1 0.5	11 5.9	9 4.8	
上記以外で全員が65歳以上の世帯	89 100.0	56 62.9	47 52.8	27 30.3	26 29.2	16 18.0	15 16.9	13 14.6	12 13.5	6 6.7	1 1.1	2 2.2	11 12.4	6 6.7	
その他世帯	1,075 100.0	765 71.2	737 68.6	352 32.7	307 28.6	243 22.6	194 18.0	179 16.7	132 12.3	105 9.8	13 1.2	18 1.7	98 9.1	38 3.5	
無回答	122 100.0	48 39.3	43 35.2	20 16.4	36 29.5	18 14.8	9 7.4	11 9.0	8 6.6	5 4.1	2 1.6	2 1.6	23 18.9	17 13.9	

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 健康状態別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	介護者や家族の身体的負担が減る	介護者や家族の精神的負担が減る	在宅で生活ができる	安い費用でサービスが利用できる	さまざまなサービスが利用できる	サービスの関係が明確になる	サービスの利用と費用が良くなる	サービスを利用したことによって健康状態が良くなる	事業者を自由に選んでサービスを受けられる	サービスの内容について要望が言える	その他	特にな	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	2,104 66.9	1,992 63.4	995 31.6	922 29.3	694 22.1	554 17.6	478 15.2	340 10.8	310 9.9	47 1.5	54 1.7	315 10.0	141 4.5	
とても健康	344 100.0	224 65.1	216 62.8	105 30.5	102 29.7	80 23.3	69 20.1	61 17.7	40 11.6	37 10.8	7 2.0	5 1.5	43 12.5	20 5.8	
まあまあ健康	1,996 100.0	1,372 68.7	1,313 65.8	639 32.0	582 29.2	444 22.2	329 16.5	291 14.6	195 9.8	189 9.5	25 1.3	29 1.5	178 8.9	79 4.0	
あまり健康ではない	499 100.0	328 65.7	294 58.9	156 31.3	148 29.7	97 19.4	98 19.6	81 16.2	65 13.0	50 10.0	8 1.6	13 2.6	62 12.4	22 4.4	
健康ではない	263 100.0	153 58.2	147 55.9	85 32.3	82 31.2	66 25.1	50 19.0	41 15.6	37 14.1	30 11.4	5 1.9	6 2.3	26 9.9	18 6.8	
無回答	42 100.0	27 64.3	22 52.4	10 23.8	8 19.0	7 16.7	8 19.0	4 9.5	3 7.1	4 9.5	2 4.8	1 2.4	6 14.3	2 4.8	

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 保険料段階別にみると、「介護者や家族の身体的負担が減る」、「介護者や家族の精神的負担が減る」、「在宅で生活ができる」は、おおむね保険料段階が高くなるにしたがって多くなっている。なお、第11段階は、サンプル数が少ないため参考値として参照されたい。

	調査数	介護者や家族の身体的負担が減る	介護者や家族の精神的負担が減る	在宅で生活ができる	安い費用でサービスが利用できる	さまざまなサービスが利用できる	サービスの関係が明確になる	サービスの利用と費用	サービスを利用したことで健康状態が良くなる	事業者を自由に選んでサービスを受けられる	サービスの内容について要望が言える	その他	特にな	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	2,104 66.9	1,992 63.4	995 31.6	922 29.3	694 22.1	554 17.6	478 15.2	340 10.8	310 9.9	47 1.5	54 1.7	315 10.0	141 4.5	
第1段階	112 100.0	56 50.0	55 49.1	25 22.3	46 41.1	24 21.4	18 16.1	22 19.6	10 8.9	14 12.5	2 1.8	3 2.7	21 18.8	7 6.3	
第2段階	238 100.0	158 66.4	149 62.6	68 28.6	78 32.8	47 19.7	42 17.6	34 14.3	26 10.9	19 8.0	3 1.3	5 2.1	17 7.1	10 4.2	
第3段階	165 100.0	98 59.4	92 55.8	52 31.5	54 32.7	33 20.0	30 18.2	22 13.3	22 13.3	17 10.3	1 0.6	2 1.2	26 15.8	2 1.2	
第4段階	124 100.0	83 66.9	80 64.5	42 33.9	35 28.2	28 22.6	21 16.9	19 15.3	21 16.9	8 6.5	3 2.4	3 2.4	12 9.7	5 4.0	
第5段階	345 100.0	265 76.8	247 71.6	120 34.8	112 32.5	93 27.0	69 20.0	54 15.7	36 10.4	47 13.6	3 0.9	5 1.4	29 8.4	1 0.3	
第6段階	273 100.0	211 77.3	198 72.5	95 34.8	98 35.9	66 24.2	54 19.8	44 16.1	30 11.0	26 9.5	5 1.8	6 2.2	15 5.5	7 2.6	
第7段階	235 100.0	175 74.5	159 67.7	81 34.5	63 26.8	56 23.8	42 17.9	50 21.3	24 10.2	29 12.3	4 1.7	4 1.7	18 7.7	7 3.0	
第8段階	356 100.0	273 76.7	252 70.8	133 37.4	100 28.1	79 22.2	75 21.1	50 14.0	39 11.0	43 12.1	5 1.4	0 0.0	29 8.1	6 1.7	
第9段階	289 100.0	219 75.8	195 67.5	111 38.4	87 30.1	69 23.9	60 20.8	47 16.3	37 12.8	28 9.7	4 1.4	7 2.4	17 5.9	7 2.4	
第10段階	156 100.0	125 80.1	119 76.3	49 31.4	57 36.5	45 28.8	30 19.2	15 9.6	19 12.2	18 11.5	1 0.6	3 1.9	9 5.8	2 1.3	
第11段階	32 100.0	18 56.3	19 59.4	10 31.3	6 18.8	6 18.8	5 15.6	5 15.6	5 15.6	4 12.5	0 0.0	0 0.0	5 15.6	3 9.4	
第12段階	54 100.0	42 77.8	37 68.5	20 37.0	12 22.2	13 24.1	6 11.1	7 13.0	8 14.8	5 9.3	2 3.7	1 1.9	4 7.4	2 3.7	
わからない	421 100.0	216 51.3	224 53.2	105 24.9	103 24.5	76 18.1	63 15.0	64 15.2	41 9.7	21 5.0	8 1.9	11 2.6	72 17.1	25 5.9	
無回答	344 100.0	165 48.0	166 48.3	84 24.4	71 20.6	59 17.2	39 11.3	45 13.1	22 6.4	31 9.0	6 1.7	4 1.2	41 11.9	57 16.6	

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 保険料の負担感別にみると、ほとんどの項目で概ね支払える額であるとする人ほど、多くなっている。

	調査数	介護者や家族の身体的負担が減る	介護者や家族の精神的負担が減る	在宅で生活ができる	安い費用でサービスが利用できる	さまざまなサービスが利用できる	サービスの関係が明確になる	サービスの利用と費用	サービスを利用したことで健康状態が良くなる	事業者を自由に選んでサービスを受けられる	サービスの内容について要望が言える	その他	特にな	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	2,104 66.9	1,992 63.4	995 31.6	922 29.3	694 22.1	554 17.6	478 15.2	340 10.8	310 9.9	47 1.5	54 1.7	315 10.0	141 4.5	
無理なく支払える額である	315 100.0	224 71.1	219 69.5	111 35.2	98 31.1	90 28.6	61 19.4	64 20.3	51 16.2	46 14.6	1 0.3	2 0.6	23 7.3	10 3.2	
なんとか支払える額である	1,851 100.0	1,317 71.2	1,228 66.3	629 34.0	577 31.2	432 23.3	342 18.5	305 16.5	212 11.5	195 10.5	28 1.5	31 1.7	143 7.7	64 3.5	
支払いが困難な額である	597 100.0	379 63.5	362 60.6	171 28.6	171 28.6	119 19.9	101 16.9	74 12.4	49 8.2	49 8.2	11 1.8	15 2.5	71 11.9	22 3.7	
わからない	241 100.0	125 51.9	124 51.5	52 21.6	50 20.7	39 16.2	32 13.3	26 10.8	18 7.5	12 5.0	4 1.7	5 2.1	59 24.5	13 5.4	
無回答	140 100.0	59 42.1	59 42.1	32 22.9	26 18.6	14 10.0	18 12.9	9 6.4	10 7.1	8 5.7	3 2.1	1 0.7	19 13.6	32 22.9	

(上段:実数、下段:%)

(5) 介護保険制度で不十分なもの

◆ 性別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	ど、要介護認定の申請や契約など、手続きが面倒くさい	かわからない	どの事業者を選んだらよいかわからない	サービスの利用と費用負担の関係がわかりにくい	介護保険のサービスを利用しなくても、保険料を納めなければならない	施設や事業者が満員の状態で、希望するサービスを利用できない	費用の関係で希望するサービスを利用できない	精神的負担が制度以前と変わらない、または増えた	介護者や家族の身体的・精神的負担が増えた	前よりも増えた	サービス利用時の費用負担が、介護保険制度が始まる前よりも増えた	事業者を自由に選べない	事業者や施設の対応が悪い	サービスを利用しているが、健康状態が悪くなった	その他	特になし	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	975 31.0	622 19.8	565 18.0	535 17.0	383 12.2	293 9.3	128 4.1	120 3.8	107 3.4	56 1.8	17 0.5	154 4.9	164 5.2	1,037 33.0	245 7.8			
男性	1,379 100.0	384 27.8	252 18.3	257 18.6	213 15.4	172 12.5	122 8.8	57 4.1	63 4.6	46 3.3	18 1.3	8 0.6	72 5.2	81 5.9	492 35.7	99 7.2			
女性	1,686 100.0	566 33.6	349 20.7	293 17.4	308 18.3	205 12.2	167 9.9	65 3.9	55 3.3	56 3.3	35 2.1	8 0.5	77 4.6	81 4.8	526 31.2	138 8.2			
無回答	79 100.0	25 31.6	21 26.6	15 19.0	14 17.7	6 7.6	4 5.1	6 7.6	2 2.5	5 6.3	3 3.8	1 1.3	5 6.3	2 2.5	19 24.1	8 10.1			

(上段:実数、下段:%)

◆ 年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって「どの事業者を選んだらよいかわからない」が多くなっている。

	調査数	ど、要介護認定の申請や契約など、手続きが面倒くさい	かわからない	どの事業者を選んだらよいかわからない	サービスの利用と費用負担の関係がわかりにくい	介護保険のサービスを利用しなくても、保険料を納めなければならない	施設や事業者が満員の状態で、希望するサービスを利用できない	費用の関係で希望するサービスを利用できない	精神的負担が制度以前と変わらない、または増えた	介護者や家族の身体的・精神的負担が増えた	前よりも増えた	サービス利用時の費用負担が、介護保険制度が始まる前よりも増えた	事業者を自由に選べない	事業者や施設の対応が悪い	サービスを利用しているが、健康状態が悪くなった	その他	特になし	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	975 31.0	622 19.8	565 18.0	535 17.0	383 12.2	293 9.3	128 4.1	120 3.8	107 3.4	56 1.8	17 0.5	154 4.9	164 5.2	1,037 33.0	245 7.8			
65～69歳	858 100.0	267 31.1	160 18.6	158 18.4	153 17.8	118 13.8	85 9.9	24 2.8	26 3.0	26 3.0	14 1.6	2 0.2	31 3.6	38 4.4	305 35.5	47 5.5			
70～74歳	754 100.0	210 27.9	131 17.4	128 17.0	138 18.3	101 13.4	78 10.3	25 3.3	24 3.2	18 2.4	16 2.1	5 0.7	48 6.4	32 4.2	282 37.4	53 7.0			
75～79歳	663 100.0	198 29.9	133 20.1	110 16.6	98 14.8	66 10.0	55 8.3	34 5.1	30 4.5	28 4.2	10 1.5	6 0.9	35 5.3	42 6.3	216 32.6	70 10.6			
80～84歳	473 100.0	170 35.9	95 20.1	100 21.1	83 17.5	62 13.1	42 8.9	25 5.3	22 4.7	19 4.0	7 1.5	2 0.4	22 4.7	21 4.4	137 29.0	43 9.1			
85～89歳	213 100.0	74 34.7	59 27.7	37 17.4	35 16.4	17 8.0	16 7.5	7 3.3	12 5.6	8 3.8	3 1.4	0 0.0	10 4.7	16 7.5	51 23.9	18 8.5			
90歳以上	106 100.0	31 29.2	24 22.6	18 17.0	14 13.2	12 11.3	13 12.3	6 5.7	4 3.8	3 2.8	2 1.9	0 0.0	3 2.8	13 12.3	27 25.5	6 5.7			
無回答	77 100.0	25 32.5	20 26.0	14 18.2	14 18.2	7 9.1	4 5.2	7 9.1	2 2.6	5 6.5	4 5.2	2 2.6	5 6.5	2 2.6	19 24.7	8 10.4			
65～74歳	1,612 100.0	477 29.6	291 18.1	286 17.7	291 18.1	219 13.6	163 10.1	49 3.0	50 3.1	44 2.7	30 1.9	7 0.4	79 4.9	70 4.3	587 36.4	100 6.2			
75歳以上	1,455 100.0	473 32.5	311 21.4	265 18.2	230 15.8	157 10.8	126 8.7	72 4.9	68 4.7	58 4.0	22 1.5	8 0.5	70 4.8	92 6.3	431 29.6	137 9.4			

(上段:実数、下段:%)

◆ 世帯状況別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	ど、要介護認定の申請手続きが面倒くさい	かわからぬ事業者を選んだらよい	どの事業者がわかりにくい	サービスの利用と費用負担	なければならぬ保険料を納め	介護保険のサービスを利用	用で希望するサービスの状態	施設や事業者が満員の状態	費用の関係を希望するサービス	られない、または増えた	介護者や家族の身体的・精神的負担が制度以前と変わった	前よりも増えた	サービス利用時の費用負担	事業者を自由に選べない	事業者や施設の対応が悪い	サービスを利用しているが、健康状態が悪くなった	その他	特になし	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	975 31.0	622 19.8	565 18.0	535 17.0	383 12.2	293 9.3	128 4.1	120 3.8	107 3.4	56 1.8	17 0.5	154 4.9	164 5.2	1,037 33.0	245 7.8					
ひとり暮らし(特養などに入所含む。)	477 100.0	157 32.9	106 22.2	89 18.7	78 16.4	61 12.8	44 9.2	17 3.6	18 3.8	15 3.1	7 1.5	2 0.4	23 4.8	24 5.0	149 31.2	45 9.4					
夫婦のみ(ともに65歳以上)	1,194 100.0	365 30.6	241 20.2	229 19.2	193 16.2	152 12.7	103 8.6	45 3.8	38 3.2	46 3.9	22 1.8	7 0.6	64 5.4	51 4.3	418 35.0	83 7.0					
夫婦のみ(どちらかが65歳以上)	187 100.0	56 29.9	29 15.5	35 18.7	37 19.8	26 13.9	16 8.6	8 4.3	7 3.7	3 1.6	4 2.1	0 0.0	6 3.2	9 4.8	61 32.6	12 6.4					
上記以外で全員が65歳以上の世帯	89 100.0	28 31.5	16 18.0	12 13.5	16 18.0	13 14.6	7 7.9	9 10.1	7 7.9	2 2.2	3 3.4	1 1.1	3 3.4	5 5.8	23 25.8	11 12.4					
その他世帯	1,075 100.0	345 32.1	213 19.8	187 17.4	194 18.0	123 11.4	115 10.7	44 4.1	46 4.3	39 3.6	18 1.7	7 0.7	55 5.1	62 5.8	345 32.1	73 6.8					
無回答	122 100.0	24 19.7	17 13.9	13 10.7	17 13.9	8 6.6	8 6.6	5 4.1	4 3.3	2 1.6	2 1.6	0 0.0	3 2.5	13 10.7	41 33.6	21 17.2					

(上段:実数、下段:%)

◆ 健康状態別にみると、ほとんどの項目で、概ね健康状態が悪くなるにしたがって多くなっている。

	調査数	ど、要介護認定の申請手続きが面倒くさい	かわからぬ事業者を選んだらよい	どの事業者がわかりにくい	サービスの利用と費用負担	なければならぬ保険料を納め	介護保険のサービスを利用	用で希望するサービスの状態	施設や事業者が満員の状態	費用の関係を希望するサービス	られない、または増えた	介護者や家族の身体的・精神的負担が制度以前と変わった	前よりも増えた	サービス利用時の費用負担	事業者を自由に選べない	事業者や施設の対応が悪い	サービスを利用しているが、健康状態が悪くなった	その他	特になし	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	975 31.0	622 19.8	565 18.0	535 17.0	383 12.2	293 9.3	128 4.1	120 3.8	107 3.4	56 1.8	17 0.5	154 4.9	164 5.2	1,037 33.0	245 7.8					
とても健康	344 100.0	85 24.7	45 13.1	53 15.4	57 16.6	36 10.5	24 7.0	15 4.4	6 1.7	9 2.6	6 1.7	1 0.3	19 5.5	24 7.0	131 38.1	36 10.5					
まあまあ健康	1,996 100.0	592 29.7	397 19.9	342 17.1	335 16.8	237 11.9	180 9.0	65 3.3	70 3.5	57 2.9	32 1.6	6 0.3	91 4.6	94 4.7	679 34.0	152 7.6					
あまり健康ではない	499 100.0	188 37.7	117 23.4	107 21.4	91 18.2	66 13.2	57 11.4	30 6.0	30 6.0	30 6.0	9 1.8	6 1.2	29 5.8	22 4.4	141 28.3	32 6.4					
健康ではない	263 100.0	97 36.9	55 20.9	57 21.7	47 17.9	38 14.4	28 10.6	15 5.7	13 4.9	10 3.8	8 3.0	4 1.5	13 4.9	18 6.8	72 27.4	23 8.7					
無回答	42 100.0	13 31.0	8 19.0	6 14.3	5 11.9	6 14.3	4 9.5	3 7.1	1 2.4	1 2.4	1 2.4	0 0.0	2 4.8	6 14.3	14 33.3	2 4.8					

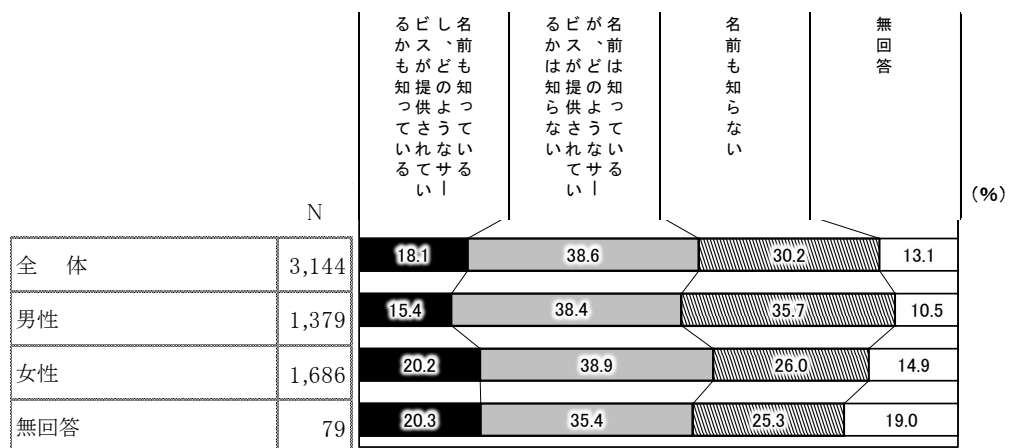
(上段:実数、下段:%)



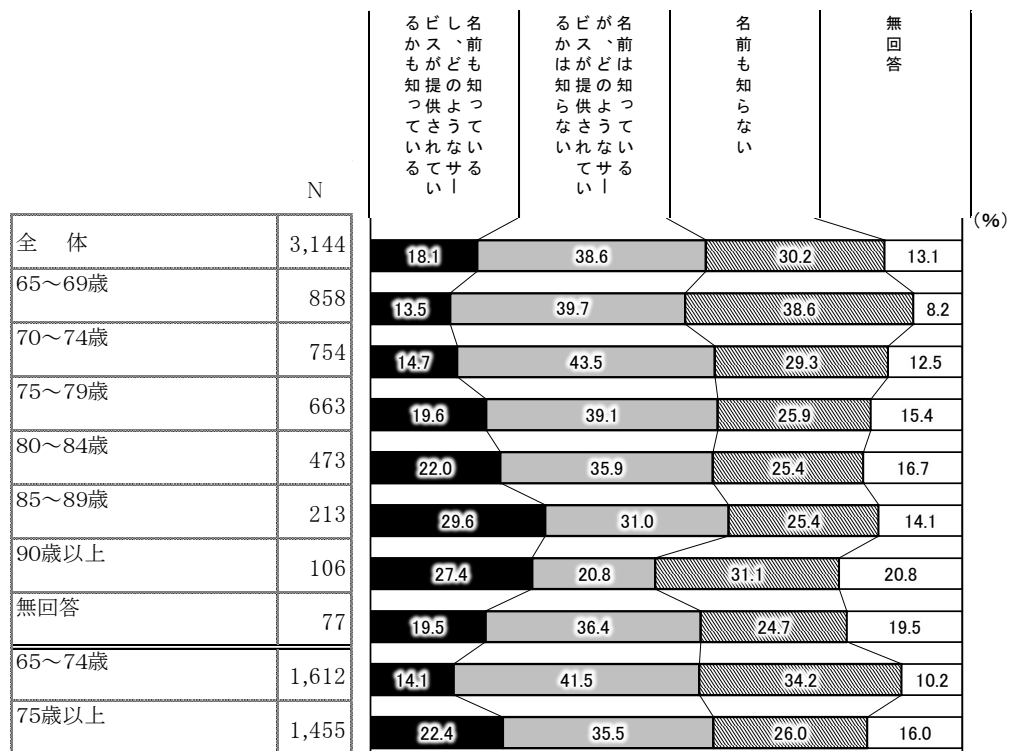
### 13 地域包括支援センターについて

#### (1) 地域包括支援センターの認知状況

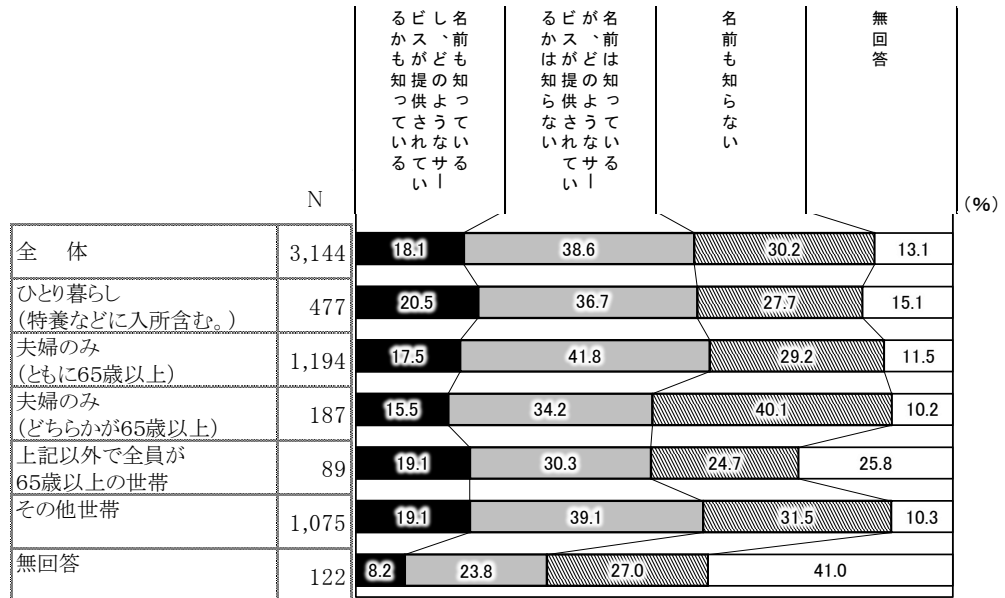
- ◆ 性別にみると、「名前も知らない」は女性（26.0%）に比べて男性（35.7%）で多くなっている。



- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって「名前も知っているし、どのようなサービスが提供されているかも知っている」が多くなっている。一方、概ね年齢が低くなるにしたがって「名前は知っているが、どのようなサービスが提供されているかは知らない」、「名前も知らない」が多くなっている。

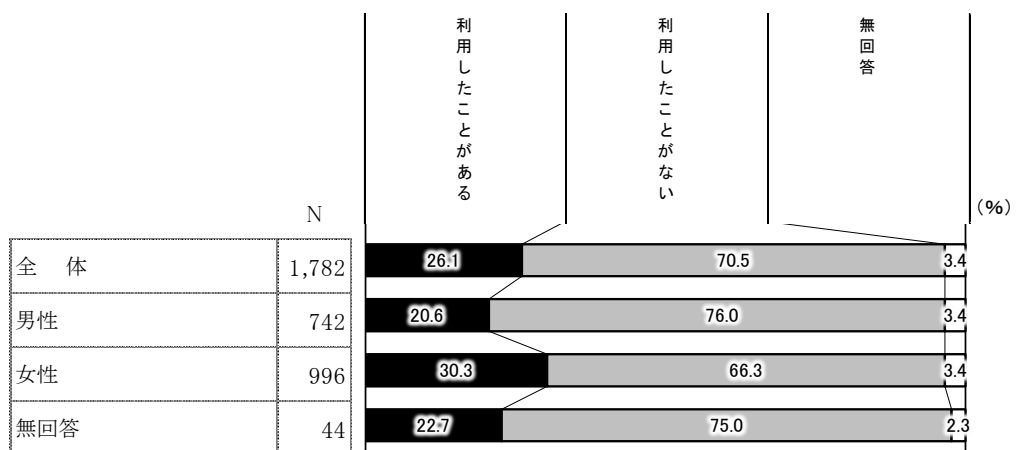


- ◆ 世帯状況別にみると、「名前も知らない」は夫婦のみ（どちらかが65歳以上）の世帯で多くなっている。

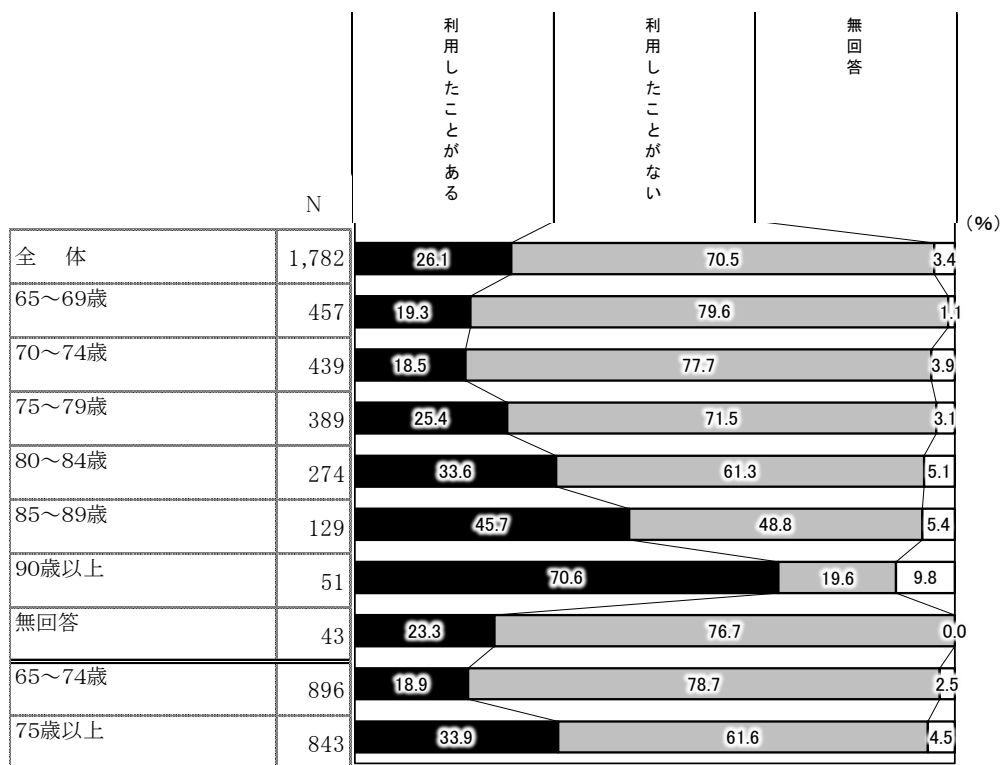


(2) 地域包括支援センターの利用経験

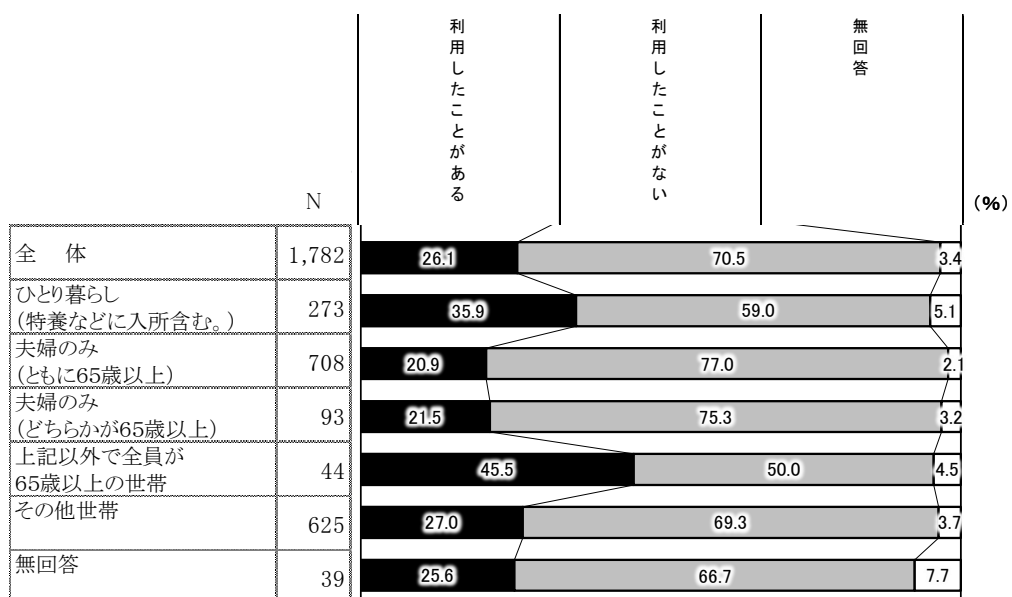
- ◆ 性別にみると、「利用したことがある」は男性（20.6%）に比べて女性（30.3%）で多くなっている。



- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって「利用したことがある」が多くなっている。



- ◆ 世帯状況別にみると、「利用したことがある」は上記以外で全員が65歳以上の世帯で多くなっている。





## (3) 地域包括支援センターに今後期待すること

- ◆ 性別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	介護や保健福祉サービスの相談受付	地域の医療機関や福祉機関などのネットワークの充実	認知症に関する普及啓発や、らせる地域づくりの推進	介護予防についての相談受付	介護予防の普及啓発や運動教室等の実施	認知症の相談受付	圏域内に住む高齢者に開する情報の収集	成年後見制度の利用の相談受付や、高齢者虐待への対応など高齢者の権利を守ること	その他	特にな	無回答
全体	3,144 100.0	1,528 48.6	969 30.8	808 25.7	572 18.2	470 14.9	383 12.2	295 9.4	209 6.6	163 5.2	475 15.1	271 8.6
男性	1,379 100.0	684 49.6	434 31.5	312 22.6	263 19.1	190 13.8	174 12.6	144 10.4	80 5.8	83 6.0	227 16.5	103 7.5
女性	1,686 100.0	807 47.9	514 30.5	471 27.9	293 17.4	272 16.1	200 11.9	148 8.8	124 7.4	79 4.7	237 14.1	160 9.5
無回答	79 100.0	37 46.8	21 26.6	25 31.6	16 20.3	8 10.1	9 11.4	3 3.8	5 6.3	1 1.3	11 13.9	8 10.1

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、年齢が低くなるにしたがって「介護や保健福祉サービスの相談受付」、「介護予防の普及啓発や運動教室等の実施」が多くなっている。

	調査数	介護や保健福祉サービスの相談受付	地域の医療機関や福祉機関などのネットワークの充実	認知症に関する普及啓発や、らせる地域づくりの推進	介護予防についての相談受付	介護予防の普及啓発や運動教室等の実施	認知症の相談受付	圏域内に住む高齢者に開する情報の収集	成年後見制度の利用の相談受付や、高齢者虐待への対応など高齢者の権利を守ること	その他	特にな	無回答
全体	3,144 100.0	1,528 48.6	969 30.8	808 25.7	572 18.2	470 14.9	383 12.2	295 9.4	209 6.6	163 5.2	475 15.1	271 8.6
65～69歳	858 100.0	440 51.3	292 34.0	227 26.5	138 16.1	150 17.5	100 11.7	71 8.3	68 7.9	41 4.8	131 15.3	43 5.0
70～74歳	754 100.0	365 48.4	241 32.0	208 27.6	136 18.0	124 16.4	77 10.2	61 8.1	52 6.9	54 7.2	117 15.5	58 7.7
75～79歳	663 100.0	315 47.5	168 25.3	167 25.2	122 18.4	104 15.7	82 12.4	70 10.6	39 5.9	29 4.4	90 13.6	88 13.3
80～84歳	473 100.0	227 48.0	158 33.4	115 24.3	105 22.2	50 10.6	68 14.4	68 14.4	24 5.1	20 4.2	61 12.9	50 10.6
85～89歳	213 100.0	97 45.5	57 26.8	48 22.5	38 17.8	27 12.7	31 14.6	17 8.0	12 5.6	9 4.2	41 19.2	18 8.5
90歳以上	106 100.0	48 45.3	33 31.1	19 17.9	18 17.0	7 6.6	16 15.1	5 4.7	9 8.5	9 8.5	25 23.6	6 5.7
無回答	77 100.0	36 46.8	20 26.0	24 31.2	15 19.5	8 10.4	9 11.7	3 3.9	5 6.5	1 1.3	10 13.0	8 10.4
65～74歳	1,612 100.0	805 49.9	533 33.1	435 27.0	274 17.0	274 17.0	177 11.0	132 8.2	120 7.4	95 5.9	248 15.4	101 6.3
75歳以上	1,455 100.0	687 47.2	416 28.6	349 24.0	283 19.5	188 12.9	197 13.5	160 11.0	84 5.8	67 4.6	217 14.9	162 11.1

(上段:実数、下段:%)

◆ 世帯状況別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	介護や保健福祉サービスの相談受付	地域の医療機関や福祉機関などのネットワークの充	認知症に関する普及啓発や、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの推進	介護予防についての相談受付	運動教室等の普及啓発や	認知症の相談受付	圏域内に住む高齢者に	成年後見制度の利用の相談受付や、高齢者虐待への対応など高齢者の権利を守ること	その他	特にな	無回答
全体	3,144 100.0	1,528 48.6	969 30.8	808 25.7	572 18.2	470 14.9	383 12.2	295 9.4	209 6.6	163 5.2	475 15.1	271 8.6
ひとり暮らし(特養などに 入所含む。)	477 100.0	218 45.7	124 26.0	105 22.0	91 19.1	67 14.0	41 8.6	46 9.6	40 8.4	21 4.4	84 17.6	45 9.4
夫婦のみ (ともに65歳以上)	1,194 100.0	622 52.1	416 34.8	308 25.8	216 18.1	179 15.0	168 14.1	125 10.5	79 6.6	70 5.9	152 12.7	93 7.8
夫婦のみ (どちらかが65歳以上)	187 100.0	96 51.3	64 34.2	54 28.9	37 19.8	26 13.9	21 11.2	17 9.1	8 4.3	10 5.3	22 11.8	12 6.4
上記以外で全員が 65歳以上の世帯	89 100.0	45 50.6	21 23.6	22 24.7	14 15.7	13 14.6	13 14.6	7 7.9	4 4.5	5 5.6	8 9.0	12 13.5
その他世帯	1,075 100.0	506 47.1	326 30.3	292 27.2	191 17.8	177 16.5	129 12.0	92 8.6	69 6.4	55 5.1	185 17.2	79 7.3
無回答	122 100.0	41 33.6	18 14.8	23 18.9	8 6.6	11 9.0	27 22.1	9 7.4	8 6.6	2 1.6	24 19.7	30 24.6

(上段:実数、下段:%)

## 14 高齢者福祉サービスについて

### (1) 現在利用しているサービス

◆ 性別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス	弁当を自宅に配達するサービス	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象とした、掃除・洗濯や外出時の援助など日常生活のお手伝いを提供するサービス	自宅を訪問しての理容や美容を行うサービス	介護保険サービス以外で養護老人ホームなどに短期間	紙おむつなどの介護用品を提供するサービス	布団を預かって洗濯するサービス	電磁調理器を提供するサービス	その他	利用しているサービス	無回答
全体	3,144 100.0	141 4.5	115 3.7	111 3.5	76 2.4	72 2.3	52 1.7	26 0.8	12 0.4	76 2.4	2,440 77.6	328 10.4
男性	1,379 100.0	53 3.8	48 3.5	42 3.0	34 2.5	32 2.3	17 1.2	11 0.8	6 0.4	23 1.7	1,124 81.5	121 8.8
女性	1,686 100.0	84 5.0	59 3.5	64 3.8	37 2.2	35 2.1	30 1.8	11 0.7	6 0.4	53 3.1	1,264 75.0	196 11.6
無回答	79 100.0	4 5.1	8 10.1	5 6.3	5 6.3	5 6.3	5 6.3	4 5.1	0 0.0	0 0.0	52 65.8	11 13.9

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、ほとんどの項目は、概ね年齢が高くなるにしたがって多くなっている。

	調査数	緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス	弁当を自宅に配達するサービス	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象とした、掃除・洗濯や外出時の援助など日常生活のお手伝いをするサービス	自宅を訪問しての理容や美容を行うサービス	介護保険サービス以外で養護老人ホームなどに短期間宿泊できるサービス	介護保険サービス以外の養護老人ホームなどに短期間宿泊できるサービス	紙おむつなどの介護用品を提供するサービス	布団を預かって洗濯するサービス	電磁調理器を提供するサービス	その他	利用しているサービス	無回答
全体	3,144 100.0	141 4.5	115 3.7	111 3.5	76 2.4	72 2.3	52 1.7	26 0.8	12 0.4	76 2.4	2,440 77.6	328 10.4	
65～69歳	858 100.0	24 2.8	18 2.1	14 1.6	10 1.2	15 1.7	3 0.3	4 0.5	3 0.3	8 0.9	743 86.6	70 8.2	
70～74歳	754 100.0	17 2.3	17 2.3	10 1.3	13 1.7	11 1.5	10 1.3	4 0.5	1 0.1	14 1.9	636 84.4	65 8.6	
75～79歳	663 100.0	31 4.7	18 2.7	29 4.4	16 2.4	10 1.5	9 1.4	3 0.5	1 0.2	19 2.9	494 74.5	89 13.4	
80～84歳	473 100.0	34 7.2	32 6.8	35 7.4	17 3.6	12 2.5	12 2.5	8 1.7	5 1.1	15 3.2	321 67.9	62 13.1	
85～89歳	213 100.0	26 12.2	18 8.5	16 7.5	11 5.2	14 6.6	9 4.2	3 1.4	1 0.5	10 4.7	124 58.2	24 11.3	
90歳以上	106 100.0	5 4.7	4 3.8	2 1.9	4 3.8	5 4.7	4 3.8	0 0.0	1 0.9	10 9.4	72 67.9	7 6.6	
無回答	77 100.0	4 5.2	8 10.4	5 6.5	5 6.5	5 6.5	5 6.5	4 5.2	0 0.0	0 0.0	50 64.9	11 14.3	
65～74歳	1,612 100.0	41 2.5	35 2.2	24 1.5	23 1.4	26 1.6	13 0.8	8 0.5	4 0.2	22 1.4	1,379 85.5	135 8.4	
75歳以上	1,455 100.0	96 6.6	72 4.9	82 5.6	48 3.3	41 2.8	34 2.3	14 1.0	8 0.5	54 3.7	1,011 69.5	182 12.5	

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯状況別にみると、「緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス」はひとり暮らし(特養などに入所含む)で多く、「利用しているサービスはない」は夫婦のみ(どちらかが65歳以上)で多くなっている。

	調査数	緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス	弁当を自宅に配達するサービス	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象とした、掃除・洗濯や外出時の援助など日常生活のお手伝いをするサービス	自宅を訪問しての理容や美容を行うサービス	介護保険サービス以外で養護老人ホームなどに短期間宿泊できるサービス	介護保険サービス以外の養護老人ホームなどに短期間宿泊できるサービス	紙おむつなどの介護用品を提供するサービス	布団を預かって洗濯するサービス	電磁調理器を提供するサービス	その他	利用しているサービス	無回答
全体	3,144 100.0	141 4.5	115 3.7	111 3.5	76 2.4	72 2.3	52 1.7	26 0.8	12 0.4	76 2.4	2,440 77.6	328 10.4	
ひとり暮らし(特養などに入所含む)	477 100.0	53 11.1	25 5.2	38 8.0	13 2.7	6 1.3	5 1.0	3 0.6	3 0.6	16 3.4	332 69.6	41 8.6	
夫婦のみ(ともに65歳以上)	1,194 100.0	38 3.2	47 3.9	37 3.1	29 2.4	24 2.0	13 1.1	9 0.8	5 0.4	22 1.8	963 80.7	116 9.7	
夫婦のみ(どちらかが65歳以上)	187 100.0	7 3.7	4 2.1	1 0.5	3 1.6	1 0.5	2 1.1	2 1.1	0 0.0	1 0.5	158 84.5	16 8.6	
上記以外で全員が65歳以上の世帯	89 100.0	6 6.7	4 4.5	4 4.5	2 2.2	4 4.5	2 2.2	0 0.0	0 0.0	3 3.4	58 65.2	17 19.1	
その他世帯	1,075 100.0	28 2.6	27 2.5	23 2.1	21 2.0	31 2.9	25 2.3	8 0.7	1 0.1	33 3.1	864 80.4	101 9.4	
無回答	122 100.0	9 7.4	8 6.6	8 6.6	8 6.6	6 4.9	5 4.1	4 3.3	3 2.5	1 0.8	65 53.3	37 30.3	

(上段:実数、下段:%)

## (2) 今後利用したいサービス

- ◆ 性別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象とした、掃除・洗濯や外出時の援助など日常生活のお手伝いをするサービス	弁当を自宅に配達するサービス	自宅を訪問しての理容や美容を行うサービス	介護保険サービス以外で養護老人ホームなどに短期間宿泊できるサービス	お店までの送迎をしてくれるサービス	自宅または近所に移動販売車が来るサービス	ご本人の代わりに買い物をしてもらうサービス	紙おむつなどの介護用品を提供するサービス	布団を預かって洗濯するサービス	電磁調理器を提供するサービス	その他	特にな	無回答
全体	3,144 100.0	871 27.7	603 19.2	590 18.8	433 13.8	418 13.3	377 12.0	311 9.9	293 9.3	224 7.1	197 6.3	77 2.4	117 3.7	1,256 39.9	312 9.9
男性	1,379 100.0	355 25.7	252 18.3	271 19.7	170 12.3	179 13.0	130 9.4	120 8.7	138 10.0	93 6.7	78 5.7	31 2.2	55 4.0	618 44.8	111 8.0
女性	1,686 100.0	494 29.3	337 20.0	304 18.0	254 15.1	229 13.6	235 13.9	182 10.8	146 8.7	126 7.5	109 6.5	46 2.7	60 3.6	612 36.3	193 11.4
無回答	79 100.0	22 27.8	14 17.7	15 19.0	9 11.4	10 12.7	12 15.2	9 11.4	9 11.4	5 6.3	10 12.7	0 0.0	2 2.5	26 32.9	8 10.1

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、多くのサービス項目は、概ね年齢が高くなるにしたがって多くなっている。

	調査数	緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象とした、掃除・洗濯や外出時の援助など日常生活のお手伝いをするサービス	弁当を自宅に配達するサービス	自宅を訪問しての理容や美容を行うサービス	介護保険サービス以外で養護老人ホームなどに短期間宿泊できるサービス	お店までの送迎をしてくれるサービス	自宅または近所に移動販売車が来るサービス	ご本人の代わりに買い物をしてもらうサービス	紙おむつなどの介護用品を提供するサービス	布団を預かって洗濯するサービス	電磁調理器を提供するサービス	その他	特にな	無回答
全体	3,144 100.0	871 27.7	603 19.2	590 18.8	433 13.8	418 13.3	377 12.0	311 9.9	293 9.3	224 7.1	197 6.3	77 2.4	117 3.7	1,256 39.9	312 9.9
65～69歳	858 100.0	220 25.6	163 19.0	160 18.6	105 12.2	114 13.3	94 11.0	79 9.2	65 7.6	46 5.4	57 6.6	16 1.9	27 3.1	399 46.5	61 7.1
70～74歳	754 100.0	205 27.2	141 18.7	141 18.7	94 12.5	92 12.2	84 11.1	64 8.5	66 8.8	52 6.9	35 4.6	23 3.1	30 4.0	329 43.6	69 9.2
75～79歳	663 100.0	195 29.4	121 18.3	114 17.2	87 13.1	81 12.2	79 11.9	62 9.4	64 9.7	49 7.4	40 6.0	14 2.1	25 3.8	259 39.1	78 11.8
80～84歳	473 100.0	155 32.8	108 22.8	102 21.6	76 16.1	69 14.6	67 14.2	59 12.5	61 12.9	36 7.6	38 8.0	17 3.6	21 4.4	132 27.9	63 13.3
85～89歳	213 100.0	57 26.8	41 19.2	48 22.5	37 17.4	38 17.8	31 14.6	29 13.6	20 9.4	20 9.4	9 4.2	5 2.3	8 3.8	75 35.2	21 9.9
90歳以上	106 100.0	16 15.1	15 14.2	9 8.5	25 23.6	14 13.2	10 9.4	9 8.5	8 7.5	16 15.1	8 7.5	2 1.9	4 3.8	38 35.8	13 12.3
無回答	77 100.0	23 29.9	14 18.2	16 20.8	9 11.7	10 13.0	12 15.6	9 11.7	9 11.7	5 6.5	10 13.0	0 0.0	2 2.6	24 31.2	7 9.1
65～74歳	1,612 100.0	425 26.4	304 18.9	301 18.7	199 12.3	206 12.8	178 11.0	143 8.9	131 8.1	98 6.1	92 5.7	39 2.4	57 3.5	728 45.2	130 8.1
75歳以上	1,455 100.0	423 29.1	285 19.6	273 18.8	225 15.5	202 13.9	187 12.9	159 10.9	153 10.5	121 8.3	95 6.5	38 2.6	58 4.0	504 34.6	175 12.0

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯状況別にみると、「緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス」、「ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象とした、掃除・洗濯や外出時の援助など日常生活のお手伝いをするサービス」はひとり暮らし（特養などに入所含む）で多く、「特にない」は夫婦のみ（どちらかが65歳以上）の世帯で多くなっている。

	調査数	緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象とした、掃除・洗濯や外出時の援助など日常生活のお手伝いをするサービス	弁当を自宅に配達するサービス	自宅を訪問しての理容や美容を行うサービス	介護保険サービス以外で養護老人ホームなどに短期間宿泊できるサービス	介護保険サービス以外で養護老人ホームなどに短期間宿泊できるサービス	お店までの送迎をしてくれるサービス	自宅または近所に移動販売車が来るサービス	ご本人の代わりに買い物をしてもらうサービス	紙おむつなどの介護用品を提供するサービス	布団を預かって洗濯するサービス	電磁調理器を提供するサービス	その他	特にない	無回答
全体	3,144 100.0	871 27.7	603 19.2	590 18.8	433 13.8	418 13.3	377 12.0	311 9.9	293 9.3	224 7.1	197 6.3	77 2.4	117 3.7	1,256 39.9	312 9.9	
ひとり暮らし(特養などに入所含む。)	477 100.0	163 34.2	139 29.1	101 21.2	60 12.6	36 7.5	68 14.3	57 11.9	55 11.5	25 5.2	36 7.5	18 3.8	23 4.8	153 32.1	38 8.0	
夫婦のみ(ともに65歳以上)	1,194 100.0	368 30.8	276 23.1	258 21.6	165 13.8	178 14.9	157 13.1	135 11.3	127 10.6	74 6.2	72 6.0	32 2.7	37 3.1	461 38.6	111 9.3	
夫婦のみ(どちらかが65歳以上)	187 100.0	45 24.1	31 16.6	30 16.0	18 9.6	21 11.2	21 11.2	10 5.3	10 5.3	9 4.8	10 5.3	3 1.6	6 3.2	98 52.4	12 6.4	
上記以外で全員が65歳以上の世帯	89 100.0	20 22.5	10 11.2	11 12.4	11 12.4	13 14.6	9 10.1	5 5.6	9 10.1	7 7.9	4 4.5	0 0.0	5 5.6	27 30.3	15 16.9	
その他世帯	1,075 100.0	244 22.7	131 12.2	170 15.8	159 14.8	156 14.5	113 10.5	91 8.5	80 7.4	98 9.1	69 6.4	20 1.9	45 4.2	477 44.4	104 9.7	
無回答	122 100.0	31 25.4	16 13.1	20 16.4	20 16.4	14 11.5	9 7.4	13 10.7	12 9.8	11 9.0	6 4.9	4 3.3	1 0.8	40 32.8	32 26.2	

(上段:実数、下段:%)

### (3) 現在利用しているサービス（介護保険のサービスを除く）

- ◆ 性別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	食事、掃除、洗濯、買い物などの家事援助	通院や買い物などの福祉車両による送迎	身体介護の清拭や洗髪などの介護援助	食事会や食事の配達	防犯や安否確認のための見守り	散歩や通院などに付き添う外出介助	その他	利用していない	無回答
全体	3,144 100.0	50 1.6	26 0.8	22 0.7	19 0.6	16 0.5	10 0.3	25 0.8	2,716 86.4	300 9.5
男性	1,379 100.0	17 1.2	11 0.8	9 0.7	7 0.5	8 0.6	3 0.2	6 0.4	1,236 89.6	99 7.2
女性	1,686 100.0	29 1.7	11 0.7	11 0.7	9 0.5	8 0.5	6 0.4	19 1.1	1,423 84.4	186 11.0
無回答	79 100.0	4 5.1	4 5.1	2 2.5	3 3.8	0 0.0	1 1.3	0 0.0	57 72.2	15 19.0

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「利用していない」が多くなっている。

	調査数	食事、掃除、洗濯、買い物などの家事援助	社通院や買い物などの福祉	身体介護援助や洗髪などの	食事を配達	防犯や安否確認のため	散歩や通院などに付き	その他	利用していない	無回答
全体	3,144 100.0	50 1.6	26 0.8	22 0.7	19 0.6	16 0.5	10 0.3	25 0.8	2,716 86.4	300 9.5
65～69歳	858 100.0	5 0.6	2 0.2	3 0.3	2 0.2	1 0.1	1 0.1	3 0.3	787 91.7	59 6.9
70～74歳	754 100.0	5 0.7	6 0.8	4 0.5	4 0.5	5 0.7	2 0.3	3 0.4	669 88.7	66 8.8
75～79歳	663 100.0	10 1.5	3 0.5	3 0.5	2 0.3	4 0.6	1 0.2	11 1.7	560 84.5	72 10.9
80～84歳	473 100.0	11 2.3	5 1.1	4 0.8	3 0.6	2 0.4	2 0.4	4 0.8	389 82.2	58 12.3
85～89歳	213 100.0	13 6.1	6 2.8	5 2.3	5 2.3	4 1.9	3 1.4	3 1.4	163 76.5	21 9.9
90歳以上	106 100.0	2 1.9	0 0.0	1 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	91 85.8	11 10.4
無回答	77 100.0	4 5.2	4 5.2	2 2.6	3 3.9	0 0.0	1 1.3	0 0.0	57 74.0	13 16.9
65～74歳	1,612 100.0	10 0.6	8 0.5	7 0.4	6 0.4	6 0.4	3 0.2	6 0.4	1,456 90.3	125 7.8
75歳以上	1,455 100.0	36 2.5	14 1.0	13 0.9	10 0.7	10 0.7	6 0.4	19 1.3	1,203 82.7	162 11.1

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯状況別にみると、「利用していない」が上記以外で全員が65歳以上の世帯で、他の世帯構成に比べて少なくなっている。

	調査数	食事、掃除、洗濯、買い物などの家事援助	社通院や買い物などの福祉	身体介護援助や洗髪などの	食事を配達	防犯や安否確認のため	散歩や通院などに付き	その他	利用していない	無回答
全体	3,144 100.0	50 1.6	26 0.8	22 0.7	19 0.6	16 0.5	10 0.3	25 0.8	2,716 86.4	300 9.5
ひとり暮らし(特養などに入所含む。)	477 100.0	19 4.0	2 0.4	2 0.4	6 1.3	3 0.6	2 0.4	6 1.3	399 83.6	48 10.1
夫婦のみ(ともに65歳以上)	1,194 100.0	14 1.2	12 1.0	7 0.6	6 0.5	6 0.5	2 0.2	6 0.5	1,054 88.3	102 8.5
夫婦のみ(どちらかが65歳以上)	187 100.0	1 0.5	1 0.5	1 0.5	0 0.0	1 0.5	0 0.0	1 0.5	171 91.4	12 6.4
上記以外で全員が65歳以上の世帯	89 100.0	2 2.2	0 0.0	1 1.1	2 2.2	1 1.1	0 0.0	0 0.0	69 77.5	14 15.7
その他世帯	1,075 100.0	9 0.8	9 0.8	10 0.9	5 0.5	5 0.5	3 0.3	11 1.0	945 87.9	89 8.3
無回答	122 100.0	5 4.1	2 1.6	1 0.8	0 0.0	0 0.0	3 2.5	1 0.8	78 63.9	35 28.7

(上段:実数、下段:%)

## (4) サービス（介護保険のサービスを除く）を利用しない理由

- ◆ 性別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	地域でそのようなサービスが提供されているかどうかの情報が無い	地域にない	そのようなサービスがある	サービス内容に不安がある	サービス利用時の費用が高い	その他	無回答
全体	2,716 100.0	760 28.0	127 4.7	65 2.4	64 2.4	1,592 58.6	295 10.9	
男性	1,236 100.0	361 29.2	58 4.7	31 2.5	32 2.6	717 58.0	120 9.7	
女性	1,423 100.0	382 26.8	65 4.6	32 2.2	32 2.2	845 59.4	169 11.9	
無回答	57 100.0	17 29.8	4 7.0	2 3.5	0 0.0	30 52.6	6 10.5	

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、「地域でそのようなサービスが提供されているかどうかの情報が無い」が80～84歳で、他の年齢層に比べて多くなっている。

	調査数	地域でそのようなサービスが提供されているかどうかの情報が無い	地域にない	そのようなサービスがある	サービス内容に不安がある	サービス利用時の費用が高い	その他	無回答
全体	2,716 100.0	760 28.0	127 4.7	65 2.4	64 2.4	1,592 58.6	295 10.9	
65～69歳	787 100.0	199 25.3	27 3.4	4 0.5	6 0.8	507 64.4	72 9.1	
70～74歳	669 100.0	153 22.9	21 3.1	14 2.1	16 2.4	443 66.2	55 8.2	
75～79歳	560 100.0	159 28.4	27 4.8	19 3.4	19 3.4	313 55.9	71 12.7	
80～84歳	389 100.0	151 38.8	30 7.7	17 4.4	15 3.9	168 43.2	58 14.9	
85～89歳	163 100.0	51 31.3	11 6.7	7 4.3	8 4.9	82 50.3	23 14.1	
90歳以上	91 100.0	30 33.0	7 7.7	2 2.2	0 0.0	49 53.8	10 11.0	
無回答	57 100.0	17 29.8	4 7.0	2 3.5	0 0.0	30 52.6	6 10.5	
65～74歳	1,456 100.0	352 24.2	48 3.3	18 1.2	22 1.5	950 65.2	127 8.7	
75歳以上	1,203 100.0	391 32.5	75 6.2	45 3.7	42 3.5	612 50.9	162 13.5	

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯状況別にみると、「地域でそのようなサービスが提供されているかどうかの情報がない」はひとり暮らし（特養などに入所含む）、上記以外で全員が65歳以上の世帯で多くなっている。

	調査数	地域でそのようなサービスが提供されていない情報がない	地域でそのようなサービスが提供されているかどうか	そのようなサービスがある	サービス内容に不安がある	サービス利用時の費用が高い	その他	無回答
全体	2,716 100.0	760 28.0	127 4.7	65 2.4	64 2.4	1,592 58.6	295 10.9	
ひとり暮らし(特養などに入所含む)	399 100.0	136 34.1	22 5.5	8 2.0	12 3.0	206 51.6	48 12.0	
夫婦のみ(ともに65歳以上)	1,054 100.0	290 27.5	46 4.4	27 2.6	26 2.5	627 59.5	101 9.6	
夫婦のみ(どちらかが65歳以上)	171 100.0	53 31.0	8 4.7	2 1.2	2 1.2	99 57.9	18 10.5	
上記以外で全員が65歳以上の世帯	69 100.0	25 36.2	2 2.9	2 2.9	3 4.3	36 52.2	7 10.1	
その他世帯	945 100.0	238 25.2	44 4.7	22 2.3	19 2.0	590 62.4	98 10.4	
無回答	78 100.0	18 23.1	5 6.4	4 5.1	2 2.6	34 43.6	23 29.5	

(上段:実数、下段:%)

### (5) 今後利用したいサービス（介護保険のサービスを除く）

- ◆ 性別にみると、「食事、掃除、洗濯、買い物などの家事援助」、「防犯や安否確認のための見守り」は女性に比べて男性で多く、「通院や買い物などの福祉車両による送迎」は男性に比べて女性で多くなっている。

	調査数	食事、掃除、洗濯、買い物などの家事援助	通院や買い物などの福祉車両による送迎	身体介護の清拭や洗髪などの介助	食事会や食事の配達	防犯や安否確認のための見守り	散歩や通院などに付き添う外出介助	その他	利用したくない	無回答
全体	128 100.0	47 36.7	38 29.7	24 18.8	25 19.5	23 18.0	22 17.2	12 9.4	3 2.3	26 20.3
男性	44 100.0	20 45.5	9 20.5	9 20.5	9 20.5	10 22.7	7 15.9	3 6.8	1 2.3	7 15.9
女性	77 100.0	23 29.9	26 33.8	14 18.2	15 19.5	11 14.3	13 16.9	9 11.7	2 2.6	18 23.4
無回答	7 100.0	4 57.1	3 42.9	1 14.3	1 14.3	2 28.6	2 28.6	0 0.0	0 0.0	1 14.3

(上段:実数、下段:%)



- ◆ 年齢別にみると、サンプル数が少ないため参考値として参照されたい。

	調査数	い食 物な どの 家事 援助	社通 車院 両や 買い 物な どの 福	食事 会や 食事 の配 達	身 体の 清拭 や洗 髪な ど	防 犯や 安否 確認 のため	添 歩や 通院 など に付 き	そ の 他	利 用し たく ない	無 回 答
全体	128 100.0	47 36.7	38 29.7	25 19.5	24 18.8	23 18.0	22 17.2	12 9.4	3 2.3	26 20.3
65～69歳	12 100.0	7 58.3	2 16.7	2 16.7	4 33.3	3 25.0	5 41.7	1 8.3	0 0.0	3 25.0
70～74歳	19 100.0	6 31.6	5 26.3	5 26.3	4 21.1	6 31.6	3 15.8	2 10.5	1 5.3	2 10.5
75～79歳	31 100.0	5 16.1	10 32.3	3 9.7	4 12.9	5 16.1	3 9.7	4 12.9	2 6.5	8 25.8
80～84歳	26 100.0	9 34.6	7 26.9	4 15.4	3 11.5	2 7.7	4 15.4	3 11.5	0 0.0	5 19.2
85～89歳	29 100.0	13 44.8	11 37.9	9 31.0	8 27.6	5 17.2	5 17.2	2 6.9	0 0.0	6 20.7
90歳以上	4 100.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
無回答	7 100.0	4 57.1	3 42.9	1 14.3	1 14.3	2 28.6	2 28.6	0 0.0	0 0.0	1 14.3
65～74歳	31 100.0	13 41.9	7 22.6	7 22.6	8 25.8	9 29.0	8 25.8	3 9.7	1 3.2	5 16.1
75歳以上	90 100.0	30 33.3	28 31.1	17 18.9	15 16.7	12 13.3	12 13.3	9 10.0	2 2.2	20 22.2

(上段:実数、下段:%)

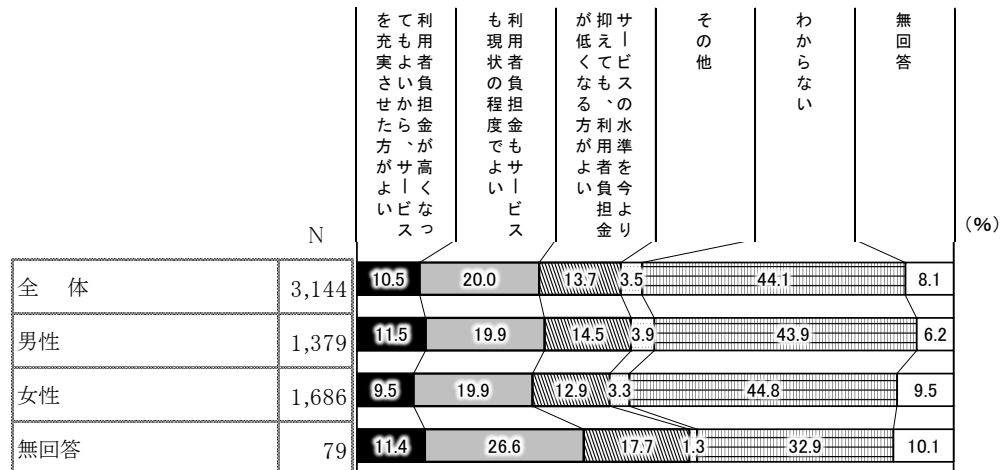
- ◆ 世帯状況別にみると、サンプル数が少ないため参考値として参照されたい。

	調査数	い食 物な どの 家事 援助	社通 車院 両や 買い 物な どの 福	食事 会や 食事 の配 達	身 体の 清拭 や洗 髪な ど	防 犯や 安否 確認 のため	添 歩や 通院 など に付 き	そ の 他	利 用し たく ない	無 回 答
全体	128 100.0	47 36.7	38 29.7	25 19.5	24 18.8	23 18.0	22 17.2	12 9.4	3 2.3	26 20.3
ひとり暮らし(特養などに 入所含む。)	30 100.0	17 56.7	9 30.0	5 16.7	4 13.3	6 20.0	6 20.0	2 6.7	1 3.3	6 20.0
夫婦のみ (ともに65歳以上)	38 100.0	16 42.1	13 34.2	11 28.9	7 18.4	9 23.7	3 7.9	4 10.5	1 2.6	3 7.9
夫婦のみ (どちらかが65歳以上)	4 100.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
上記以外で全員が 65歳以上の世帯	6 100.0	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	2 33.3
その他世帯	41 100.0	9 22.0	12 29.3	6 14.6	10 24.4	6 14.6	7 17.1	5 12.2	0 0.0	10 24.4
無回答	9 100.0	2 22.2	2 22.2	2 22.2	2 22.2	1 11.1	3 33.3	1 11.1	0 0.0	4 44.4

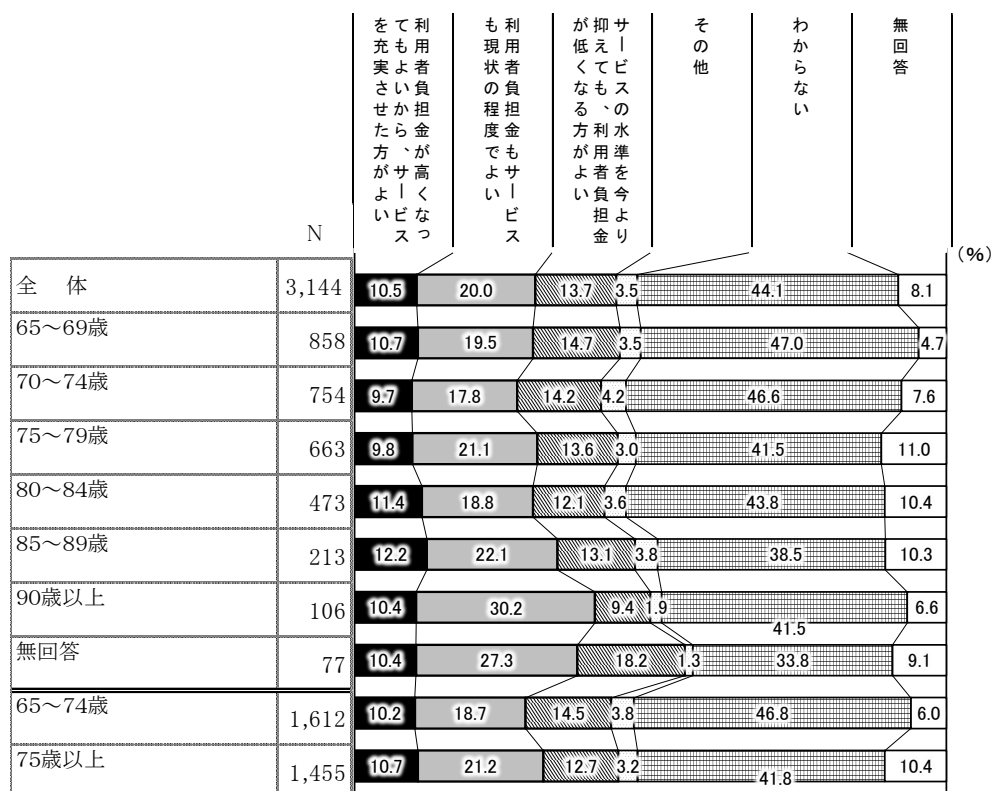
(上段:実数、下段:%)

## (6) 高齢者福祉サービスの利用者負担金について

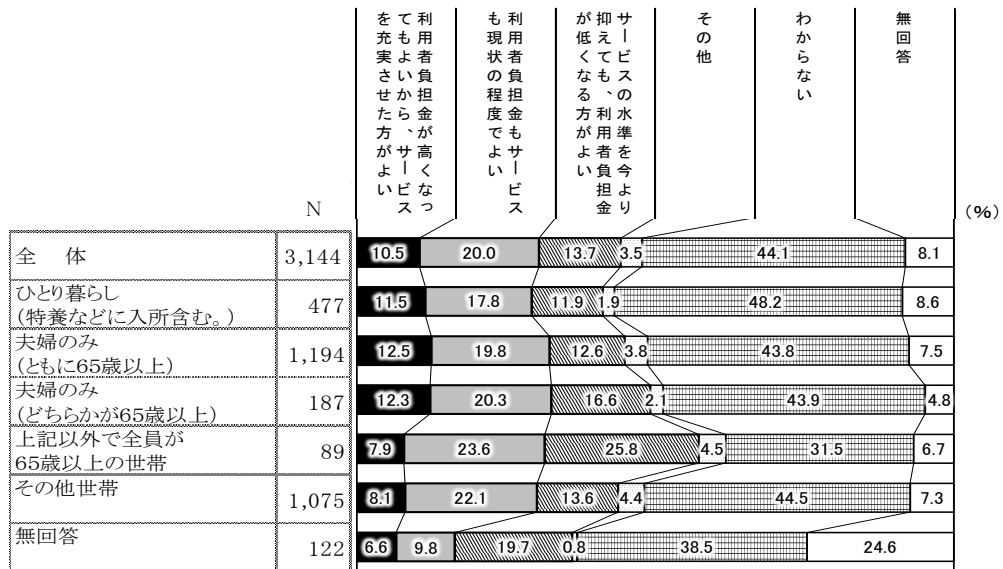
- ◆ 性別にみると、大きな差はみられない。



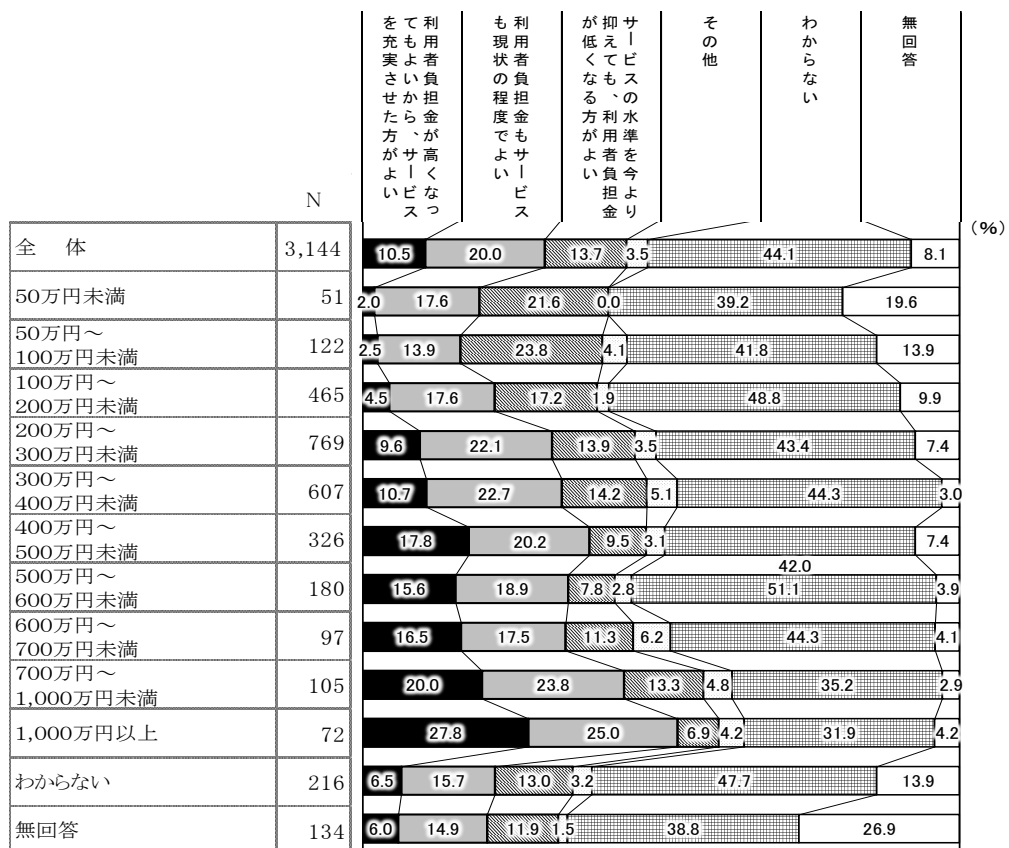
- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が高くなるにしたがって「利用者負担金もサービスも現状の程度でよい」が多くなっている。一方、概ね年齢が低くなるにしたがって「サービスの水準を今より抑えても、利用者負担金が低くなる方がよい」が多くなっている。



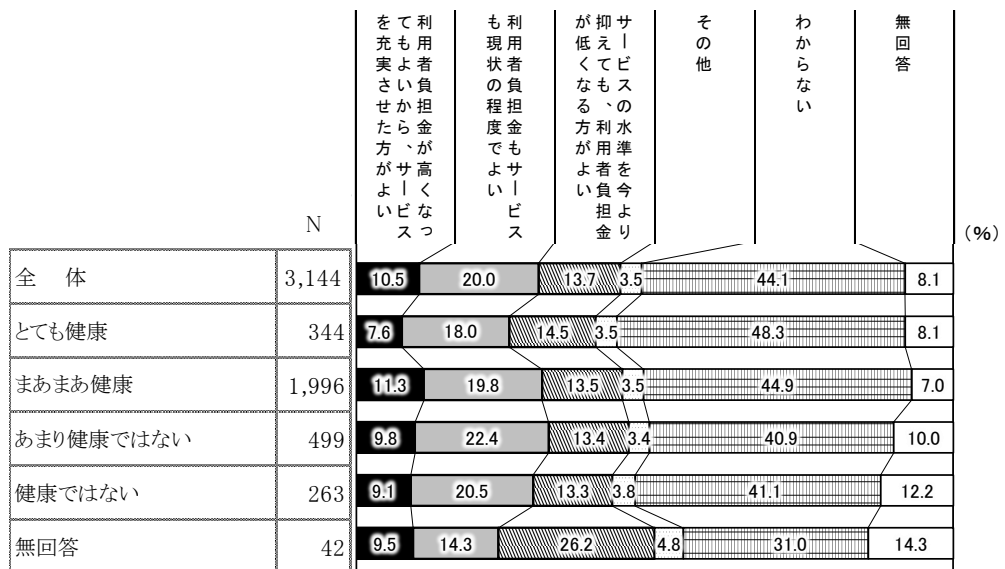
- ◆ 世帯状況別にみると、「サービスの水準を今より抑えても、利用者負担金が低くなる方がよい」は上記以外で全員が65歳以上の世帯で多くなっている。



- ◆ 世帯の年間総収入額別にみると、概ね収入が高くなるにしたがって「利用者負担金が高くなってもよいから、サービスを充実させた方がよい」が多くなっている。一方、概ね収入が低くなるにしたがって「サービスの水準を今より抑えても、利用者負担金が低くなる方がよい」が多くなっている。



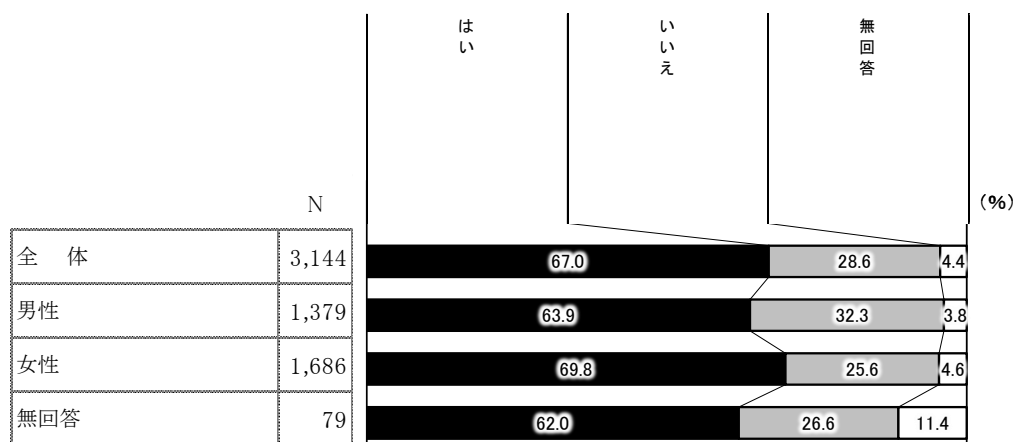
◆ 健康状態別にみると、大きな差はみられない。



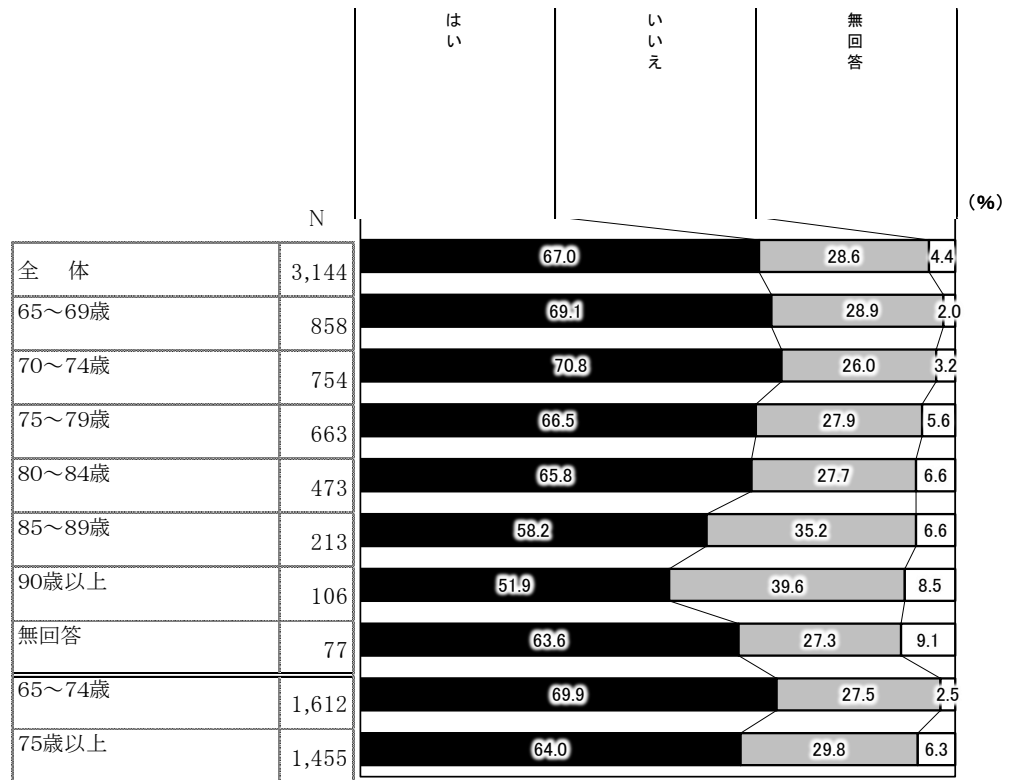
## 15 介護予防について

### (1) 介護予防の認知度

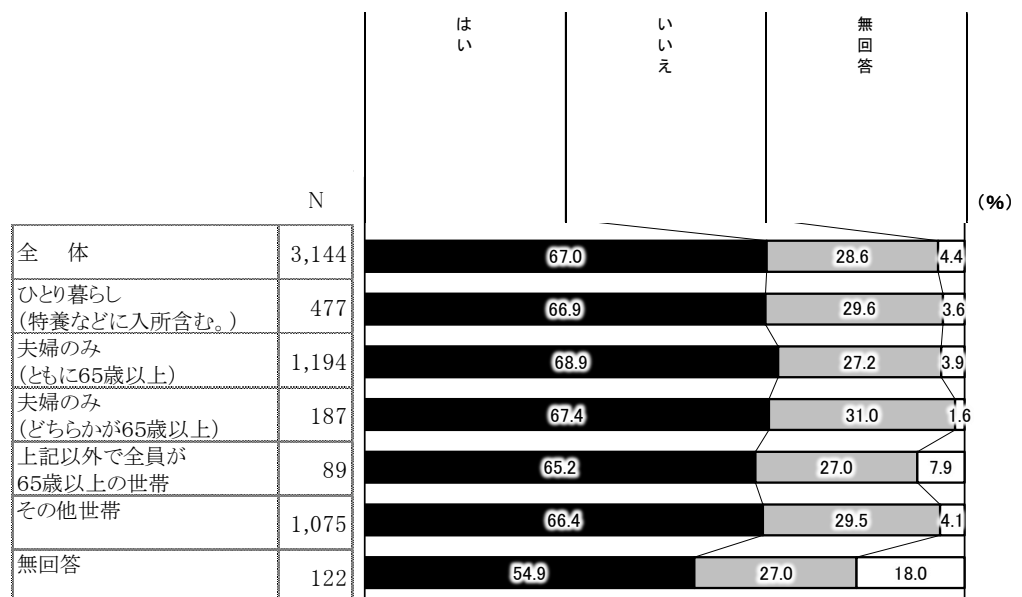
◆ 性別にみると、介護予防を知っていると答えた人は男性（63.9%）に比べて女性（69.8%）で多くなっている。



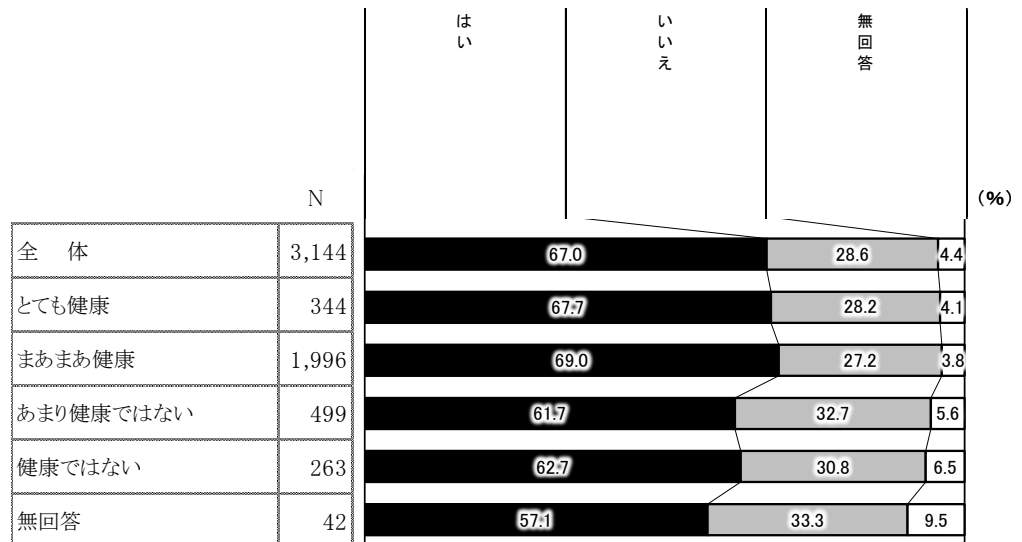
- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「はい」（介護予防という言葉聞いたことがあると回答）が多くなっている。



- ◆ 世帯状況別にみると、大きな差はみられない。

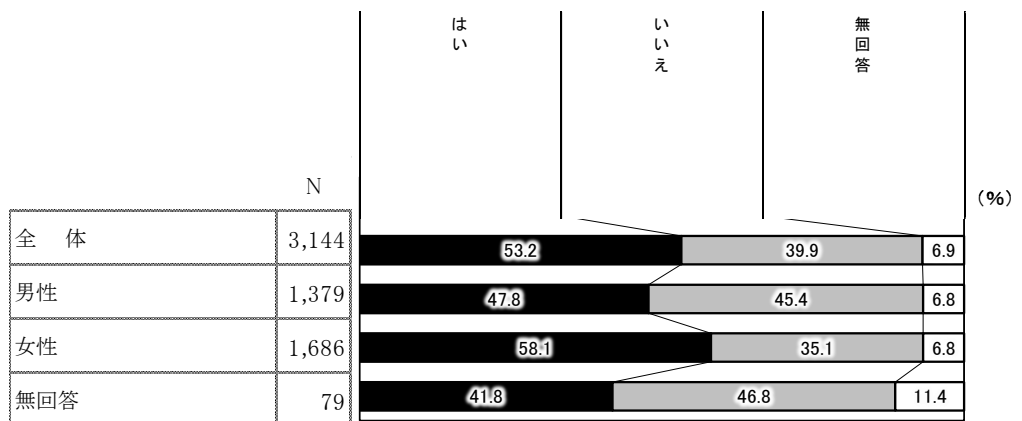


- ◆ 健康状態別にみると、概ね健康と答えた人の方が「はい」（介護予防という言葉を知ったことがあると回答）が多くなっている。

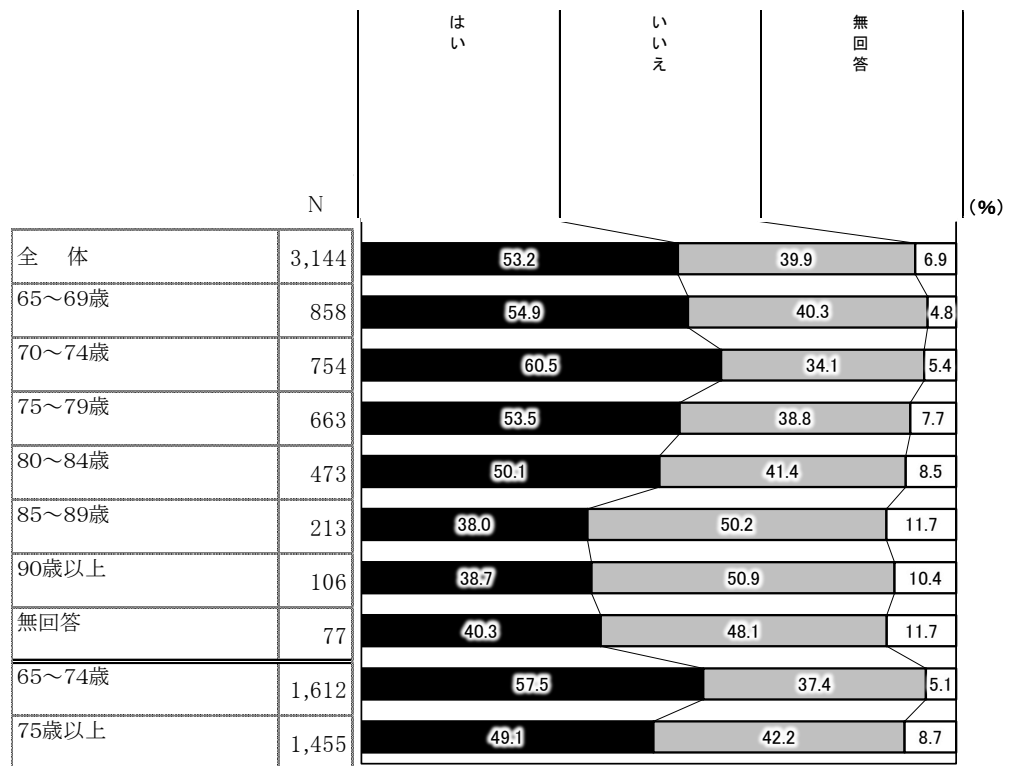


## (2) 介護予防についての取組み状況

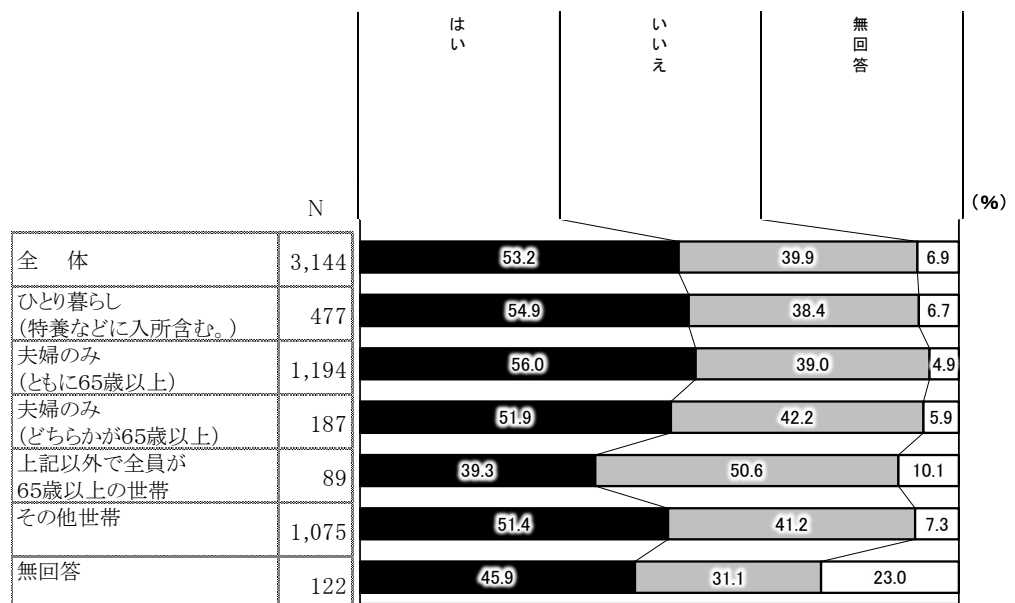
- ◆ 性別にみると、介護予防に取り組んでいると答えた人は男性（47.8%）に比べて女性（58.1%）が多くなっている。



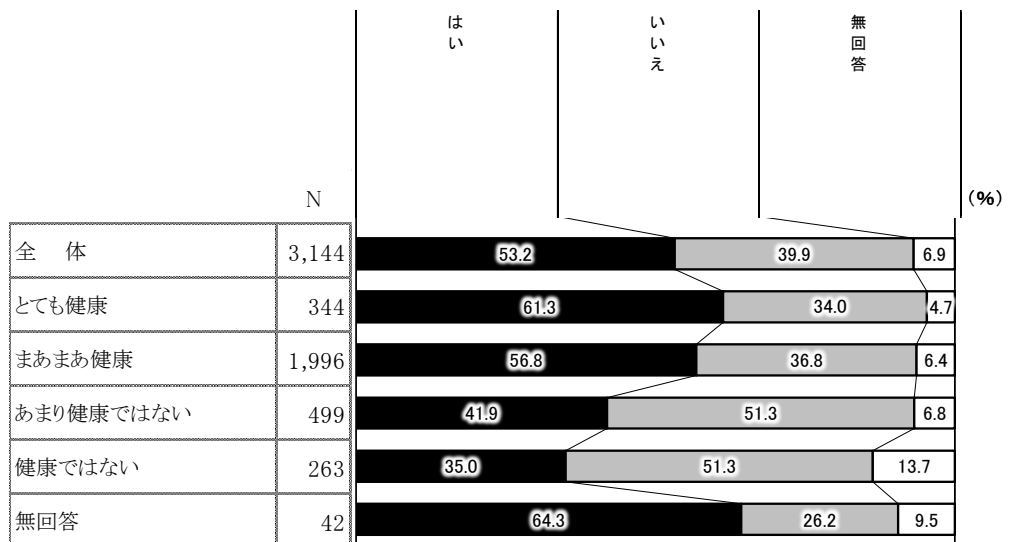
- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって介護予防に取り組んでいるとする回答が多くなっている。



- ◆ 世帯状況別にみると、上記以外で全員が 65 歳以上の世帯で介護予防に取り組んでいるとする回答が、他の世帯状況に比べて少なくなっている。



- ◆ 健康状態別にみると、健康状態がよくなるにしたがって介護予防に取り組んでいるとする回答が多くなっている。



### (3) 介護予防のために取り組んでいること

- ◆ 性別にみると、「ご自身でのスポーツ、体力づくり」、「仕事」は女性に比べて男性で多く、「友人、知人とのつきあい・家族との交流」、「健康づくりのための教室への参加」は男性に比べて女性で多くなっている。

	調査数	多く歩くなどの軽い運動・散歩	友人、知人とのつきあい・家族との交流	趣味・学習	ご自身でのスポーツ、体力づくり	健康づくりのための教室への参加	地域の自主グループへの参加・自主サークルへの参加	町内会・自治会・子供会などの活動	仕事	ボランティア活動	老人クラブの活動	その他	無回答
全体	1,672	1,150	901	882	755	293	224	219	204	190	169	117	1
	100.0	68.8	53.9	52.8	45.2	17.5	13.4	13.1	12.2	11.4	10.1	7.0	0.1
男性	659	476	277	348	348	69	82	114	112	79	64	41	0
	100.0	72.2	42.0	52.8	52.8	10.5	12.4	17.3	17.0	12.0	9.7	6.2	0.0
女性	980	651	607	513	394	220	142	103	85	109	101	73	1
	100.0	66.4	61.9	52.3	40.2	22.4	14.5	10.5	8.7	11.1	10.3	7.4	0.1
無回答	33	23	17	21	13	4	0	2	7	2	4	3	0
	100.0	69.7	51.5	63.6	39.4	12.1	0.0	6.1	21.2	6.1	12.1	9.1	0.0

(上段:実数、下段:%)



- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「散歩などの軽い運動・多く外出すること」、「友人、知人とのつきあい・家族との交流」、「趣味・学習」、「ご自身でのスポーツ、体力づくり」、「仕事」が多くなっている。一方、概ね年齢が高くなるにしたがって「老人クラブの活動」が多くなっている。なお、90歳以上は、サンプル数が少ないため参考値として参照されたい。

	調査数	多く散歩など外出すること	友人、知人とのつきあい・家族との交流	趣味・学習	ご自身でのスポーツ、体力づくり	健康づくりのための参加	地域の自主グループへの参加	町内会・自治会・子供会などの活動	仕事	ボランティア活動	老人クラブの活動	その他	無回答
全体	1,672 100.0	1,150 68.8	901 53.9	882 52.8	755 45.2	293 17.5	224 13.4	219 13.1	204 12.2	190 11.4	169 10.1	117 7.0	1 0.1
65～69歳	471 100.0	309 65.6	260 55.2	267 56.7	256 54.4	59 12.5	49 10.4	57 12.1	85 18.0	61 13.0	14 3.0	16 3.4	0 0.0
70～74歳	456 100.0	346 75.9	253 55.5	254 55.7	238 52.2	99 21.7	83 18.2	66 14.5	64 14.0	68 14.9	47 10.3	21 4.6	1 0.2
75～79歳	355 100.0	258 72.7	199 56.1	176 49.6	135 38.0	72 20.3	50 14.1	51 14.4	29 8.2	31 8.7	48 13.5	30 8.5	0 0.0
80～84歳	237 100.0	164 69.2	129 54.4	122 51.5	82 34.6	38 16.0	31 13.1	35 14.8	14 5.9	23 9.7	37 15.6	26 11.0	0 0.0
85～89歳	81 100.0	41 50.6	34 42.0	33 40.7	26 32.1	15 18.5	8 9.9	8 9.9	4 4.9	5 6.2	18 22.2	8 9.9	0 0.0
90歳以上	41 100.0	11 26.8	11 26.8	10 24.4	5 12.2	6 14.6	3 7.3	0 0.0	2 4.9	0 0.0	2 4.9	13 31.7	0 0.0
無回答	31 100.0	21 67.7	15 48.4	20 64.5	13 41.9	4 12.9	0 0.0	2 6.5	6 19.4	2 6.5	3 9.7	3 9.7	0 0.0
65～74歳	927 100.0	655 70.7	513 55.3	521 56.2	494 53.3	158 17.0	132 14.2	123 13.3	149 16.1	129 13.9	61 6.6	37 4.0	1 0.1
75歳以上	714 100.0	474 66.4	373 52.2	341 47.8	248 34.7	131 18.3	92 12.9	94 13.2	49 6.9	59 8.3	105 14.7	77 10.8	0 0.0

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯状況別にみると、「趣味・学習」は上記以外で全員が65歳以上の世帯で多く、「健康づくりのための教室への参加」は夫婦のみ（どちらかが65歳以上）で少なくなっている。また、「仕事」は夫婦のみ（どちらかが65歳以上）、上記以外で全員が65歳以上の世帯で多くなっている。

	調査数	多く散歩など外出すること	友人、知人とのつきあい・家族との交流	趣味・学習	ご自身でのスポーツ、体力づくり	健康づくりのための参加	地域の自主グループへの参加	町内会・自治会・子供会などの活動	仕事	ボランティア活動	老人クラブの活動	その他	無回答
全体	1,672 100.0	1,150 68.8	901 53.9	882 52.8	755 45.2	293 17.5	224 13.4	219 13.1	204 12.2	190 11.4	169 10.1	117 7.0	1 0.1
ひとり暮らし(特養などに入所含む。)	262 100.0	174 66.4	146 55.7	135 51.5	111 42.4	50 19.1	32 12.2	26 9.9	27 10.3	22 8.4	24 9.2	25 9.5	0 0.0
夫婦のみ(ともに65歳以上)	669 100.0	481 71.9	385 57.5	384 57.4	326 48.7	119 17.8	110 16.4	104 15.5	75 11.2	103 15.4	68 10.2	40 6.0	1 0.1
夫婦のみ(どちらかが65歳以上)	97 100.0	63 64.9	47 48.5	50 51.5	51 52.6	6 6.2	11 11.3	15 15.5	20 20.6	11 11.3	5 5.2	3 3.1	0 0.0
上記以外で全員が65歳以上の世帯	35 100.0	21 60.0	17 48.6	22 62.9	14 40.0	8 22.9	3 8.6	3 8.6	9 25.7	3 8.6	1 2.9	3 8.6	0 0.0
その他世帯	553 100.0	375 67.8	277 50.1	273 49.4	233 42.1	98 17.7	63 11.4	65 11.8	63 11.4	48 8.7	61 11.0	45 8.1	0 0.0
無回答	56 100.0	36 64.3	29 51.8	18 32.1	20 35.7	12 21.4	5 8.9	6 10.7	10 17.9	3 5.4	10 17.9	1 1.8	0 0.0

(上段:実数、下段:%)

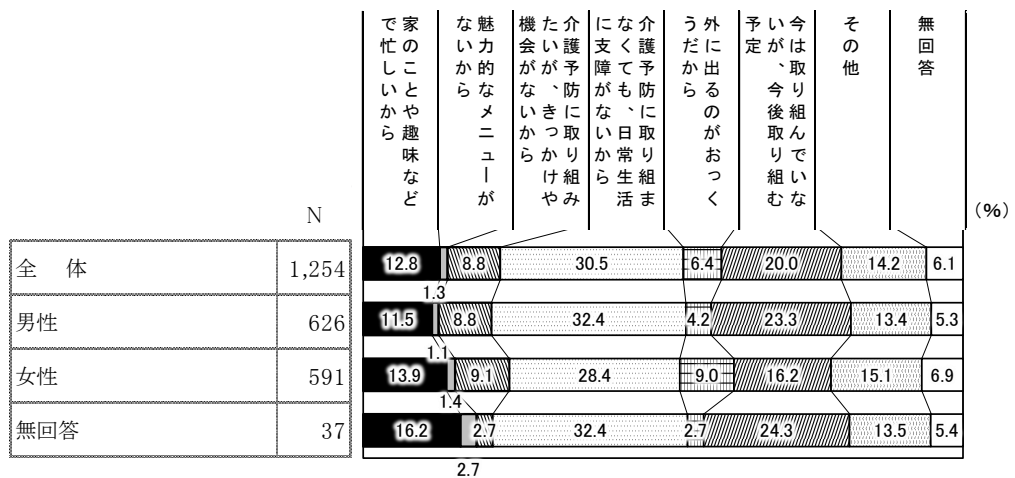
- ◆ 健康状態別にみると、概ねほとんどの項目で、健康状態がよくなるにしたがって取り組んでいることへの回答が多くなっている。

	調査数	多く散歩などの軽い運動・外出すること	友人、知人とのつきあい・家族との交流	趣味・学習	ご自身でのスポーツ、体力づくり	健康づくりのための教室への参加	地域の自主グループへの参加・自主サークルへの参加	町内会・自治会・子供会などの活動	仕事	ボランティア活動	老人クラブの活動	その他	無回答
全体	1,672 100.0	1,150 68.8	901 53.9	882 52.8	755 45.2	293 17.5	224 13.4	219 13.1	204 12.2	190 11.4	169 10.1	117 7.0	1 0.1
とても健康	211 100.0	155 73.5	127 60.2	129 61.1	132 62.6	34 16.1	42 19.9	29 13.7	38 18.0	36 17.1	20 9.5	9 4.3	0 0.0
まあまあ健康	1,133 100.0	788 69.5	627 55.3	626 55.3	537 47.4	215 19.0	158 13.9	161 14.2	140 12.4	135 11.9	116 10.2	65 5.7	0 0.0
あまり健康ではない	209 100.0	137 65.6	98 46.9	86 41.1	51 24.4	33 15.8	18 8.6	19 9.1	17 8.1	14 6.7	25 12.0	22 10.5	0 0.0
健康ではない	92 100.0	52 56.5	37 40.2	33 35.9	25 27.2	8 8.7	5 5.4	6 6.5	4 4.3	3 3.3	4 4.3	20 21.7	1 1.1
無回答	27 100.0	18 66.7	12 44.4	8 29.6	10 37.0	3 11.1	1 3.7	4 14.8	5 18.5	2 7.4	4 14.8	1 3.7	0 0.0

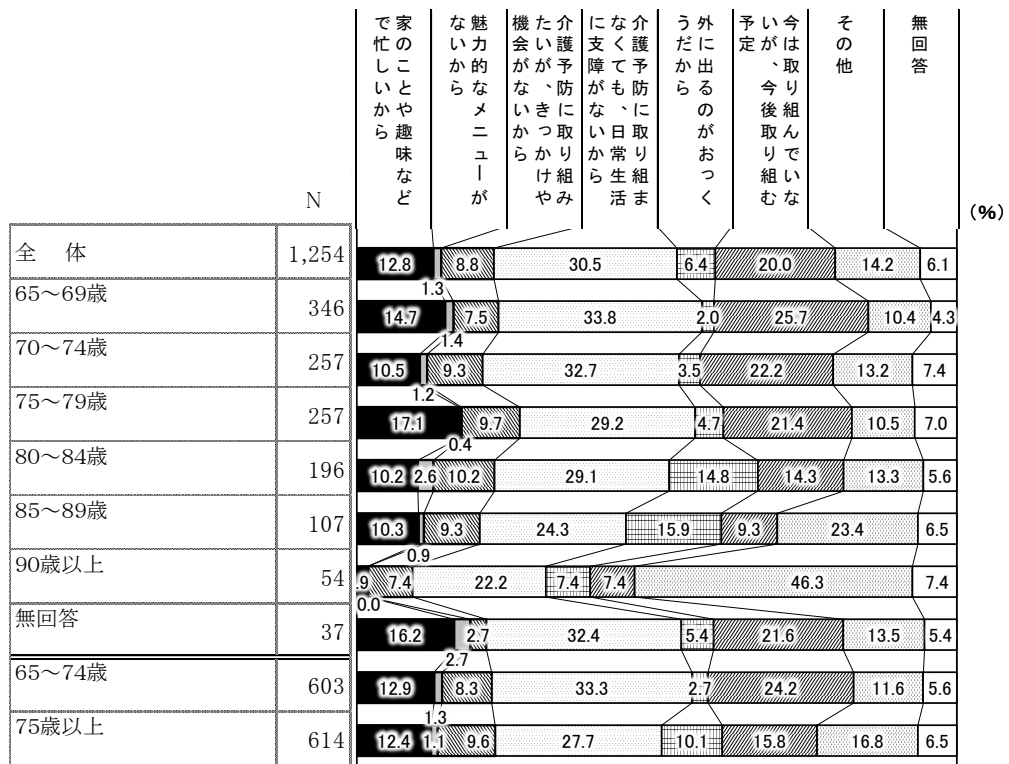
(上段:実数、下段:%)

#### (4) 介護予防に取り組まない理由

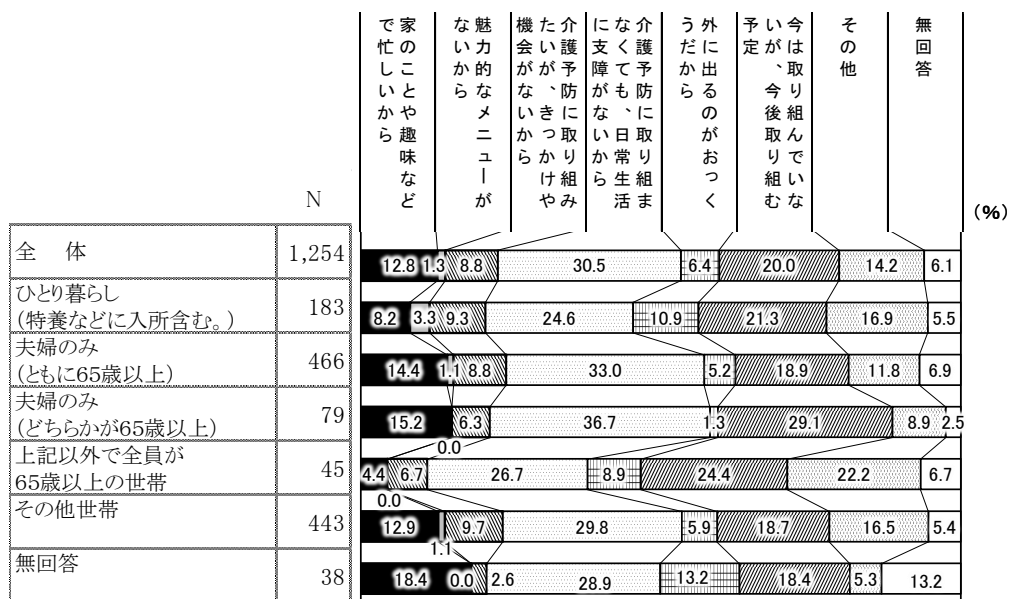
- ◆ 性別にみると、「外に出るのがおっくうだから」は男性に比べて女性で多く、「今は取り組んでいないが、今後取り組む予定」は女性に比べて男性で多くなっている。



- ◆ 年齢別にみると、年齢が低くなるにしたがって「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」、「今は取り組んでいないが、今後取り組む予定」が多くなっている。



- ◆ 世帯状況別にみると、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」、「今は取り組んでいないが、今後取り組む予定」は夫婦のみ（どちらかが65歳以上）で多くなっている。



- ◆ 健康状態別にみると、概ね健康状態がよくなるにしたがって「家のことや趣味などで忙しいから」、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が多くなっている。

	N	理由								(%)	
		で家のこと 忙しいから や趣味など	魅力的なメ ニューが	機会がない から	介護予防に 取り組み たいが、き っかけや	介護予防に 取り組み なくても、 日常生活	介護予防に 取り組み なくても、 日常生活	外に出るの がおつこ うだから	予 定		今は取り 組んでい ないが、 今後取り 組む
全 体	1,254	12.8	8.8	1.3	30.5	6.4	20.0	14.2	6.1		
とても健康	117	17.1	7.7	0.0	36.8	0.9	18.8	12.0	6.8		
まあまあ健康	735	15.4	1.5	7.6	36.6	4.1	19.7	9.8	5.3		
あまり健康ではない	256	6.3	12.9	1.2	22.7	12.1	22.3	16.0	6.6		
健康ではない	135	6.7	8.9	1.5	8.1	12.6	17.0	37.8	7.4		
無回答	11	18.2	0.0	18.2	9.1	36.4	0.0	18.2			

(5) 介護予防として仙台市に力を入れて欲しいこと

- ◆ 性別にみると、「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」、「栄養バランスのとれた食生活のための講座の開催などの取り組み」は男性に比べて女性で多く、「運動などの活動するための場所の確保」は女性に比べて男性で多くなっている。

	調査数	暮らせる地域づくり	認知症になっても安心して暮らせる地域づくり	運動教室開催・向上のための取り組み	筋力の維持・向上のための取り組み	生きがいづくりのための取り組み	の外出する機会を増やすための取り組み	閉じこもりを防止するための取り組み	栄養バランスのとれた食生活のための講座の開催などの取り組み	介護予防の普及啓発	運動などの活動するための場所の確保	地域活動の推進	転提供	運動などの活動に取り組んでいる団体の紹介などの情報提供	運動などの取り組みの指導	運動などの取り組みの普及啓発	子どもや孫など他世代との交流	ボランティア人材の育成	発などについての普及啓発	講座の開催などの取り組み	口の中の健康保持のための講座の開催などの取り組み	その他	特 に な い	無 回 答
全体	3,144	1,156	959	646	629	575	526	355	311	269	227	214	203	157	145	94	363	205	145	4.6	3.0	11.5	6.5	
男性	1,379	467	402	302	272	216	250	200	169	129	95	91	86	66	53	52	174	72	4.8	3.8	12.6	5.2		
女性	1,686	658	540	330	341	349	267	149	134	131	128	117	113	85	86	41	177	125	5.0	5.1	2.4	10.5	7.4	
無回答	79	31	17	14	16	10	9	8	8	9	4	6	4	6	6	1	12	8	7.6	1.3	15.2	10.1		

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「筋力の維持・向上のための運動教室開催などの取り組み」、「生きがいがづくりのための取り組み」、「運動などの活動するための場所の確保」が多くなっている。

	調査数	暮らさせる地域づくり	筋力維持・向上のための取り組み	生きがいがづくりのための取り組み	閉じこもりを防止するための創出	栄養バランスのとれた食生活のための講座開催などの取り組み	介護予防の普及啓発	運動などの活動をするための場所の確保	地域活動の推進	報提供する団体の紹介などの情報提供	運動などの活動に取り組んでいる団体の紹介などの情報提供	運動などの活動に取り組むための指導	子どもや孫など他世代との交流	子どもや孫など他世代との交流	ボランティア人材の育成	発案などの取り組み	講座の開催などの取り組み	口の中の健康保持のための講座の開催などの取り組み	その他	特になし	無回答
全体	3,144 100.0	1,156 36.8	959 30.5	646 20.5	629 20.0	575 18.3	526 16.7	355 11.3	311 9.9	269 8.6	227 7.2	214 6.8	203 6.5	157 5.0	145 4.6	94 3.0	363 11.5	205 6.5			
65～69歳	858 100.0	310 36.1	296 34.5	191 22.3	177 20.6	157 18.3	158 18.4	121 14.1	92 10.7	98 11.4	70 8.2	50 5.8	67 7.8	44 5.1	32 3.7	25 2.9	81 9.4	38 4.4			
70～74歳	754 100.0	250 33.2	254 33.7	175 23.2	160 21.2	139 18.4	124 16.4	105 13.9	88 11.7	69 9.2	53 7.0	53 7.0	44 5.8	34 4.5	33 4.4	25 3.3	87 11.5	37 4.9			
75～79歳	663 100.0	253 38.2	191 28.8	134 20.2	129 19.5	133 20.1	99 14.9	69 10.4	58 8.7	45 6.8	47 7.1	39 5.9	32 4.8	31 4.7	40 6.0	24 3.6	74 11.2	56 8.4			
80～84歳	473 100.0	190 40.2	128 27.1	85 18.0	92 19.5	87 18.4	90 19.0	38 8.0	43 9.1	35 7.4	29 6.1	37 7.8	27 5.7	23 4.9	24 5.1	14 3.0	52 11.0	42 8.9			
85～89歳	213 100.0	81 38.0	56 26.3	32 15.0	44 20.7	38 17.8	28 13.1	11 5.2	18 8.5	7 3.3	19 8.9	16 7.5	26 12.2	11 5.2	8 3.8	4 1.9	32 15.0	16 7.5			
90歳以上	106 100.0	41 38.7	18 17.0	15 14.2	12 11.3	11 10.4	18 17.0	5 4.7	5 4.7	6 5.7	5 4.7	14 13.2	3 2.8	2 1.9	2 0.9	1 0.9	26 24.5	8 7.5			
無回答	77 100.0	31 40.3	16 20.8	14 18.2	15 19.5	10 13.0	9 11.7	6 7.8	7 9.1	9 11.7	5 5.2	5 6.5	4 5.2	4 9.1	6 7.8	1 1.3	11 14.3	8 10.4			
65～74歳	1,612 100.0	560 34.7	550 34.1	366 22.7	337 20.9	296 18.4	226 17.5	180 14.0	167 11.2	123 10.4	103 7.6	111 6.4	78 6.9	65 4.0	50 3.1	168 10.4	75 4.7				
75歳以上	1,455 100.0	565 38.8	393 27.0	266 18.3	277 19.0	269 18.5	235 16.2	123 8.5	124 8.5	93 6.4	100 6.9	106 7.3	88 6.0	72 4.9	74 5.1	43 3.0	184 12.6	122 8.4			

(上段:実数、下段:%)

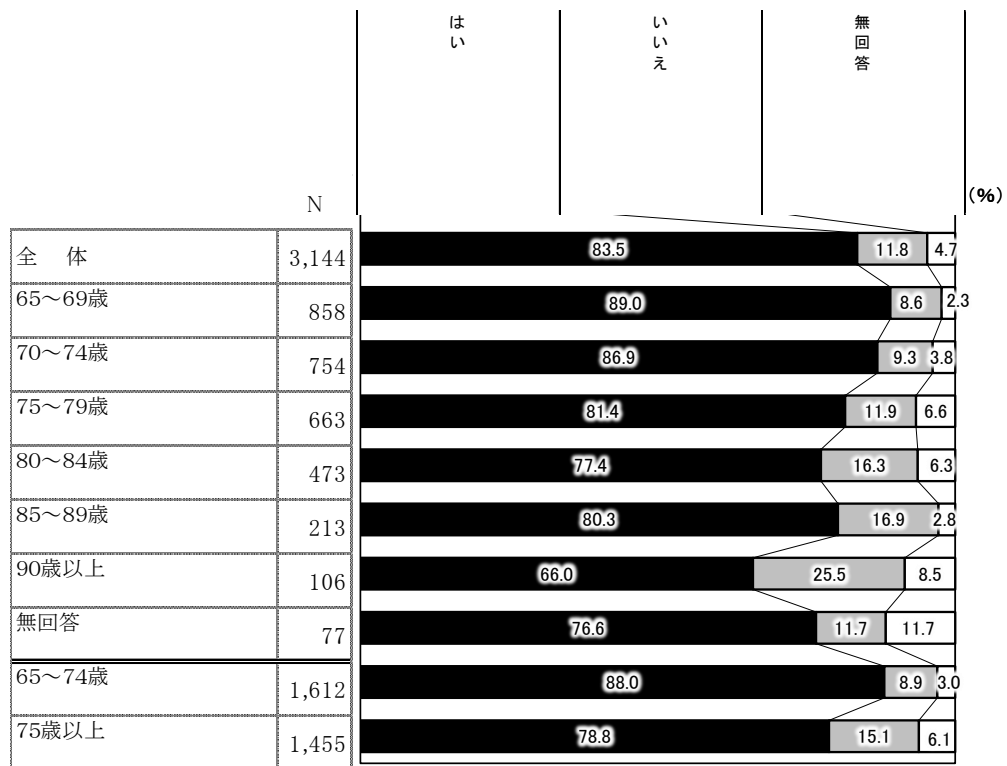
- ◆ 世帯状況別にみると、「介護予防の普及開発」、「運動などの活動に取り組んでいる団体の紹介などの情報提供」は夫婦のみ（どちらかが65歳以上）で多く、「子どもや孫など他世代との交流」は上記以外で全員が65歳以上の世帯で多くなっている。

	調査数	暮らさせる地域づくり	筋力維持・向上のための取り組み	生きがいがづくりのための取り組み	閉じこもりを防止するための創出	栄養バランスのとれた食生活のための講座開催などの取り組み	介護予防の普及啓発	運動などの活動をするための場所の確保	地域活動の推進	報提供する団体の紹介などの情報提供	運動などの活動に取り組んでいる団体の紹介などの情報提供	運動などの活動に取り組むための指導	子どもや孫など他世代との交流	子どもや孫など他世代との交流	ボランティア人材の育成	発案などの取り組み	講座の開催などの取り組み	口の中の健康保持のための講座の開催などの取り組み	その他	特になし	無回答
全体	3,144 100.0	1,156 36.8	959 30.5	646 20.5	629 20.0	575 18.3	526 16.7	355 11.3	311 9.9	269 8.6	227 7.2	214 6.8	203 6.5	157 5.0	145 4.6	94 3.0	363 11.5	205 6.5			
ひとり暮らし(特養などに 入所含む)	477 100.0	147 30.8	138 28.9	95 19.9	102 21.4	102 21.4	71 14.9	43 9.0	33 6.9	36 7.5	35 7.3	23 4.8	27 5.7	23 4.8	25 5.0	14 3.0	65 13.6	38 8.0			
夫婦のみ (ともに65歳以上)	1,194 100.0	450 37.7	399 33.4	249 20.9	240 20.1	228 19.1	217 18.2	156 13.1	135 11.3	100 8.4	85 7.1	68 5.7	83 7.0	60 5.0	60 5.0	39 3.3	119 10.0	67 5.6			
夫婦のみ (どちらかが65歳以上)	187 100.0	64 34.2	54 28.9	41 21.9	35 18.7	19 10.2	46 24.6	19 10.2	23 12.3	29 15.5	7 3.7	15 8.0	9 4.8	5 2.7	7 3.7	9 4.8	29 15.5	7 3.7			
上記以外で全員が 65歳以上の世帯	89 100.0	31 34.8	29 32.6	19 21.3	18 20.2	16 18.0	6 6.7	7 7.9	12 13.5	9 10.1	8 9.0	12 13.5	7 7.9	4 4.5	2 2.2	3 3.4	11 12.4	8 9.0			
その他世帯	1,075 100.0	425 39.5	318 29.6	220 20.5	214 19.9	195 18.1	176 16.4	114 10.6	104 9.7	86 8.0	83 7.7	82 7.6	74 6.9	57 5.3	49 4.6	29 2.7	121 11.3	63 5.9			
無回答	122 100.0	39 32.0	21 17.2	22 18.0	20 16.4	15 12.3	10 8.2	16 13.1	4 3.3	9 7.4	9 7.4	14 11.5	3 2.5	8 6.6	2 1.6	0 0.0	18 14.8	22 18.0			

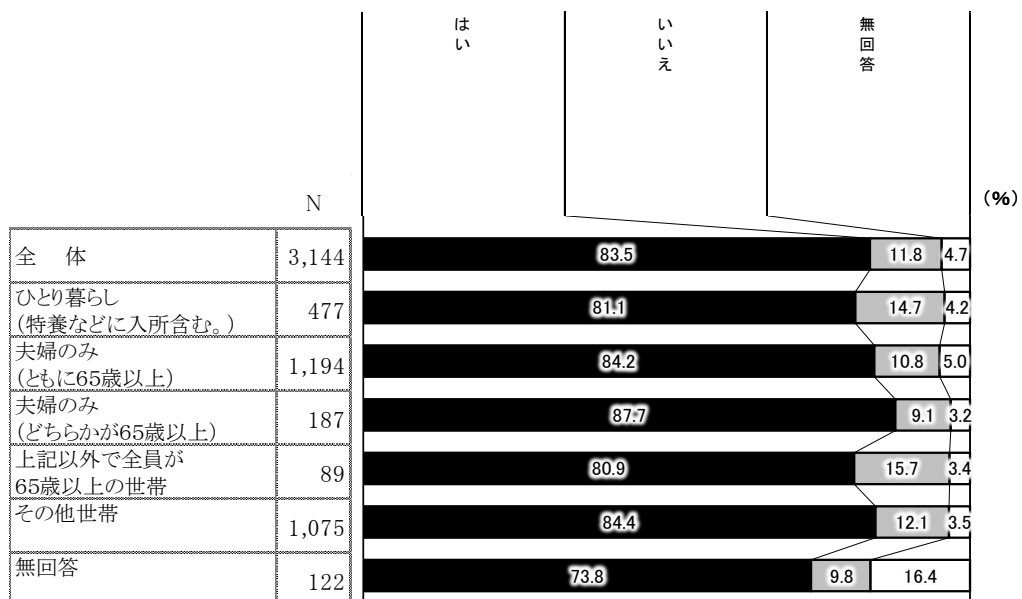
(上段:実数、下段:%)



- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって5分前のことが思い出せるとの回答が多くなっている。

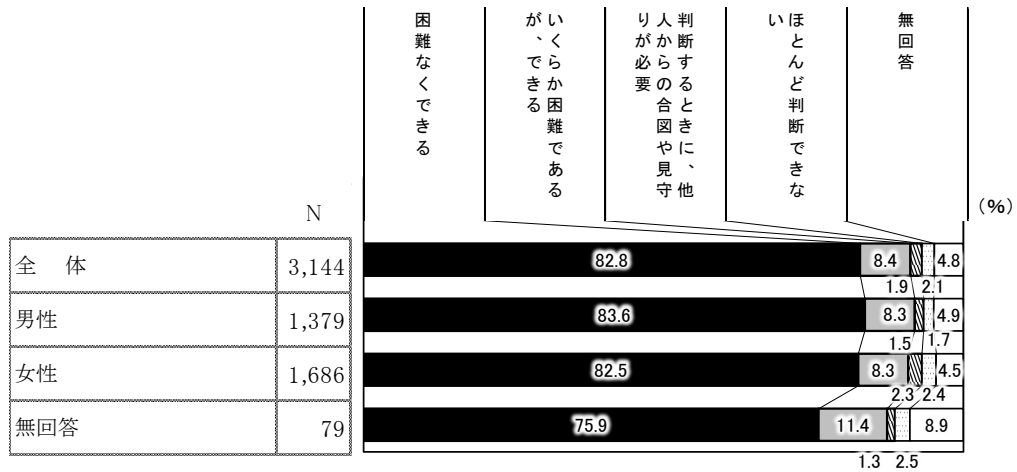


- ◆ 世帯状況別にみると、大きな差はみられない。

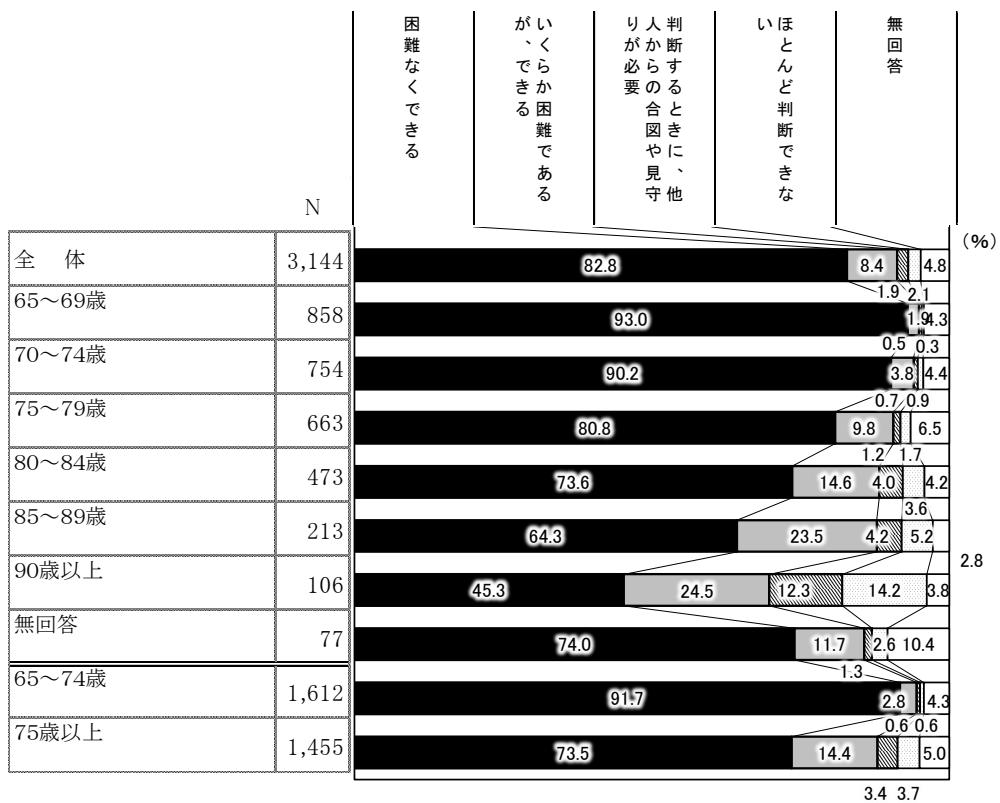


(2) その日の活動を自分で判断できるか

◆ 性別にみると、大きな差はみられない。

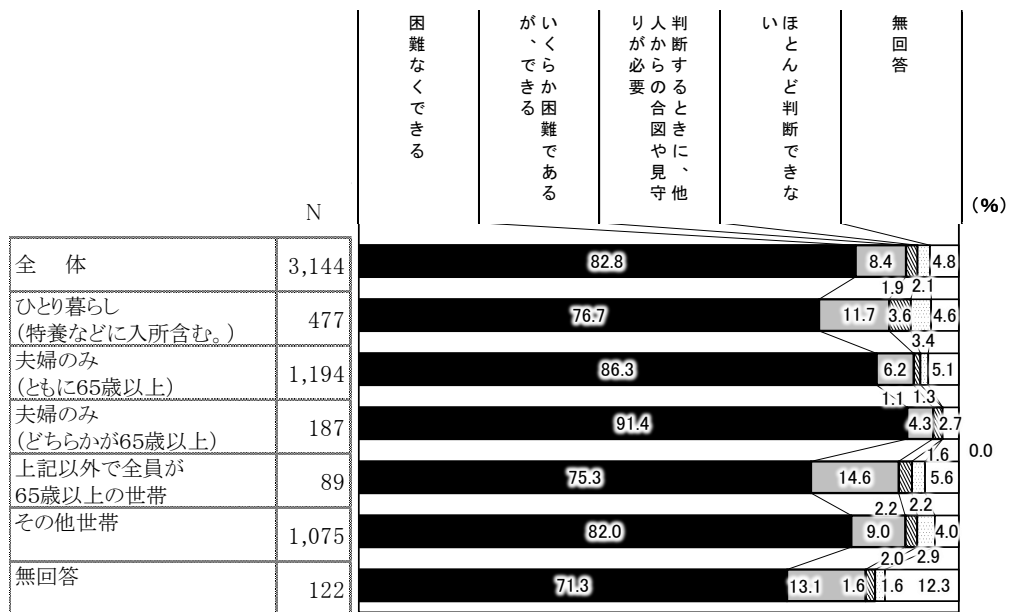


◆ 年齢別にみると、年齢が低くなるにしたがって「困難なくできる」が多くなっている。



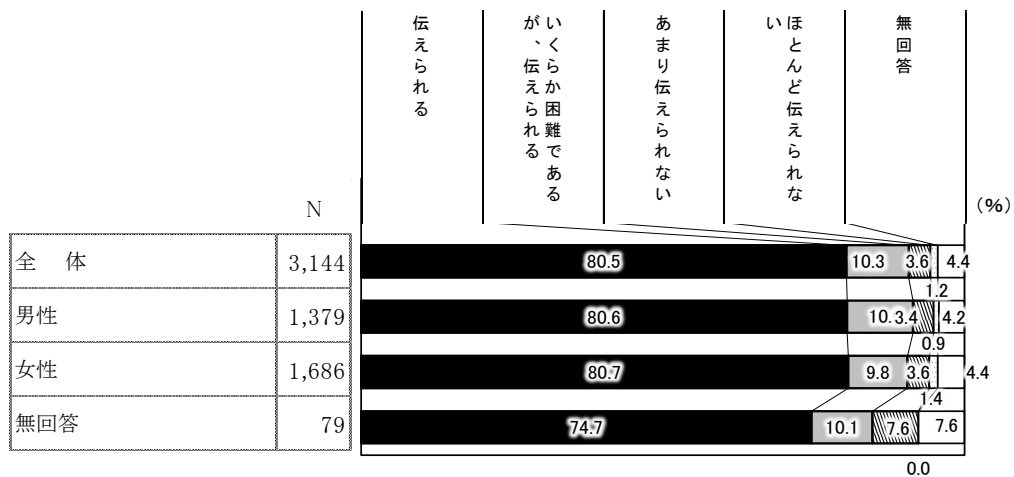


◆ 世帯状況別にみると、「困難なくできる」は夫婦のみ（どちらかが65歳以上）で多くなっている。

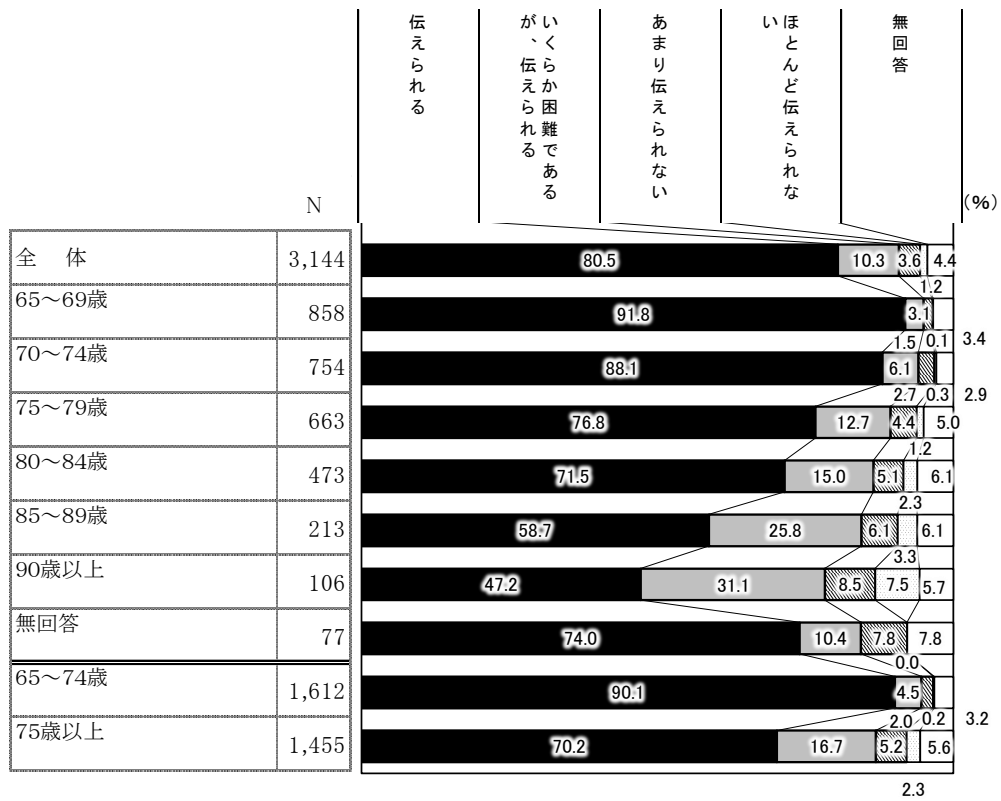


(3) 人に自分の考えをうまく伝えられるか

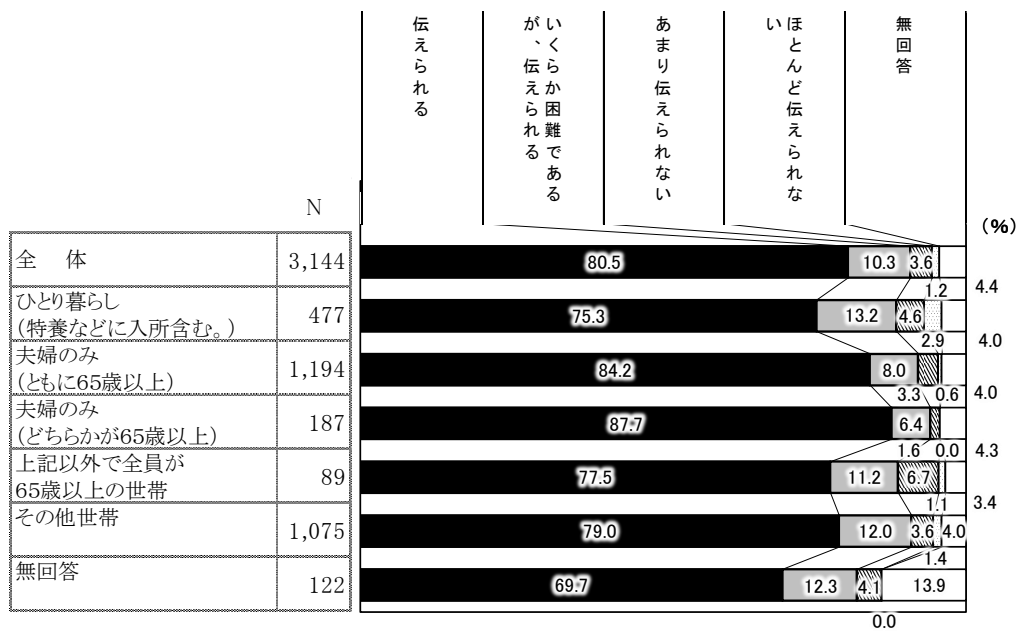
◆ 性別にみると、大きな差はみられない。



◆ 年齢別にみると、年齢が低くなるにしたがって「伝えられる」が多くなっている。



◆ 世帯状況別にみると、大きな差はみられない。



## (4) 認知症について知っていること

- ◆ 性別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	「認知症」という言葉は聞いたことがある	「ぼけ」のことである	加齢に伴う物忘れである	脳の病気によるものである	認知症の方や家族を見守り「サポート」を知っている	知らない	無回答
全体	3,144 100.0	2,801 89.1	1,550 49.3	1,256 39.9	2,019 64.2	446 14.2	39 1.2	92 2.9
男性	1,379 100.0	1,219 88.4	686 49.7	546 39.6	868 62.9	162 11.7	17 1.2	44 3.2
女性	1,686 100.0	1,512 89.7	824 48.9	671 39.8	1,099 65.2	271 16.1	21 1.2	45 2.7
無回答	79 100.0	70 88.6	40 50.6	39 49.4	52 65.8	13 16.5	1 1.3	3 3.8

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「認知症」という言葉は聞いたことがある、「脳の病気によるものである」が多くなっている。

	調査数	「認知症」という言葉は聞いたことがある	「ぼけ」のことである	加齢に伴う物忘れである	脳の病気によるものである	認知症の方や家族を見守り「サポート」を知っている	知らない	無回答
全体	3,144 100.0	2,801 89.1	1,550 49.3	1,256 39.9	2,019 64.2	446 14.2	39 1.2	92 2.9
65～69歳	858 100.0	785 91.5	398 46.4	300 35.0	607 70.7	130 15.2	2 0.2	17 2.0
70～74歳	754 100.0	696 92.3	369 48.9	268 35.5	520 69.0	94 12.5	7 0.9	16 2.1
75～79歳	663 100.0	578 87.2	322 48.6	277 41.8	418 63.0	100 15.1	8 1.2	27 4.1
80～84歳	473 100.0	408 86.3	257 54.3	222 46.9	271 57.3	69 14.6	8 1.7	19 4.0
85～89歳	213 100.0	184 86.4	111 52.1	108 50.7	106 49.8	25 11.7	5 2.3	6 2.8
90歳以上	106 100.0	82 77.4	54 50.9	43 40.6	47 44.3	16 15.1	8 7.5	4 3.8
無回答	77 100.0	68 88.3	39 50.6	38 49.4	50 64.9	12 15.6	1 1.3	3 3.9
65～74歳	1,612 100.0	1,481 91.9	1,127 69.9	767 47.6	568 35.2	224 13.9	9 0.6	33 2.0
75歳以上	1,455 100.0	1,252 86.0	842 57.9	744 51.1	650 44.7	210 14.4	29 2.0	56 3.8

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯状況別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	「認知症」という言葉は聞いたことがある	「ぼけ」のことである	加齢に伴う物忘れである	脳の病気によるものである	認知症の方や家族を見守り支援する「認知症サポーター」を知っている	知らない	無回答
全体	3,144 100.0	2,801 89.1	1,550 49.3	1,256 39.9	2,019 64.2	446 14.2	39 1.2	92 2.9
ひとり暮らし(特養などに入所含む)	477 100.0	417 87.4	221 46.3	193 40.5	315 66.0	69 14.5	9 1.9	12 2.5
夫婦のみ(ともに65歳以上)	1,194 100.0	1,082 90.6	581 48.7	467 39.1	782 65.5	173 14.5	12 1.0	33 2.8
夫婦のみ(どちらかが65歳以上)	187 100.0	167 89.3	89 47.6	61 32.6	128 68.4	20 10.7	1 0.5	6 3.2
上記以外で全員が65歳以上の世帯	89 100.0	74 83.1	50 56.2	39 43.8	49 55.1	15 16.9	3 3.4	4 4.5
その他世帯	1,075 100.0	970 90.2	554 51.5	452 42.0	698 64.9	155 14.4	11 1.0	24 2.2
無回答	122 100.0	91 74.6	55 45.1	44 36.1	47 38.5	14 11.5	3 2.5	13 10.7

(上段:実数、下段:%)

### (5) 認知症になっても安心して生活するために必要なこと

- ◆ 性別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	抱え込まないよう実態を把握する	家族などの介護者が負担を軽減する	早期・福祉の専門職による適切な支援が得られる環境の整備	医療・福祉の専門職による見守りや支え合い	地域の住民の認知症について正しい理解と、設の整備	認知症対応型の入所施設	家族などの介護者や認知症の人と交流できる場所の整備	家族などの介護者や認知症の人と交流できる場所の整備	認知症になっても財産や権利が守られるような制度や権利	その他	特にな	無回答
全体	3,144 100.0	1,888 60.1	1,838 58.5	1,452 46.2	1,080 34.4	850 27.0	526 16.7	23 0.7	116 3.7	116 3.7	116 3.7	116 3.7	152 4.8
男性	1,379 100.0	818 59.3	828 60.0	628 45.5	473 34.3	346 25.1	232 16.8	9 0.7	60 4.4	60 4.4	60 4.4	60 4.4	60 4.4
女性	1,686 100.0	1,022 60.6	965 57.2	790 46.9	585 34.7	474 28.1	283 16.8	14 0.8	53 3.1	53 3.1	53 3.1	53 3.1	89 5.3
無回答	79 100.0	48 60.8	45 57.0	34 43.0	22 27.8	30 38.0	11 13.9	0 0.0	3 3.8	3 3.8	3 3.8	3 3.8	3 3.8

(上段:実数、下段:%)

## ◆ 年齢別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	抱え込まないよう サービスの充実	家族などの介護者が負担を する環境の整備	医療・福祉の専門職による 早期の適切な支援が得られ る環境の整備	見守りや正しい理解と、 地域の住民の認知症につ いての正しい理解と、	設 認 の 整 備 対 応 型 の 入 所 施 	と 交 流 で き る 場 所 の 整 備	家 族 な ど の 介 護 者 や 認 知 症 の 人 が 気 軽 に 相 談 し た り 、 仲 間	利 認 知 症 に な っ て も 財 産 や 権 利 が 守 ら れ る よ う な 制 度	そ 他	特 に な い	無 回 答
全体	3,144 100.0	1,888 60.1	1,838 58.5	1,452 46.2	1,080 34.4	850 27.0	526 16.7	23 0.7	116 3.7	152 4.8		
65～69歳	858 100.0	545 63.5	510 59.4	405 47.2	336 39.2	244 28.4	152 17.7	3 0.3	17 2.0	25 2.9		
70～74歳	754 100.0	450 59.7	479 63.5	360 47.7	247 32.8	229 30.4	126 16.7	5 0.7	26 3.4	21 2.8		
75～79歳	663 100.0	383 57.8	383 57.8	315 47.5	206 31.1	161 24.3	110 16.6	7 1.1	26 3.9	45 6.8		
80～84歳	473 100.0	281 59.4	256 54.1	211 44.6	162 34.2	122 25.8	81 17.1	4 0.8	19 4.0	37 7.8		
85～89歳	213 100.0	120 56.3	115 54.0	83 39.0	72 33.8	48 22.5	33 15.5	1 0.5	16 7.5	16 7.5		
90歳以上	106 100.0	63 59.4	52 49.1	46 43.4	34 32.1	16 15.1	13 12.3	3 2.8	9 8.5	6 5.7		
無回答	77 100.0	46 59.7	43 55.8	32 41.6	23 29.9	30 39.0	11 14.3	0 0.0	3 3.9	2 2.6		
65～74歳	1,612 100.0	995 61.7	989 61.4	765 47.5	583 36.2	473 29.3	278 17.2	8 0.5	43 2.7	46 2.9		
75歳以上	1,455 100.0	847 58.2	806 55.4	655 45.0	474 32.6	347 23.8	237 16.3	15 1.0	70 4.8	104 7.1		

(上段:実数、下段:%)

◆ 世帯状況別にみると、「家族などの介護者が負担を抱え込まないようにするためのサービスの充実」は  
その他世帯で多く、「医療・福祉の専門職による早期の適切な支援が得られる環境の整備」は夫婦のみ（ど  
ちらかが 65 歳以上）で多くなっている。また、「認知症対応型の入所施設の整備」はひとり暮らし（特  
養などに入所含む）、夫婦のみ（どちらかが 65 歳以上）で多くなっている。

	調査数	抱え込まないよう サービスの充実	家族などの介護者が負担を する環境の整備	医療・福祉の専門職による 早期の適切な支援が得られ る環境の整備	見守りや正しい理解と、 地域の住民の認知症につ いての正しい理解と、	設 認 の 整 備 対 応 型 の 入 所 施 	と 交 流 で き る 場 所 の 整 備	家 族 な ど の 介 護 者 や 認 知 症 の 人 が 気 軽 に 相 談 し た り 、 仲 間	利 認 知 症 に な っ て も 財 産 や 権 利 が 守 ら れ る よ う な 制 度	そ 他	特 に な い	無 回 答
全体	3,144 100.0	1,888 60.1	1,838 58.5	1,452 46.2	1,080 34.4	850 27.0	526 16.7	23 0.7	116 3.7	152 4.8		
ひとり暮らし(特養などに 入所含む。)	477 100.0	224 47.0	269 56.4	200 41.9	198 41.5	109 22.9	91 19.1	7 1.5	25 5.2	25 5.2		
夫婦のみ (ともに65歳以上)	1,194 100.0	734 61.5	702 58.8	582 48.7	393 32.9	356 29.8	220 18.4	9 0.8	33 2.8	50 4.2		
夫婦のみ (どちらかが65歳以上)	187 100.0	117 62.6	119 63.6	75 40.1	75 40.1	50 26.7	34 18.2	0 0.0	5 2.7	8 4.3		
上記以外で全員が 65歳以上の世帯	89 100.0	52 58.4	46 51.7	38 42.7	31 34.8	28 31.5	17 19.1	2 2.2	3 3.4	5 5.6		
その他世帯	1,075 100.0	707 65.8	654 60.8	517 48.1	350 32.6	285 26.5	147 13.7	4 0.4	40 3.7	41 3.8		
無回答	122 100.0	54 44.3	48 39.3	40 32.8	33 27.0	22 18.0	17 13.9	1 0.8	10 8.2	23 18.9		

(上段:実数、下段:%)

## 17 地域包括ケアシステムの構築について

## (1) 地域包括ケアシステムの構築のために必要なこと

- ◆ 性別にみると、「ショートステイなど介護者の負担軽減のためのサービスの充実」は男性（32.6%）に比べて女性（41.0%）で多くなっている。

	調査数	24時間対応の在宅介護サービスの充実	地域包括支援センターなど機関の充実	地域包括支援センターなど機関の充実	ケアマネジャーなどの専門職によるケアマネジメン	ケアマネジャーなどの専門職によるケアマネジメン	ショートステイなど介護者の負担軽減のためのサービス	ショートステイなど介護者の負担軽減のためのサービス	かかりつけ医等による在宅医療のさらなる充実	かかりつけ医等による在宅医療のさらなる充実	高齢者が一人でも安心して暮らせる住居の確保	高齢者が一人でも安心して暮らせる住居の確保	買い物や見守りなどの生活支援サービスの充実	買い物や見守りなどの生活支援サービスの充実	在宅復帰に向けた支援の方	在宅復帰に向けた支援の方	その他	特にな	無回答
全体	3,144 100.0	1,282 40.8	1,272 40.5	1,186 37.7	1,170 37.2	1,156 36.8	939 29.9	705 22.4	368 11.7	74 2.4	316 10.1	331 10.5							
男性	1,379 100.0	545 39.5	549 39.8	514 37.3	450 32.6	485 35.2	396 28.7	290 21.0	154 11.2	41 3.0	177 12.8	125 9.1							
女性	1,686 100.0	713 42.3	690 40.9	643 38.1	692 41.0	646 38.3	523 31.0	398 23.6	206 12.2	31 1.8	131 7.8	193 11.4							
無回答	79 100.0	24 30.4	33 41.8	29 36.7	28 35.4	25 31.6	20 25.3	17 21.5	8 10.1	2 2.5	8 10.1	13 16.5							

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	24時間対応の在宅介護サービスの充実	地域包括支援センターなど機関の充実	地域包括支援センターなど機関の充実	ケアマネジャーなどの専門職によるケアマネジメン	ケアマネジャーなどの専門職によるケアマネジメン	ショートステイなど介護者の負担軽減のためのサービス	ショートステイなど介護者の負担軽減のためのサービス	かかりつけ医等による在宅医療のさらなる充実	かかりつけ医等による在宅医療のさらなる充実	高齢者が一人でも安心して暮らせる住居の確保	高齢者が一人でも安心して暮らせる住居の確保	買い物や見守りなどの生活支援サービスの充実	買い物や見守りなどの生活支援サービスの充実	在宅復帰に向けた支援の方	在宅復帰に向けた支援の方	その他	特にな	無回答
全体	3,144 100.0	1,282 40.8	1,272 40.5	1,186 37.7	1,170 37.2	1,156 36.8	939 29.9	705 22.4	368 11.7	74 2.4	316 10.1	331 10.5							
65～69歳	858 100.0	377 43.9	324 37.8	305 35.5	358 41.7	280 32.6	275 32.1	207 24.1	92 10.7	18 2.1	88 10.3	68 7.9							
70～74歳	754 100.0	320 42.4	311 41.2	281 37.3	276 36.6	290 38.5	222 29.4	170 22.5	88 11.7	15 2.0	83 11.0	74 9.8							
75～79歳	663 100.0	242 36.5	289 43.6	283 42.7	238 35.9	241 36.3	195 29.4	152 22.9	82 12.4	22 3.3	54 8.1	79 11.9							
80～84歳	473 100.0	195 41.2	206 43.6	174 36.8	160 33.8	204 43.1	140 29.6	110 23.3	62 13.1	5 1.1	45 9.5	61 12.9							
85～89歳	213 100.0	86 40.4	76 35.7	78 36.6	72 33.8	77 36.2	61 28.6	36 16.9	26 12.2	4 1.9	24 11.3	26 12.2							
90歳以上	106 100.0	40 37.7	35 33.0	37 34.9	40 37.7	40 37.7	26 24.5	13 12.3	10 9.4	8 7.5	14 13.2	10 9.4							
無回答	77 100.0	22 28.6	31 40.3	28 36.4	26 33.8	24 31.2	20 26.0	17 22.1	8 10.4	2 2.6	8 10.4	13 16.9							
65～74歳	1,612 100.0	697 43.2	635 39.4	586 36.4	634 39.3	570 35.4	497 30.8	377 23.4	180 11.2	33 2.0	171 10.6	142 8.8							
75歳以上	1,455 100.0	563 38.7	606 41.6	572 39.3	510 35.1	562 38.6	422 29.0	311 21.4	180 12.4	39 2.7	137 9.4	176 12.1							

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯状況別にみると、「高齢者が一人でも安心して暮らせる住居の確保」はひとり暮らし（特養などに入所含む）、上記以外で全員が65歳以上の世帯で多くなっている。一方、「ショートステイなど介護者の負担軽減のためのサービスの充実」はひとり暮らし（特養などに入所含む）で少なく、「買い物や見守りなどの生活支援サービスの充実」は上記以外で全員が65歳以上の世帯で少なくなっている。

	調査数	介護サービス の充実	24時間 対応の 在宅介 護	地域包括 支援セン ターなど の充実	機能の充 実	職による ケアマン などの専 門	ケアマン などの専 門	スの負 担軽減の ためのサ ービス	シヨ ートステ イなど介 護者	医療の さらなる 充実	かかりつ け医等 による 在宅	暮ら せる 住居 の確 保	高 齢者 が一 人 でも 安心 して	支 援サ ービ スの 充 実	買 い物 や見 守り など の生 活	実 在 宅 復 帰 に 向 け た 支 援 の 充 実	施 設 等 に 入 所 し て い る 支 援 の 充 実	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体	3,144 100.0	1,282 40.8	1,272 40.5	1,186 37.7	1,170 37.2	1,156 36.8	939 29.9	705 22.4	368 11.7	74 2.4	316 10.1	331 10.5								
ひとり暮らし(特養などに入所含む。)	477 100.0	190 39.8	182 38.2	161 33.8	116 24.3	155 32.5	195 40.9	131 27.5	43 9.0	13 2.7	50 10.5	56 11.7								
夫婦のみ(ともに65歳以上)	1,194 100.0	510 42.7	514 43.0	483 40.5	485 40.6	472 39.5	348 29.1	309 25.9	166 13.9	25 2.1	121 10.1	105 8.8								
夫婦のみ(どちらかが65歳以上)	187 100.0	83 44.4	63 33.7	75 40.1	71 38.0	53 28.3	54 28.9	41 21.9	19 10.2	3 1.6	23 12.3	18 9.6								
上記以外で全員が65歳以上の世帯	89 100.0	27 30.3	28 31.5	30 33.7	34 38.2	32 36.0	37 41.6	8 9.0	7 7.9	4 4.5	8 9.0	11 12.4								
その他世帯	1,075 100.0	446 41.5	459 42.7	412 38.3	441 41.0	411 38.2	281 26.1	207 19.3	126 11.7	27 2.5	96 8.9	104 9.7								
無回答	122 100.0	26 21.3	26 21.3	25 20.5	23 18.9	33 27.0	24 19.7	9 7.4	7 5.7	2 1.6	18 14.8	37 30.3								

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 健康状態別にみると、大きな差は見られない。

	調査数	介護サービス の充実	24時間 対応の 在宅介 護	地域包括 支援セン ターなど の充実	機能の充 実	職による ケアマン などの専 門	ケアマン などの専 門	スの負 担軽減の ためのサ ービス	シヨ ートステ イなど介 護者	医療の さらなる 充実	かかりつ け医等 による 在宅	暮ら せる 住居 の確 保	高 齢者 が一 人 でも 安心 して	支 援サ ービ スの 充 実	買 い物 や見 守り など の生 活	実 在 宅 復 帰 に 向 け た 支 援 の 充 実	施 設 等 に 入 所 し て い る 支 援 の 充 実	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体	3,144 100.0	1,282 40.8	1,272 40.5	1,186 37.7	1,170 37.2	1,156 36.8	939 29.9	705 22.4	368 11.7	74 2.4	316 10.1	331 10.5								
とても健康	344 100.0	140 40.7	119 34.6	119 34.6	127 36.9	105 30.5	93 27.0	60 17.4	37 10.8	5 1.5	42 12.2	39 11.3								
まあまあ健康	1,996 100.0	819 41.0	827 41.4	768 38.5	764 38.3	770 38.6	601 30.1	472 23.6	237 11.9	42 2.1	194 9.7	203 10.2								
あまり健康ではない	499 100.0	203 40.7	210 42.1	189 37.9	177 35.5	181 36.3	153 30.7	111 22.2	61 12.2	13 2.6	59 11.8	55 11.0								
健康ではない	263 100.0	102 38.8	102 38.8	93 35.4	89 33.8	84 31.9	80 30.4	58 22.1	28 10.6	13 4.9	14 5.3	31 11.8								
無回答	42 100.0	18 42.9	14 33.3	17 40.5	13 31.0	16 38.1	12 28.6	4 9.5	5 11.9	1 2.4	7 16.7	3 7.1								

(上段:実数、下段:%)

## 18 健康や福祉について

## (1) 健康や福祉に関する情報の入手先

- ◆ 性別にみると、「病院や診療所の医師など」、「インターネットなど」は女性に比べて男性で多く、「知人や近所の方」は男性に比べて女性で多くなっている。

	調査数	新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、専門書など	市の広報「市政だより」などの	家族や親戚	ど病院や診療所の医師など	知人や近所の方	地域包括支援センター	区役所などの行政窓口	講演会、健康セミナーなどの催し	ケアマネジャー	インターネットなど	民生委員	ルバーなど	自宅を訪問する保健師、看護師、ホームヘルパーなど	特別養護老人ホームなどの福祉施設	社会福祉協議会	その他	特にどこからも得ていない	無回答
全体	3,144 100.0	1,634 52.0	1,344 42.7	1,079 34.3	1,063 33.8	793 25.2	289 9.2	268 8.5	254 8.1	223 7.1	210 6.7	192 6.1	99 3.1	98 3.1	88 2.8	31 1.0	265 8.4	167 5.3	
男性	1,379 100.0	739 53.6	569 41.3	489 35.5	550 39.9	266 19.3	122 8.8	128 9.3	106 7.7	68 4.9	138 10.0	69 5.0	37 2.7	38 2.8	46 3.3	18 1.3	126 9.1	61 4.4	
女性	1,686 100.0	862 51.1	744 44.1	561 33.3	485 28.8	505 30.0	161 9.5	131 7.8	142 8.4	146 8.7	69 4.1	118 7.0	57 3.4	55 3.3	40 2.4	13 0.8	133 7.9	100 5.9	
無回答	79 100.0	33 41.8	31 39.2	29 36.7	28 35.4	22 27.8	6 7.6	9 11.4	6 7.6	9 11.4	3 3.8	5 6.3	5 6.3	5 6.3	2 2.5	0 0.0	6 7.6	6 7.6	

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、専門書など」、「インターネットなど」が多くなっている。一方、概ね年齢が高くなるにしたがって「家族や親戚」、「病院や診療所の医師など」、「地域包括支援センター」、「ケアマネジャー」が多くなっている。

	調査数	新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、専門書など	市の広報「市政だより」などの	家族や親戚	ど病院や診療所の医師など	知人や近所の方	地域包括支援センター	区役所などの行政窓口	講演会、健康セミナーなどの催し	ケアマネジャー	インターネットなど	民生委員	ルバーなど	自宅を訪問する保健師、看護師、ホームヘルパーなど	特別養護老人ホームなどの福祉施設	社会福祉協議会	その他	特にどこからも得ていない	無回答
全体	3,144 100.0	1,634 52.0	1,344 42.7	1,079 34.3	1,063 33.8	793 25.2	289 9.2	268 8.5	254 8.1	223 7.1	210 6.7	192 6.1	99 3.1	98 3.1	88 2.8	31 1.0	265 8.4	167 5.3	
65～69歳	858 100.0	467 54.4	382 44.5	248 28.9	249 29.0	201 23.4	47 5.5	62 7.2	64 7.5	25 2.9	111 12.9	16 1.9	13 1.5	21 2.4	21 2.4	10 1.2	107 12.5	40 4.7	
70～74歳	754 100.0	415 55.0	362 48.0	260 34.5	241 32.0	203 26.9	56 7.4	88 11.7	70 9.3	23 3.1	50 6.6	32 4.2	11 1.5	10 1.3	27 3.6	6 0.8	73 9.7	28 3.7	
75～79歳	663 100.0	346 52.2	278 41.9	239 36.0	237 35.7	184 27.8	68 10.3	57 8.6	56 8.4	45 6.8	24 3.6	60 9.0	23 3.5	22 3.3	15 2.3	9 1.4	41 6.2	39 5.9	
80～84歳	473 100.0	241 51.0	185 39.1	174 36.8	185 39.1	123 26.0	66 14.0	37 7.8	44 9.3	51 10.8	11 2.3	39 8.2	22 4.7	18 3.8	17 3.6	4 0.8	24 5.1	38 8.0	
85～89歳	213 100.0	96 45.1	84 39.4	85 39.9	84 39.4	39 18.3	30 14.1	10 4.7	13 6.1	37 17.4	9 4.2	32 15.0	19 8.9	9 4.2	4 1.9	2 0.9	10 4.7	11 5.2	
90歳以上	106 100.0	37 34.9	23 21.7	47 44.3	39 36.8	23 21.7	16 15.1	5 4.7	1 0.9	33 31.1	2 1.9	8 7.5	7 6.6	14 13.2	2 1.9	0 0.0	4 3.8	5 4.7	
無回答	77 100.0	32 41.6	30 39.0	26 33.8	28 36.4	20 26.0	6 7.8	9 11.7	6 7.8	9 11.7	3 3.9	5 6.5	4 5.2	4 5.2	2 2.6	0 0.0	6 7.8	6 7.8	
65～74歳	1,612 100.0	882 54.7	744 46.2	508 31.5	490 30.4	404 25.1	103 6.4	150 9.3	134 8.3	48 3.0	161 10.0	48 3.0	24 1.5	31 1.9	48 3.0	16 1.0	180 11.2	68 4.2	
75歳以上	1,455 100.0	720 49.5	570 39.2	545 37.5	545 37.5	369 25.4	180 12.4	109 7.5	114 7.8	166 11.4	46 3.2	139 9.6	71 4.9	63 4.3	38 2.6	15 1.0	79 5.4	93 6.4	

(上段:実数、下段:%)



- ◆ 世帯状況別にみると、「家族や親戚」はその他世帯で多く、「ケアマネジャー」、「自宅を訪問する保健師、看護師、ホームヘルパーなど」は上記以外で全員が65歳以上の世帯で多くなっている。

	調査数	新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、専門書など	市「市政だより」などの広報	家族や親戚	病院や診療所の医師など	知人や近所の方	地域包括支援センター	区役所などの行政窓口	講演会、健康セミナーなどの催し	ケアマネジャー	インターネットなど	民生委員	ルバーなど	自宅を訪問する保健師、看護師、ホームヘルパーなど	特別養護老人ホームなどの福祉施設	社会福祉協議会	その他	特になどから得ていない	無回答
全体	3,144 100.0	1,634 52.0	1,344 42.7	1,079 34.3	1,063 33.8	793 25.2	289 9.2	268 8.5	254 8.1	223 7.1	210 6.7	192 6.1	99 3.1	98 3.1	88 2.8	31 1.0	265 8.4	167 5.3	
ひとり暮らし(特養などに入所含む)	477 100.0	235 49.3	182 38.2	107 22.4	141 29.6	118 24.7	54 11.3	36 7.5	33 6.9	42 8.8	22 4.6	53 11.1	18 3.8	34 7.1	9 1.9	7 1.5	37 7.8	25 5.2	
夫婦のみ(ともに65歳以上)	1,194 100.0	673 56.4	560 46.9	416 34.8	452 37.9	300 25.1	113 9.5	114 9.5	112 9.4	57 4.8	100 8.4	61 5.1	32 2.7	23 1.9	38 3.2	10 0.8	98 8.2	60 5.0	
夫婦のみ(どちらかが65歳以上)	187 100.0	95 50.8	74 39.6	58 31.0	65 34.8	33 17.6	12 6.4	10 5.3	9 4.8	8 4.3	24 12.8	3 1.6	4 2.1	7 3.7	9 4.8	1 1.1	25 13.4	8 4.3	
上記以外で全員が65歳以上の世帯	89 100.0	41 46.1	35 39.3	29 32.6	23 25.8	16 18.0	12 13.5	10 11.2	4 4.5	13 14.6	2 2.2	10 11.2	5 5.6	5 5.6	1 1.1	5 5.6	9 10.1		
その他世帯	1,075 100.0	546 50.8	451 42.0	434 40.4	353 32.8	296 27.5	94 8.7	93 8.7	87 8.1	98 9.1	60 5.6	57 5.3	33 3.1	27 2.3	25 2.3	11 1.0	91 8.5	46 4.3	
無回答	122 100.0	44 36.1	42 34.4	35 28.7	29 23.8	30 24.6	4 3.3	5 4.1	9 7.4	5 4.1	2 1.6	8 6.6	2 1.6	2 1.6	2 1.6	0 0.0	9 7.4	19 15.6	

(上段:実数、下段:%)

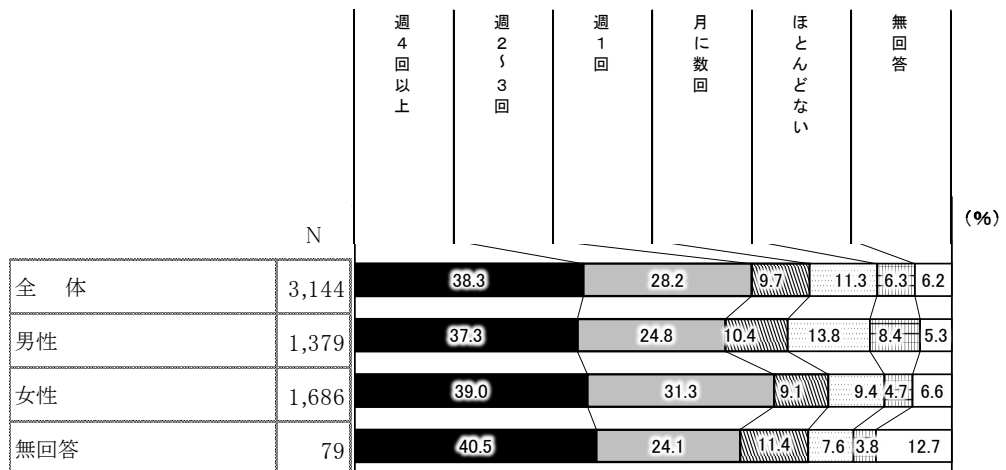
- ◆ 健康状態別にみると、健康状態が良くなるにしたがって「家族や親戚」、「知人や近所の方」、「講演会、健康セミナーなどの催し」、「特になどから得ていない」が多くなっている。一方、健康状態が悪くなるにしたがって「地域包括支援センター」、「ケアマネジャー」、「民生委員」、「自宅を訪問する保健師、看護師、ホームヘルパーなど」が多くなっている。

	調査数	新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、専門書など	市「市政だより」などの広報	家族や親戚	病院や診療所の医師など	知人や近所の方	地域包括支援センター	区役所などの行政窓口	講演会、健康セミナーなどの催し	ケアマネジャー	インターネットなど	民生委員	ルバーなど	自宅を訪問する保健師、看護師、ホームヘルパーなど	特別養護老人ホームなどの福祉施設	社会福祉協議会	その他	特になどから得ていない	無回答
全体	3,144 100.0	1,634 52.0	1,344 42.7	1,079 34.3	1,063 33.8	793 25.2	289 9.2	268 8.5	254 8.1	223 7.1	210 6.7	192 6.1	99 3.1	98 3.1	88 2.8	31 1.0	265 8.4	167 5.3	
とても健康	344 100.0	180 52.3	147 42.7	122 35.5	92 26.7	99 28.8	20 5.8	25 7.3	39 11.3	10 2.9	27 7.8	12 3.5	7 2.0	7 2.0	14 4.1	4 1.2	38 11.0	16 4.7	
まあまあ健康	1,996 100.0	1,111 55.7	921 46.1	693 34.7	647 32.4	523 26.2	161 8.1	174 8.7	177 8.9	88 4.4	144 7.2	117 5.9	42 2.1	52 2.6	55 2.8	20 1.0	169 8.5	105 5.3	
あまり健康ではない	499 100.0	223 44.7	187 37.5	169 33.9	210 42.1	110 22.0	62 12.4	43 8.6	25 5.0	67 13.4	22 4.4	39 7.8	19 3.8	27 5.4	15 3.0	4 0.8	38 7.6	27 5.4	
健康ではない	263 100.0	100 38.0	72 27.4	82 31.2	99 37.6	50 19.0	42 16.0	21 8.0	8 3.0	57 21.7	14 5.3	21 8.0	28 10.6	10 3.8	2 0.8	2 1.0	19 7.2	17 6.5	
無回答	42 100.0	20 47.6	17 40.5	13 31.0	15 35.7	11 26.2	4 9.5	5 11.9	5 11.9	1 2.4	3 7.1	3 7.1	3 7.1	2 4.8	2 4.8	1 2.4	1 2.4	2 4.8	

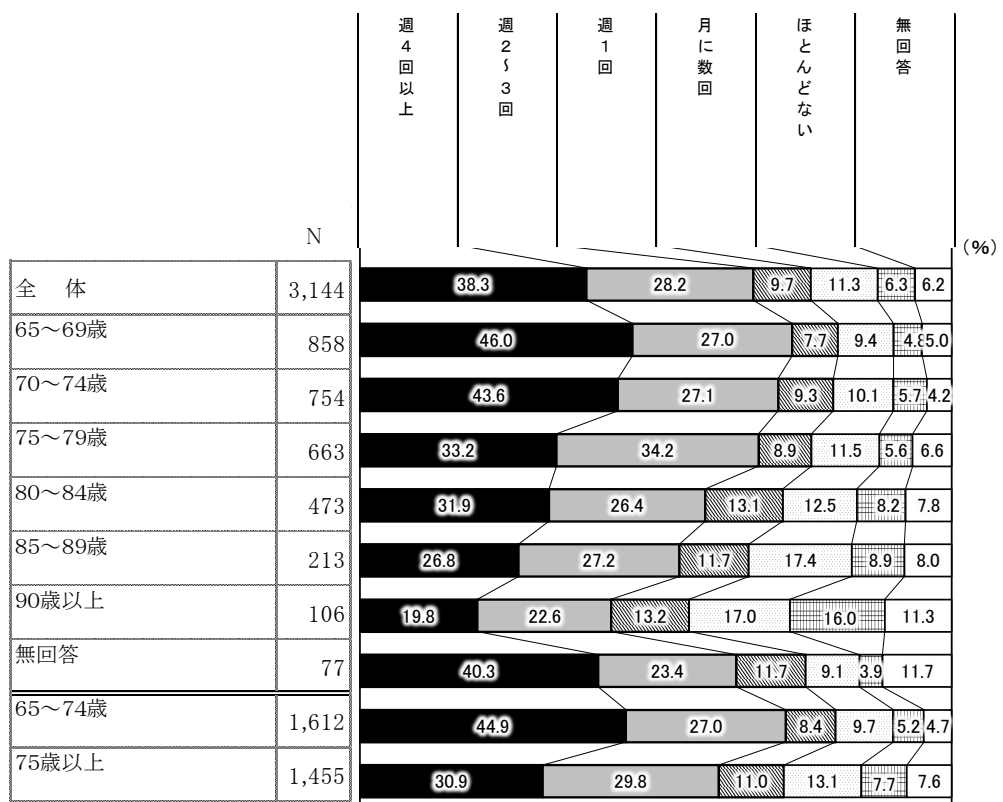
(上段:実数、下段:%)

(2) 家族以外との会話の頻度

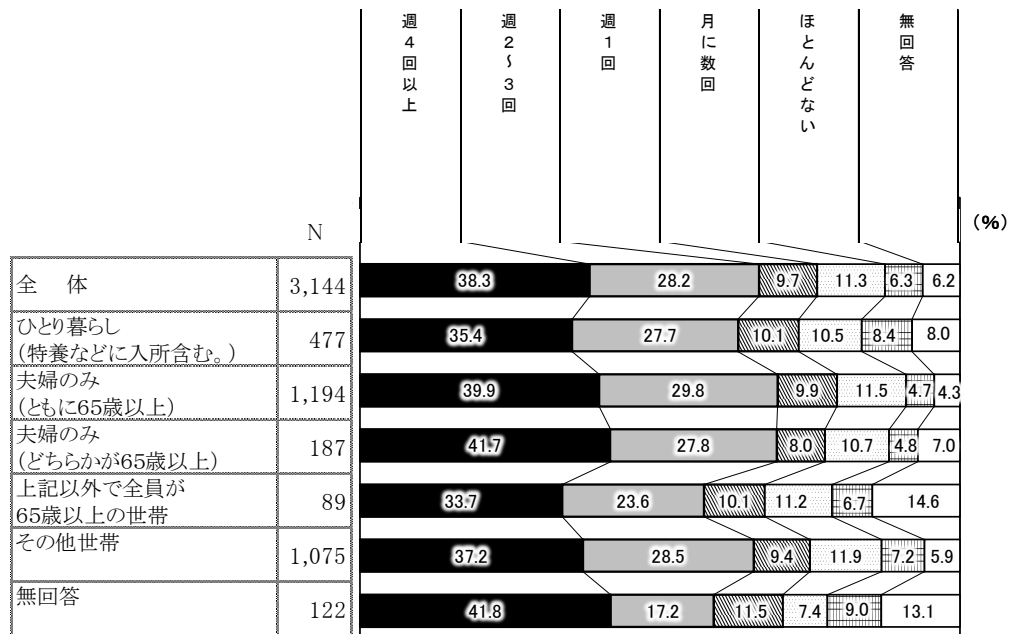
- ◆ 性別にみると、「月に数回」、「ほとんどない」は女性に比べて男性で多く、男性の方が家族以外との会話の頻度が少なくなっている。



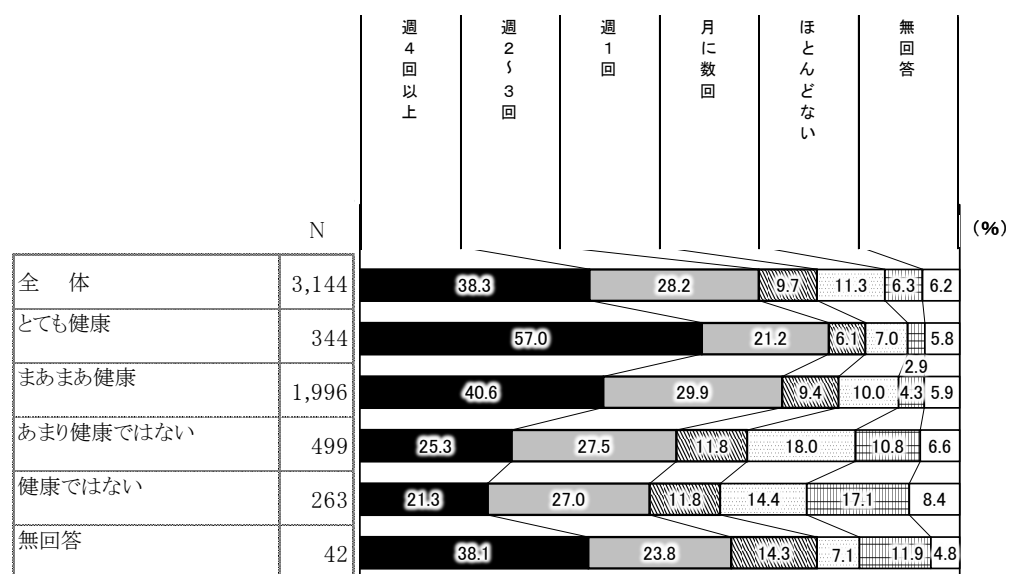
- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって家族以外との会話の頻度が多くなっている。



- ◆ 世帯状況別にみると、「週4回以上」、「週2〜3回」、「週1回」を合わせた『週1回以上』が夫婦のみ（ともに65歳以上）、夫婦のみ（どちらかが65歳以上）で多くなっている。



- ◆ 健康状態別にみると、概ね健康状態が良くなるにしたがって家族以外との会話の頻度が多くなっている。



## 19 高齢者虐待防止について

## (1) 高齢者に対する虐待の防止のために必要な取り組み

- ◆ 性別にみると、「適切な介護サービスの利用による介護者の負担軽減」、「介護者同士の交流の機会づくり」は男性に比べて女性で多く、「高齢者虐待の防止の普及啓発」は女性に比べて男性で多くなっている。

	調査数	な地域の助声 の助けが けや見 守り	適切な介護サ ービスの 利用	介護者が 相談で きる窓 口	高齢者 虐待の 防止の 普及 啓発	介護者 同士の 交流の 機会	その他	無 回 答
全体	3,144 100.0	1,767 56.2	1,554 49.4	1,539 49.0	839 26.7	829 26.4	117 3.7	329 10.5
男性	1,379 100.0	792 57.4	631 45.8	680 49.3	421 30.5	324 23.5	57 4.1	116 8.4
女性	1,686 100.0	929 55.1	895 53.1	826 49.0	401 23.8	481 28.5	57 3.4	197 11.7
無回答	79 100.0	46 58.2	28 35.4	33 41.8	17 21.5	24 30.4	3 3.8	16 20.3

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「適切な介護サービスの利用による介護者の負担軽減」、「介護者が相談できる窓口の設置」が多くなっている。

	調査数	な地域の助声 の助けが けや見 守り	適切な介護サ ービスの 利用	介護者が 相談で きる窓 口	高齢者 虐待の 防止の 普及 啓発	介護者 同士の 交流の 機会	その他	無 回 答
全体	3,144 100.0	1,767 56.2	1,554 49.4	1,539 49.0	839 26.7	829 26.4	117 3.7	329 10.5
65～69歳	858 100.0	464 54.1	491 57.2	430 50.1	213 24.8	237 27.6	31 3.6	53 6.2
70～74歳	754 100.0	434 57.6	393 52.1	391 51.9	226 30.0	216 28.6	23 3.1	59 7.8
75～79歳	663 100.0	391 59.0	299 45.1	330 49.8	184 27.8	166 25.0	28 4.2	82 12.4
80～84歳	473 100.0	277 58.6	204 43.1	217 45.9	125 26.4	120 25.4	14 3.0	64 13.5
85～89歳	213 100.0	109 51.2	85 39.9	93 43.7	55 25.8	45 21.1	10 4.7	39 18.3
90歳以上	106 100.0	47 44.3	55 51.9	46 43.4	20 18.9	22 20.8	8 7.5	17 16.0
無回答	77 100.0	45 58.4	27 35.1	32 41.6	16 20.8	23 29.9	3 3.9	15 19.5
65～74歳	1,612 100.0	898 55.7	884 54.8	821 50.9	439 27.2	453 28.1	54 3.3	112 6.9
75歳以上	1,455 100.0	824 56.6	643 44.2	686 47.1	384 26.4	353 24.3	60 4.1	202 13.9

(上段:実数、下段:%)

◆ 世帯状況別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	地域の助けが合いや見守り	適切な介護サービスの利用による介護者の負担軽減	介護者が相談できる窓口の設置	高齢者虐待の防止の普及啓発	介護者同士の交流の機会づくり	その他	無回答
全体	3,144 100.0	1,767 56.2	1,554 49.4	1,539 49.0	839 26.7	829 26.4	117 3.7	329 10.5
ひとり暮らし(特養などに入所含む)	477 100.0	258 54.1	225 47.2	212 44.4	112 23.5	104 21.8	17 3.6	63 13.2
夫婦のみ(ともに65歳以上)	1,194 100.0	702 58.8	616 51.6	641 53.7	359 30.1	343 28.7	40 3.4	90 7.5
夫婦のみ(どちらかが65歳以上)	187 100.0	100 53.5	85 45.5	89 47.6	49 26.2	41 21.9	7 3.7	17 9.1
上記以外で全員が65歳以上の世帯	89 100.0	54 60.7	43 48.3	44 49.4	18 20.2	24 27.0	2 2.2	17 19.1
その他世帯	1,075 100.0	597 55.5	566 52.7	511 47.5	280 26.0	294 27.3	45 4.2	105 9.8
無回答	122 100.0	56 45.9	19 15.6	42 34.4	21 17.2	23 18.9	6 4.9	37 30.3

(上段:実数、下段:%)

◆ 健康状態別にみると、大きな差はみられない。

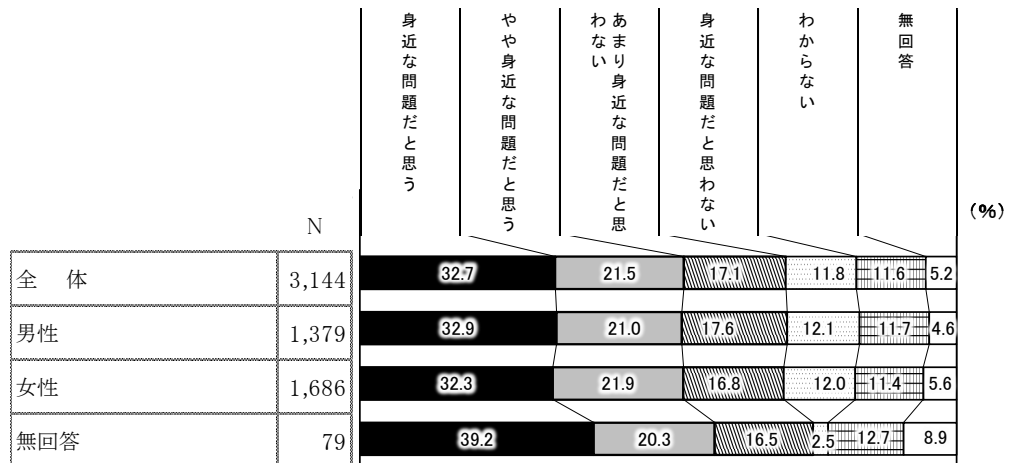
	調査数	地域の助けが合いや見守り	適切な介護サービスの利用による介護者の負担軽減	介護者が相談できる窓口の設置	高齢者虐待の防止の普及啓発	介護者同士の交流の機会づくり	その他	無回答
全体	3,144 100.0	1,767 56.2	1,554 49.4	1,539 49.0	839 26.7	829 26.4	117 3.7	329 10.5
とても健康	344 100.0	206 59.9	167 48.5	168 48.8	91 26.5	92 26.7	12 3.5	38 11.0
まあまあ健康	1,996 100.0	1,145 57.4	1,001 50.2	1,009 50.6	542 27.2	561 28.1	64 3.2	186 9.3
あまり健康ではない	499 100.0	269 53.9	241 48.3	224 44.9	141 28.3	113 22.6	27 5.4	60 12.0
健康ではない	263 100.0	124 47.1	130 49.4	116 44.1	56 21.3	53 20.2	12 4.6	39 14.8
無回答	42 100.0	23 54.8	15 35.7	22 52.4	9 21.4	10 23.8	2 4.8	6 14.3

(上段:実数、下段:%)

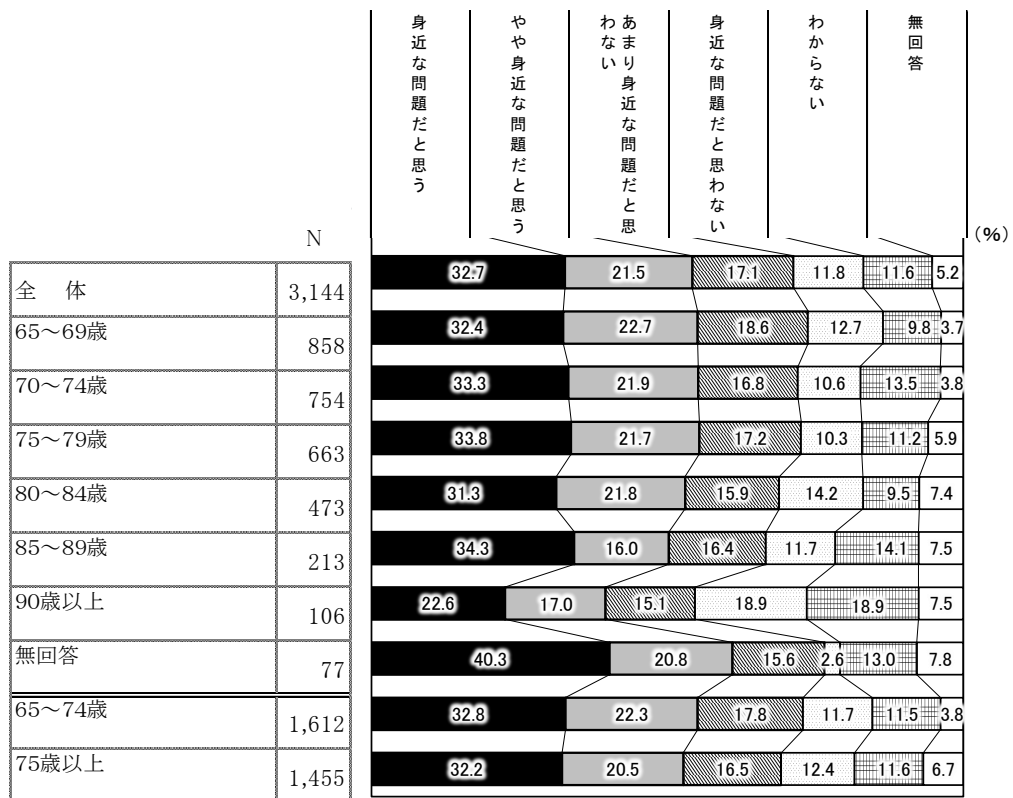
## 20 孤立死について

## (1) 孤立死に対する考え

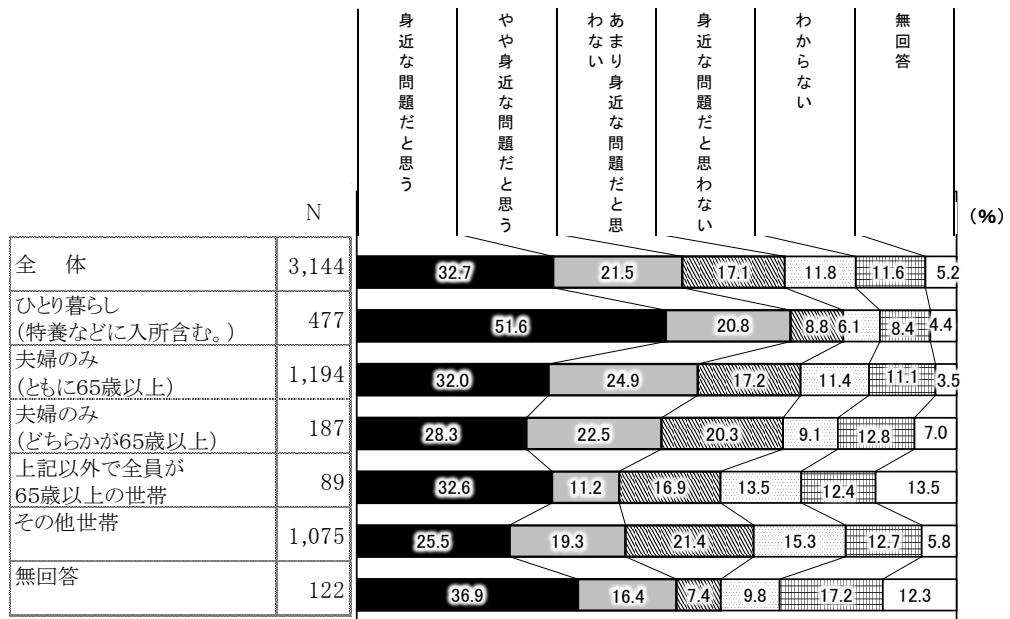
- ◆ 性別にみると、大きな差はみられない。



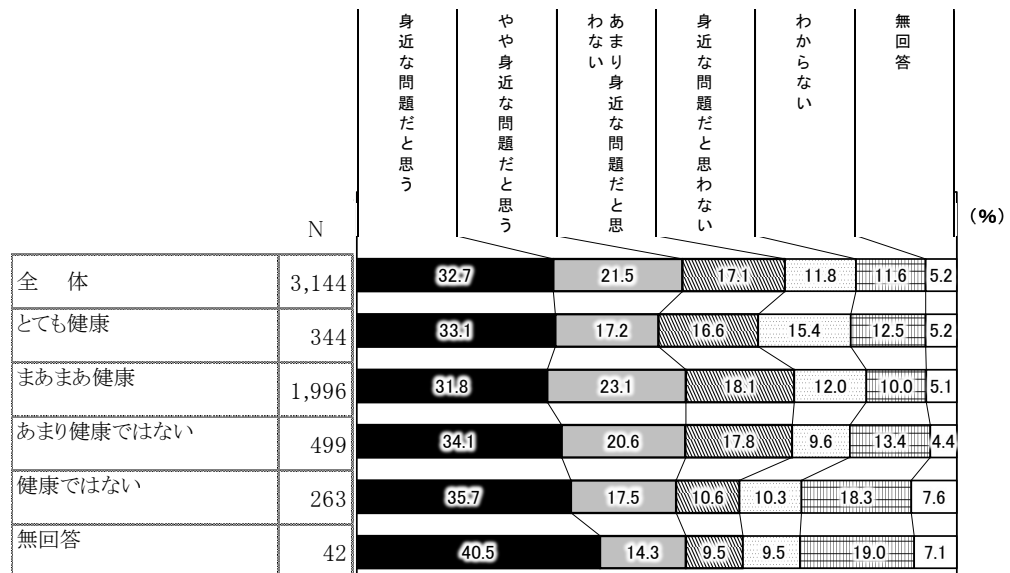
- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「身近な問題だと思う」と「やや身近な問題だと思う」を合わせた『身近な問題である』が多くなっている。



◆ 世帯状況別にみると、『身近な問題である』はひとり暮らし(特養などに入所含む)で多くなっている。



◆ 健康状態別にみると、大きな差はみられない。



(2) 孤立死を防ぐために有効な手段

- ◆ 性別にみると、「日ごろから家族や友人、知人とのつながりを作る」、「健康づくり、介護予防を心がける」、「介護保険サービス等を利用する」は男性に比べて女性で多く、「家族と同居する」は女性に比べて男性で多くなっている。

	調査数	日ごろから家族や友人、知人とのつながりを作る	近所の人と声を掛け合う	家族と同居する	健康づくり、介護予防を心がける	安否確認サービス付きの高齢者向け住宅や施設に入居する	民生委員による見守り活動を発する	地域包括支援センターによる高齢者の把握	介護保険サービス等を利用する	町内会や老人クラブ等、地域の見守り活動を発する	行政による高齢者の実態調査	町内会や社会福祉協議会などの行事に積極的に参加する	警察のパトロール	警備会社など民間ビジネス活用による見守りサービス	その他	特になし	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	2,077 66.1	1,712 54.5	1,467 46.7	1,055 33.6	1,004 31.9	836 26.6	829 26.4	820 26.1	820 26.1	674 21.4	510 16.2	331 10.5	275 8.7	39 1.2	32 1.0	91 2.9	169 5.4
男性	1,379 100.0	850 61.6	724 52.5	696 50.5	403 29.2	439 31.8	372 27.0	357 25.9	312 22.6	392 28.4	308 22.3	209 15.2	158 11.5	129 9.4	21 1.5	14 1.0	40 2.9	72 5.2
女性	1,686 100.0	1,181 70.0	944 56.0	734 43.5	623 37.0	544 32.3	441 26.2	453 26.9	488 28.9	412 24.4	349 20.7	289 17.1	166 9.8	141 8.4	18 1.1	16 0.9	48 2.8	87 5.2
無回答	79 100.0	46 58.2	44 55.7	37 46.8	29 36.7	21 26.6	23 29.1	19 24.1	20 25.3	16 20.3	17 21.5	12 15.2	7 8.9	5 6.3	0 0.0	2 2.5	3 3.8	10 12.7

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「日ごろから家族や友人、知人とのつながりを作る」、「健康づくり、介護予防を心がける」が多くなっている。一方、概ね年齢が高くなるにしたがって「家族と同居する」が多くなっている。

	調査数	日ごろから家族や友人、知人とのつながりを作る	近所の人と声を掛け合う	家族と同居する	健康づくり、介護予防を心がける	安否確認サービス付きの高齢者向け住宅や施設に入居する	民生委員による見守り活動を発する	地域包括支援センターによる高齢者の把握	介護保険サービス等を利用する	町内会や老人クラブ等、地域の見守り活動を発する	行政による高齢者の実態調査	町内会や社会福祉協議会などの行事に積極的に参加する	警察のパトロール	警備会社など民間ビジネス活用による見守りサービス	その他	特になし	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	2,077 66.1	1,712 54.5	1,467 46.7	1,055 33.6	1,004 31.9	836 26.6	829 26.4	820 26.1	820 26.1	674 21.4	510 16.2	331 10.5	275 8.7	39 1.2	32 1.0	91 2.9	169 5.4
65～69歳	858 100.0	586 68.3	458 53.4	350 40.8	281 32.8	285 33.2	186 21.7	216 25.2	227 26.5	214 24.9	163 19.0	116 13.5	70 8.2	81 9.4	12 1.4	8 0.9	19 2.2	30 3.5
70～74歳	754 100.0	516 68.4	434 57.6	347 46.0	273 36.2	242 32.1	191 25.3	214 28.4	196 26.0	218 28.9	179 23.7	144 19.1	82 10.9	64 8.5	10 1.3	6 0.8	23 3.1	30 4.0
75～79歳	663 100.0	443 66.8	358 54.0	315 47.5	239 36.0	212 32.0	200 30.2	184 27.8	174 26.2	178 26.8	134 20.2	117 17.6	74 11.2	54 8.1	8 1.2	5 0.8	20 3.0	42 6.3
80～84歳	473 100.0	311 65.8	258 54.5	247 52.2	156 33.0	146 30.9	132 27.9	124 26.2	122 25.8	127 26.8	116 24.5	87 18.4	62 13.1	44 9.3	3 0.6	7 1.5	8 1.7	37 7.8
85～89歳	213 100.0	120 56.3	117 54.9	119 55.9	59 27.7	69 32.4	73 34.3	47 22.1	54 25.4	46 21.6	47 22.1	28 13.1	25 11.7	17 8.0	5 2.3	3 1.4	8 3.8	15 7.0
90歳以上	106 100.0	56 52.8	44 41.5	52 49.1	19 17.9	29 27.4	32 30.2	26 24.5	28 26.4	22 20.8	19 17.9	7 6.6	11 10.4	10 9.4	1 0.9	1 0.9	10 9.4	7 6.6
無回答	77 100.0	45 58.4	43 55.8	37 48.1	28 36.4	21 27.3	22 28.6	18 23.4	19 24.7	15 19.5	16 20.8	11 14.3	7 9.1	5 6.5	0 0.0	2 2.6	3 3.9	8 10.4
65～74歳	1,612 100.0	1,102 68.4	892 55.3	697 43.2	554 34.4	527 32.7	377 23.4	430 26.7	423 26.2	432 26.8	342 21.2	260 16.1	152 9.4	145 9.0	22 1.4	14 0.9	42 2.6	60 3.7
75歳以上	1,455 100.0	930 63.9	777 53.4	733 50.4	473 32.5	456 31.3	437 30.0	381 26.2	378 26.0	373 25.6	316 21.7	239 16.4	172 11.8	125 8.6	17 1.2	16 1.1	46 3.2	101 6.9

(上段:実数、下段:%)



- ◆ 世帯状況別にみると、「日ごろから家族や友人、知人とのつながりを作る」は夫婦のみ（ともに65歳以上）で多く、「家族と同居する」はその他世帯で多く、ひとり暮らし（特養などに入所含む）で少なくなっている。また、「安否確認サービス付きの高齢者向け住宅や施設に入居する」はひとり暮らし（特養などに入所含む）で多くなっている。

	調査数	日ごろから家族や友人、知人とのつながりを作る	近所の人と声を掛け合う	家族と同居する	を健康づくり、介護予防の心がける	安否確認サービス付きの高齢者向け住宅や施設に入居する	民生委員による見守り活動を活発にする	地域包括支援センターによる高齢者の把握	介護保険サービス等を利用する	町内会や老人クラブ等、地域の見守り活動を活発にする	態調査による高齢者の実態調査	町内会や社会福祉協議会などの行事に積極的に参加する	警察のパトロール	警備会社など民間ビジネスを活用する見守りサービスの活用	その他	特にな	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	2,077 66.1	1,712 54.5	1,467 46.7	1,055 33.6	1,004 31.9	836 26.6	829 26.4	820 26.1	820 26.1	674 21.4	510 16.2	331 10.5	275 8.7	39 1.2	32 1.0	91 2.9	169 5.4
ひとり暮らし(特養などに入所含む)	477 100.0	286 60.0	232 48.6	93 19.5	93 34.6	165 38.2	182 24.7	126 26.4	127 26.6	127 17.6	84 16.6	79 15.1	40 8.4	56 11.7	8 1.7	5 1.0	20 4.2	26 5.5
夫婦のみ(ともに65歳以上)	1,194 100.0	860 72.0	680 57.0	548 45.9	457 38.3	364 30.5	349 29.2	335 28.1	333 27.9	356 29.8	283 23.7	222 18.6	139 11.6	110 9.2	17 1.4	12 1.0	28 2.3	47 3.9
夫婦のみ(どちらかが65歳以上)	187 100.0	106 56.7	97 51.9	80 42.8	46 24.6	53 28.3	47 25.1	49 26.2	38 20.3	54 28.9	36 19.3	17 9.1	20 10.7	18 9.6	2 1.1	0.5	6 3.2	14 7.5
上記以外で全員が65歳以上の世帯	89 100.0	50 56.2	49 55.1	37 41.6	22 24.7	31 34.8	20 22.5	21 23.6	22 24.7	19 21.3	22 24.7	8 9.0	8 11.2	10 11.2	0 0.0	2 2.2	1 1.1	12 13.5
その他世帯	1,075 100.0	713 66.3	595 55.3	648 60.3	332 30.9	352 32.7	276 25.7	278 25.9	281 26.1	286 26.6	234 21.8	173 16.1	111 10.3	75 7.0	11 1.0	10 0.9	33 3.1	54 5.0
無回答	122 100.0	62 50.8	59 48.4	61 50.0	33 27.0	22 18.0	26 21.3	20 16.4	19 15.6	21 17.2	20 16.4	18 14.8	13 10.7	6 4.9	1 0.8	2 1.6	3 2.5	16 13.1

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 健康状態別にみると、健康状態が良くなるにしたがって、「日ごろから家族や友人、知人とのつながりを作る」、「近所の人と声を掛け合う」、「健康づくり、介護予防の心がける」、「町内会や老人クラブ等、地域の見守り活動を活発にする」、「町内会や社会福祉協議会などの行事に積極的に参加する」が多くなっている。一方、概ね健康状態が悪くなるにしたがって、「安否確認サービス付きの高齢者向け住宅や施設に入居する」、「地域包括支援センターによる高齢者の把握」が多くなっている。

	調査数	日ごろから家族や友人、知人とのつながりを作る	近所の人と声を掛け合う	家族と同居する	を健康づくり、介護予防の心がける	安否確認サービス付きの高齢者向け住宅や施設に入居する	民生委員による見守り活動を活発にする	地域包括支援センターによる高齢者の把握	介護保険サービス等を利用する	町内会や老人クラブ等、地域の見守り活動を活発にする	態調査による高齢者の実態調査	町内会や社会福祉協議会などの行事に積極的に参加する	警察のパトロール	警備会社など民間ビジネスを活用する見守りサービスの活用	その他	特にな	わからない	無回答
全体	3,144 100.0	2,077 66.1	1,712 54.5	1,467 46.7	1,055 33.6	1,004 31.9	836 26.6	829 26.4	820 26.1	820 26.1	674 21.4	510 16.2	331 10.5	275 8.7	39 1.2	32 1.0	91 2.9	169 5.4
とても健康	344 100.0	247 71.8	198 57.6	154 44.8	137 39.8	91 26.5	88 25.6	86 25.0	86 25.0	101 29.4	79 23.0	66 19.2	41 11.9	27 7.8	1 0.3	4 1.2	9 2.6	18 5.2
まあまあ健康	1,996 100.0	1,359 68.1	1,120 56.1	939 47.0	697 34.9	641 32.1	526 26.4	528 26.5	518 26.0	558 28.0	416 20.8	358 17.9	188 9.4	190 9.5	28 1.4	20 1.0	49 2.5	97 4.9
あまり健康ではない	499 100.0	312 62.5	251 50.3	240 48.1	146 29.3	166 33.3	146 29.3	128 25.7	138 27.7	100 20.0	116 23.2	55 11.0	67 13.4	38 7.6	7 1.4	3 0.6	21 4.2	26 5.2
健康ではない	263 100.0	135 51.3	120 45.6	115 43.7	60 22.8	96 36.5	64 24.3	78 29.7	69 26.2	50 19.0	55 20.9	25 9.5	30 11.4	16 6.1	3 1.1	4 1.5	12 4.6	25 9.5
無回答	42 100.0	24 57.1	23 54.8	19 45.2	15 35.7	10 23.8	12 28.6	9 21.4	9 21.4	11 26.2	8 19.0	6 14.3	5 11.9	4 9.5	0 0.0	0 2.4	0 0.0	3 7.1

(上段:実数、下段:%)

## 21 災害時の安否確認について

## (1) 東日本大震災時の安否確認について

- ◆ 性別にみると、ほとんどの項目で女性が男性を上回っている。

	調査数	家族や親せき	知人や友人	ご近所の方	町内会の方	民生委員	ケアマネジャー	かかりつけの医師や看護師	職域包括支援センター	ホームヘルパー	ボランティア	訪問看護師	その他	誰にも安否確認はされなかった	自らも安否確認活動を行った	無回答
全体	3,144 100.0	2,661 84.6	1,670 53.1	1,343 42.7	667 21.2	256 8.1	56 1.8	42 1.3	37 1.2	26 0.8	16 0.5	15 0.5	82 2.6	70 2.2	673 21.4	169 5.4
男性	1,379 100.0	1,122 81.4	706 51.2	510 37.0	270 19.6	70 5.1	13 0.9	15 1.1	6 0.4	7 0.5	6 0.4	3 0.2	41 3.0	52 3.8	325 23.6	70 5.1
女性	1,686 100.0	1,479 87.7	926 54.9	803 47.6	382 22.7	177 10.5	38 2.3	24 1.4	29 1.7	16 0.9	9 0.5	9 0.5	41 2.4	15 0.9	333 19.8	89 5.3
無回答	79 100.0	60 75.9	38 48.1	30 38.0	15 19.0	9 11.4	5 6.3	3 3.8	2 2.5	3 3.8	1 1.3	3 3.8	0 0.0	3 3.8	15 19.0	10 12.7

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、概ね年齢が低くなるにしたがって「知人や友人」、「自らも安否確認活動を行った」が多くなっている。一方、概ね年齢が高くなるにしたがって「民生委員」、「ケアマネジャー」が多くなっている。

	調査数	家族や親せき	知人や友人	ご近所の方	町内会の方	民生委員	ケアマネジャー	かかりつけの医師や看護師	職域包括支援センター	ホームヘルパー	ボランティア	訪問看護師	その他	誰にも安否確認はされなかった	自らも安否確認活動を行った	無回答
全体	3,144 100.0	2,661 84.6	1,670 53.1	1,343 42.7	667 21.2	256 8.1	56 1.8	42 1.3	37 1.2	26 0.8	16 0.5	15 0.5	82 2.6	70 2.2	673 21.4	169 5.4
65~69歳	858 100.0	731 85.2	499 58.2	339 39.5	127 14.8	17 2.0	7 0.8	4 0.5	4 0.5	5 0.6	4 0.5	2 0.2	28 3.3	21 2.4	245 28.6	35 4.1
70~74歳	754 100.0	658 87.3	431 57.2	334 44.3	170 22.5	48 6.4	7 0.9	9 1.2	2 0.3	3 0.4	2 0.3	2 0.3	15 2.0	16 2.1	192 25.5	29 3.8
75~79歳	663 100.0	556 83.9	371 56.0	307 46.3	159 24.0	71 10.7	9 1.4	14 2.1	11 1.7	3 0.5	1 0.2	5 0.8	12 1.8	15 2.3	128 19.3	40 6.0
80~84歳	473 100.0	396 83.7	220 46.5	217 45.9	123 26.0	65 13.7	11 2.3	5 1.1	9 1.9	5 1.1	2 0.4	0 0.0	13 2.7	7 1.5	68 14.4	30 6.3
85~89歳	213 100.0	179 84.0	76 35.7	86 40.4	53 24.9	36 16.9	9 4.2	5 2.3	5 2.3	4 1.9	6 2.8	2 0.9	6 2.8	5 2.3	16 7.5	15 7.0
90歳以上	106 100.0	82 77.4	36 34.0	31 29.2	21 19.8	9 8.5	8 7.5	2 1.9	4 3.8	3 2.8	0 0.0	1 0.9	8 7.5	3 2.8	9 8.5	11 10.4
無回答	77 100.0	59 76.6	37 48.1	29 37.7	14 18.2	10 13.0	5 6.5	3 3.9	2 2.6	3 3.9	1 1.3	3 3.9	0 0.0	3 3.9	15 19.5	9 11.7
65~74歳	1,612 100.0	1,389 86.2	930 57.7	673 41.7	297 18.4	65 4.0	14 0.9	13 0.8	6 0.4	8 0.5	6 0.4	4 0.2	43 2.7	37 2.3	437 27.1	64 4.0
75歳以上	1,455 100.0	1,213 83.4	703 48.3	641 44.1	356 24.5	181 12.4	37 2.5	26 1.8	29 2.0	15 1.0	9 0.6	8 0.5	39 2.7	30 2.1	221 15.2	96 6.6

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯状況別にみると、「知人や友人」は夫婦のみ（ともに65歳以上）で多く、「町内会の方」は上記以外で全員が65歳以上の世帯で多くなっている。また、「民生委員」はひとり暮らし（特養などに入所含む）で多く、「自らも安否確認活動を行った」は夫婦のみ（どちらかが65歳以上）で多くなっている。

	調査数	家族や親せき	知人や友人	ご近所の方	町内会の方	民生委員	ケアマネジャー	かかりつけの医師や看護師	職員 地域包括支援センター	ホームヘルパー	ボランティア	訪問看護師	その他	誰にも安否確認はされなかつた	自らも安否確認活動を行った	無回答
全体	3,144 100.0	2,661 84.6	1,670 53.1	1,343 42.7	667 21.2	256 8.1	56 1.8	42 1.3	37 1.2	26 0.8	16 0.5	15 0.5	82 2.6	70 2.2	673 21.4	169 5.4
ひとり暮らし(特養などに入所含む。)	477 100.0	375 78.6	239 50.1	212 44.4	96 20.1	86 18.0	16 3.4	7 1.5	15 3.1	10 2.1	2 0.4	5 1.0	21 4.4	9 1.9	91 19.1	24 5.0
夫婦のみ(ともに65歳以上)	1,194 100.0	1,047 87.7	709 59.4	532 44.6	284 23.8	80 6.7	17 1.4	15 1.3	9 0.8	7 0.6	8 0.7	3 0.3	23 1.9	32 2.7	260 21.8	46 3.9
夫婦のみ(どちらかが65歳以上)	187 100.0	153 81.8	97 51.9	63 33.7	20 10.7	3 1.6	2 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	0 0.0	7 3.7	6 3.2	56 29.9	15 8.0
上記以外で全員が65歳以上の世帯	89 100.0	65 73.0	40 44.9	31 34.8	28 31.5	9 10.1	3 3.4	4 4.5	2 2.2	2 2.2	1 1.1	1 1.1	2 2.2	1 1.1	19 21.3	15 16.9
その他世帯	1,075 100.0	931 86.6	542 50.4	462 43.0	212 19.7	68 6.3	18 1.7	15 1.4	9 0.8	7 0.7	4 0.4	6 0.6	28 2.6	20 1.9	235 21.9	52 4.8
無回答	122 100.0	90 73.8	43 35.2	43 35.2	27 22.1	10 8.2	0 0.0	1 0.8	2 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.8	2 1.6	12 9.8	17 13.9

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 健康状態別にみると、健康状態がよくなるにしたがって「知人や友人」、「自らも安否確認活動を行った」が多くなっている。一方、健康状態が悪くなるにしたがって「民生委員」、「ケアマネジャー」が多くなっている。

	調査数	家族や親せき	知人や友人	ご近所の方	町内会の方	民生委員	ケアマネジャー	かかりつけの医師や看護師	職員 地域包括支援センター	ホームヘルパー	ボランティア	訪問看護師	その他	誰にも安否確認はされなかつた	自らも安否確認活動を行った	無回答
全体	3,144 100.0	2,661 84.6	1,670 53.1	1,343 42.7	667 21.2	256 8.1	56 1.8	42 1.3	37 1.2	26 0.8	16 0.5	15 0.5	82 2.6	70 2.2	673 21.4	169 5.4
とても健康	344 100.0	280 81.4	196 57.0	143 41.6	72 20.9	22 6.4	3 0.9	2 0.6	4 1.2	2 0.6	3 0.9	1 0.3	11 3.2	14 4.1	96 27.9	16 4.7
まあまあ健康	1,996 100.0	1,706 85.5	1,127 56.5	887 44.4	447 22.4	151 7.6	23 1.2	24 1.2	12 0.6	9 0.5	12 0.6	8 0.4	48 2.4	41 2.1	450 22.5	105 5.3
あまり健康ではない	499 100.0	425 85.2	233 46.7	193 38.7	88 17.6	49 9.8	15 3.0	9 1.8	13 2.6	5 1.0	1 0.2	2 0.4	15 3.0	7 1.4	85 17.0	25 5.0
健康ではない	263 100.0	216 82.1	99 37.6	103 39.2	52 19.8	30 11.4	15 5.7	6 2.3	7 2.7	10 3.8	0 0.0	4 1.5	7 2.7	8 3.0	33 12.5	21 8.0
無回答	42 100.0	34 81.0	15 35.7	17 40.5	8 19.0	4 9.5	0 0.0	1 2.4	1 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.4	0 0.0	9 21.4	2 4.8

(上段:実数、下段:%)

## (2) 誰に安否確認してほしいか

- ◆ 性別にみると、大きな差はみられない。

	調査数	家族や親せき	ご近所の方	知人や友人	町内会の方	民生委員	職員 地域包括支援センター	看護師 かかりつけの医師や看	ケアマネジャー	ホームヘルパー	訪問看護師	ボランティア	その他	安否確認の必要はない	無回答
全体	3,144 100.0	2,803 89.2	1,990 63.3	1,721 54.7	1,106 35.2	505 16.1	269 8.6	185 5.9	151 4.8	91 2.9	77 2.4	54 1.7	29 0.9	6 0.2	163 5.2
男性	1,379 100.0	1,208 87.6	866 62.8	752 54.5	515 37.3	197 14.3	112 8.1	71 5.1	48 3.5	29 2.1	31 2.2	18 1.3	12 0.9	6 0.4	69 5.0
女性	1,686 100.0	1,529 90.7	1,080 64.1	927 55.0	563 33.4	293 17.4	149 8.8	107 6.3	99 5.9	57 3.4	41 2.4	34 2.0	17 1.0	0 0.0	89 5.3
無回答	79 100.0	66 83.5	44 55.7	42 53.2	28 35.4	15 19.0	8 10.1	7 8.9	4 5.1	5 6.3	5 6.3	2 2.5	0 0.0	0 0.0	5 6.3

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 年齢別にみると、年齢が低くなるにしたがって「知人や友人」が多くなっている。一方、概ね年齢が高くなるにしたがって「民生委員」、「ケアマネジャー」が多くなっている。

	調査数	家族や親せき	ご近所の方	知人や友人	町内会の方	民生委員	職員 地域包括支援センター	看護師 かかりつけの医師や看	ケアマネジャー	ホームヘルパー	訪問看護師	ボランティア	その他	安否確認の必要はない	無回答
全体	3,144 100.0	2,803 89.2	1,990 63.3	1,721 54.7	1,106 35.2	505 16.1	269 8.6	185 5.9	151 4.8	91 2.9	77 2.4	54 1.7	29 0.9	6 0.2	163 5.2
65~69歳	858 100.0	769 89.6	526 61.3	527 61.4	271 31.6	79 9.2	58 6.8	16 1.9	20 2.3	22 2.6	18 2.1	10 1.2	7 0.8	2 0.2	34 4.0
70~74歳	754 100.0	678 89.9	508 67.4	438 58.1	290 38.5	99 13.1	59 7.8	40 5.3	28 3.7	15 2.0	21 2.8	17 2.3	2 0.3	1 0.1	35 4.6
75~79歳	663 100.0	587 88.5	430 64.9	360 54.3	252 38.0	128 19.3	66 10.0	56 8.4	35 5.3	19 2.9	20 3.0	12 1.8	7 1.1	2 0.3	39 5.9
80~84歳	473 100.0	422 89.2	304 64.3	237 50.1	171 36.2	116 24.5	43 9.1	39 8.2	30 6.3	13 2.7	4 0.8	6 1.3	7 1.5	1 0.2	27 5.7
85~89歳	213 100.0	192 90.1	123 57.7	85 39.9	72 33.8	48 22.5	22 10.3	20 9.4	17 8.0	10 4.7	7 3.3	5 2.3	2 0.9	0 0.0	14 6.6
90歳以上	106 100.0	91 85.8	57 53.8	35 33.0	23 21.7	19 17.9	13 12.3	7 6.6	17 16.0	7 6.6	3 2.8	2 1.9	4 3.8	0 0.0	9 8.5
無回答	77 100.0	64 83.1	42 54.5	39 50.6	27 35.1	16 20.8	8 10.4	7 9.1	4 5.2	5 6.5	4 5.2	2 2.6	0 0.0	0 0.0	5 6.5
65~74歳	1,612 100.0	1,447 89.8	1,034 64.1	965 59.9	561 34.8	178 11.0	117 7.3	56 3.5	48 3.0	37 2.3	39 2.4	27 1.7	9 0.6	3 0.2	69 4.3
75歳以上	1,455 100.0	1,292 88.8	914 62.8	717 49.3	518 35.6	311 21.4	144 9.9	122 8.4	99 6.8	49 3.4	34 2.3	25 1.7	20 1.4	3 0.2	89 6.1

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 世帯状況別にみると、「ご近所の方」は夫婦のみ（ともに65歳以上）で多く、「民生委員」はひとり暮らし（特養などに入所含む）で多くなっている。

	調査数	家族や親せき	ご近所の方	知人や友人	町内会の方	民生委員	地域包括支援センター職員	かかりつけの医師や看護師	ケアマネジャー	ホームヘルパー	訪問看護師	ボランティア	その他	安否確認の必要はない	無回答
全体	3,144 100.0	2,803 89.2	1,990 63.3	1,721 54.7	1,106 35.2	505 16.1	269 8.6	185 5.9	151 4.8	91 2.9	77 2.4	54 1.7	29 0.9	6 0.2	163 5.2
ひとり暮らし(特養などに入所含む。)	477 100.0	384 80.5	260 54.5	232 48.6	121 25.4	103 21.6	62 13.0	34 7.1	41 8.6	30 6.3	15 3.1	11 2.3	11 2.3	1 0.2	25 5.2
夫婦のみ(ともに65歳以上)	1,194 100.0	1,091 91.4	824 69.0	707 59.2	476 39.9	192 16.1	97 8.1	64 5.4	40 3.4	22 1.8	30 2.5	17 1.4	8 0.7	2 0.2	52 4.4
夫婦のみ(どちらかが65歳以上)	187 100.0	164 87.7	116 62.0	107 57.2	59 31.6	20 10.7	13 7.0	5 2.7	8 4.3	4 2.1	5 2.7	1 0.5	2 1.1	0 0.0	11 5.9
上記以外で全員が65歳以上の世帯	89 100.0	77 86.5	51 57.3	39 43.8	31 34.8	12 13.5	12 13.5	9 10.1	3 3.4	3 3.4	4 4.5	2 2.2	1 1.1	1 1.1	9 10.1
その他世帯	1,075 100.0	992 92.3	679 63.2	579 53.9	386 35.9	159 14.8	74 6.9	64 6.0	52 4.8	29 2.7	21 2.0	20 1.9	7 0.7	2 0.2	47 4.4
無回答	122 100.0	95 77.9	60 49.2	57 46.7	33 27.0	19 15.6	11 9.0	9 7.4	7 5.7	3 2.5	2 1.6	3 2.5	0 0.0	0 0.0	19 15.6

(上段:実数、下段:%)

- ◆ 健康状態別にみると、健康状態が良くなるにしたがって「知人や友人」が多くなっている。一方、概ね健康状態が悪くなるにしたがって「地域包括支援センター職員」、「かかりつけの医師や看護師」、「ケアマネジャー」が多くなっている。

	調査数	家族や親せき	ご近所の方	知人や友人	町内会の方	民生委員	地域包括支援センター職員	かかりつけの医師や看護師	ケアマネジャー	ホームヘルパー	訪問看護師	ボランティア	その他	安否確認の必要はない	無回答
全体	3,144 100.0	2,803 89.2	1,990 63.3	1,721 54.7	1,106 35.2	505 16.1	269 8.6	185 5.9	151 4.8	91 2.9	77 2.4	54 1.7	29 0.9	6 0.2	163 5.2
とても健康	344 100.0	308 89.5	214 62.2	215 62.5	118 34.3	44 12.8	26 7.6	17 4.9	11 3.2	9 2.6	7 2.0	9 2.6	3 0.9	2 0.6	16 4.7
まあまあ健康	1,996 100.0	1,787 89.5	1,313 65.8	1,134 56.8	743 37.2	319 16.0	146 7.3	94 4.7	65 3.3	46 2.3	43 2.2	34 1.7	14 0.7	2 0.1	101 5.1
あまり健康ではない	499 100.0	449 90.0	290 58.1	246 49.3	152 30.5	94 18.8	58 11.6	45 9.0	41 8.2	20 4.0	12 2.4	7 1.4	7 1.4	2 0.4	26 5.2
健康ではない	263 100.0	225 85.6	151 57.4	105 39.9	77 29.3	41 15.6	37 14.1	28 10.6	34 12.9	16 6.1	15 5.7	4 1.5	4 1.5	0 0.0	17 6.5
無回答	42 100.0	34 81.0	22 52.4	21 50.0	16 38.1	7 16.7	2 4.8	1 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.4	0 0.0	3 7.1

(上段:実数、下段:%)

## 22 仙台市への意見・要望について

問 63 仙台市の介護保険事業や高齢者保健福祉施策に関してご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書き下さい。

アンケートの最後に、自由に発言していただける欄を設けたところ、回答があったのは815人であった。

以下は意見内容を分類し、多い順に示した結果である。

順位	項目	意見数 (件)	比率 (%)
1	高齢者施策全般	96	11.8
2	情報提供	89	10.9
3	介護保険制度について	85	10.4
4	福祉全般について	68	8.3
5	施設サービスの充実	67	8.2
6	日常生活について	65	8.0
7	アンケートについて	59	7.2
8	感謝	57	7.0
9	経済的負担の軽減	52	6.4
10	相談、手続き体制	28	3.4
11	市政全般	10	1.2
12	介護の負担	8	1.0
13	在宅サービスの充実	3	0.4
14	わからない、特になし	110	13.5
15	その他	18	2.2
合計		815	100.0

主な意見を抜粋する。(表記は原文のまま)

※文末の( )内は、(対象者本人の性別・年齢)となっている。

### 1 高齢者施策全般

- 高齢者社会になるのはまちがいなく、施策について深く検討する必要性は感じているが、負担が増大するのは問題であり、最低限必要な施策は何かを考えて負担軽減にも注力することが重要。(男性・65～69歳)
- 受けたい時に受けられるサービスの充実(体制)・要介護者でも介護を受けられない(手続きが分からない)人にサービスを供給出来る。後「民生委員」や「福祉関係者(行政)」によるやや強引なサービスの提供を行う。(男性・65～69歳)
- 予算の配分の問題。福祉優先の論理が、残念ながらなされていない。つまり経済優先になっている。※市民税等に所得格差を反映させる事。低所得者には現状維持・高所得者は現状の倍。}改正の事。

注) 原則利用者負担の論理は、貧乏人には死ね!!と云う事なのです。ここが解っていない。何故ならこれらの決定は高所得者の人々が決定するにほかならない以上。(男性・65～69歳)

- 1. 在宅介護を望まない(望めない)方の長期療養、滞在できる施設の拡充も大切だと思います。必ずしも在宅が最良だとは思えません。長期受入の施設を希望する方が順番待ち、2週間ごとに転院(たらいまわし)するケースも多く見られます。2. 預貯金管理(銀行、JP等)に関し、窓口で”本人確認”を求められることがあります。被介護者を引っぱり出すより、金融機関担当者が、出向き預入、払出等できるよう行政指導していただきたい。(男性・65～69歳)
- 夫婦2人暮らしですが2人とも健康で介護に関する公的知識もあまりわかりません。介護保険を払っているだけで幸い利用には至っておりませんので、認知症の所もあまりピンときていませんが、これからもっとシンケンに向いあっていかなければと思っております。(女性・65～69歳)
- 認定の仕方の改正。生活実態に分った機械的でない援助項目の見直し。一律に在宅ケア、おしつけ施策にはならないように。\*介護可能な家族がいない、家庭が増えている。一人暮らし、夫婦二人は当たり前。家族で仕事をやめて介護に専念するか選択に悩む人は多い→生計維持が難しくなり、非課税家庭になったり、結果税負担者が減り、逆に税支出も増を招くのでは?高齢者一人暮らし世帯の把握と地域、近所の普段の声かけ、見守りが大事と思う。町内でも昨年孤立死が発生し残念でした。(女性・65～69歳)
- よくわかっていないので書けませんが、高齢者が長生きすることに後悔するようなことだけはないような社会になってほしい。(女性・65～69歳)
- 何事においても、家族のおられる方達が優先。優遇されている様に目立ちます。孤立死はこれから増えると思います。その中の一人かも知れません。一人暮らしの高齢者に目を向け、地域であらゆる手法を使い安心して生活出来る様にしてほしい。自々の安否確認とかで何らかの方法でやれると良いですね。(女性・65～69歳)
- 現在私達高齢者(40才以上)は、国保と介保の両方を納付しています。介保は認定されないと使用出来なく、いわば掛捨てのお金です。それでも介護を受ける人の為にと言われれば、強制的に納付されます。どちらか一方で良いのではありませんか。それではどうしても、やって行けないならば3年とか5年とか認定されない、あるいは利用しなかった人には記念品を出すとか楽しみ(ささいな物)があったら良いなと思います。(女性・65～69歳)

## 2 情報提供

- 事業や施策に関しての知シキあまり聞えてこない、一人暮らしの方にも聞こえてくる様なケイモウ活動を発信してほしい。自分がこまったときどうすれば良いかサクニン出来る小サッシがあれば良いと思います。(男性・65～69歳)
- まだ介護保険事業や施策について身近な問題として取らえていないので、関心を高めるため、その啓蒙活動がもっと必要です。(男性・65～69歳)
- 介護サービスについて聞いた事がありますが、どういう時に受けれるのかどこに連絡すれば良いのか地域包括センターなる物(者)は何をしてくれるのか、どういう人が利用出来るのかまるでわかりません。65になれば上記の事がわかる小冊子等出してもらえないですか。設問がほとんど理解出来ませんでした。(男性・65～69歳)
- 介護保険料は納めているが、しくみがよくわからない。一冊の手びき書みたいなのがあれば助

かります。(男性・65～69歳)

- まだピンとこないところもありました(アンケートの答)。具合悪くて医者に行くとか齢と言われ、どうしたらよいか指導もないので、このままでよいのか、何か良くなる方々はないものか思っていました。自分で筋トレをする様にしてたら、少し良くなってきました。もっと医者の指導もほしい。もっとわかりやすく、広めてほしい。その場にならないと意外と分らない事がありますので。(女性・65～69歳)
- 介護保険についてわからない事が多い。(女性・65～69歳)
- 介護保険の被保険者になったので、ようやくこれから老後の事を考えなくてはならないと実感しました。仙台市民になって早30年となり、住みやすい所で良かったです、自分自身も健康に留意して行くつもりでもなにがあるのかわからないのが人生です、これから自分も福祉の勉強をしてゆきます、介護保険に関する勉強会がありましたら参加したいです、提出日が遅れましたすみません、家族が急に入院してしまい雑事に追われてしまいましたので。(女性・65～69歳)
- 介護保険事業や高齢者保健福祉施策について、内容趣旨がよく分かりません。今後必要になると思いますので、市政だよりなどで教えてほしいです。(女性・65～69歳)

### 3 介護保険制度について

- 年金の引き下げ、介護保険の負担増等、今後厳しくなる国の政策に、追随するばかりでなく、独自の手厚い施策を、計画実施した方がよい。(男性・65～69歳)
- 保険料をおさえる為には「自分の健康は自分で！」の意気で予防の為の機会の場を持つべきだと思います。地域内での教室等…。要介護にならないように予防の施策に金をかけるべきだと思う。健康増進施設(教室、市のプール、ストレッチ室～葛岡でのプール、ストレッチ室を利用している)の無料の開放を希望。もちろん時間帯は平日の午前中の30分～1時間程で良い。(65才から70才以上の老、等)(男性・65～69歳)
- この調査の記入本人の妻です。私の90才になる父が近くのマンションで1人住いをしています。半年ほど前に要支援1から2になりました。1から2になったメリットはデイサービスが週1から2になったことだけのようで、父は週1回で充分と申しています。1から2に変更になったことで口座からは約3000円多く引き落としになりました。2から1にもどす人もたまにいることをケアマネジャーから聞きましたが、それも申しわけなく現在にいたっています。もう少し柔軟に制度を作っていただきたいと思います。(男性・65～69歳)
- サラリーマン生活、終わった状況で、何もわからない。これから、勉強していきませんが、「介護予防」の環境作りに注入(資金)を行ってもらった方がベターと思う。(男性・65～69歳)
- これからは、自宅介護を安心して、できる様になる為に行政と町内会、他方面での支援との、一帯しての取り組み方を希みます。又、介護保険料を、なるべく低くおさえて欲しいと思います。又、自立できる健康的な老後を送る為にも、自発的に人と会い運動を心がけて行きたいと思えます。今もそうしておりますが、寒くなりますと外での運動が限られて参りますので、寒中はセンターの用な施設を活用していきたいと思えます。現在は、目医者以外は、病院に、10年以上も、かかっておりませんので、この状態を維持すべく努めて参ります。(女性・65～69歳)
- 皆が目にも余る程使っている人も居るので、ケアマネジャーの方がだまされない様に、良く観察する事だと思います。(女性・65～69歳)



- 現在の介護保険制度には限界があるのでは？質を高めれば保険料が増える。しかも低所得者も保険料が上がる。少なくとも低所得者の保険料を低くして高所得者70歳以上/年の段階を設ける等、また、他に財源を見い出すようにすべきと思う。(男性・70～74歳)
- 家族が脳出血後遺症で要介護3を認定されました。去年は要介護1でした。症状がさほど変わっていないのに認定度がまちまちなので、介護保険そのものと認定の仕方等に矛盾を感じています。調査員の主観によるのでしょうか？(女性・65～69歳)

#### 4 福祉全般について

- 現在は健康で、実質娘と同居のかたちで生活しているので問題ないが、将来については不安が多少ある。家族に迷惑かけずに介護が必要になったら施設ですぐすのがよいと思っている。そのような施策がすすむことを願っています。(女性・70～74歳)
- 「気軽に声かけられる、あいさつができる町」町づくりを！これが防犯や孤独死を防ぐ一歩だと思います。(男性・65～69歳)
- 介護者が殺人したり、自殺しない、取組みをお願いします。(男性・65～69歳)
- 介護予防に更なる努力と効果を期待致します。(男性・65～69歳)
- 元気で生活できている人の為には、まだ利用はしていませんが、敬老乗車証などの継続がありますこと願っています。(女性・65～69歳)
- 近々老々介護になると思うのでどちらかが介護するにつけても不安です。介護従事者の若者の給料をもう少し上げないと、志ざしある人がやめて行くとても残念です。せめて結婚できる給料でないと…。仙台市は箱物にお金を使っている気がします。もっと人に人々の安心にお金を使って下さい。いつ何が起きるかわからないので安心して暮らせません。(女性・65～69歳)
- 高齢者も色々な型で社会参加出来る環境を作ってほしい。地域とのコミュニティ作りが出来る環境。(女性・65～69歳)
- 元気な年よりをこき使って下さい。有料ですよ。介護サービスでも買物(一緒)をゆっくりする。ついでに調理も1回位する。(自分のものを買わない)。庭の草とり、部屋の軽い掃除、そうじ機かけたり、お茶のみとか、旅行などは割かんで金額はきちんと決めて下さい。(女性・65～69歳)

#### 5 施設サービスの充実

- 現場、実情に合った介護、福祉の展開。・要支援者のランクの明確化。→利用しないと損という考え方をなくす。手を広げるだけでは利用出来ない人もいる。利益追求型の介護施設の設置のストップ化。一般の人は利用出来ない。80才後は出所しなければならないケース増えるのでは(厚生年金のストップ等で)。(男性・65～69歳)
- 出来るだけ入居できる施設を増やしてほしい。負担を増やすことだけ考えないで行政もスリムになってサービス提供を考えてほしい。限ぎられた収入で今後を考えると税金等の負担増ばかりで生活実態を考えてほしい(男性・65～69歳)
- 家族の負担を軽減する介護施設の充実を図ってほしい。(男性・65～69歳)

- 国民年金で入所できる老人ホームがあると良いが…。(男性・65～69歳)
- 介護者が明るい気持で介護出来る様ショートステイをもっと、もっと拡充し、気軽に入出入り出来る様になると、介護の質も良くなると思う。もっと介護師さんを増して(そんなに難しいテスト必要ですか?) 介護経験した主婦を活す事も出来ると思います。老人の虐待だけは防ぎたいです。(女性・65～69歳)
- 高齢者が一人でも安心して暮らせる住居(又は部屋)の建築をお願いしたいです。現在住んでいる家と交換出来る制度などがあれば理想的です。安心して暮らせる住居には、見守りサービス付きで…このように老後を通したいと思っています。(女性・65～69歳)
- 行政にどこまでたよれるかが不安です。離れてくらしている家族への負担減と自立が困難となった際の施設の選択や入所が出来るよう希望します。(女性・65～69歳)
- だれ(金がない人)でも年金が少ない人でも入れる施設を作ってほしい。市の施設が少なすぎると思います。市の葬祭会館もあると良いですね。お願いします。(女性・65～69歳)

## 6 日常生活について

- スポーツで体を動かしています、今は運転(車)が出来ますが歩いて行ける範囲の所にはスポーツジムがありません。ラジオ体操でも良いのです。そういう場所とスピーカー(音響)も付きで皆んなで体操できたら良いですね。(老いも若も)(男性・65～69歳)
- 介護予防の取組として地域のコミュニティセンター、市民センターの施設を使用して頻繁に行ってほしい。(歩いていける施設の活用上)(男性・65～69歳)
- 現在健康で生活しているが(69才)その時になってみないと介護保険等の利用方が変わるとおもいます。出来るだけ自分の事は自分で生活できるよう、体に気を付けたいと思います。(男性・65～69歳)
- 私自身実母を介護したことがありますので皆様方に迷惑をかけないように介護予防に心掛けて生活しております。(男性・65～69歳)
- 商店街地域に在住につき、買物時の会話くらいで、近所付き合いはほとんどなく、かといって高齢者対象の活動等は皆無と言っても良いくらいです。町内の方にも、もっと助言があっても、良いのではないかと思います。(女性・70～74歳)
- なるべく自立した生活が続く様、食事、健康、読書等気をつけているが、本当に介護が必要になった時に行政の力で安心した生活が出来る様に。福祉の現場にゆとりある人員を雇ってほしい。(女性・65～69歳)
- まだ、高齢者の実感がなく、父、母、義母、夫を看病、看護して看取りました。ある程度の知識と体験を経て、今まだ先がちょっと平穏だと思っています。少しずつ色々学びながら楽しく暮らしたいと思っています。(女性・65～69歳)
- まだ先と思っても明日は我が身と…。いろんなアンテナを張りめぐらして、自分をその中に置いてみて、昔、田舎の方であった「結」と言う買い物手伝う、ついでに買ってくるとか、おかず作ったからと…出来ていたらと…又、そう言う関係お隣り同志いたらと思います。難しいと思いますが…老人のパーセントが高くなるこれから、いつまでも元気にと体に気をつけ(食事、運動)自己管理に気をつけて行きたいと思っています。後、何年働き仕事やっけていけるか解かりませ

んが、いろんな町内の行事に参加して啓発して行きたいと思います。(防災訓練とか、芋煮会、コミュニティ祭) とりとめのないまとめになりました、すみません、以上です。(女性・65～69歳)

## 7 アンケートについて

- 現在、まだ、仕事をしている身なので 質問等にうまく答えられない等が多々ありました。又、長男の家庭と同居するという事で、無意味な、質問も、多くある様に感じられました。(男性・65～69歳)
- 現在、介護対象者でない為、考えが漠然としている。要介護者を対象とした、サポートする家族等関係者にアンケート等を取る方法が、より生きた実態調査となるのではないかと…！と思う。(男性・65～69歳)
- 今回アンケート調査で自身が勉強になった。(男性・65～69歳)
- 質問事項の内容に改善検討してもらいたい。回答がしにくい点が数項目ありました。(男性・65～69歳)
- 私にはまだ先の事として考えていましたがアンケートに答えているうちに少し高齢者保健福祉について勉強させられました。この内容は、私自身もですが、家族にも知識として必要な事と思いました。(女性・65～69歳)
- 高齢者は、こんなにたくさんの問いに答えることはむずかしい。書いてある内容を把握する事が出来ない状況で、かたまってしまっていた。聞き取りの方が、正確な回答が得られると思う。(女性・90歳以上)
- 介護サービスを未だ受けていない家族にとって、今回の設問内容がわかりにくい。(男性・70～74歳)
- 実態調査の結果を生かせる行政をして欲しい。(見せかけの調査ならば、調査軽費が無駄になる) 調査実態結果を公表して市民に実態を知ってもらいたい。(女性・65～69歳)

## 8 感謝

- 65才になりました。東日本大震災で全て流失…アパート経営していましたが、建て物も全て流失してアパートローン20年間分が残りました。借金5300万円をローン返済し、生活が(苦)その後、かしていた土地代金が入るようになりましたが、これから再建介護保険料もおくれて支払う事もあり…今アルバイトで働いています。介護保険があると老後はたすかると思います。今は精神的にも生活するにも子、孫、生活も大変ですね。ご苦労様です。(男性・65～69歳)
- 2年4ヶ月前母を看取りましたが、介護通所で5年、施設で4年大変お世話になり、感謝しております。認知が進み自宅での介護は無理でした。幸い費用の方は母の年金で充分でしたのでありがたく思っております、が聞くところによると皆さんがそうではないと思われますので仙台市の介護保険事業や福祉施策をもっと厚くして介護する人が困らないようお願いしたいと思います。市民が住みやすい町づくりによりしく願います。(男性・65～69歳)
- 御苦労様です。どうぞこれからも、あまり高くない費用でも良いサービスを受けられるようによろしく御願ひ致します。(男性・65～69歳)

- 6年前義母がデイサービスやショートステイで数年間お世話になり、本人もとても楽しんで他界しました。感謝しております。私共夫婦もいづれお世話になりますので、楽しく過ごせるよう期待しております。(女性・65～69歳)
- これから老人が多くなり、大変だと思いますが、役所を頑張って下さい。住民に市民にいろいろとサービスをして下さい。(女性・65～69歳)
- サービスを年齢で区別するのではなく、その人の状況、状態で区別していつては。(健康、経済、家族構成等) いつも市民の為、お仕事御苦労様です。ありがとうございます。11/8 (女性・65～69歳)
- 介護保険制度を受けていないのでまだ実感がありませんが、これからも健康に気を付けなるべく制度を利用しない様に生活をして行きたいと思えます。又アンケートを書く事で勉強になり、参考にもなりありがとうございます。(女性・65～69歳)

## 9 経済的負担の軽減

- 介護保険料において、サービス等を受けていない場合は、安くする方法等保険料の段階的運用を考えて頂きたい。例として、自動車保険等において使用しない場合は安いとなるものもある。又、この方法であれば、介護防止・予防等に力を入れる事と思われる為。(男性・65～69歳)
- 私は今現在何不自由(健康面で)なく、通院しながらですが、生活しております。病気療養中の息子と2人でなんとか生活しています。経済面で不安はありますが、(私は遺族年金と国民年金をいただいています。)息子が無職ですので、これから消費税値上がりとか、国民健康保険が1割から2割に上がるみたいですので、病院の支払いが重荷になって来て居ります。介護保険料が増えないように思っています。自分が介護を受ける時には、充実したサービスを受けたい等と矛盾した考えをもって自分勝手ですよね。(女性・70～74歳)
- 今後、増々高令層が増えますが、予算的な問題もありますが、全ての高令者が安心してらせる制度の充実を望みます。(私達は今年になるまで国の為、会社の為、自治体の為、仕事をし、ある程度貢献してきたつもりです。そんな私達から高額な負担金等消費税の増税とも併わせ徴収するのはどうかなと思います。)(男性・65～69歳)
- 私達のような低所得者には、介護保険料や国民保険料の負担が大きいです。年金での生活が心配だ。(男性・65～69歳)
- 母が胃瘻交換のため年2回介護タクシー(ベツト)を利用する。タクシー代が高すぎる。会社によって¥10,000近い時もあるし、¥14,000近い時もあります。太白区←→オープン病院・往復です。(女性・65～69歳)
- 65才まで身体障害者を良かったのですが、65才で介護保険に!!今までタクシー同乗も0円だったのに。一人ではNOなので、ヘルパーさん同乗だめ・院内もだめ 他人を頼ります。私のヘルパーステーションは1時間¥2000円です。3ヶ所なので院内のみで月1万円はかかります。困ります。生保の生活なので。(女性・65～69歳)
- 介護保険、毎月、国民生年から振り落されていますが、実はすごく厳しいです。でも介護状態になったら、いろいろかかるので仕方ない事とは思いますが、現在健康だから良く思うのだと思います。(女性・65～69歳)

- 介護保険が高いと感じます。よろしく願います。(女性・65～69歳)

## 10 相談、手続き体制

- 病気で死亡宣告を受けていることと歩行支障等があり大変なので何回も区役所に電話や訪問してたずねるが、「言葉よし」で中味がともなわずにいる。もっと真剣に考えるシステムが必要と思う。(男性・65～69歳)
- より良い行政指導をお願いします。マンション等集合住宅には余り民生委員は来ない(老人も確認していない) もっと活発に来てほしい(形ばかりに見える)(男性・70～74歳)
- 独居老人や、独身高令者家族など役所では握出来る家族をチェックし、相談待ちでなく、定期的な訪問活動を行う支援センターの充実を必要とします。(男性・70～74歳)
- 年数回、各家庭に対し、安否確認の為の民生委員か市の職員の家庭訪問をお願いしたい。(男性・80～84歳)
- いろいろな制度を利用する場合、手続きが複雑だったり面倒だったりするので、高令者でも気軽に手続きが出来るようシステムを簡便化して欲しいです。(女性・65～69歳)
- もし自分が家族に世話になる時介護保険を利用すると思いますが、手続きがめんどうだと聞きました。前もって、どんな手続きが必要なのか、手引があると良いのですか？(女性・65～69歳)
- 最近の事です、近所に住まいの方がころんで入院され一週間ぐらいで退院となったのですが、立ち上がれない、自分ですわれない状態になり、御家族で病院をさがしてリハビリの出来る所をと、思っていたが見つからず大変こまっている話を聞き、心配しております。自分がその様になったらだれに相談すればいいのか、不安です。(女性・65～69歳)
- 私達年代が一番多い年代であり今はまだ身体も頭もしっかりしていて1人で何んでも出来ます。今からこれからの老後健康的に他人に迷惑をかけずに暮して行くための講義なり会合なりを開いて勉強し、子供達に迷惑のかけない老後を皆んなで考え話し合う場を多く設けて欲しい。私達の年代は親を見送った経験者も多いと思うので知恵を出し合い、助け合う場があったらと思います。(女性・65～69歳)

## 11 市政全般

- 被災者医療費無料をなぜ宮城県のみやめたのか？役所のムダはたくさんあるはず、ムダをカットしてやり続けてほしかった。宮城県、仙台市での行政改革は全然感じられない。金がない、金がないとか聞こえてこない。非常に残念だ。今の知事は、新税や国から援助ばかりを期待し行政をしている、もっと身を切る努力をするべきだ。今回3. 11で家事壊した者。(男性・65～69歳)
- 役所間の縦割行政の弊害については、まだまだ改善されてない。担当職員が一人でぼう大な案件を抱えて手配が遅れ、事件事故につながる例は今も多い。役所内での横の連絡を密にし応援手配を強化するばかりでなく、他官庁、民間団体との連絡情報交換も密にすべきである。例えば孤立死の防止等、郵便、新聞、宅配人の協力や警察、消防との連携も欠せないと思う。表彰制度を拡大した方が良い。人命救助や事故防止に当たった人の表彰は、基準や規則の制約により柔軟に適用されていない。また表彰者の権威保持の為に、出し惜しみになっている。被表彰者がたとえ過去の経歴や職歴等に問題あったとしても、人命救助や事故防止に功績があったならそれだけで表彰

なり感謝状を出すべきだ。市長さんは非常に偉い人で、とても簡単にそんなもの出せないと云うなら担当の局長名でも良いではないか。要は市民の関心を高め、意識の高揚を図るべきである。  
(男性・85～89歳)

- 仙台市は他の市町村とくらべて、かなり進んでいると思う。(女性・90歳以上)

## 12 介護の負担

- 老々介護世帯の現状を知って欲しい。ケアマネージャーの質を上げて欲しい。介護者のストレスについてのアンケート等もついでにとって欲しかったと思います。(女性・65～69歳)
- 母を6年半介護した経験から(デイケアショートスティ使いました。)車イス、おまる、ベッドなどリースできるものは使用しました。パーキンソン症候群をわずらったので、スタッフはじめ家族は大変な思いをしたが、これから団かい世代急増を考えると未恐ろしい気がします。きれいな事ではすまない現実があります。(女性・65～69歳)
- 私は20代～30代で主人の父の介護を5年間見て来ました。その頃はまだ認知症といわずぼけという言葉で表現されていたのですが、世間では知らない方が多くどんなに一生懸命お世話しても父の言葉だけが信じられて主人の弟から又父を知る人から大分きつい苦言をされたものでした。今は情報が沢山あり介護する方の気持も世間の人々から理解されているので精神的に大分助かると思います。本人が一番ですがそれを介護する家族の方々のケアを宜しくお願いいたします。(女性・75～79歳)

## 13 在宅サービスの充実

- 自宅で介護を受けられる方は別にして、高齢者の住居の拡充を増していただきたい。高齢者住宅での介護支援を(アンケートの中に記入されている)していただきたい。(男性・70～74歳)
- 在宅医療は必要です。拡充をお願いします。(男性・75～79歳)
- なるべくなら施設に入らないで自宅で家族や、ヘルパーさん、訪問看護師の方などに来ていただいて過ごしたいと思います。(女性・65～69歳)



## V 資料（調査票）※設問項目ごとの集計付き

# 仙台市高齢者保健福祉計画策定のための実態調査

## 【 高齢者一般調査 】

### 調査票のご記入にあたって

- 1 この調査は、できるだけご本人による回答をお願いいたします。
- 2 健康状態などにより、ご本人による回答ができない場合は、ご本人の状況が分かるご家族の方などが、ご本人の意思を確認しながらご記入いただくか、ご本人の立場にたってご記入ください。
- 3 ご記入は、黒か青のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- 4 回答は、あてはまるものに○をつけてください。質問により1つだけ○をつけるものと、2つ以上に○をつけるものがありますので、記載のとおりにご回答ください。「その他」に○をつけられた場合は、その内容をなるべく具体的に記入ください。
- 5 この調査には、平成25年11月1日現在の状況でお答えください。
- 6 記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、平成25年11月27日（水）までに郵便ポストに投函してください。
- 7 調査票の内容などでわからないことがありましたら、下記までお問い合わせください。

### 《お問い合わせ先》

仙台市健康福祉局保険高齢部高齢企画課 企画係  
〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号  
電話：022-214-8167（直通）  
メールアドレス：fuk005130@city.sendai.jp  
受付時間：午前9時～午後5時（土日・祝日を除く。）



■ ご本人が、下記の状態にあるために調査ができない場合は、あてはまる理由1つに〇をつけて、同封の封筒（切手不要）でご返送ください。 調査数=3,229

1. 仙台市外に転居	0.2%
2. 死亡	0.0%
3. 障害等により回答できない (ご家族などが代わって記入することもできない)	0.9%
4. その他 ( )	1.4%

無回答 97.4%

**上記以外の場合は、以下の質問にお答えください。**

※この調査には、平成25年11月1日現在の状況でお答えください。

**問1** この調査票を記入なさっている方は、ご本人から見て、どなたにあたりますか。

ご本人から見た続柄等でお答えください。(あてはまるもの1つに〇) 調査数=3,144

1. 本人	83.5%	5. 兄弟姉妹	0.2%
2. 配偶者 (夫または妻)	4.2%	6. その他の親戚	0.2%
3. 子供	4.9%	7. 福祉関係職員	0.4%
4. 子供の配偶者	0.8%	8. その他 ( )	0.0%

無回答 5.9%

**●問2～問63については、封筒の宛名のご本人についてお答えください。**

《ご本人のことについておたずねします。》

**問2** ご本人の性別をお答えください。(あてはまるもの1つに〇) 調査数=3,144

1. 男性 43.9%	2. 女性 53.6%
-------------	-------------

無回答 2.5%

**問3** ご本人の年齢をお答えください。(あてはまるもの1つに〇) 調査数=3,144

1. 65～69歳	27.3%	4. 80～84歳	15.0%
2. 70～74歳	24.0%	5. 85～89歳	6.8%
3. 75～79歳	21.1%	6. 90歳以上	3.4%

無回答 2.4%

問4

現在お住まいの中学校区を教えてください。(あてはまるもの1つに〇) 調査数=3,144

(お近くの中学校をお選びください。分からない場合は町名を記入してください。)

< 青葉区 >

(各区 50音順)

- |              |              |              |               |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 五橋中 2.5%  | 5. 北仙台中 2.2% | 9. 三条中 1.7%  | 13. 中山中 1.8%  |
| 2. 大沢中 1.0%  | 6. 広陵中 0.5%  | 10. 第一中 2.3% | 14. 広瀬中 2.1%  |
| 3. 折立中 1.2%  | 7. 五城中 1.6%  | 11. 第二中 1.6% | 15. 南吉成中 1.0% |
| 4. 上杉山中 1.6% | 8. 桜丘中 2.2%  | 12. 台原中 2.7% | 16. 吉成中 0.7%  |

< 宮城野区 >

- |              |              |               |               |
|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 17. 岩切中 1.6% | 20. 田子中 0.7% | 23. 中野中 1.3%  | 26. 宮城野中 2.7% |
| 18. 幸町中 1.3% | 21. 鶴谷中 2.2% | 24. 西山中 1.8%  |               |
| 19. 高砂中 1.5% | 22. 東華中 1.3% | 25. 東仙台中 1.7% |               |

< 若林区 >

- |              |              |               |
|--------------|--------------|---------------|
| 27. 沖野中 1.7% | 29. 七郷中 1.1% | 31. 南小泉中 2.5% |
| 28. 蒲町中 1.5% | 30. 八軒中 2.0% | 32. 六郷中 1.5%  |

< 太白区 >

- |              |               |               |              |
|--------------|---------------|---------------|--------------|
| 33. 秋保中 0.5% | 37. 富沢中 2.1%  | 41. 人来田中 1.2% | 45. 柳生中 1.5% |
| 34. 愛宕中 1.0% | 38. 中田中 1.7%  | 42. 袋原中 2.2%  | 46. 山田中 1.9% |
| 35. 生出中 0.3% | 39. 長町中 3.3%  | 43. 茂庭台中 0.8% |              |
| 36. 郡山中 2.1% | 40. 西多賀中 1.7% | 44. 八木山中 2.8% |              |

< 泉区 >

- |               |                |                |               |
|---------------|----------------|----------------|---------------|
| 47. 加茂中 2.0%  | 52. 住吉台中 0.3%  | 57. 七北田中 1.3%  | 62. 八乙女中 1.7% |
| 48. 向陽台中 1.8% | 53. 高森中 0.9%   | 58. 南光台中 1.7%  | 63. 館中 0.4%   |
| 49. 将監中 1.4%  | 54. 長命ヶ丘中 1.5% | 59. 南光台東中 1.0% |               |
| 50. 将監東中 1.8% | 55. 鶴が丘中 1.5%  | 60. 根白石中 0.6%  |               |
| 51. 松陵中 0.9%  | 56. 寺岡中 0.9%   | 61. 南中山中 1.2%  |               |

< わからない方 (町名を記入:例 青葉区本町) >

- |                   |
|-------------------|
| 64. わからない( ) 1.0% |
|-------------------|

無回答 1.8%

問5 世帯の状況は、次のどれですか。(あてはまるもの1つに○) 調査数=3,144

1. ひとり暮らし（特別養護老人ホームや軽費老人ホーム（ケアハウス等）などに入所している場合を含む）	15.2%
2. 夫婦のみ（ともに65歳以上）	38.0%
3. 夫婦のみ（どちらかが65歳以上）	5.9%
4. 上記以外で全員が65歳以上の世帯	2.8%
5. その他の世帯	34.2%

無回答 3.9%

問6 健康状態をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○) 調査数=3,144

1. とても健康	10.9%
2. まあまあ健康	63.5%
3. あまり健康ではない	15.9%
4. 健康ではない	8.4%

無回答 1.3%

問7 日常生活の状況について、次にあげる①～⑩の各項目それぞれについて、該当する番号1つに○をつけてください。(①～⑩それぞれあてはまるもの1つに○)

調査数=3,144

	普通にできる	一人ではかかるが 時間がかかる	手助けがあれば できる	全面的に介助が 必要	
① 歩くことは一人でできますか	1. 78.4%	2. 13.2%	3. 3.2%	4. 2.5%	無回答 2.6%
② 食事は一人で食べることができますか	1. 90.3%	2. 5.2%	3. 1.0%	4. 0.6%	無回答 2.8%
③ トイレは一人でできますか	1. 90.1%	2. 4.3%	3. 1.1%	4. 1.8%	無回答 2.7%
④ お風呂には一人で入れますか	1. 87.8%	2. 3.7%	3. 2.4%	4. 3.1%	無回答 3.1%
⑤ 着替えや洗顔、歯磨きなどは一人でできますか	1. 88.8%	2. 4.7%	3. 2.0%	4. 1.7%	無回答 2.8%
⑥ 買い物は一人でできますか	1. 80.9%	2. 4.5%	3. 5.2%	4. 5.8%	無回答 3.7%
⑦ 調理は一人でできますか	1. 74.1%	2. 9.1%	3. 4.7%	4. 6.7%	無回答 5.3%
⑧ 洗濯や掃除は一人でできますか	1. 77.0%	2. 7.1%	3. 4.6%	4. 6.7%	無回答 4.5%
⑨ バスや電車などは一人で利用できますか	1. 79.8%	2. 4.2%	3. 3.9%	4. 7.6%	無回答 4.5%
⑩ 電話は一人でかけることができますか	1. 88.1%	2. 3.4%	3. 2.2%	4. 3.4%	無回答 2.9%

問8 現在の生活の中で、どのようなことに楽しさや生きがいを感じていますか。

(あてはまるものすべてに○)

調査数=3,144

1. 町内会・自治会・子供会などの活動	11.2%
2. 老人クラブの活動	8.9%
3. 趣味・学習	48.9%
4. 運動・スポーツ	26.3%
5. ボランティア活動	9.5%
6. 仕事・就労	15.1%
7. 友人・知人とのつきあいなど	49.6%
8. 子や孫の世話などご家族との団らん	33.4%
9. その他 ( )	9.2%
10. 特にない	11.5%

無回答 1.5%

問9 現在、仕事をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

調査数=3,144

1. 仕事をしている 18.8%	2. 仕事をしていない 80.0%
------------------	-------------------

無回答 1.2%

問10 今後、仕事をしたい(続けたい)と思いますか。(あてはまるもの1つに○)

調査数=3,144

1. 仕事をしたい(続けたい)	26.0%
2. 仕事をしたくない(仕事をやめたい)	37.7%
3. わからない	23.5%

無回答 12.8%

**問 11** 社会参加についておたずねします。次のような会・グループ等に月1回以上参加していますか。(あてはまるものすべてに○) 調査数=3,144

1. 高齢者福祉のボランティア（家事手伝い、見守り活動など）	3.6%
2. 子育て支援、地域の安全、環境の保全など「1. 高齢者福祉」以外のボランティア	3.4%
3. スポーツ関係のグループやクラブ	16.1%
4. 趣味関係のグループ	28.2%
5. 老人クラブ	8.0%
6. 町内会・自治会	14.1%
7. 学習・教養サークル	8.0%
8. その他の団体や会	9.8%
9. 特に参加していない	46.8%

無回答 3.2%

**問 12** ボランティアの報酬について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○) 調査数=3,144

1. ボランティアなのだから無報酬でよい	28.0%
2. 交通費等の実費程度は受け取りたい（支払いたい）	37.0%
3. 労働対価でなくとも、小遣いになる程度は受け取りたい（支払いたい）	10.2%
4. その他（ ）	6.3%

無回答 18.5%

**問 13** 今後、少子高齢化がさらに進むことが予想されますが、その中で、地域社会を支える担い手として、高齢者のより一層の活躍が期待されます。そのような中、地域社会にどのような形で貢献できると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

調査数=3,144

1. 仕事	12.7%	
2. ボランティア活動	20.0%	→ (問 14 へお進みください)
3. 老人クラブでの社会参加活動	12.8%	
4. 町内会・地区社会福祉協議会などの地域活動	20.0%	
5. 特に何もする考えはない	31.1%	→ (問 15 へお進みください)
6. わからない	13.6%	
7. その他（ ）	2.6%	→ (問 16 へお進みください)

無回答 7.0%

【 問 13 で「1」～「4」に回答した方におたずねします。 】

問 14 その理由は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○) 調査数=1,437

1. 生活（収入）のため	18.2%
2. 自分自身が生きがいを感じたい	64.2%
3. 年齢・性別を問わず、いろいろな人達と関わりを持ちたい	54.8%
4. 地域や社会に貢献したい	49.8%
5. その他（ ）	1.7%

↳ (問 16 にお進みください) 無回答 2.0%

【 問 13 で「5. 特に何もする考えはない」と回答した方におたずねします。 】

問 15 その理由は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○) 調査数=979

1. 身体的な理由があり、活動できない	48.7%
2. 忙しくて時間がない	9.9%
3. のんびり悠々自適に過ごしたい	31.6%
4. 人づきあいが、わずらわしい	22.1%
5. 仕事や活動をする場所が分からない	5.6%
6. 必要性を感じない	12.2%
7. その他（ ）	5.5%

無回答 1.7%

**(すべての方におたずねします。)**

問 16 毎日の生活に不安を感じていることは、次のうちどれですか。(あてはまるもの

すべてに○)

調査数=3,144

1. ご自身やご家族の健康のこと	66.3%	8. 掃除や洗濯など家事のこと	8.0%
2. ご自身やご家族の介護のこと	25.0%	9. 火災や防犯のこと	16.1%
3. 物忘れをすること	22.9%	10. 仕事のこと	4.0%
4. 生活費のこと	22.8%	11. 相談相手がないこと	3.7%
5. 日常的な金銭管理のこと	4.8%	12. ご家族との仲のこと	5.2%
6. 住まいのこと	9.4%	13. その他（ ）	2.9%
7. 食事のこと	7.5%	14. 特に不安を感じることはない	15.4%

無回答 4.3%

問 17 普段どの程度外出していますか。(あてはまるもの1つに○) 調査数=3,144

1. ほぼ毎日	27.7%	4. 週に1日程度	9.9%
2. 週に4～5日程度	20.1%	5. 月に2～3日程度	5.9%
3. 週に2～3日程度	28.2%	6. 月に1日程度	2.1%
		7. ほとんど外出しない	4.5%

無回答 1.7%

(次のページの間 21 にお進みください)

【 問 17 で「1」～「6」のいずれかに回答した方におたずねします。 】

問 18 普段どのような方法で外出しますか。(主なもの3つまでに○) 調査数=2,947

1. 徒歩	58.2%
2. 車いす	1.3%
3. バス、地下鉄、電車	55.6%
4. 自転車、バイク	18.5%
5. 自家用車 (自分で運転する)	39.1%
6. 自家用車 (送迎してもらう)	20.1%
7. タクシー	13.1%
8. ボランティア等による移送サービス	1.2%
9. その他 ( )	2.2%

無回答 1.3%

【 引き続き、問 17 で「1」～「6」のいずれかに回答した方におたずねします。 】

問 19 普段どのような目的で外出しますか。(主なもの3つまでに○) 調査数=2,947

1. 仕事のため	15.4%
2. 趣味、スポーツ、娯楽などのため	48.2%
3. ボランティア活動のため	7.3%
4. 買い物のため	78.8%
5. 役所や銀行などでの手続きや相談のため	24.5%
6. 地域の行事や活動に参加するため	7.8%
7. 通院のため	51.4%
8. その他 ( )	7.1%

無回答 2.0%

【引き続き、問 17 で「1」～「6」のいずれかに回答した方におたずねします。】

問 20 外出の際、お困りになることは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

調査数=2,947

1. 道路や駅などの階段や段差	30.5%
2. バス、地下鉄、電車などの乗り降り	16.2%
3. 外出先で利用する建物の手すりなどの不足	10.0%
4. 街を走っている自動車が危険なこと	15.0%
5. 介助者がいないこと	1.7%
6. 交通費がかかること	15.1%
7. その他 ( )	4.9%
8. 特にない	42.3%



(問 22 にお進みください)

無回答 6.3%

【問 17 で「7. ほとんど外出しない」と回答した方におたずねします。】

問 21 その理由は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○) 調査数=143

1. 身体上の理由で外出が困難だから	72.0%
2. バス、地下鉄、電車などへの乗車が困難だから	14.0%
3. 介助者がいないため外出に苦勞するから	11.2%
4. 交通費の負担が大変だから	3.5%
5. 外出したい場所がないから	14.7%
6. 人と会うのがわずらわしいから	9.1%
7. その他 ( )	14.7%

無回答 2.1%

**(すべての方におたずねします。)**

問 22 どれくらいの頻度で食料品や日用品の買い物に行っていますか。(あてはまる

もの1つに○)

調査数=3,144

1. ほぼ毎日	14.2%	4. 1週間に1回程度	15.4%
2. 2、3日に1回程度	36.7%	5. 2週間に1回程度	4.3%
3. 4、5日に1回程度	15.2%	6. ほとんど行かない	12.1%



(次のページの間 23 にお進みください)



(次のページの間 25 にお進みください)

無回答 2.0%



【 問 22 で「1」～「5」のいずれかに回答した方におたずねします。 】

問 23 普段買い物をする店まで、片道何分くらいかかりますか。(あてはまるもの1つに〇)

調査数=2,699

1. 5分以内	9.7%	3. 16～30分以内	31.7%
2. 6～15分以内	47.6%	4. 30分以上	7.8%

無回答 3.3%

【 引き続き、問 22 で「1」～「5」のいずれかに回答した方におたずねします。 】

問 24 普段の食料品や日用品の買い物についてどのようにお感じですか。

(あてはまるもの1つに〇) 調査数=2,699

1. 不便に感じている	6.0%
2. やや不便に感じている	15.0%
3. どちらでもない	25.3%
4. やや便利に感じている	21.3%
5. 便利に感じている	28.6%

無回答 3.8%

**(すべての方におたずねします。)**

問 25 現在のお住まいは、次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに〇) 調査数=3,144

1. 持ち家（一戸建て）	74.2%	6. 間借り、下宿	0.2%
2. 持ち家（マンションなど）	9.9%	7. 社宅、官舎	0.1%
3. 公営（市営・県営）住宅	3.2%	8. 有料老人ホーム、特別養護老人ホームなどの施設	1.7%
4. 公社公団の賃貸住宅	0.9%	9. その他（ ）	1.4%
5. 民間借家、賃貸マンション、アパート	8.0%		

無回答 0.5%

問 26 現在お住まいの住宅に関して困っていることがありますか。

(あてはまるものすべてに〇) 調査数=3,144

1. 老朽化	23.0%	7. 草むしりや植木など庭や家周りの手入れ	34.9%
2. バリアフリーになっていない	14.3%	8. 掃除や片付けが大変	16.3%
3. 家が狭い	6.4%	9. 騒音	5.2%
4. 住宅ローンが大変	4.0%	10. その他（ ）	4.7%
5. 家賃が高い	3.2%	11. 特にない	27.8%
6. 固定資産税が高い	25.4%		

無回答 3.0%

問 27 介護が必要になったら今お住まいの所からの住み替えを希望しますか。

(あてはまるもの1つに〇) 調査数=3,144

1. 住み替えたい	8.0%
2. どちらかという住み替えたい	7.9%
3. どちらかという今のところに住み続けたい	20.6%
4. 今のところに住み続けたい	42.7%
5. わからない	18.0%

無回答 2.8%

(すべての方におたずねします。)

問 28 ご本人の年間総収入(年金、仕送りなども含みます。)の額は、およそどれくらいですか。(あてはまるもの1つに〇) 調査数=3,144

1. 50万円未満	7.5%	6. 400万円～500万円未満	3.6%
2. 50万円～100万円未満	20.6%	7. 500万円～600万円未満	1.6%
3. 100万円～200万円未満	25.9%	8. 600万円～700万円未満	0.7%
4. 200万円～300万円未満	23.2%	9. 700万円以上	1.7%
5. 300万円～400万円未満	9.6%	10. わからない	2.4%

無回答 3.3%

問 29 ご本人も含めた世帯全員の年間総収入(年金、仕送りなども含みます。)の合計額は、およそどれくらいですか。(あてはまるもの1つに〇) 調査数=3,144

1. 50万円未満	1.6%	7. 500万円～600万円未満	5.7%
2. 50万円～100万円未満	3.9%	8. 600万円～700万円未満	3.1%
3. 100万円～200万円未満	14.8%	9. 700万円～1,000万円未満	3.3%
4. 200万円～300万円未満	24.5%	10. 1,000万円以上	2.3%
5. 300万円～400万円未満	19.3%	11. わからない	6.9%
6. 400万円～500万円未満	10.4%		

無回答 4.3%

《介護保険の保険料についておたずねします。》

(すべての方におたずねします。)

問 30 ご本人の保険料段階は、次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに〇)

※保険料の段階は、「平成 25 年度介護保険料決定通知書」に記載されています。

調査数=3,144

1. 第1段階	3.6%	6. 第6段階	8.7%	11. 第11段階	1.0%
2. 第2段階	7.6%	7. 第7段階	7.5%	12. 第12段階	1.7%
3. 第3段階	5.2%	8. 第8段階	11.3%	13. わからない	13.4%
4. 第4段階	3.9%	9. 第9段階	9.2%		
5. 第5段階	11.0%	10. 第10段階	5.0%		

無回答 10.9%

参考：仙台市の第1号被保険者（65歳以上の方）の保険料（平成24～26年度）

所得段階	対象となる方	基準額に対する割合	年額保険料※	月額額算	
第1段階	次のいずれかに該当する方 ①生活保護を受けている方 ②本人が老齢福祉年金受給者で、世帯全員が市町村民税非課税の方	0.50	30,800円	2,571円	
第2段階	世帯全員が市町村民税非課税で	本人の前年の「合計所得金額」と「課税年金収入額」の合計額が80万円以下の方	0.50	30,800円	2,571円
第3段階		本人の前年の「合計所得金額」と「課税年金収入額」の合計額が80万円を超え、120万円以下の方	0.65	40,100円	3,342円
第4段階		本人の前年の「合計所得金額」と「課税年金収入額」の合計額が120万円を超える方	0.75	46,200円	3,857円
第5段階	本人が市町村民税非課税で、他の世帯員に市町村民税を課税されている方がいて	本人の前年の「合計所得金額」と「課税年金収入額」の合計額が80万円以下の方	0.85	52,400円	4,371円
第6段階		本人の前年の「合計所得金額」と「課税年金収入額」の合計額が80万円を超える方	1.00 (基準額)	61,700円	5,142円
第7段階	本人が市町村民税課税で	本人の前年の「合計所得金額」が125万円未満の方	1.10	67,800円	5,656円
第8段階		本人の前年の「合計所得金額」が125万円以上200万円未満の方	1.25	77,100円	6,428円
第9段階		本人の前年の「合計所得金額」が200万円以上300万円未満の方	1.50	92,500円	7,713円
第10段階		本人の前年の「合計所得金額」が300万円以上500万円未満の方	1.65	101,800円	8,484円
第11段階		本人の前年の「合計所得金額」が500万円以上700万円未満の方	1.85	114,100円	9,513円
第12段階		本人の前年の「合計所得金額」が700万円以上の方	2.00	123,400円	10,284円

※ 100円未満切捨て

問 31 現在の保険料額を、どのように感じていますか。(あてはまるもの1つに〇)

調査数=3,144

- |                 |       |                |       |
|-----------------|-------|----------------|-------|
| 1. 無理なく支払える額である | 10.0% | 3. 支払いが困難な額である | 19.0% |
| 2. なんとか支払える額である | 58.9% | 4. わからない       | 7.7%  |

無回答 4.5%

問 32 現在のご本人の保険料段階として、妥当と考える保険料の額は、ひと月あたりどのくらいの額ですか。(あてはまるもの1つに〇)

調査数=3,144

※ 例えば、第2段階の方は第2段階として妥当と考える額をお答えください。

- |             |       |               |       |
|-------------|-------|---------------|-------|
| 1. 2,500円程度 | 16.5% | 7. 7,000円程度   | 2.5%  |
| 2. 3,000円程度 | 13.2% | 8. 8,000円程度   | 2.2%  |
| 3. 3,500円程度 | 6.3%  | 9. 10,000円程度  | 2.0%  |
| 4. 4,000円程度 | 6.7%  | 10. 12,000円程度 | 0.4%  |
| 5. 5,000円程度 | 17.8% | 11. 15,000円程度 | 0.5%  |
| 6. 6,000円程度 | 3.2%  | 12. わからない     | 17.1% |

無回答 11.6%

問 33 介護保険料の基準額は、介護サービスの利用量によって決まります。よって、施設が増えたり、介護サービスが充実するなどして利用量が増えると、保険料も増加することになります。このことを踏まえ、保険料と介護サービスのあり方について、ご本人の考えに最も近いものは、次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに〇)

調査数=3,144

- |  |       |
|--|-------|
| 1. 保険料が高くなってもよいから、施設を増やすなど介護サービスを充実させた方がよい | 11.5% |
| 2. 保険料も介護サービスも現状の程度でよい                     | 26.4% |
| 3. 介護サービスの水準を今より抑えても、保険料が低くなる方がよい          | 24.0% |
| 4. その他 ( )                                 | 6.2%  |
| 5. わからない                                   | 28.3% |

無回答 3.5%



問 37 問 36 の介護サービスを選んだ理由は、次のうちどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

調査数=3,144

- |                             |       |
|-----------------------------|-------|
| 1. 自宅で暮らし続けたいから             | 37.0% |
| 2. 家族とともに暮らせるから             | 26.4% |
| 3. 住み慣れた場所で生活したいから          | 30.7% |
| 4. 自宅で介護サービスを受けるのは大変だから     | 17.4% |
| 5. より手厚い介護を受けたいから           | 7.6%  |
| 6. 集合住宅、施設は設備やサービスが充実しているから | 6.4%  |
| 7. 介護する家族の負担を軽くしたいから        | 42.9% |
| 8. 他人との共同生活をしたくないから         | 6.9%  |
| 9. その他 ( )                  | 3.4%  |

無回答 7.9%

問 38 介護保険制度のサービスを使うことによって、メリットがあると思われる点は何

ですか。(あてはまるものすべてに○)

調査数=3,144

- |                             |       |
|-----------------------------|-------|
| 1. 介護者や家族の精神的負担が減る          | 63.4% |
| 2. 介護者や家族の身体的負担が減る          | 66.9% |
| 3. 安い費用でサービスが利用できる          | 29.3% |
| 4. サービスの利用と費用負担の関係が明確になる    | 17.6% |
| 5. さまざまなサービスが利用できる          | 22.1% |
| 6. 事業者を自由に選んでサービスを受けられる     | 10.8% |
| 7. サービス内容についての要望が言える        | 9.9%  |
| 8. サービスを利用したことによって健康状態が良くなる | 15.2% |
| 9. 在宅で生活ができる                | 31.6% |
| 10. その他 ( )                 | 1.5%  |
| 11. 特にない                    | 1.7%  |
| 12. わからない                   | 10.0% |

無回答 4.5%

問 39

介護保険制度のサービスについて、不十分だと思われる点は何ですか。

(あてはまるものすべてに○) 調査数=3,144

1. 要介護認定の申請や契約など、手続きが面倒くさい	31.0%
2. 介護者や家族の身体的・精神的負担が制度以前と変わらない、 または増えた	4.1%
3. サービス利用時の費用負担が、介護保険制度が始まる前よりも増えた	3.8%
4. サービスの利用と費用負担の関係がわかりにくい	18.0%
5. 費用の関係で希望するサービスを利用できない	9.3%
6. 事業者を自由に選べない	3.4%
7. どの事業者を選んだらよいかわからない	19.8%
8. 施設や事業者が満員の状態で、希望するサービスを利用できない	12.2%
9. 事業者や施設の対応が悪い	1.8%
10. サービスを利用しているが、健康状態が悪くなった	0.5%
11. 介護保険のサービスを利用しなくても、保険料を納めなければならない	17.0%
12. その他 ( )	4.9%
13. 特にない	5.2%
14. わからない	33.0%

無回答 7.8%

《地域包括支援センターの利用についておたずねします。》

問 40

地域住民の保健医療の向上や、福祉の増進を支援する施設として、市内に 49 か所の地域包括支援センターがあります。地域包括支援センターについて知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

調査数=3,144

1. 名前も知っているし、どのようなサービスが提供されているかも知っている	18.1%
2. 名前は知っているが、どのようなサービスが提供されているかは知らない	38.6%
3. 名前も知らない	30.2%

(次のページの間 42 にお進みください)

無回答 13.1%

【 問 40 で「1」「2」に回答した方におたずねします。 】

問 41

ご本人やご家族のことに関して、地域包括支援センターを利用したことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

調査数=1,782

1. 利用したことがある	26.1%	2. 利用したことがない	70.5%
--------------	-------	--------------	-------

(すべての方におたずねします。)

問 42 地域包括支援センターに今後どのようなことを期待しますか。

(主なもの3つまでに○)

調査数=3,144

1. 介護や保健福祉サービスの相談受付	48.6%
2. 地域の医療機関や福祉機関などとのネットワークの充実	30.8%
3. 介護予防についての相談受付	18.2%
4. 介護予防の普及啓発や運動教室等の実施	14.9%
5. 認知症の相談受付	12.2%
6. 認知症に関する普及啓発や、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの推進	25.7%
7. 成年後見制度の利用の相談受付や、高齢者虐待への対応など高齢者の権利を守ること	6.6%
8. 圏域内に住む高齢者に関する情報の収集	9.4%
9. その他 ( )	5.2%
10. 特にない	15.1%

無回答 8.6%

《高齢者福祉サービスについておたずねします。》

問 43 日常生活の不便さを解消するために、現在利用しているサービスはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

調査数=3,144

1. 弁当を自宅に配達するサービス	3.7%
2. 緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス	4.5%
3. 布団を預かって洗濯するサービス	0.8%
4. 電磁調理器を提供するサービス	0.4%
5. 介護保険サービス以外で養護老人ホームなどに短期間宿泊できるサービス	2.3%
6. ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象とした、掃除・洗濯や外出時の援助など日常生活のお手伝いをするサービス	3.5%
7. 紙おむつなどの介護用品を提供するサービス	1.7%
8. 自宅を訪問しての理容や美容を行うサービス	2.4%
9. その他 ( )	2.4%
10. 利用しているサービスはない	77.6%

無回答 10.4%



問 44 日常生活の不便さを解消するために、今後利用してみたい（引き続き利用したい）

と思うサービスはありますか。（あてはまるものすべてに○）

調査数=3,144

1. 弁当を自宅に配達するサービス	18.8%
2. 緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス	27.7%
3. 布団を預かって洗濯するサービス	6.3%
4. 電磁調理器を提供するサービス	2.4%
5. 介護保険サービス以外で養護老人ホームなどに短期間宿泊できるサービス	13.3%
6. ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象とした、掃除・洗濯や外出時の援助など日常生活のお手伝いをするサービス	19.2%
7. 紙おむつなどの介護用品を提供するサービス	7.1%
8. 自宅を訪問しての理容や美容を行うサービス	13.8%
9. 自宅または近所に移動販売車が来るサービス	9.9%
10. ご本人の代わりに買い物をしてくるサービス	9.3%
11. お店までの送迎をしてくれるサービス	12.0%
12. その他（ ）	3.7%
13. 特にない	39.9%

無回答 9.9%

問 45 ご近所やお住まいの地域、NPOやボランティアの方々によるサービス（介護保険のサービスは除く）の利用状況と利用意向についてお聞きします。

(1) 現在利用しているサービスはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

調査数=3,144

1. 食事、掃除、洗濯、買い物などの家事援助	} ((3)にお進みください)	1.6%
2. 身体の清拭や洗髪などの介護援助		0.7%
3. 散歩や通院などに付き添う外出介助		0.3%
4. 通院や買い物などの福祉車両による送迎		0.8%
5. 防犯や安否確認のための見守り		0.5%
6. 食事会や食事の配達		0.6%
7. その他（ ）		0.8%
8. 利用していない		86.4%

無回答 9.5%

↓  
(2)へお進みください

(2) 利用していない理由は次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

調査数=2,716

1. そのようなサービスが地域にない	4.7%
2. 地域でそのようなサービスが提供されているかどうかの情報がない	28.0%
3. サービス利用時の費用が高い	2.4%
4. サービス内容に不安がある	2.4%
5. その他（ ）	58.6%

無回答 10.9%

(3) 今後利用したい（引き続き利用したい）と思うサービスはどれですか。

（あてはまるものすべてに○）

調査数=128

1. 食事、掃除、洗濯、買い物などの家事援助	} (問 46 にお進みください)	36.7%
2. 身体の清拭や洗髪などの介護援助		18.8%
3. 散歩や通院などに付き添う外出介助		17.2%
4. 通院や買い物などの福祉車両による送迎		29.7%
5. 防犯や安否確認のための見守り		18.0%
6. 食事会や食事の配達		19.5%
7. その他（ ）		9.4%
8. 利用したくない		2.3%

↓  
(4)へお進みください

無回答 20.3%

(4) 利用したくない理由は次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

調査数=3

1. サービス内容に不安がある	0.0%
2. サービスに関する情報が入手しにくい	66.7%
3. その他（ ）	33.3%

無回答 0.0%

**（すべての方におたずねします。）**

**問 46** 介護保険以外の高齢者福祉サービスを利用するにあたって、一定程度の利用者負担金を頂いている場合がありますが、この利用者負担金について、ご本人の考えに最も近いものは、次のうちどれですか。（あてはまるもの1つに○）

調査数=3,144

1. 利用者負担金が高くなってもよいから、サービスを充実させた方がよい	10.5%
2. 利用者負担金もサービスも現状の程度でよい	20.0%
3. サービスの水準を今より抑えても、利用者負担金が低くなる方がよい	13.7%
4. その他（ ）	3.5%
5. わからない	44.1%

無回答 8.1%

**《介護予防・認知症対策についておたずねします。》**

**問 47** 「介護予防」という言葉を聞いたことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

調査数=3,144

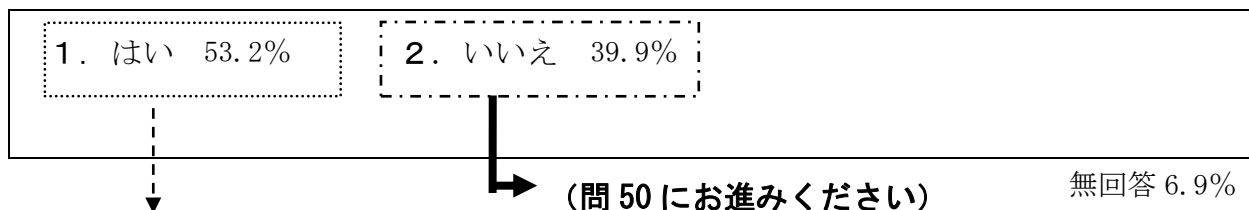
1. はい 67.0%    2. いいえ 28.6%    無回答 4.4%

※「介護予防」とは、介護を受ける状態になることをできる限り防ぎ、または遅らせ、そして介護を受ける状態になってもその悪化をできる限り防ぐよう、取り組むことをいいます。

問 48 介護予防について、何か取り組んでいることはありますか。

(あてはまるもの1つに〇)

調査数=3,144



【 問 48 で「1. はい」と回答した方におたずねします。 】

問 49 介護予防として今取り組んでいることは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

調査数=1,672

1. ご自身でのスポーツ、体力づくり	45.2%
2. 健康づくりのための教室への参加	17.5%
3. 地域の自主グループ・自主サークルへの参加	13.4%
4. 散歩などの軽い運動・多く外出すること	68.8%
5. 老人クラブの活動	10.1%
6. 町内会・自治会・子供会などの活動	13.1%
7. ボランティア活動	11.4%
8. 友人、知人とのつきあい・家族との交流	53.9%
9. 趣味・学習	52.8%
10. 仕事	12.2%
11. その他 ( )	7.0%

↳ (問 51 にお進みください)

無回答 0.1%

【 問 48 で「2. いいえ」と回答した方におたずねします。 】

問 50 介護予防について、取り組まない理由は何ですか。(あてはまるもの1つに〇)

調査数=1,254

1. 家のことや趣味などで忙しいから	12.8%
2. 魅力的なメニューがないから	1.3%
3. 介護予防に取り組みたいが、きっかけや機会がないから	8.8%
4. 介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから	30.5%
5. 外に出るのがおっくうだから	6.4%
6. 今は取り組んでいないが、今後取り組む予定	20.0%
7. その他 ( )	14.2%

無回答 6.1%

(すべての方におたずねします。)

問 51 いつまでも自立していきいきと生活するには、介護予防に取り組むことが重要となります。今後仙台市に力を入れて欲しい取り組みは、次のうちどれですか。(あてはまるもの3つまでに○) 調査数=3,144

1. 筋力の維持・向上のための運動教室開催などの取り組み	30.5%
2. 栄養バランスのとれた食生活のための講座の開催などの取り組み	18.3%
3. 口の中の健康保持のための講座の開催などの取り組み	4.6%
4. 閉じこもりを防止するための外出する機会の創出	20.0%
5. 認知症になっても安心して暮らせる地域づくり	36.8%
6. うつについての普及啓発などの取り組み	5.0%
7. 地域活動の推進	9.9%
8. 生きがいづくりのための取り組み	20.5%
9. 子どもや孫など他世代との交流	6.8%
10. 介護予防の普及啓発	16.7%
11. 運動などの活動をするための場所の確保	11.3%
12. 運動などの取り組み方の指導	7.2%
13. 運動などの活動に取り組んでいる団体の紹介などの情報提供	8.6%
14. ボランティア人材の育成	6.5%
15. その他 ( )	3.0%
16. 特にない	11.5%

無回答 6.5%

問 52 日常生活での物忘れについてお聞きします。

((1)~(3) それぞれあてはまるもの1つに○)

(1) 5分前のことが思い出せますか。

調査数=3,144

1. はい 83.5%	2. いいえ 11.8%	無回答 4.7%
-------------	--------------	----------

(2) その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか。

調査数=3,144

1. 困難なくできる	82.8%
2. いくらか困難であるが、できる	8.4%
3. 判断するとき、他人からの合図や見守りが必要	1.9%
4. ほとんど判断できない	2.1%

(3) 人に自分の考えをうまく伝えられますか。

調査数=3,144

1. 伝えられる	80.5%
2. いくらか困難であるが、伝えられる	10.3%
3. あまり伝えられない	3.6%
4. ほとんど伝えられない	1.2%

無回答 4.4%

**問 53** 認知症について知っていることをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

調査数=3,144

1. 「認知症」という言葉は聞いたことがある	89.1%
2. 「ぼけ」のことである	49.3%
3. 加齢に伴う物忘れである	39.9%
4. 脳の病気によるものである	64.2%
5. 認知症の方や家族を見守り支援する「認知症サポーター」を知っている	14.2%
6. 知らない	1.2%

無回答 2.9%

**問 54** 認知症になっても安心して生活するには、どのようなことが必要と考えますか。

(あてはまるもの3つまでに○)

調査数=3,144

1. 地域住民の認知症についての正しい理解と、見守りや支え合い	46.2%
2. 医療・福祉の専門職による早期の適切な支援が得られる環境の整備	58.5%
3. 家族などの介護者が負担を抱え込まないようにするためのサービスの充実	60.1%
4. 家族などの介護者や認知症の人が気軽に相談したり、仲間と交流できる場所の整備	27.0%
5. 認知症対応型の入所施設の整備	34.4%
6. 認知症になっても財産や権利が守られるような制度	16.7%
7. その他 ( )	0.7%
8. 特にない	3.7%

無回答 4.8%

《健康や福祉についておたずねします。》

問 55 現在、国や仙台市では、要介護状態になってもできるだけ在宅（住み慣れた地域）で暮らしていくことができる社会（地域包括ケアシステムの構築）を目指して施策を進めています。今後、高齢者の増加に伴い、要介護者も増えていく中で、本人の希望に沿いながら、できるだけ在宅で暮らしていけるようになるには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○） 調査数=3,144

- |                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| 1. ケアマネジャーなどの専門職によるケアマネジメント機能の充実 | 37.7% |
| 2. 地域包括支援センターなどの介護について相談できる機関の充実 | 40.5% |
| 3. 24時間対応の在宅介護サービスの充実            | 40.8% |
| 4. ショートステイなど介護者の負担軽減のためのサービスの充実  | 37.2% |
| 5. 施設等に入所している方の在宅復帰に向けた支援の充実     | 11.7% |
| 6. かかりつけ医等による在宅医療のさらなる充実         | 36.8% |
| 7. 買い物や見守りなどの生活支援サービスの充実         | 22.4% |
| 8. 高齢者が一人でも安心して暮らせる住居の確保         | 29.9% |
| 9. その他（ ）                        | 2.4%  |
| 10. 特にない                         | 10.1% |

無回答 10.5%

（副問にお進みください）

副問 「1」～「8」を選んだ方は、より具体的な施策の内容がございましたら、次の枠内にお書きください。

問 56 ご本人に関する健康や福祉の情報は、どこから得ていますか。

（あてはまるものすべてに○）

調査数=3,144

- |                                 |       |                             |       |
|---------------------------------|-------|-----------------------------|-------|
| 1. 家族や親戚                        | 34.3% | 9. 特別養護老人ホームなどの福祉施設         | 3.1%  |
| 2. 知人や近所の方                      | 25.2% | 10. 病院や診療所の医師など             | 33.8% |
| 3. ケアマネジャー                      | 7.1%  | 11. 「市政だより」などの市の広報          | 42.7% |
| 4. 自宅を訪問する保健師、<br>看護師、ホームヘルパーなど | 3.1%  | 12. 講演会、健康セミナーなどの催し         | 8.1%  |
| 5. 区役所などの行政窓口                   | 8.5%  | 13. 新聞、雑誌、テレビ、<br>ラジオ、専門書など | 52.0% |
| 6. 地域包括支援センター                   | 9.2%  | 14. インターネットなど               | 6.7%  |
| 7. 社会福祉協議会                      | 2.8%  | 15. その他（ ）                  | 1.0%  |
| 8. 民生委員                         | 6.1%  | 16. 特にどこからも得ていない            | 8.4%  |

問 57 普段、どれくらいの頻度で、同居している家族以外の方々と話しをしますか。(挨拶程度は含まない) (あてはまるもの1つに○)

調査数=3, 144

1. 週 4 回以上	38.3%
2. 週 2~3 回	28.2%
3. 週 1 回	9.7%
4. 月に数回	11.3%
5. ほとんどない	6.3%

無回答 6.2%

問 58 最近、高齢者に対する虐待についての関心が高まっており、その防止のための取り組みが必要となっています。

高齢者に対する虐待が起きないための取り組みとして必要だと思うことは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

調査数=3, 144

1. 地域の声かけや見守りなどの助け合い	56.2%
2. 適切な介護サービスの利用による介護者の負担軽減	49.4%
3. 介護者が相談できる窓口の設置	49.0%
4. 介護者同士の交流の機会づくり	26.4%
5. 高齢者虐待の防止の普及啓発	26.7%
6. その他 ( )	3.7%

無回答 10.5%

問 59 孤立死について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

調査数=3, 144

1. 身近な問題だと思う	32.7%
2. やや身近な問題だと思う	21.5%
3. あまり身近な問題だと思わない	17.1%
4. 身近な問題だと思わない	11.8%
5. わからない	11.6%

無回答 5.2%

※ここでいう「孤立死」とは、誰にも看取られることなく息を引き取り、その後、相当期間放置されるような状態のことをいいます。

問 60 孤立死を防ぐためにどのようなことが有効だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

調査数=3,144

1. 安否確認サービス付きの高齢者向け住宅や施設に入居する	31.9%
2. 家族と同居する	46.7%
3. 介護保険サービス等を利用する	26.1%
4. 日ごろから家族や友人、知人とのつながりを作る	66.1%
5. 近所の人と声を掛け合う	54.5%
6. 町内会や老人クラブ等、地域の見守り活動を活発にする	26.1%
7. 民生委員による見守り活動を活発にする	26.6%
8. 警察のパトロール	10.5%
9. 地域包括支援センターによる高齢者の把握	26.4%
10. 健康づくり、介護予防を心がける	33.6%
11. 町内会や社会福祉協議会などの行事に積極的に参加する	16.2%
12. 行政による高齢者の実態調査	21.4%
13. 警備会社など民間ビジネスによる見守りサービスの活用	8.7%
14. その他 ( )	1.2%
15. 特にない	1.0%
16. わからない	2.9%

無回答 5.4%

問 61 平成 23 年 3 月に東日本大震災が発生したときに、誰かに安否確認をしてもらいましたか。(あてはまるものすべてに○)

調査数=3,144

1. 家族や親せき	84.6%
2. 知人や友人	53.1%
3. ご近所の方	42.7%
4. 町内会の方	21.2%
5. 民生委員	8.1%
6. ケアマネジャー	1.8%
7. 地域包括支援センター職員	1.2%
8. ホームヘルパー	0.8%
9. 訪問看護師	0.5%
10. ボランティア	0.5%
11. かかりつけの医師や看護師	1.3%
12. その他 ( )	2.6%
13. 誰にも安否確認はされなかった	2.2%
14. 自らも安否確認活動を行った	21.4%

無回答 5.4%



問 62 地震などの災害が起きた場合、誰に安否確認をしてもらうのがよいと思います

か。(あてはまるものすべてに○)

調査数=3,144

1. 家族や親せき	89.2%	7. 地域包括支援センター職員	8.6%
2. 知人や友人	54.7%	8. ホームヘルパー	2.9%
3. ご近所の方	63.3%	9. 訪問看護師	2.4%
4. 町内会の方	35.2%	10. ボランティア	1.7%
5. 民生委員	16.1%	11. かかりつけの医師や看護師	5.9%
6. ケアマネジャー	4.8%	12. その他 ( )	0.9%
		13. 安否確認の必要はない	0.2%

無回答 5.2%

(すべての方におたずねします。)

問 63 仙台市の介護保険事業や高齢者保健福祉施策に関してご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書き下さい。

質問は以上です。調査にご協力いただきありがとうございました。

この調査票を同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、11月27日(水)までに郵便ポストに投函していただきますようお願い申し上げます。

